

2019 年秋季 UII 会議
役員会 **LABMEETING** ラボ ツアー
＜日環協代表団参加報告＞
《フランクフルト》
2019 年 **10** 月 **24** 日・**25** 日

一般社団法人 日本環境測定分析協会

目 次

■実施概要.....	1
ラボツアー.....	1
役員会.....	1
LABMEETING 2019.....	1
出席者（敬称略）：.....	2
■アジェンダ.....	1
役員会アジェンダ.....	1
LABMEETING プログラム 資料 N	2
■議事録（報告）.....	4
ラボツアー報告.....	4
役員会 議事録.....	5
1. 歓迎.....	5
2. 出席の確認.....	5
3. アジェンダ承認 資料 A	6
4. 2019年7月17日開催の2019年第1回 Skype 役員会議事録の確認と承認 資料 B 6	
➤ 前回会議からの懸案事項（アジェンダ外）.....	6
5. 2020～2022年戦略計画 資料 C	6
UILIが目指すものは？.....	7
6. 規約 資料 D	8
7. 財務報告 資料 E・F	9
➤ 未回収の債務 - 年会費.....	9
➤ 2019年9月30日現在 損益計算書および貸借対照表.....	9
➤ 2020～2022年予算案.....	9
8. 試験所間比較試験.....	9
➤ 第22回 UILI-ILP 資料 G	9
➤ 2020～2022年 ILP 試験計画.....	9
9. ILAC.....	9
11. ISO.....	10
12. 会員増強.....	10
➤ RELABSA, グアテマラ.....	10
➤ ASOSEC, コロンビア.....	10
➤ ABRAC, ブラジル.....	10
13. 協会会員および非協会会員から活動報告:.....	10
➤ AOIL 資料 I	11
➤ ASOCOLAB 資料 J	11
➤ CALIBA.....	11
➤ CCIL.....	11
➤ EUROLAB 資料 K	11
➤ JEMCA 資料 L	11
➤ RELACRE.....	11

➤ IPAN/SOTLAN.....	11
➤ VRS.....	11
14. 今後の会議予定.....	11
15. その他（会長承認）.....	11
16. 閉会.....	11
アクションアイテム:.....	11
■写真.....	13
資料.....	17
資料（和訳）.....	279

■実施概要

ラボツアー

開催日時： **2019年10月24日(木) 15:00～17:00**

開催場所： **Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG**
(Christian-Kremp-Str. 14,35578 Wetzlar, GERMANY)

役員会

開催日時： **2019年10月24日(木) 09:00～12:30 (1日目)**

25日(金)09:00～12:30 (2日目)

開催場所： **Intercontinental Frankfurt** 会議室「**Mosel room**」 (1日目)
「**Dresden room**」 (2日目)

(Wilhelm-Leuschner-Straße 43, 60329 Frankfurt, GERMANY)

LABMEETING 2019

開催日時： **2019年10月25日(金) 14:00～17:00**

開催場所： **Intercontinental Frankfurt** 会議室「**Dresden room**」
(Wilhelm-Leuschner-Straße 43, 60329 Frankfurt, GERMANY)

出席者（敬称略）：

UIIL 役職	役員氏名	所属	国
会長	ルーク・ショルティス	VRS	オランダ
副会長	アルバロ・シルバ	RELACRE	ポルトガル
財務担当	松村 徹(いであ株)	JEMCA	日本
会員	高橋 紀子(株高見沢分析化学研究所)	JEMCA	日本
会員	田畑滋(いであ株)	JEMCA	日本
EUROLAB 代表役員	ホセ・ルイス・サンチェス	EUROLAB	欧州
ナイジェリア 代表役員	フェミ・オイディラン(Skype)	IPAN	ナイジェリア
コロンビア 代表役員	ガブリエル・フォンセカ	ASOCOLAB	コロンビア
インド 代表役員	R・B・シンク	AOIL	インド
会員	L・K・パネリ	AOIL	インド
事務局	リクスト・ウェストラ	VRS	オランダ

(協会略称アルファベット順)

< 関係協会組織名略一覧 >

UIIL	Union Internationale des Laboratoires Indépendants
AELI	Asociación Española de Laboratorios Independientes (スペイン)
AOIL	Association of Indian Laboratories (インド)
ASOCOLAB	Asociación Colombiana de Laboratorios (コロンビア)
CALIBA	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines (アルゼンチン)
CCIL	Canadian Council of Independent Laboratories (カナダ)
EUROLAB	European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories (欧州)
IAAC	InterAmerican Accreditation Cooperation (アメリカ)
ILAC	International Laboratory Accreditation Cooperation
IPAN	Institute of Public Analysts of Nigeria (ナイジェリア)
JEMCA	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis (日本)
RELACRE	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (ポルトガル)
SoTLAN	Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria(ナイジェリア)
VRS	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (オランダ)
VUP e.V.	VUP Deutscher Verband Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.(ドイツ)

(協会略称アルファベット順)

■アジェンダ

役員会アジェンダ

- 1 歓迎
- 2 出席の確認
- 3 アジェンダの承認 **資料A**
- 4 2019年7月17日 Skype 開催の2019年第1回役員会議事録の承認 **資料B**
 - 4.1 前回会議からの懸案事項（アジェンダ外）
- 5 2020～2022年戦略計画 **資料C**
- 6 定款 **資料D**
- 7 財務報告 **資料E・F**
 - 7.1 未払い金 - 会費
 - 7.2 2019年9月30日現在 損益計算書および貸借対照表。2020～2022年予算案
- 8 試験所比較試験
 - 8.1 試験運営責任者（Program Manager）
 - 8.2 第22回 UIIL ILP **資料G**
 - 8.3 2020～2022年 ILP 試験計画
- 9 ILAC
 - 9.1 ILAC ステークホルダー委員会
- 10 地域認定協会：
 - 10.1 EA（欧州認定協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.2 IAAC（米州認定機関協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.3 APAC（アジア太平洋認定協力機構、Associate Member）
 - 10.4 AFRAC（アフリカ認定協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.5 ARAC（アラブ認定協力機構）
- 11 ISO
 - 11.1 ISO/CASCO
 - 11.2 ISO/REMCO
- 12 会員増強
 - 12.1 CSIT Chinese Society for Inspecting and Testing（中国国家品質監督検査検疫総局）、中国
 - 12.2 RELABSA、グアテマラ
 - 12.3 ASOSEC、コロンビア
 - 12.4 ABRAC、ブラジル
 - 12.5 VUP、ドイツ
- 13 協会会員および非協会会員から活動報告
 - 13.1 AELI（スペイン独立試験所協会） **資料H**
 - 13.2 AOIL（インド試験所） **資料I**
 - 13.3 ASOCOLAB（コロンビア試験所協会） **資料J**
 - 13.4 CALIBA（アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会）
 - 13.5 CCIL（カナダ独立試験所協会）
 - 13.6 EUROLAB（欧州試験所協力機構） **資料K**
 - 13.7 JEMCA（日本環境測定分析協会） **資料L**
 - 13.8 RELACRE（ポルトガル認定試験所協会）
 - 13.9 IPAN/SOTLAN（ナイジェリア国家分析協会／ナイジェリア分析試験所協会）
 - 13.10 VRS（オランダ、化学試験所諮問協会）

14 今後の会議予定

14.1 2020年第1回 2020年4月16日(木)・17日(金)オランダ・ロッテルダム。総会—VRS設立110周年—LabMeeting 2020—オランダ基準を設定 **資料M**

14.2 2020年第2回 2020年10月22日(木)・23日(金)カナダ・モントリオール

14.3 2021年第1回 Skype

15 その他 (会長承認)

16 閉会

UII Labmeeting 2019
The role Independent Testing in Inspection and Certification
検査および認証における独立系分析

開会挨拶

ルーク・ショルティス博士— UII 会長, VRS 元会長, LabWing B.V. 社 CEO (オランダ)

P 資料 O

■第 1 部

「スペインにおける独立系分析」 **資料 P**

ジョルディ・オリバー・ロデス氏 (AELI 会長—スペイン)

「リスクと機会への対応—分析と評価」 **資料 Q**

D・S・テワリ氏 (AOIL 会長—インド)

「欧州における独立系分析」 **資料 R**

UII 副会長アルバロ・シルバ・リベイロ博士 (RELACRE 会長、EUROLAB 会長—ポルトガル)

■第 2 部

「ドイツにおける独立系分析」 **資料 S**

アントン・ブルー氏 (VUP 常務理事—ドイツ)

「2018 年中国計量証明ビジネスの集計」 **資料 T**

UII 財務担当松村徹 (JEMCA 会長、いであ(株)常務取締役—日本)

「検査および専門ビジネスの発展における試験所認定の認証機能における独立系分析」 **資料 U**

R・B・シンク氏 (AOIL 事務局長—インド)

■議事録（報告）

ラボツアー報告

10月24日、Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG GmbH社を視察した。

<会社基本情報>

Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG社（以下、UEG社）は、1988年、化学分析試験所として設立し、2008年に MikroChem GmbH社と Microbiological Institute UEG GmbH社を合併、微生物分析に事業を拡大した。サンプリング（空気、水、土壌、廃棄物）から、分析（高度な専門技術者と機器）、解析を行い、その分野は微生物分析/衛生、燃料・加熱燃料・堆肥・下水汚泥粉塵・ガス・空気・土壌分析、建物・労働環境の分析、飲料水、すすぎ・下水・浸透・地下水・廃水分析、製品・消費財・材料分析、食品・飼料分析、プロセス分析、汚染環境・廃棄物の検査と評価、材料試験、ウッドベースの研究、損害評価/修復、モニタリング・地籍・土壌・地盤調査、建物検査、委託研究と多岐にわたる。主に取扱うのは PCB、グリホサート、ダイオキシン様、AMPA、レジオネラ、大腸菌等。主な取引先は産業・商業企業、自治体および公的機関、エンジニアリング企業、国家当局である。

<会社連絡先>

Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG GmbH
住所：Christian-Kremp-Str. 14,35578 Wetzlar, GERMANY
TEL: +49 (0) 6441 - 78 33 - 0
TEL/FAX: +49 (0) 6441 - 78 33 - 78
URL: <http://www.ueg-gmbh.de>

2019年第2回役員会
2019年10月24日(木) 09:00 - 12:30 (1日目)

1. 歓迎

会長は開会し、出席者を歓迎した。

- 会長は、フォンセカ氏より、2019年10月15日付で件名が「2019年フランクフルト役員会議アジェンダについて」の手紙と、2019年10月17日付で件名が「臨時総会」の手紙を受け取ったことを報告した。会長は、役員へ意見を求めた。手紙は、役員の行動が規約に則っておらず臨時総会の開催を求める内容だった。
- 会長は、まずフォンセカ氏からの手紙について意見を交わし解決することを提案した。
- 第27回総会がコロンビア・ボゴタで開催され、出席者は、第28回総会をオランダ・ロッテルダムにてVRS110周年記念行事と同時開催にて開催することに同意している。近く通常総会を開催する予定でいるところ、臨時総会を開催する必要はない。当要求は、臨時総会の開催を決定する要件に満たない。これまでの会議や会員間コミュニケーションの中で、第28回総会の開催日時と場所は明確に通知されていた。
- フォンセカ氏は問題を引き起こす意図はなかったと謝罪した。
- 役員会は、臨時総会を開催しないこととした。次回総会は2020年オランダにて開催する。

2. 出席の確認

- マナヘン・フェルナンデス博士とギブ・マケンティ氏、マリアン・アデコ氏より欠席のお詫びがあった。
- ジョルディ・オリバー・ロデス氏からは、スペインでストライキが起きて空港に行けず、よって会議には参加できない旨会長へ連絡があったとのこと。
- 残念ながら、デナリ博士、イスマチ博士、サンチョ氏（CALIBA）と北半球非協会会員代表ヤン・ソレス氏からは欠席の連絡がなかった。
- アルフレド・モンテス・ニノ氏（Microbioticos社）より会長へ、会議へ出席するとの連絡があった。会長から一同へ、モンテス・ニノ博士からその後の情報を確認したところ、アンナ・マリア・フォンセカ氏より、アルフレド・モンテス・ニノ博士は自身の経営する試験所の対応のため会議を欠席し、彼女に代理を務めてほしい旨言付かったことを説明した。ブエノスアイレス会議にて承認された最新の規約に則り、代理投票は認められていない。
- アルバロ・シルバ氏は、役員会2日目はILAC会議へ出席するためUILI会議を欠席することを謝罪した。

3. アジェンダ承認 **資料A**

- フォンセカ氏は、規約についての話し合いを希望した。規約については議題6にて取り上げる予定。
- 役員会出席者一同は、アジェンダ案を承認した。

4. 2019年7月17日開催の2019年第1回Skype役員会議事録の確認と承認 **資料B**

議事録への意見は特になく、案通りで承認された。議案は提議、承認された。

➤ 前回会議からの懸案事項（アジェンダ外）

- 事務局。シンガポール会議後、ラース・ファン・ホール氏とショルティス氏は財務管理に集中していたためコミュニケーションに行き届かないことがあった。会長は、コミュニケーション不足であったことを謝罪し、今後は第28回総会に焦点を当てることを伝えた。リクスト・ウェストラ氏がコミュニケーションを改善させることを期待している。
- IPAN/SoTLAN, CALIBA, Asocolab および Microbioticos社は未納の請求書を未だ支払っていない。支払い期日を2019年3月31日とし、最終通告を送った。役員会による別段の決断がない限りは、2019年12月31日までに会員資格が消失する。
- アデコ氏は、現在の財務状況下ではILP管理責任者を置くことは適切ではないと感じているとのこと。リベイロ氏は、本件については役員の合意があったことに触れ、その役割を明確化することを求めた。会長は、役割についてはシンガポール会議にて配布済みである旨を確認した。アデコ氏には活動計画を作成していただく。

5. 2020～2022年戦略計画 **資料C**

戦略計画が発表された。

- 会長は、大企業が競争力を強めていることを強調した。より規模の小さな民間試験所は、多国籍試験所とは異なる戦略を立てなければならない。試験所が互いに協力し異なるアプローチを仕掛けない限り勝ち目はない。
- 2019年1月、会長はTIC Councilの設立を知り、事務局長ハンナ・ティアディ氏と面会した。大規模な多国籍の試験所および認証機関の協同体に、UIILや民間試験所はその将来に危機感を持つ。会長はその組織の一員となり協会の成長を見届ける決意をした。
- 以上の会長からのプレゼンテーションに対し、リベイロ氏は、UIILの活動目的が明確でないことを指摘した。
- 会長は、多国籍CAB（適合性評価機関）は独立機関とは限らず、また、その分野全体を代表する存在ではなく、UIILは中小規模、および大規模試験所、全てのプラットフォームにならなければな

らないと述べた。更には、現在の認定制度では、平等な競争が行えないと加えた。会長は、UIILは全てのCABにとってのプラットフォームを促進すべきで、個々の市場のプラットフォームに焦点を当てる必要があると考える。UIILは信用ではなく、会員の能力開発スキルや改革を促進すべきである。

- リベイロ氏は、UIILの、相互承認制度を促進する能力に疑問を感じていることを述べた。UIILは大規模試験所の戦略に影響を及ぼすことはできない。UIILは地域協会ネットワークに身を置いてこそ力を発揮する。これによりILACのようなグローバル組織だけでなく、認定機関の地域組織への影響力が高まると述べた。

何に参加するのか？

- フォーラムの一員となる。
- 他国での試験所訪問の機会。
- LC (ILAC試験所委員会) への代表参加で、メンバーのサポート (ロビー) だけでなく、UIILのサポートも行う。
- ISOに係る情報や意見効果の機会。
- UIILは中小規模試験所に情報提供する。
- (標準や認定等に係る) 意思決定への影響、およびUIIL会員国における試験所意見の擁護 (アドボカシー活動)。UIILは地域組織の周辺に存在すべき。

UIILが目指すものは？

- リベイロ氏によると、UIILは、その目的を掲げるには、試験所の単純な需要に注目する必要がある：例えば (小さな) 問題へのサポート。EUROLABは、この種のサポートにおいてUIILと協働したい考えで、ただし、強力な事務局が必要と述べた。
- UIILの重点分野は次の通り：
 1. アドボカシー活動 (擁護)
 2. 情報交換
 3. セキュリティ
 4. ISO17025
 5. ILP
 6. 会員増強;
 - JEMCAでは、JEMCA ILPに参加を希望する場合はJEMCA認定にも参加すること要件とするモデルがある。これはUIILの参考になる。

6. 規約 **資料D**

UIIL のオランダ登記、フランス登記の歴史。責務。規約、ILAC ハードル：戦略およびイベントのコース。

60年代に事務局をバルセロナに移転して以降、UIIL は法的な登記がなされてなかった。会長は、UIIL のフランスでの法的地位を取り戻すため、法の専門家に相談する等努力した。残念ながら再登記はできなかった。

オランダの法律によると、オランダの銀行口座開設には、UIIL を国内に登記する必要がある。UIIL のオランダ登記について、役員へ諮られた。

UIIL は限定された法人の枠内で協会として登記され、会長は個人としてその責任を負い、また課税されている。当登記には、協会の規約の提出も伴う。

よって、UIIL は、オランダ民法に則った、新しい規約を用意する必要ある。：

1. ブエノスアイレス承認の規約に必要な修正を加えるのみ
2. 新しい戦略を盛り込んだ、全く新しい規約を作成する

会長は出席者へ、オランダ語版規約に目を通すよう促した。現時点で規約はオランダ語であるが、基本的/戦略的な項目が決まれば翻訳する。

基本的な課題：

1. 会員の種別
2. 目的
3. 組織開設

次の事柄が合意されている。：

1. 3つの課題について合意する。
2. 新文書案のセグメントを英語で配布する。
3. 文書の詳細を議論する。

➤ **Asocolab**の心配点：

- フランス登記の喪失
- 規約における会長の氏名の記載。会長は、会長と財務担当がオランダ登記手続人であることを説明した。2名ともオランダでの新登記に含まれ、両名は法律上、新協会の最初の職員となる。

➤ リベイロ氏は、オランダ政府に対し協会の責任と納税の義務を負うことについては、ヨーロッパ諸国においては一般的で、法律上要求されることもあることを説明した。

➤ 会長は、総会の延期については通知済みで、前回総会にて合意されたことを留意した。

2019年第2回役員会

2019年10月25日(金)09:00 - 12:30 (2日目)

未回収の請求書についてメール交換を重ねており、会議再開前には、今後行事への参加を続けるためには会議再開前に未払いの請求書を支払うことを Asocolab 代表者へ要求した。本件について結論が出ないため、会員資格の取り扱いについて財務担当に委ねることとした。

会長は新たに参加したインド協会からのゲストを歓迎し、出席役員を紹介した。次いで、前日の役員会やラボツアーの概要を伝えた。

7. 財務報告 **資料E・F**

2019年財務報告が発表された。

- **未回収の債務 - 年会費**
2年以上に渡る年会費の未回収が蓄積し、4,620EUR の貸倒金がある。
 - 会長は、UIILの財務状況を懸念している。
- **2019年9月30日現在 損益計算書および貸借対照表**
2019年9月30日現在、財務はまだ黒字である。今回会議の費用がまだ反映されておらず、会長は、会議場費が高額で財務がマイナスに傾くと予想している。更に、未払いの件を差し引かなければならない。
- **2020～2022年予算案**
UIILの収入は十分に見えるが、予算には全会員からの年会費を含めている。会費の支払いが複雑であることから、戦略を見直す必要がある。ここで、会長から次の質問が挙げられた。：
 - i. 我々はどこに焦点を当てるのか？
 - ii. どこへ代表者を参加させたいのか？

8. 試験所間比較試験

- **試験運営責任者 (Program Manager)**
試験運営責任者を指名しないことが適切であると判断された。
- **第22回UIIL-ILP **資料G****
粉体中（実際は底質）の微量物質の分析が案内された。当初参加者はなく、最終的には参加したのは JEMCA 会員のみとなった。
- **2020～2022年ILP試験計画**
会長は、年4サンプルを受け取ることができる ILP 会員を提案し、役員へ参加を求めた。AOIL はインドでの協力を申し出たが、約束できるようになるには1年かかるとのこと。RELACRE との連携も可能性があるとのこと。

9. ILAC

- **ILAC ステークホルダー委員会**

10. 地域認定協会:

地域認定協会は文書の配信が大変多く、重複するものが多い。会長はその付加価値について疑問を投げかけた。ILAC はこれら関係協会に、発展途上国における認定を推進することを求めている。役員は皆、これら外部会議へ参加できるようにしなければならず、これは役員が判断する。

- **EA - EA**へのUIIL代表参加
- **IAAC - CALIBA**の会員資格による
- **APAC - AOIL**がUIIL代表としての参加に関心をもつ
- **AFRAC - SoTLAN**がUIILを代表して参加できる
- **ARAC - UIIL**はステークホルダー会員に勧誘されたが、UIILがアラブ地域の会員をもつことが条件となる。ホセ・ルイス・サンチェス氏が当局に連絡する。

11. ISO

報告事項なし。

- **ISO/CASCO - ISO CASCO** 代表参加者からの報告
- **ISO/REMCO - SO REMCO** 代表参加者からの報告

12. 会員増強

- **CSIT Chinese Society for Inspecting and Testing, China** (中国国家品質監督検査検疫総局)
入会に関心を示しているが、連絡が途絶えている。まだ関心を持っているが、非現実的な期待かもしれない。：試験所建設のための ISO 標準。
- **RELABSA, グアテマラ**
<http://relabsa.org.gt/>
- **ASOSEC, コロンビア**
<https://asocec.org/>
- **ABRAC, ブラジル**
<https://www.abrac-ac.org.br>
- **VUP, ドイツ - UIIL**がドイツで会議を行うに当たり、会長はVUPと連絡を取る必要があった。
VUP は、UIIL 会員であった GDC - Fachgruppe Freiberufliche Chemiker の後継組織。ラボツアーでは UEG を訪れ、Dr. Klaus Prade (クラウス・プラーダ博士) と、VUP の Mr. Anton Blöth (アントン・ブルー氏) と Mr. Sven Deeg (スウェン・ディーク氏) に歓迎していただいた。
会長は VUP 創設者であるプラーダ博士に、UIIL への入会を勧めた。 www.vup.de

13. 協会会員および非協会会員から活動報告:

- **AELI** 資料H
オリバー・ロデス氏の欠席により、会長及びサンチェス氏が AELI 活動報告「2018 年活動報告」を発表した。

- **AOIL** **資料J**
AOIL 事務局長 R・B・シンク氏が、2018年11月 AOIL 活動報告を発表した – 2019年10月
- **ASOCOLAB** **資料J**
2018年10月 ASOCOLAB 管理報告 – 2019年10月
- **CALIBA**
CALIBA からの活動報告は提出されなかった。
- **CCIL**
CCIL からの活動報告は提出されなかった。
- **EUROLAB** **資料K**
リベイロ氏は会議を欠席したため、EUROLAB 活動報告 – 2019年 UII 年会における活動報告は発表されなかった。
- **JEMCA** **資料L**
松村博士は JEMCA からの活動報告を発表した。
- **RELACRE**
RELACRE からの活動報告は提出されなかった。
- **IPAN/SOTLAN**
オイディラン博士が Skype で会議に参加し、IPAN/SOTLAN の活動報告を行った。
- **VRS**
ショルティス博士は VRS 活動報告を発表した。

14. 今後の会議予定

- **2020年第1回 2020年4月16日(木)・17日(金)オランダ・ロッテルダム。総会—VRS設立110周年—LabMeeting 2020—オランダ基準を設定** **資料M**
総会および役員会は4月16日(木)開催、4/17(金)には講演会とガラディナーを予定している。更には、ラボツアーも予定している。
- **2020年第2回 2020年10月22日(木)・23日(金)カナダ・モントリオール**
会議やラボツアー開催の可能性についてギブ・マケンティ氏と協議予定。

15. その他（会長承認）。

AOIL より、昼食後に、ゲスト Mr. Devi Saran Tewari (デヴィ・サラン・テワリ氏) , Dr. Neeraj Jain (ニライ・ジャイナ博士) 、および Mr. Jaspaul Kalra (ジャスポール・カラ氏) より自己紹介の時間が欲しいとの申し出があった。

16. 閉会

アクションアイテム:

- 規約の承認
 - 新文書の提案部分のセグメントを英語で配布
 - 内容を議論する

- UIILの未払い請求書を把握する
 - ILPの活動計画を作成する
 - 外部団体参加活動：
 - APACにおけるAOIL
 - ARACステークホルダー会員に入会するため、アラブ地域団体の入会に係る調査
 - VUPの入会勧誘
 - カナダLabMeetingの可能性について話し合う
-

■写真



【写真1】 UIIL 役員会



【写真2】 LABMEETING 2019



【写真3】 LABMEETING 2019



【写真4】ラボツアー（Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG 社）



【写真5】ラボツアー（Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG 社）



【写真6】ラボツアー（Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG 社）



資料



**Minutes of the Governing Board Meeting 2019/02
 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
 Thursday October 24th 2019 at the Mosel room in the Intercontinental Hotel,
 Frankfurt at 9:00
 Friday October 25th 2019 at Dresden room in the Intercontinental Hotel,
 Frankfurt at 9:00**

Association	Board Member	Country	Attending
VRS	Drs. Luc H. A. Scholtis <i>President</i>	The Netherlands	Yes
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso <i>Past-President</i>	Spain	No
RELACRE	Dr. Álvaro Silva Ribeiro <i>First Vice President</i>	Portugal	Yes
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés <i>Second Vice President</i>	Spain	No
JEMCA	Dr. Toru Matsumura <i>Treasurer</i>	Japan	Yes
	Ms. Noriko Takahashi	Japan	Yes
	Mr. Shigeru Tabata	Japan	Yes
IPAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko <i>Secretary-General</i>	Nigeria	No
CALIBA	Dr. Horacio Denari	Argentina	No
	Dr. Mario Ismach	Argentina	No
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	No
	Ms. M. Tumkur	Canada	No
EUROLAB	Mr. J.L. Sanchez	Europe	Yes
IPAN / SoTLAN	Dr. Femi Oyediran	Nigeria	On Skype (25-10)
VRS	Mr. Frank Vrolijk	Netherlands	No
RELACRE	Dr. José Roseiro	Portugal	No
ASOCOLAB	Mr. Gabriel Fonseca	Colombia	Yes
AIOL	Mr. Lalit Paneri	India	Yes
	Dr. R.B. Singh	India	Yes
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Ir. Jan Soers	Belgium	No
Unaffiliated members Southern Hemisphere	Dr. Alfredo Montes Niño	Brasil	No
Secretariat	Ms. Rikst Westra	The Netherlands	Yes

Minutes

Governing Board Meeting 2019/02 **Thursday October 24th 2019, 09:00 - 12:30** **Friday October 25th 2019, 09:00 - 12:30**

1. Welcome

The president opens the meeting and welcomes all attendees.

- The president received a letter from Mr. Fonseca dated October 15, 2019 with the subject “Agenda Governing Board Meeting, Frankfurt 2019” and a letter dated October 17, 2019 with the subject “Special Assembly”. The President asks the Governing Board for advice. The letter stated that the Governing Board is not acting according to the constitution and requests to convene a special General Assembly.
- The President asks to first solve and discuss the letters from Mr. Fonseca.
- In the 27th General Assembly convened in Bogota, Colombia the members agreed to hold the 28th General Assembly in 2020 in Rotterdam, The Netherlands, in conjunction with the 110th anniversary of the Dutch association. As a general assembly has been scheduled currently there is no need or obligation to convene a special General Assembly. The request does not meet the criteria to convene such an assembly. In various previous meetings and member communications the venue and the time and date for the 28th General Assembly have been clearly communicated.
- Mr. Fonseca apologizes as he did not intend to create a problem.
- The board concludes there is no reason to convene a special General Assembly. The next General Assembly will be organized in 2020 in The Netherlands.

2. Roll call of attendants

- Apologies of absence have been received from Dr. Manahen Fernandez, Mr. Gib McIntee, Mrs. Mary-Ann Adeeko.
- Mr. Jordi Oliver-Rodes informed the President that he could not reach the airport in time due to strikes in Spain and won't be able to attend the meeting
- Unfortunately, no apologies for absence have been received from Dr. Denari, Dr. Ismach and/or Mrs Sancho (CALIBA) and Ir. Jan Soers (Unaffiliated members N-H).
- Mr. Alfredo Montes Nino (Microbóticos) informed the president that he would attend the meeting. The President informs if there is any news from Mr. Montes Niño, Ms. Anna Maria Fonseca explains that due to problems with his lab Mr. Alfredo Montes Niño excused himself and asked her to represent him. According to the Buenos Aires constitution no proxy votes can be accepted.

- Mr. Álvaro Silva Ribeiro apologizes for absence for the second part of the Governing Board Meeting the next day due to ILAC-meetings.

3. Approval of the agenda

- Ms. Fonseca requests to discuss the constitution. The constitution is already on the agenda under point 6.
- The Governing Board members attending approve the agenda.

4. Review and approval of minutes of Governing Board Skype Meeting 19/01 held July 17th 2019.

No remarks were made on the minutes, they were approved with no changes.

A motion to approve the minutes was carried.

➤ **Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda**

- Secretariat. After the Singapore meeting there has been limited communication due to the fact that Mr Lars van Gool and Mr. Scholtis as promised first concentrated on the financial administration. The president apologizes for the limited communication and will focus on the 28th General Assembly. He hopes that Mrs. Rikst Westra can improve communication.
- IPAN/SoTLAN, CALIBA, Asocolab and Microbóticos did not pay their outstanding invoices. Final reminders on invoices were sent with the deadline being March 31, 2019. of the year they have been incurred. Membership shall cease by 31th of December 2019 unless otherwise decided by the Governing Board.
- Mrs. Adeeko felt that it was not appropriate for an ILP project manager to be named considering the finances involved. Mr. Ribeiro reminds the board that it was already agreed upon, but that we wanted a definition of the function. The President reminds the board that a definition was already in place since the Singapore meeting. The question to Ms. Adeeko was to create a plan of action.

5. Strategic Plan 2020-2022

The Strategic Plan is presented



2019-10-24
Presentation UILI Str

- The President emphasizes that the bigger companies will keep having competitive advantages. There should be a difference in strategy between large multinational companies and the smaller private laboratories. If labs don't work together to create a different approach they will lose.
- In January 2019 the President was informed on the formation of TIC Council. He did meet Ms. Hanane Tiadi, Director General. The future of UILI and independent testing might be at

stake as the large multinational inspection and certification companies join forces. The President decided to welcome the initiative and see how the organization would develop.

- In responds to the presentation of the President Mr. Ribeiro explains that it is not clear what interests UILI is defending with the named objectives.
- The President explains that Multinational CAB have not always been independent and they do not represent the whole sector, UILI should be the platform for all of them, small, medium sized and big. In addition, the current accreditation system does not allow a level playing field. In the President's view UILI wants to facilitate this platform for all CABs. There should be a focus on individual market platforms. UILI should not promote the trust but the capacity building skills and innovation of the members.
- Mr. Ribeiro has doubts about the ability of UILI to facilitate a system of mutual recognition. UILI will not be able to influence the strategy of the big companies. UILI can have impact when they organize themselves in a network of regional associations. This will increase the impact of the worldwide organization as ILAC, but also the regional organization of accreditors.

Why should you join?

- To be part of the forum.
- The opportunity to visit laboratories in another country.
- Representation in LC, not only to have support (lobbying) of members but also of UILI.
- An opportunity to share information and opinions on ISO.
- UILI provides medium to small sized laboratories with information
- The influence on decisions (on standards and other activities like accreditation), UILI members need to be able to defend the interests of the laboratories in their region. UILI should be organized around regional organizations.

Where should UILI focus?

- According to Mr. Ribeiro UILI should be aware of the simple things laboratories need while stating the objectives: support for (small) issues. EUROLAB would want to cooperate with UILI to offer this type of support, but a strong secretariat is needed.
- UILI's focus should be on:
 1. Advocacy
 2. Information exchange
 3. Security 4.
 - ISO17025
 5. ILP
 6. Getting more members;

- at JEMCA there is a model that if a company wants to join the JEMCA ILP, they also have to join the JEMCA accreditation. This could be an example for UILI.

6. Constitution



2019-10-24
Presentation UILI Co

Registration of UILI in NL, History of French registration. Liability. Articles of Association, ILAC hurdles: strategy & course of events.

Since the move of the secretariat to Barcelona in the 60s UILI has not had a legal registration. The President tried to recover the legal status of UILI with the French authorities, he even involved lawyers. Unfortunately, the President was not able to recover the registration.

Due to the Dutch law a registration was needed for UILI to be able to have a Dutch bank account. Permission of the board to register UILI in The Netherlands was asked and given.

UILI has a registration of an Association with limited legal entity, the President is personally liable and taxable. With this registration also come the articles of association.

Therefore it is needed that UILI gets a completely new constitution in accordance with the Dutch Civil Code. There are two ways to go forward:

1. Just the necessary corrections to the Buenos Aires Articles of Association.
2. Introduce A new constitution aligning with a new strategy.

The President takes the attendees through the Dutch draft Articles of Association in order to have a discussion. As the articles are in Dutch a translation will be made available when more fundamental / strategic questions have been answered.

Fundamental issues:

1. Categories of members
2. Objectives
3. Open up the organization

The following course of events is agreed upon:

1. Reach an agreement on the 3 issues.
2. Circulate segmented proposal of new text, in English.
3. Discuss details of the text.

- Asocolab is concerned with:
 - The loss of the French registration

- The name of the President being in Articles of Association. The President explains that the President and the Treasurer have been appointed to make the Dutch Registration. They are both included in the new registration in the Netherlands and will therefore be the legal first officers of the (new) association.
- Mr. Ribeiro explains that it is common and even legally required in European countries due to liability and taxes for the Dutch Government.
- The President notes that the postponement of the General Assembly was already announced and agreed upon in the last General Assembly.

Governing Board Meeting 2019/02

Friday October 25th 2019, 09:00 - 12:30

Due to an exchange of emails on the payment of outstanding fees the representatives from Asocolab before the meeting reconvened were requested to give commitment on payment of outstanding fees before continuing to participate in the events. As the issue could not be settled the matter of cease of membership was handed to Treasurer.

The President welcomes the new guests from India and introduces the attending board members. He continues with a summary of the Governing board and the LabTour of the previous day.

7. Treasurer's report

The 2019 financial report is presented



2019-10-24
Presentation UILI Fin



2019-10-22+Financi
al+report+UILI_Com

➤ **Outstanding Debts – Membership**

There is a provision for bad debt of € 4.620,00 due to members not paying their bills for over a couple of years.

➤ The President is concerned about UILI's financial situation.

➤ **Profit/Loss and Balance statements as of Sept 30th, 2019**

As of the 30th of September 2019 the financials are still positive. As the costs of this meeting is not included yet, the President expects a negative impact due to high costs of the meeting venue. Also, the unpaid bills have to be deducted.

➤ **Budget 2020-2022**

UILI's income seems sufficient, but the budget shown includes all membership payments. Due to the complications in the payment of fees the strategy has to be altered. In this context the President asks the following questions:

- i. where do we put the focus?
- ii. Where do we want to be represented?

8. Interlaboratory Practice

➤ **Program Manager**

It is decided not appropriate to name a program manager.

➤ **22th UILI ILP**

The participants were invited for Analysis of Trace Compounds in Powder, but it was actually marine sediments. At first there were no registrations for participation, eventually all participants were all JEMCA members.

➤ **ILP Program 2020-2022**

The President suggests an ILP membership, where members receive 4 samples per year. In order to accomplish this the President asks for commitment of board members. AOIL suggests a facilitating role in India, but they need a year to commit. A liaison with RELACRE might also be possible.

9. ILAC

➤ **ILAC Stakeholder Forum**

10. Regional accreditation associations:

Regional accreditation organizations send too many documents, just copies of copies. The Presidents asks what the added value is. ILAC needs these organizations to promote accreditation in developing economies.

Everyone in the board should be able to represent UILI during the external meetings, the board can decide about this.

➤ **EA** - UILI representation in EA

➤ **IAAC** - Depending on CALIBA's membership

➤ **APAC** - AOIL is interested in representing UILI

➤ **AFRAC** - SoTLAN can represent UILI

➤ **ARAC** UILI was asked to become a stakeholder member, but then UILI will need a membership organization in the region. José Luis Sanchez will contact the authorities.

11. ISO

No updates

➤ **ISO/CASCO** - Report from the ISO CASCO representative

➤ **ISO/REMCO** - Report from the ISO REMCO representative

12. New Membership Contacts

➤ **CSIT Chinese Society for Inspecting and Testing, China**

Were interested in a membership, but the conversation went quiet. They are still interested, but might have some unrealistic expectations: ISO standard for building laboratories.

➤ **RELABSA, Guatemala**

<http://relabsa.org.gt/>

➤ **ASOSEC, Colombia**

<https://asocec.org/>

➤ **ABRAC, Brazil**

<https://www.abrac-ac.org.br>

➤ **VUP, Germany** – Due to the fact UILI would meet in Germany, the President wanted to make contact with VUP.

VUP is the successor of the GDC - Fachgruppe Freiberufliche Chemiker, who have been UILI member. During the LabTour UILI is welcomed by UEG Labor, Dr. Klaus Prade and Mr. Anton Blöth and Mr. Sven Deeg (President VUP) from the VUP.

The President invited Mr. Prade, the founder of VUP, to join UILI.

www.vup.de

13. Updates from member associations and the unaffiliated ordinary members' representatives:

➤ **AELI**

Due to the absence of Mr. Oliver-Rodés the President and Mr. Sanchez present the AELI Country Report – report of activities 2018.



201-10-24 Country
Report AELI.pdf

➤ **AOIL**

Mr. R.B. Singh, Secretary General of AOIL presents the AOIL Country Report November 2018 – October 2019



201-10-24 Country
Report AOIL.pdf

➤ **ASOCOLAB**

ASOCOLAB Management Report October 2018 – October 2019.



2019-10-24 Country
Report ASOCOLAB.p

➤ **CALIBA**

UILI did not receive a Country Report from CALIBA.

➤ **CCIL**

UILI did not receive a Country Report from CCIL.

➤ **EUROLAB**

Due to the absence of Mr. Ribeiro Eurolab's Country Report - Report as Member of UILI 2019 UILI Annual Meetings is not presented.



2019-10-24 Country
Report EUROLAB.pd

➤ **JEMCA**

Dr. Matsumura presents the Country Report from Japan by JEMCA.



201-10-24 Country
Report JEMCA.pdf

➤ **RELACRE**

UILI did not receive a Country Report from RELACRE.

➤ **IPAN/SOTLAN**

Dr. Oyediran joins the meeting on skype and gives the Country Report from IPAN/SOTLAN.

➤ **VRS**

Drs. Scholtis presents the VRS Country Report.

14. Dates and venues of upcoming meetings

- **2020/01 – Thursday April 16 / Friday April 17, 2020, Rotterdam, The Netherlands – 28th**
General Assembly - 110 years VRS - LabMeeting 2020 – The Dutch Standard
The General Assembly and Governing Board will be on Thursday April 16, On Friday April 17 there will be a congress and a gala dinner. In addition, there is a plan for a LabTour.
- **2020/02 – Thursday October 22/ Friday October 23, 2020, Montreal, Canada**
Possibilities for meetings and a LabTour will be discussed with Mr. Gib McIntee.

15. Any other business properly approved by the president.

AOIL requests time for their guests, Mr. Devi Saran Tewari, Dr. Neeraj Jain and Mr. Jaspaul Kalra to introduce themselves after lunch.

16. Adjournment

ACTION ITEMS:

- Getting constitution approved
 - Circulate segmented proposal of new text, in English.
 - Discuss details of the text.
- Collect unpaid bills
- Plan of action ILP
- External representation:
 - AOIL in APAC
 - Search for membership organization in the region (Arab) for stakeholder member in ARAC.
 - Pursue membership VUP
- Discuss possibilities LabMeeting Canada

LabMeeting 2019
Independent Testing in Inspection and certification
Friday October 25th 2019, 09:00 - 12:30



2019-11-1 Report
LabMeeting.pdf

**Governing Board Meeting 2019/02
of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants**

**Thursday October 24th 2019 SGS Institut Fresenius, Taunusstein at 14:00
and
Friday October 25th 2019 at InterContinental Hotel, Frankfurt at 9:00**

Association	Board Member	Country	Confirmed
VRS	Drs. Luc H. A. Scholtis <i>President</i>	Netherlands	Yes
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso <i>Past-President</i>	Spain	No
RELACRE	Dr. Álvaro Silva Ribeiro <i>First Vice President</i>	Portugal	Yes
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés <i>Second Vice President</i>	Spain	Yes
JEMCA	Dr. Toru Matsumura <i>Treasurer</i>	Japan	Yes
	Ms. Noriko Takahashi	Japan	Yes
IPAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko <i>Secretary-General</i>	Nigeria	?
CALIBA	Dr. Horacio Denari	Argentina	?
	Dr. Mario Ismach	Argentina	?
	Mrs. Marta Sancho	Argentina	?
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	?
	Ms. M. Tumkur	Canada	?
EUROLAB	Mr. J.L. Sanchez	Europe	Yes
IPAN / SoTLAN	Dr. Femi Oyediran	Nigeria	Yes
	Mr. Aliyu Abdullahi Angara	Nigeria	Yes
	Mr. Kazeem Ademola Jimoh	Nigeria	Yes
	Mr. Sunday Adelani Oluwanisola	Nigeria	Yes
VRS	Mr. Frank Vrolijk	Netherlands	Yes
RELACRE	Dr. José Roseiro	Portugal	?
ASOCOLAB	Mr. Gabriel Fonseca	Colombia	Yes
AIOL	Mr. Lalit Paneri	India	Yes
	Dr. R.B. Singh	India	Yes
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Ir. Jan Soers	Belgium	?
Unaffiliated members Southern Hemisphere	Dr. Alfredo Montes Niño	Brasil	Yes
Secretariat	Mr. Lars van Gool	Netherlands	Yes

AGENDA

Governing Board Meeting 2019/02

Thursday October 24th 2019, 14:00 - 16:30

Friday October 25th 2019, 09:00 - 12:30

1. Welcome
2. Roll call of attendants
3. Approval of the agenda
4. Review and approval of minutes of Governing Board Skype Meeting 19/01 held July 16th 2019.
 - 4.1. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda
5. Strategic Plan 2020-2022
6. Constitution
7. Treasurer's report
 - 7.1. Outstanding Debts – Membership
 - 7.2. Profit/Loss and Balance statements as of Sept 30th, 2019
 - 7.3. Budget 2020-2022
8. Interlaboratory Practice
 - 8.1. Program Manager
 - 8.2. 21th UILI ILP
 - 8.3. ILP Program 2020-2022
9. ILAC
 - 9.1. ILAC Stakeholder Committee
10. Regional accreditation associations:
 - 10.1. EA
 - 10.2. IAAC
 - 10.3. APAC
 - 10.4. AFRAC
 - 10.5. ARAC
11. ISO
 - 11.1. ISO/CASCO

- 11.2. ISO/REMCO
- 12. Membership recruitment
 - 12.1. CSIT Chinese Society for Inspecting and Testing, China
 - 12.2. RELABSA, Guatemala
 - 12.3. ASOSEC, Colombia
 - 12.4. ABRAC, Brazil
 - 12.5. VUP, Germany
- 13. Updates from member associations and the unaffiliated ordinary members' representatives:
 - 13.1. AELI
 - 13.2. AOIL
 - 13.3. ASOCOLAB
 - 13.4. CALIBA
 - 13.5. CCIL
 - 13.6. EUROLAB
 - 13.7. JEMCA
 - 13.8. RELACRE
 - 13.9. IPAN/SOTLAN
 - 13.10. VRS
- 14. Dates and venues of upcoming meetings
 - 14.1. 2020/01 – Thursday April 16 / Friday April 17, 2020, Rotterdam, The Netherlands- General Assembly - 110 years VRS - LabMeeting 2020 – Setting the Dutch Norm -
 - 14.2. 2020/02 – Thursday October 22/ Friday October 23, 2020, Montreal, Canada.
 - 14.3. 2021/01 - Skype
- 15. Any other business properly approved by the president.
- 16. Adjournment

MINUTES
Governing Board Meeting 2019/01
of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
Wednesday July 16th, 2019
Skype Teleconference commencing at 13.00 CET

Affiliation	Board Member	Country / Time Zone	Attending
VRS	Drs. Luc H.A. Scholtis <i>President</i>	Netherlands	Yes
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso <i>Past-President</i>	Spain	No
RELACRE	Dr. Álvaro Silva Ribeiro <i>First Vice President</i>	Portugal	Yes
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés <i>Second Vice President</i>	Spain	Yes
JEMCA	Dr. Toru Matsumura <i>Treasurer</i>	Japan	Yes
	Dr. Masahiro Tanaka	Japan	No
IPAN/SOTLAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko <i>Secretary-General</i>	Nigeria	Yes
CALIBA	Dr. Horacio Denari	Argentina	No
	Dr. Mario Ismach	Argentina	Yes
	Mrs. Marta Sancho	Argentina	Yes
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	Yes
IPAN/ SOTLAN	Dr. Femi Oyediran	Nigeria	No
RELACRE	Dr. José Roseiro	Portugal	No
ASOCOLAB	Mr. Gabriel Fonseca	Colombia	Yes
AOIL	Dr. A.K. Kalyan	India	No
AOIL	Mr. R.B. Singh	India	Yes
AOIL	Mr. D.N. Tewari	India	Yes
EUROLAB	Mr. José Luis Sanchez	Europe	Yes
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Ir. Jan Soers	Belgium	No
Unaffiliated members Southern Hemisphere	D. Alfredo Montes Niño	Brazil	No
Secretariat	Mr. Lars van Gool <i>Secretary</i>	Netherlands	Yes

AGENDA

1. Welcome and Roll call of attendants and apologies for absence

Drs. Luc Scholtis welcomes all participants of the meeting. Unfortunately, not all members could be present. Dr. Manahén Fernandez Alonso, Dr. Toru Matsumura and D. Alfredo Montes Niño excused themselves. Mrs. Mary-Anne Adeeko joined later. Dr. Femi Oyediran and Ir. Jan Soers did not respond to the invitation to attend the meeting

2. Approval of the agenda

The members attending approved the agenda. A motion to approve the minutes was carried.

3. Review and approval of minutes of Governing Board Meeting 18/02 held in Singapore on October 24th, 2018 and October 25th 2018

The members attending approved the minutes unanimously.

3.1. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda

The President commented one by one on the action items derived from the last meeting.

Follow-up action points:

- A Dutch notary Mr. J.K.A. Meijer has been appointed. He will prepare the articles of association. As it was agreed, UILI will be set up in accordance with Dutch Law. A proposal will be sent to the board before the Frankfurt meeting. So, the proposal can be discussed during the Frankfurt meeting.
- A proposal was discussed for a new fee structure. Dr. Matsumura would prepare that proposal; the proposal was not received. Dr. Matsumura is of the opinion that a change in fee structure is not a wise move. As he is the treasurer at the moment, he would like to not change anything there.
- The status concerning the Guatemala Association membership is unclear. It is not known who is responsible for the contact.
- During the Singapore meeting the President took responsibility to prepare the full annual financial reports (Profit/Loss accounts and Balance sheets) over the last years in preparation for the next General Assembly.
- Quickbooks online is in use for accounting purposes since 2014, but there was no connection to the bank accounts in the bookkeeping. End of the year closures had not been made and there was no correlation between the presented Excel sheets and the accounting system. The President hired a financial consultant to get everything in order. The bookkeeping over the years from 2014 until June 30th have been reviewed. That was the reason it took so long; and it took quite some time to complete.
During this process the problem of outstanding debts had to be cleared. ILP bills, membership fees and even meeting bills were not paid. All debtors have been reminded about their outstanding amounts several times. These issues with unpaid bills did have a negative impact on the progress of UILI's other activities.
- The strategy and the future of UILI should be discussed in light of other international developments.

As of October, 1th 2018 Mrs. Melissa Fernandez's contract of services has been ended upon her own request. In January she informed the President that she was prepared to continue her work with a 20% increase in hourly rate (€ 20,00 -> € 25,00). On yearly basis this would have been an extra cost of € 3.250. The President felt this was too big of an increase given the financial situation caused by the follow up of outstanding debts.

It was therefore decided to not hire Mrs. Melissa Fernandez back as the budget was not available. The President repeats his apologies, he is aware of the unpleasant situation surrounding Mrs. Melissa Fernandez. There also was another reason to let her go: It has been agreed before that the secretary should always be close to the President, otherwise it is complicated to work together.

- In January the President did meet with Ms. Hanane Taidi from IFIA. Ms. Taidi informed the President of a collaboration with Mr. Drewin Nieuwenhuis Secretary General at CEOC. The TIC council (as the name will be for the merged organization) has been formed and Ms. Taidi has been appointed Director General. This development makes it necessary to rethink the strategy on the future of UILI. The President proposed Ms. Taidi to work together and exchange memberships. As no response was received the President decided to wait and see where this development would go.
- Preparations for the Frankfurt meeting are ongoing.
- Two letters have been received on the strategy of UILI.
 - A E-mail has been received from Dr. Manahén Fernandez Alonso, dated July 12, 2019
 - A letter has been received from Mr. Gabriel Fonseca, President of Asocolab, dated July 15, 2019.

The President informs the members that in the meeting all questions raised by both Dr. Fernandez and Mr. Fonseca will be dealt with in this meeting.

Given the situation with TIC Council and the situation surrounding the secretariat the President raises the question what UILI should do. Is it in the interest of the world wide laboratory community to have two of the same organizations? Should we just merge with TIC council? This discussion should be held in the board. It is important that a future executive committee is involved in this discussion.

- On behalf of VRS all UILI members are invited to the 110th anniversary of the VRS in April 2020 in the Netherlands. The President suggests to set that moment for the 28th General Assembly, the board agrees.

4. Treasurer's report

As you know, for incorporation of an association according to Dutch law it should be understood that in the past UILI had its bank accounts with Danske Bank. Since Danske Bank was sued for money laundering, we were forced to close the bank accounts 3 years ago. That is when the accounts were moved to ABN AMRO Bank. It was a complicated operation. Due to the bank account UILI had to be registered in The Netherlands as an association. However according to Dutch law there are two types of associations. The way UILI is registered now is enough to operate business, but it makes the President personally liable. The effect of that being that the invoices that the secretariat sent to UILI had to include VAT.

In order to proceed on the articles of association with the notary official bank statements were needed, hence the full financial reports. According to UILI's articles of association the board has to report to the General Assembly. According to our rules all activities concerning the moving of accounts was perfectly in line with our constitution. The President assured the board that as of now there is a 100% match with the bank accounts of both Danske Bank and ABN AMRO Bank. And that all items were discussed with the treasurer Dr. Matsumura. Dr. Matsumura has direct access to both Quickbooks, the financial

documents on the website and the bank accounts.

- Going over the books the financial consultant and the President looked into all affiliate members and ILP participants who did not pay their fees over the years. UIIL is faced with an outstanding debt of € 17.798,54, this amount only includes the members of the board.
 - CALIBA: UIIL is € 7.000,00 at risk.
Open invoices from the Buenos Aires meeting. There was no direct contact, only through Mr. Montes Niño. He told us that the financial situation is difficult.
 - IPAN/SoTLAN: UIIL is € 5.262,00 at risk.
Open invoices from 2017. In Singapore Mr. Oyediran promised that all IPAN-bills would be paid. There have been conversations with him in February and March. In May he promised that it would be arranged, but there is no payment yet.
 - Microbóticos and Mr. Montes Niño has been confronted with open dinner invoices. In a mail of today (17 July 2019) he promised that they would pay next week.
 - RELACRE did not respond to any messages regarding the outstanding invoice.
Mr. Ribeiro tells us that the invoice was not paid due to a change in secretariat and in the invoicing system. A payment will be made when a new invoice is received.
 - AOIL, Mr. Singh confirmed that this payment would be paid in a few days.
 - ASOCOLAB has an unpaid invoice of € 210,00, the membership fee minus € 50,00 that was paid in cash in Singapore by Mr. Fonseca. Mr. Fonseca confirms that he will pay during the Frankfurt meeting.

Mr. Fonseca asks for the account information form 2014-2019, they didn't receive the information. They have to double check as all the documents have been sent to all members before the meeting.

4.2. Annual Reports 2014, 2015, 2016, 2017 and 2018

Due to the lack of a proper balance sheet the President had to manage the organization on cash basis

➤ **2014 – Izmir**

- Membership fee: € 16.221,00
- ILP subscribers: € 1.940,00
- Costs secretariat including internet: € 21.288,89
- Net earnings: - € 5.447,73
- Accounts receivable: € 1.856,00
- Balance Bank account: € 62.264,74

➤ **2015 – Buenos Aires**

A lot of cash payment and private credit card use, there is no retraceable overview.

- Membership fee: € 19.864,75

- ILP subscribers: € 2.354,00
 - Costs secretariat including internet: € 21.995,50
 - Net earnings: - € 1.758,13
 - Accounts receivable: € 4.617,00
 - Balance Bank account: € 63.130,36
- **2016 – New Delhi**
- Membership fee: € 20.737,50
 - ILP subscribers: € 9.520,00
 - Costs secretariat including internet: € 21.922,22
 - Net earnings: € 4.036,85
 - Accounts receivable: € 9.668,04
 - Balance Bank account: € 58.162,44
- **2017 - Bogota**
- Membership fee: € 21.480,50
 - ILP subscribers: € 4.281,00
 - Costs secretariat including internet: € 21.978,08
 - Net earnings: - € 3.537,42
 - Accounts receivable: € 7.403,04
 - Balance Bank account: € 53.837,52
- **2018 - Singapore**
- Membership fee: € 26.040,00
 - ILP subscribers: € 3.150,00
 - Industrial development: € 2.000,00
 - Costs secretariat including internet: € 22.013,25
 - Net earnings: - € 193,63
 - Accounts receivable: € 11.611,54
 - Balance Bank account: € 51.667,88

4.3. Financial Report 2019 as of 30th June 2019

- Membership fee: € 26.703,00
- ILP subscribers: € 0,00
- Costs secretariat including internet: € 10.441,18
- Other expenses: € 1.769,46

- Net earnings: € 13.772,36
 - Accounts receivable: € 17.798,54
 - Balance Bank account: € 55.645,57
- Questions raised:
- The President: What do we with the outstanding invoices that not have been paid?
 - Mr. Oliver-Rodés: What does the constitution say regarding debt by members? According to the constitution dues need to be paid by the 31th of March, unless otherwise decided by the governing board. The governing board needs to take responsibility on continuity of the member that have failed to pay. The treasurer needs instructions on how to act.
A formal letter should be send to all members with open invoices. The letter will ask them to pay their debts by the 1th of August 2019. In case no payments are made a final resolution will be discussed in Frankfurt. The possible effect be that their membership will be ceased by the 31th of December 2019.

4.4. Budget 2020-2022

- Costs at UILI are minimal and straight forward, the same goes for the income. Costs and income around the same, events pay themselves. ILP is paid by the providers because they do not pay enough. However growing memberships, failed membership payments and disappointing ILP incomes didn't grow UILI.
- Does a part of the budget need to be reserved for growing the organization?
The strategic plan needs to be discussed before a formal budget is made.

5. Activities for next annual Governing Board Meeting in Frankfurt

5.1. LabMeeting 2019

- The topic of the Frankfurt meeting: Independent testing in inspection and certification. It is the hard of the issue at the moment. What does independent mean? And what standpoint should UILI take?
- D. Montes Niño, Mr Gabriel Fonseca, Mr. Jordi Oliver-Rodés, Mr. Sanchez, Mr. Tewari, Mr. Singh, Mr. Lalit Paneri, Dr. Neeraj Jain, Mr. Jaspaul Kalyran and Ms. Mary-Ann Adeeko and Mr. McIntee will try to join.
- Mr. Sing, Mr. Paneri and Mr. Ribeiro volunteer to speak at the LabMeeting. Also Ms. Adeeko will speak if she is able to come.
- Mr. Gabriel Fonseca asks when the election of the new executive director of UILI will be discussed.
- The election of board members will not be done in the Frankfurt meeting. All members in the General Assembly elect the board members. The new executive committee will be elected by the 28th General Assembly in the Netherlands in April 2020.

6. ILP Committee, ILP Program 2019-2021

6.1. 22th ILP by JEMCA PCB and Mercury in powder

- The program will be prepared by JEMCA.
- It is important to have enough participants; otherwise it is not worthwhile to continue the ILP-programs.
- Please send a list with email addresses of laboratories that can officially be invited. Through the website they will receive an invite and then they will be able to participate through the website.
- The amount of participant should be known as soon as possible to make sure the right number of samples can be prepared.
- Mr. Oliver-Rodés comments that the Spanish organization would like to know the subject of the ILP-program a year in advance, otherwise they can't budget and plan them.
- A privacy problem concerning email addresses is raised. Due to data protection email addresses cannot be shared. That is why the organizations should spread the information on the ILP program among their members themselves. However, as long as the organizations have a clear privacy statement sharing email addresses is allowed.

6.2. ILP Program Manager

- The President proposes to appoint Ms. Adeeko as ILP Program Manager, since she has the expertise, she is qualified for the position. In an earlier discussion she explained she is prepared to do this for a budget of € 5.000,00 a year. With the financial situation in mind this might seem unwise, but UILI needs more income and activity.
- A vote to appoint the ILP program manager was taken, all other board members attending agreed.
 - RELACRE and AELI agree in principle, but they would like to see what the purpose of the project is. They would like also to see a planning.

7. Strategic Plan 2020-2022

UILI in relation to <http://www.tic-council.org/> and our member associations.

- TIC council originated out of the merge of IFIA and CEOC. The council consists of the largest TIC companies in the world. The financial power the TIC Council brings to the table is tremendous (€ 80.000 per member). Ms. Hanane Taidi is Director General, she is very active. The aim of the council is to become the #1 voice of the TIC industry in the world. They already claim to be the biggest. The President proposed to work together with the TIC Council.
- Due to common interests it is important that UILI, as the oldest organization, takes a clever position. However, there are many different interests that make it difficult to discuss everything openly. In the long run it is best if there is one organization that represents the testing industry.
- Eurolab is an associate member of TIC Council. Eurolab doesn't want to be on the board of the council, because they prefer to stay independent at European level regarding independent testing. Eurolab is the voice of laboratories in Europe and they want to keep it that way. The only difference is that Eurolab can now impact the strategy of the TIC Council regarding TIC-testing.

- Mr. Ribeiro is of the opinion that there is a common interest with the TIC Council, but they have a very strong position. It is time to organize a strategy for UILI. Do we want to stay on the same path or do we want to change to a global entity TIC-testing? Who do we want to represent? What type of business do we want to implement? Are we going for associations or laboratories? And what type representation are we going to offer? We had a strong position for 50 years, but the future will not be easy. We don't have a very strong, comprehensive and transparent strategy.
- Mr. Fonseca agrees, there is enough information on TIC Council. But information is very important because we need to know about the next steps.
- The President put the story in another context: at the moment UILI is a one-man-band with limited resources. You ask for a comprehensive strategy, but when it comes down to implementation nobody is there. He agrees with Mr. Ribeiro: we need a strong path with a body of support.
- Mr. Sanchez mentions two things.
 - The TIC Council is thinking from the perspective of the big companies, they do not include the mid or small companies.
 - The principal task of UILI should be to organize a collaboration between regions all over the world.
- The President agrees, but that would need more budget. This means that the membership fees would have to be tripled.
- Mrs. Sancho explains that CALIBA is not able to pay the invoices due to being a small laboratory association.
- The President reacts with three points:
 - Regarding the ILP: there is an agreement for CALIBA.
 - The membership fee is € 2.000,00. With 29 members at CALIBA that means they pay around € 80,00 per member.
 - He understands, but it has to do with the way laboratories are registered in Argentina.
- The President would like a meeting about the strategy and the external representation with the members who can attend before the Frankfurt meeting.

8. External representation:

ILAC stakeholder committee,
Regional accreditation associations: EA, IAAC, APAC, AFRAC and ARAC
ISO/CASCO / ISO/REMCO – UNIDO

9. Membership recruitment

9.1. Chinese Society for Inspecting and Testing (CSIT)

- CSIT approached UILI concerning association membership. UILI prepared a package. They are still interested. They are working on incorporating their lab standard into the ISO standard and ask for UILI support.

10. Dates and venues of upcoming meetings

10.1. 2019/02 – Thursday October 25th/ Friday 26th 2018, Frankfurt, Germany

**10.2. 2020/01 – Thursday April 16 / Friday April 17, 2020, Rotterdam, The Netherlands
28th General Assembly - 110 years VRS - LabMeeting 2020 - The Dutch Norm –**

10.3. 2020/02 – Thursday October 22/ Friday October 23, 2020, Montreal, Canada

- Mr. McIntee will check his calendar for the Montreal meeting.

11. Any other business properly approved by the President and 13. Adjournment

- Ms. Adeeko thanks everyone for the opportunity to become ILP program manager.
- Concerning the open bills of CALIBA the President mentions that UIIL can only be the channel to bring organizations and exchange the information by working together. There is always the question of added value. The value of the network is in the meetings, events and communicating within circles all over the world. It is a matter of leadership within our member associations to organize this. The value of the membership fees are worth every penny and as the organization works on a shared costs system we all have to contribute. What does CALIBA propose?
- Mrs. Sancho does not understand why they have to pay a membership fee of € 80,00 per member per year, because they are a small organization. The President explains that there is a system behind membership fees. The idea is the fee for an independent laboratory is € 180,00 a year.

ACTION ITEMS

- The new Articles of Association will be discussed in the Frankfurt meeting
- Members who did not pay their bill will receive a final reminder before their membership will cease to exist.
- ILP program manager purposes a project plan.
- IPAN/SoTLAN: Mr. Oyediran promised the President that all IPAN bills will be paid.
- Microbóticos, Mr. Alfredo Montes Niño promised the President that all bills will be paid within a week.
- RELACRE, Mr. Ribeiro promised that all bills will be paid when a new invoice is sent.
- AOIL, Mr. Sing confirmed that their outstanding bill would be paid in a few days.
- CALIBA will contact the President to discuss their outstanding debts in a Skype meeting.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تارابت خمدلل يلودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تارابت خمدلل يلودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تارابت خمدلل يلودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

UILI STRATEGY

- Do we like to stay on the same path?
- What should be the main objectives?
- Who do we want to represent?
- Associations, laboratories or other?
- What type of business do we want to implement?
- Advocacy model
- Revenue model

القوسملا تارابت خمدلل يلودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

17-6-2020 . . 2 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 ئىتتىپاقىيىتىمىزدا تاراپت خىزمەتلىك يولۇدەلدا داخاتالدا
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

THE EVOLUTION

	Theme	Countries	Type of organizations
1958	Foundation		
1968	Europe		
1978	Accreditation		
1988	Internationalization		
1998	Public sector		
2008		Asia	
2018		Latin America & India	

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 ئىتتىپاقىيىتىمىزدا تاراپت خىزمەتلىك يولۇدەلدا داخاتالدا
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

WHAT SHOULD BE THE MAIN OBJECTIVES?

- Defending interest
- Forum for accreditations, certification, comparability of results.
- Advancing the status of the sector.
- Scientific networking
- Strengthen bond of friendship

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا اماربمرفا مرفا اماربمرفا
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

OBJECTIVES 2020

- Facilitating international platform for conformity assessment bodies.
- Giving proof of the international interexchangeability of laboratory results
- Focus on the regional build-up of the international network
- Running an international advocacy program to promote the quality of the sector.
- Interlaboratory
- Mutual recognition of conformity assessment bodies with multi lateral MRA's between regional and national associations of CAB's

القوسمرفا اماربمرفا مرفا اماربمرفا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

17-6-2020 5

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا اماربمرفا مرفا اماربمرفا
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

WHO DO WE WANT TO REPRESENT?

- Conformity assessment bodies* and their recognized associations of international, regional, sectoral or national.
- Multinational Conformity assessment bodies*, public or private.
- National Conformity assessment bodies*, public or private.

* Bodies include laboratory inspection agencies and scientific consultants.

القوسمرفا اماربمرفا مرفا اماربمرفا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

5

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لولودلا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

WHAT TYPE OF BUSINESS DO WE WANT TO IMPLEMENT?

- Advocacy?
- Security?
- Interlaboratory?
- Legal and financial?
- Quality assurance?
- In- and outsourcing?
- Client platform?
- Staff recruitment?
- Information exchange?

القوسملا تاربت خملا لولودلا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لولودلا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ASSOCIATIONS, LABORATORIES OR OTHER?

- National single economy laboratories
- Multinational group of laboratories
- Single economy association of CAB's

القوسملا تاربت خملا لولودلا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
دولتيونملا تارابت غملا لى لوهلا داخاتال
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1950

LABMEETING & LABTOUR

- ❑ One event per year in combination with a regional organization

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
دولتيونملا تارابت غملا لى لوهلا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合



UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ARTICLE 1: DEFINITIONS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ARTICLE 2 + 3: NAME

Artikel 2

De vereniging draagt de naam: Union Internationale des Laboratoires Indépendants.

De vereniging is ook geregistreerd onder haar engelse naam: International Union of Independent Laboratories

De vereniging is ook geregistreerd onder haar verkorte naam: UILL.

Zij is aangegaan voor onbepaalde tijd.

Artikel 3

Zij heeft haar zetel in de gemeente Breda, Nederland

UILL wordt beheerst door Nederlands recht

القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على أنفسهم
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 4: OBJECTIVE

1. De vereniging heeft ten doel:
 - A. het vertegenwoordigen van de professionele en commerciële belangen van de laboratoriumbranche op internationale basis.
 - B. een forum te bieden voor de internationale uitwisseling van standpunten over zaken van gemeenschappelijk belang waaronder bijvoorbeeld laboratorium management, vergelijkbaarheid van meetmethoden en laboratoriumresultaten, kwaliteitsborging, accreditatie, certificatie, nationale en internationale normalisatie en het doen wegnemen van internationale technische handelsbelemmeringen.
 - C. het bevorderen van de internationale status van laboratoria en haar wetenschappelijke staf en het benadrukken van hun belangrijke rol in de internationale handel.
 - D. een internationaal netwerk van wetenschappelijke contacten tot stand te brengen om daarmee te kunnen handelen in het belang van de professionele en commerciële belangen van de aangesloten leden
 - E. het ondernemen van iedere andere activiteit die relevant is voor de bevordering van doelstellingen die op enig moment door de Algemene Vergadering kunnen worden vastgesteld.
 - F. de onderlinge vriendschapsband tussen de leden te versterken.
2. Zij tracht dit doel te bereiken door het ontwikkelen en beheren van een internationaal uitwisselingsplatform om de daarmee de belangrijke bijdrage die de leden bieden aan het creëren van vertrouwen in producten en diensten te verbeteren op basis van de door hen aangeleverde informatie.

17-6-2020 . . 5 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على أنفسهم
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 5: MEMBERS AND DONATORS

1. De Algemene Vergadering kan verschillende categorieën lidmaatschap vaststellen met gespecificeerde criteria voor elke categorie, inclusief bepalingen inzake stemrecht en verschillende contributies voor elke categorie.
2. Het lidmaatschap bestaat uit de volgende categorieën en andere die de Algemene Vergadering op enig moment kan vaststellen:
 - A. Ereleden;
 - B. Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie;
 - C. Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie;
 - D. Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie;
 - E. Leden-Sectorale-Samenwerkingsinstantie;
 - F. Multinationale leden;
 - G. Nationale gewone leden;
 - H. Geassocieerde leden
 - I. Leden belanghebbenden.

17-6-2020 . . 6 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على أنفسهم
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 5: MEMBERS AND DONATORS

4. Als leden kunnen door de vereniging worden toegelaten
 - A. Natuurlijke personen
 - B. Internationale, regionale en sectorale samenwerkingsinstanties van verenigingen van laboratoria, inspectiebedrijven, en beroepsbeoefenaren
 - C. Verenigingen van laboratoria en de daarbij aangesloten leden;
 - D. Onafhankelijke Multinationale conformiteits beoordelings laboratoriumgroepen
 - E. Onafhankelijke Nationale publieke en private conformiteits beoordelings laboratoria
 - F. Onafhankelijke wetenschappelijke adviseurs;
 - G. Leveranciers van laboratoria.
 - H. Verenigingen van accreditatie organisaties
5. Elk Lid benoemt een Gemachtigde Vertegenwoordiger om het Lid binnen UIIL en op de Algemene Vergadering en andere gespecificeerde vergaderingen te vertegenwoordigen. De benoeming van een Gemachtigde Vertegenwoordiger geschiedt schriftelijk en wordt van kracht na ontvangst door het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UIIL. Aan de eis van schriftelijke benoeming van een Gemachtigde Vertegenwoordiger wordt voldaan als de benoeming van de Gemachtigde Vertegenwoordiger elektronisch is vastgelegd. Een Lid zal het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UIIL onmiddellijk schriftelijk of langs elektronische weg op de hoogte brengen van wijzigingen met betrekking tot zijn Gemachtigde Vertegenwoordiger.

國際獨立研究所連合

17-6-2020 . . 7 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على أنفسهم
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 5: MEMBERS AND DONATORS

6. Elke aanvrager van het lidmaatschap van UIIL moet aantonen dat hij aan de toepasselijke eisen voldoet.
7. Het bestuur van de vereniging houdt een elektronisch register waarin de namen en adressen van alle leden zijn opgenomen.
8. Als donateurs kunnen door de vereniging natuurlijke en rechtspersonen worden aangenomen, die zich bereid verklaren de vereniging te steunen met een bijdrage, waarvan de grenzen jaarlijks door de algemene vergadering kunnen worden vastgesteld.

القائمون على أنفسهم

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

17-6-2020 . . 8 .



ARTICLE 6: QUALIFICATION FOR MEMBERSHIP

1. Ereleden: erelieden zijn de personen die door het bestuur zijn toegelaten door middel van een met eenparigheid van stemmen aangenomen resolutie.
2. Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie
3. Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie
 - A. Alle wettige laboratoria en adviseurs die lid zijn van een voor UILI aanvaardbare lid-vereniging zijn Gewone leden van UILI.
 - B. Ze moeten voldoen aan de lidmaatschapsvereisten van hun lid-vereniging.
4. Er kunnen meer dan één ledenvereniging zijn uit elk land. Bovendien kan het bestuur als een gewoon lid een onafhankelijk laboratorium of onafhankelijke adviseur aanvaarden die ofwel in een land zonder lid of praktijken in een land waar een verenigingsvereniging bestaat, maar die actief is in een discipline die acceptatie uitsluit, aanvaardt in de betrokken Ledenvereniging, en die anderszins moet voldoen aan de vereisten van het gewoon lidmaatschap en technisch en professioneel aanvaardbaar zijn voor het bestuur
5. Gewone leden: de kwalificatie voor gewoon lidmaatschap is de minimale kwalificatie (3 a - b) die vereist is voor toelating als gewoon lid van deze vereniging.

القائمون على أنفسهم

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所聯合會



ARTICLE 6: QUALIFICATION FOR MEMBERSHIP

6. Gewone leden zijn rechtspersonen die:
 - A. opereren in de laboratorium industrie;
 - B. niet schuldig bevonden zijn aan een overtreding met persoonlijke eer;
 - C. werkzaam zijn in de onafhankelijke laboratorium praktijk voor een minimale periode van ten minste twee jaar;
 - D. afgestudeerden zijn of anderszins waardig worden geacht als volledige erkenning als wetenschapper vanwege hun activiteiten in de zelfstandige praktijk;
 - E. kunnen aantonen dat de laboratoria volgens moderne technische eisen zijn opgesteld voor een goede uitoefening van het beroep;
 - F. geen band hebben met iemand die zich bezighoudt met andere activiteiten, die naar de mening van hun lid vereniging de professionele onpartijdigheid, integriteit of onafhankelijkheid van het lid waarschijnlijk in gevaar zullen brengen.
1. Geassocieerde leden zijn die rechtspersonen die geen gewoon lidmaatschap kunnen aanvragen en werkzaam zijn in de laboratorium industrie als toeleverancier of service provider .
2. Een Lid stelt het Bestuur onmiddellijk schriftelijk of langs elektronische weg in kennis van wijzigingen die ertoe kunnen leiden dat hij niet langer voldoet aan de vereisten die van toepassing zijn op zijn lidmaatschapscategorie, zoals beschreven in dit artikel.

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا اماربمرفا قوسمرفا اماربمرفا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

ARTICLE 7: ADMISSION

1. Het bestuur beslist omtrent de toelating van de leden en donateurs.
2. Bij niet-toelating tot lid of tot donateur staat beroep open op de algemene vergadering.

القوسمرفا اماربمرفا قوسمرفا اماربمرفا اماربمرفا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

17-6-2020 · · 11 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا اماربمرفا قوسمرفا اماربمرفا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

ARTICLE 8: END OF MEMBERSHIP

1. Het lidmaatschap eindigt:
 - A. door de dood van het lid;
 - B. doordat het lid ophoudt te bestaan;
 - C. door opzegging door het lid;
 - D. door opzegging namens de vereniging door het bestuur;
 - E. door ontzetting namens de vereniging door het bestuur;
2. Opzegging van het lidmaatschap door een lid kan slechts geschieden door een schriftelijke kennisgeving tegen het einde van een verenigingsjaar en met inachtneming van een opzeggingstermijn van één maand.
3. Indien een opzegging niet tijdig en/of niet schriftelijk heeft plaats gehad, loopt het lidmaatschap door tot het einde van het eerstvolgende verenigingsjaar tenzij het bestuur anders besluit.
4. Een lid is niet bevoegd door opzegging van zijn lidmaatschap een besluit waarbij de verplichtingen van de leden van geldelijke aard zijn verzwaaard, te zijnen opzichte uit te sluiten.
5. Opzegging van het lidmaatschap namens de vereniging kan slechts geschieden met inachtneming van een opzeggingstermijn van één maand wanneer een lid zijn verplichtingen jegens de vereniging niet nakomt.
6. Echter kan het lidmaatschap onmiddellijk worden beëindigd indien van de vereniging of van het lid redelijkerwijs niet gevergd kan worden het lidmaatschap te laten voortduren.
7. Ontzetting kan alleen worden uitgesproken wanneer een lid in strijd met de statuten, reglementen of besluiten der vereniging handelt of de vereniging op onredelijke wijze benadeelt.

國際獨立研究所連合

17-6-2020 · · 12 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون المستقلة لدراسات المختبرات
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 10: GOVERNANCE

1. Het Bestuur is als volgt samengesteld:
 - A. de Voorzitter;
 - B. de oud-Voorzitter;
 - C. de twee Vicevoorzitters;
 - D. Penningmeester;
 - E. Secretaris-generaal
2. Het bestuur bestaat uit een oneven aantal van tenminste 5 personen, die door de algemene vergadering uit de leden worden benoemd. Met inachtneming hiervan wordt het aantal bestuursleden bepaald door de algemene vergadering.
3. De benoeming van de bestuursleden geschiedt uit één of meer bindende voordrachten, behoudens het bepaalde in lid 4.
 - A. Tot het opmaken van zulk een voordracht zijn bevoegd zowel het bestuur als een groep van tenminste vijf leden gezamenlijk.
 - B. De voordracht van het bestuur wordt bij de oproeping voor de algemene vergadering medegedeeld.
 - C. Een voordracht van vijf of meer leden gezamenlijk moet tenminste negen dagen voor de aanvang van die vergadering schriftelijk bij het bestuur worden ingediend. Aan elke voordracht kan het bindend karakter worden ontnomen door een met tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen genomen besluit van de algemene vergadering, genomen in een vergadering waarin tenminste twee/derde van de leden aanwezig of vertegenwoordigd is.

17-6-2020 · · 15 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون المستقلة لدراسات المختبرات
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 10: GOVERNANCE

4. De bestuursvoordracht bestaat uit één afgevaardigde voor elke ledenvereniging en twee gewone leden die de andere gewone leden vertegenwoordigen. De vertegenwoordigers van de lid verenigingen in het bestuur worden door deze verenigingen voorgedragen en de andere gewone leden dragen hun vertegenwoordiger onder elkaar aan, maar vertegenwoordigers kunnen voor een bepaalde vergadering van het bestuur worden aangewezen als de aangewezen vertegenwoordiger niet beschikbaar is.
5. Is geen voordracht gemaakt, of besluit de algemene vergadering overeenkomstig het voorgaande lid aan de opgemaakte voordrachten het bindend karakter te ontnemen, dan is de algemene vergadering vrij in de keus.
6. Indien er meer dan één bindende voordracht is, geschiedt de benoeming uit die voordrachten.

17-6-2020 · · 16 ·



ARTICLE 11: END OF BOARD MEMBERSHIP & PERIODIC MEMBERSHIP SUSPENSION

1. Elk bestuurslid, ook wanneer hij voor een onbepaalde tijd is benoemd, kan te allen tijde door de algemene vergadering worden ontslagen of geschorst.
 - A. Een schorsing die niet binnen drie maanden gevolgd wordt door een besluit tot ontslag, eindigt door het verloop van die termijn.
2. Elk bestuurslid treedt uiterlijk 2 jaar na zijn benoeming af, volgens een door het bestuur op te maken rooster van aftreding. De aftredende is herkiesbaar. Wie in een tussentijdse vacature wordt benoemd, neemt op het rooster de plaats in van zijn voorganger.
3. Het bestuurslidmaatschap eindigt voorts:
 - A. door het eindigen van het lidmaatschap van de vereniging;
 - B. door bedanken;



ARTICLE 12: BOARD FUNCTIONS – DECISION MAKING OF THE BOARD

1. Het bestuur wijst uit zijn midden een voorzitter, twee vice-voorzitters, en een penningmeester aan. Het kan voor elk hunner uit zijn midden een plaatsvervanger aanwijzen. Een bestuurslid kan meer dan één functie bekleden.
 - A. Het bestuur kan naar eigen goeddunken andere leden benoemen die geen stem hebben.
 - B. De onmiddellijk voormalige president is ambtshalve lid van het bestuur, zonder stemrecht, tenzij hij / zij als afgevaardigde van zijn / haar ledenvereniging blijft optreden.
 - C. Het bestuur benoemt een secretaris voor verkiezing door de algemene vergadering, die lid is van het bestuur, zonder stemrecht tenzij hij / zij als afgevaardigde van zijn / haar ledenvereniging of als vertegenwoordiger van de andere gewone leden.
 - D. Ingeval de positie van de secretaris-generaal vacant wordt, kan het bestuur de vacature vervullen die achteraf moet worden goedgekeurd door de volgende algemene vergadering.
2. Van het verhandelde in elke bestuursvergadering worden door de secretaris of een ander door de voorzitter daartoe aangewezen persoon, notulen opgemaakt, die aan de eerstvolgende vergadering ter goedkeuring worden overgelegd en na deze goedkeuring door de voorzitter en de secretaris worden ondertekend.
3. Bij huishoudelijk reglement kunnen nadere regelen aangaande vergaderingen van- en de besluitvorming door het bestuur worden gegeven.
4. Alle bestuursbesluiten worden genomen met gewone meerderheid van stemmen, mits de meerderheid van de in functie zijnde bestuursleden aanwezig is. Het bepaalde bij artikel 22 lid 4 is van overeenkomstige toepassing



ARTICLE 12: BOARD FUNCTIONS – DECISION MAKING OF THE BOARD

5. Het bestuur is in staat om geldige beslissingen te nemen als 60% van zijn stemgerechtigde leden of hun plaatsvervangers aanwezig zijn, en de besluiten zullen alleen worden aangenomen wanneer twee derde van de stemgerechtigde leden vóór hebben gestemd (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard) .
6. Bestuursleden worden niet betaald voor de uitvoering van hun taken. Onkosten die in opdracht van de vereniging zijn gemaakt en vooraf door de het bestuur zijn goedgekeurd, worden vergoed.
7. Het bestuur kan personeel aanwerven tegen vergoeding om lopende zaken te doen.
8. Het bestuur komt ten minste tweemaal per jaar bijeen en coördineert de activiteiten van de verniging zoals beslist door de algemene vergadering en vervult taken die verenigbaar zijn met het bevorderen van de doelstellingen van de vereniging.
9. Het bestuur zorgt ervoor dat de verhandelingen van de Algemene Vergadering worden genotuleerd en aan alle leden worden verstrekt.
10. Het bestuur kan naar eigen goeddunken groepen van leden voor specifieke doeleinden oprichten en opheffen en de voorzitters van deze groepen benoemen.
11. Een dagelijks bestuur, rapporterend aan het bestuur, bestaande uit de president, de twee vice-presidenten, de penningmeester en de secretaris-generaal zal de normale bedrijfsvoering van de vereniging uitvoeren .

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會



ARTICLE 13 + 14: BOARD DUTY – REPRESENTATION

- Artikel 13
 De president, of bij zijn afwezigheid een van de vice-voorzitters, vertegenwoordigt de vereniging en vervult het voorzitterschap tijdens alle vergaderingen.
 De secretaris-generaal zal:
1. samen met de voorzitter de notulen van de vergaderingen ondertekenen;
 2. alle archieven van de verniging beheren;
 3. de correspondentie verwerken;
 4. de agenda en de notulen van elke vergadering opstellen.
- De penningmeester moet:
1. de contributie van de leden innen;
 2. de openstaande rekeningen betalen;
 3. de jaar presenteren op de algemene vergadering.

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا الحارسمرففك فرفرفا افافافا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

ARTICLE 18: GENERAL ASSEMBLY

3. Jaarlijks, uiterlijk zes maanden na afloop van het verenigingsjaar, wordt een algemene vergadering - de jaarvergadering- gehouden. In de jaarvergadering komen onder meer aan de orde:
 - A. het jaarverslag en de rekening en verantwoording bedoeld in artikel 16 met het verslag van de aldaar bedoelde commissie;
 - B. de benoeming van de in artikel 16 genoemde commissie voor het volgende verenigingsjaar;
 - C. voorziening in eventueel andere vacatures;
 - D. voorstellen van het bestuur of van leden, aangekondigd bij de oproeping voor de vergadering.
 - E. het vaststellen van de begroting voor het alsdan volgende verenigingsjaar;
 - F. het vaststellen van de contributie voor het alsdan volgende verenigingsjaar;
 - G. het bespreken van de belangen van de vereniging en die van haar leden;
 - H. het bepalen van de plaats, datum en tijdstip waarop de alsdan eerstvolgende jaarvergadering zal worden gehouden;
 - I. het bespreken van de verslagen van de in artikel 13 lid 3 bedoelde commissies.
4. Goedkeuring door de algemene vergadering van het jaarverslag en de rekening en verantwoording strekt het bestuur tot décharge.

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

17-6-2020 · 25 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمرفا الحارسمرففك فرفرفا افافافا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

ARTICLE 18: GENERAL ASSEMBLY

5. Indien de goedkeuring van de rekening en verantwoording wordt geweigerd, benoemt de algemene vergadering een andere commissie, bestaande uit tenminste drie leden, welke een nieuw onderzoek doet van de rekening en verantwoording.
 - A. Deze commissie heeft dezelfde bevoegdheden als de eerder benoemde commissie. Binnen één maand na de benoeming brengt deze aan de algemene vergadering verslag uit van haar bevindingen. Wordt dan ook de goedkeuring geweigerd dan neemt de algemene vergadering al die maatregelen welke door haar in het belang van de vereniging nodig geacht worden.
6. Andere algemene vergaderingen worden gehouden zo dikwijls het bestuur dit wenselijk oordeelt.
7. Voorts is het bestuur op schriftelijk verzoek van tenminste een zodanig aantal leden als bevoegd is tot het uitbrengen van één/tiende gedeelte der stemmen verplicht tot het bijeenroepen van een algemene vergadering op een termijn van niet langer dan vier weken.
 - A. Indien aan het verzoek binnen veertien dagen geen gevolg wordt gegeven, kunnen de verzoekers zelf tot die bijeenroeping overgaan door oproeping overeenkomstig artikel 18 of bij advertentie in tenminste één te * veel gelezen dagblad.

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

17-6-2020 · 26 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على تمارينهم في دولهم
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

SPECIAL GENERAL ASSEMBLY

1. Op verzoek van twee ledenorganisaties of 25 stemgerechtigde leden wordt binnen drie maanden een bijzondere algemene vergadering bijeengeroepen.
2. Het aanwezigheidsquorum van een speciale algemene vergadering bedraagt 25 stemgerechtigde leden. Op een speciale algemene vergadering heeft elk stemgerechtigd lid het recht om te stemmen (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard). De besluiten van de Speciale Algemene Vergadering kunnen echter alleen met een meerderheid van 75% worden uitgevoerd

القائمون على تمارينهم في دولهم

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

17-6-2020 · · 27 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمون على تمارينهم في دولهم
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

ARTICLE 19: CONVENING GENERAL ASSEMBLY

1. De algemene vergaderingen worden bijeengeroepen door het bestuur. De oproeping geschiedt schriftelijk aan de adressen van de leden volgens het leden-register bedoeld in artikel 4. De termijn voor de oproeping bedraagt tenminste veertien dagen.
2. Bij de oproeping worden de te behandelen onderwerpen vermeld.
3. Kennisgeving van een Algemene Vergadering moet worden gegeven aan de Ledenverenigingen en aan elk gewoon lid ten minste vier maanden voor de vervaldatum.
4. Ledenverenigingen en gewone leden hebben het recht de secretaris-generaal op de hoogte te stellen van elke kwestie die zij op de agenda van de algemene vergadering willen plaatsen. Dergelijke verzoeken moeten minstens twee maanden voor de algemene vergadering schriftelijk worden ingediend.

القائمون على تمارينهم في دولهم

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

17-6-2020 · · 28 ·



ARTICLE 20+21: ACCESS AND VOTING RIGHT

Artikel 20

Op een algemene vergadering heeft elk aanwezig gewoon lid het recht om te stemmen (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard). De beslissingen van de Algemene Vergadering kunnen echter alleen worden genomen met een meerderheid van 75 procent van de stemmen.

1. Waarnemers kunnen op uitnodiging aanwezig zijn en spreken in een algemene vergadering, maar mogen niet over de beraadslaging beslissen.

Artikel 21

1. Alle leden hebben toegang tot de algemene vergadering uitgezonderd geschorste leden.
2. Over toelating van anderen, dan de in lid 1 bedoelde personen beslist de algemene vergadering.
3. Ieder lid, dat niet geschorst is, heeft één stem.
4. Ieder lid kan zich door zijn/haar echtgeno(o)t(e) doen vertegenwoordigen; hij/zij kan zich ook door een ander lid doen vertegenwoordigen, mits laatgenoemde door het desbetreffende lid schriftelijk daartoe is gemachtigd en de machtiging voor de aanvang van de vergadering aan de voorzitter is overgelegd.

القوسمرفلا الحارسمرفلا ولرورمرفلا واحمرفلا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合



ARTICLE 22: PRESIDENCY - MINUTES

1. De algemene vergaderingen worden geleid door de voorzitter van de vereniging of zijn eerste plaatsvervanger.
2. Ontbreken de voorzitter en zijn eerste plaatsvervanger, dan treedt één der andere bestuursleden als voorzitter op.
3. Wordt ook op deze wijze niet in het voorzitterschap voorzien, dan voorziet de vergadering daarin zelve.
4. Van het verhandelde in elke vergadering worden door de secretaris of een ander door de voorzitter daartoe aangewezen persoon notulen gemaakt, die door de voorzitter en de notulist worden vastgesteld en ondertekend.
5. Zij die de vergadering bijeenroepen kunnen een notarieel proces-verbaal van het verhandelde doen opmaken.
6. De inhoud van de notulen of het proces-verbaal wordt ter kennis van de leden gebracht.

القوسمرفلا الحارسمرفلا ولرورمرفلا واحمرفلا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合



ARTICLE 23: DECISION-MAKING OF THE GENERAL ASSEMBLY

1. Het ter algemene vergadering uitgesproken oordeel van de voorzitter omtrent de uitslag van een stemming is beslissend. Hetzelfde geldt voor de inhoud van een genomen besluit, voor zover werd gestemd over een niet schriftelijk vastgelegd voorstel.
2. Wordt echter onmiddellijk na het uitspreken van het in het eerste lid bedoeld oordeel de juistheid daarvan betwist, dan vindt een nieuwe stemming plaats, wanneer de meerderheid der vergadering of, indien de oorspronkelijke stemming niet hoofdelijk of schriftelijk geschiedde, een stemberechtigde aanwezige dit verlangt. Door deze nieuwe stemming vervallen de rechtsgevolgen van de oorspronkelijke stemming.
3. Voor zover de statuten of de wet niet anders bepalen, worden alle besluiten van de algemene vergadering genomen met gewone meerderheid van de uitgebrachte stemmen.
4. Onder stemmen worden in dit artikel verstaan geldig uitgebrachte stemmen, zodat niet in aanmerking komen blanco- en met de naam van het stemmend lid ondertekende stemmen.
5. Bij stemming over personen is hij gekozen, die de gewone meerderheid der uitgebrachte stemmen op zich heeft verenigd.
 Indien niemand die meerderheid heeft verkregen wordt een tweede stemming gehouden tussen de personen, die het grootste aantal der uitgebrachte stemmen hebben verkregen en is hij gekozen, die bij die tweede stemming de gewone meerderheid der uitgebrachte stemmen op zich heeft verenigd. Indien bij die tweede stemming de stemmen staken beslist het lot.
6. Bij staking van stemmen over zaken wordt het voorstel geacht te zijn verworpen.

國際獨立研究所聯合會



ARTICLE 23: DECISION-MAKING OF THE GENERAL ASSEMBLY

7. Stemmingen over personen geschieden schriftelijk; alle andere stemmingen geschieden mondeling, tenzij de voorzitter een schriftelijke stemming gewenst acht of één der stemberechtigden zulks voor de stemming verlangt.
8. Schriftelijke stemming geschiedt bij ongetekende gesloten briefjes. Besluitvorming bij acclamatie is mogelijk, tenzij een stemberechtigde hoofdelijke stemming verlangt.
9. Een éénstemmig besluit van alle leden, ook al zijn deze niet in een vergadering bijeen, heeft, mits met voorkennis van het bestuur genomen, dezelfde kracht als een besluit van de algemene vergadering.
10. Zolang in een algemene vergadering alle leden aanwezig of vertegenwoordigd zijn, kunnen geldige besluiten worden genomen, mits met algemene stemmen, omtrent alle aan de orde komende onderwerpen - dus mede een voorstel tot statutenwijziging of tot ontbinding - ook al heeft geen oproeping plaats gehad of is deze niet op de voorgeschreven wijze geschiedt of is enig ander voorschrift omtrent het oproepen en houden van vergaderingen of een daarmee verband houdende formaliteit niet in acht genomen.

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會



ARTICLE 24: AMENDMENT OF THE ARTICLES OF ASSOCIATION

1. Behoudens het in artikel 23 lid 9 bepaalde geval, kan in de statuten van de vereniging geen verandering worden gebracht dan door een besluit van een algemene vergadering, waartoe is opgeroepen met de mededeling dat aldaar wijziging van de statuten zal worden voorgesteld.
2. Zij die de oproeping tot de algemene vergadering ter behandeling van een voorstel tot statutenwijziging hebben gedaan, moeten tenminste vijf dagen voor de vergadering een afschrift van dat voorstel, waarin de voorgedragen wijziging woordelijk is opgenomen, op een daartoe geschikte plaats voor de leden ter inzage leggen tot na afloop van de dag waarop de vergadering wordt gehouden.
3. Een besluit tot statutenwijziging behoeft tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen, in een vergadering waarin tenminste twee/derde van de leden tegenwoordig- of vertegenwoordigd is.
4. Is niet twee/derde van de leden tegenwoordig- of vertegenwoordigd dan wordt binnen vier weken daarna (doch niet eerder dan één week daarna) een tweede vergadering bijeengeroepen en gehouden, waarin over het voorstel zoals in de vorige vergadering aan de orde is geweest, ongeacht het aantal tegenwoordige- of vertegenwoordigde leden, kan worden besloten, mits met meerderheid van tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen.
5. Een statutenwijziging treedt niet in werking dan nadat hiervan een notariële akte is opgemaakt. Tot het doen verlijden van de akte is ieder bestuurslid bevoegd.

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會



ARTICLE 25: DISSOLUTION

1. De vereniging kan worden ontbonden door een besluit van de algemene vergadering. Het bepaalde in de leden 1, 2 en 3 van het voorgaande artikel is van overeenkomstige toepassing.
2. Indien de vereniging wordt ontbonden, beslist de algemene vergadering over het gebruik dat van de activa wordt gemaakt in overeenstemming met de wettelijke vereisten.
3. Indien bij een besluit tot ontbinding geen vereffenaars zijn aangewezen, geschiedt de vereffening door het bestuur.
4. Eventuele openstaande schulden die mogelijk door de vereniging zijn opgelopen, zullen in gelijke verhoudingen worden betaald door alle leden behalve de ereleden.
5. Een eventueel batig saldo zal worden aangewend voor door de algemene vergadering te bepalen zodanige doeleinden, als het meest met het doel der vereniging overeenstemmen.
6. Na de ontbinding blijft de vereniging voort bestaan voor zover dit tot vereffening van haar vermogen nodig is. Gedurende de vereffening blijven de bepalingen van de statuten en reglementen voor zover mogelijk van kracht. In stukken en aankondigingen die van de vereniging uitgaan, moeten aan haar naam worden toegevoegd de woorden: "in liquidatie".

القائمه العالميه لجمعية المختبرات المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خمدلل يلودملا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ARTICLE 26: HOUSEHOLD RULES

1. De algemene vergadering kan een huishoudelijk reglement vaststellen.
2. Het huishoudelijk reglement mag niet in strijd zijn met de wet, ook waar die geen dwingend recht bevat, noch met de statuten.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تاربت خمدلل يلودملا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خمدلل يلودملا داخاتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ARTICLE 27: FINAL PROVISION

In alle gevallen waarin deze statuten en het huishoudelijk reglement niet voorzien, beslist het bestuur.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تاربت خمدلل يلودملا داخاتالا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



ARTICLE 28: TRANSITIONAL PROVISION

1. In afwijking van hetgeen hierboven ten aanzien van het benoemen van het bestuur is bepaald, zullen voor de eerste maal als bestuursleden optreden:

- A. *
- B. *

2. Het eerste boekjaar van de vereniging eindigt op *.

القوسمىلا الحارسعقلا لومىلا اىمىلا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合會



Voor de tenuitvoerlegging van deze akte en alle gevolgen daarvan wordt woonplaats gekozen ten kantore van de notaris, wettige bewaarder van de minuut van deze akte.

De comparant is mij, notaris, bekend. *Van de volmacht op de comparant is mij, notaris, genoegzaam gebleken*.

Waarvan akte in minuut opgemaakt is verleden te Geertruidenberg op de datum in het hoofd van deze akte vermeld.

Na zakelijke opgave van de inhoud van deze akte aan de comparant heeft hij verklaard van de inhoud van deze akte te hebben kennis genomen en op volledige voorlezing daarvan geen prijs te stellen.

Vervolgens is deze akte na beperkte voorlezing door de comparant en mij, notaris, ondertekend.

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合會

VERENIGING

Dossiernummer *

Heden, *, verscheen voor mij, mr Jan Kees Ages Meijer, notaris te Geertruidenberg:

De heer drs Lucas Hubertus Augustinus Scholtis, ten deze handelende als voorzitter van de vereniging met beperkte rechtspersoonlijkheid **Union Internationale des Laboratoires Indépendants** (UILI), gevestigd te 4825 KH Breda en ingeschreven in het Nederlandse handelsregister onder dossiernummer 67511465, hierna te noemen: "UILI".

De algemene vergadering van de vereniging met beperkte rechtsbevoegdheid: **Union Internationale des Laboratoires Indépendants** (UILI), met statutaire zetel in de gemeente Breda, kantoorhoudende te 4835 KH Breda, Koningin Emmalaan 3, ingeschreven in het handelsregister onder dossiernummer 30186077, hierna te noemen: "UILI", heeft op * besloten tot wijziging van de statuten van UILI en tot verlening van machtiging aan de verschijnende persoon om de akte van statutenwijziging te doen verlijden, hetgeen blijkt uit een uittreksel uit de notulen van de algemene vergadering van UILI, *dat aan deze akte wordt gehecht.

UILI is opgericht op vijftien juni negentien eenenzestig te Parijs, Frankrijk en aldaar geregistreerd door de Préfecture de Police op basis van een Autorisation de l'Association Étrangère door het Franse Ministre de l'Intérieur overeenkomstig de Wet van twaalf Juli 1939 van welke autorisatie een copie aan deze akte is gehecht.

De statuten van UILI zijn na oprichting laatstelijk gewijzigd tijdens de 26e Algemene Vergadering op 17 september 2015 te Buenos Aires, Argentinië. Deze laatstelijk in de Engelse taal opgestelde statuten zijn aan deze akte gehangen.

Met inachtnaam van deze statuten heeft het bestuur en de algemene vergadering van de vereniging het besluit genomen om te komen tot de oprichting van een Nederlandse vereniging met volledige rechtspersoonlijkheid die de activiteiten van de vereniging voortzet. Ter uitvoering van de hiervoor bedoelde besluiten verklaart de verschijnende persoon de statuten van UILI hierbij zodanig te wijzigen dat zij met ingang van heden in hun geheel komen te luiden als volgt:

De comparant verklaarde bij deze akte een vereniging op te richten met de volgende

STATUTEN**BEGRIPSOMSCHRIJVINGEN****Artikel 1**

In deze statuten wordt verstaan onder:

- a. absolute meerderheid: het dichtstbijzijnde gehele getal boven de vijftig procent (50%) van het aantal stemmen dat door Stemgerechtigde Leden is uitgebracht;
- b. Conformiteits beoordelings instantie: een Enkelvoudige Economie Conformiteits Beoordelings Instantie of een Multi Economie Conformiteits Beoordelings Instantie die conformiteits beoordelingsdiensten verleent;
- c. jaarlijkse vergadering van de Algemene Vergadering: de verplichte, jaarlijkse, in beginsel binnen zes maanden na afloop van het boekjaar, te houden vergadering van de Algemene Vergadering, bedoeld in artikel 10 lid 1 en in artikel 19 lid 3 van deze statuten;
- d. jaarrekening: de balans en de staat van baten en lasten met de toelichting van UILI;
- e. College van Beroep: het orgaan bedoeld in artikel * van deze statuten, ingesteld door de Algemene Vergadering om beroepen die zijn ingediend door aanvragers van het lidmaatschap of door Leden met betrekking tot schorsing of beëindiging van het lidmaatschap van UILI, in behandeling te nemen en daarover te beslissen;
- f. Geassocieerd Lid: een conformiteits beoordelende instantie die heeft voldaan aan de vereisten voor Geassocieerd Lidmaatschap en die nog niet is aanvaard als ondertekenaar van de UILI Overeenkomst bedoeld in artikel * lid * sub* van deze statuten;
- g. Gemachtigde Vertegenwoordiger: de persoon die door een Lid is benoemd om het Lid binnen UILI en op de Algemene Vergadering en andere gespecificeerde vergaderingen te vertegenwoordigen bedoeld in artikel * lid * van deze statuten. Een Gemachtigde Vertegenwoordiger is verantwoordelijk voor de communicatie tussen UILI en het Lid en is bevoegd om te spreken en, indien het Lid stemgerechtigd is, namens het Lid te stemmen. In het geval dat een volmacht wordt afgegeven, is de Gemachtigde Vertegenwoordiger de persoon die de volmacht verleent en ondertekent;
- h. Huishoudelijk Reglement: het reglement bedoeld in artikel* van deze statuten;
- i. Voorzitter: de voorzitter van het Bestuur bedoeld in artikel 12 lid 1 sub a van deze statuten;
- j. commissies: formele groepen (commissies) ingesteld door de Algemene Vergadering om de doelstellingen van UILI te ontwikkelen en uit te voeren;
- k. afgevaardigde: een Gemachtigde Vertegenwoordiger en/of een andere persoon die door een Lid is benoemd om deel te nemen aan vergaderingen en activiteiten van UILI;
- l. elektronische communicatie (elektronisch): een bericht, verklaring, verzoek of communicatie die langs elektronische weg wordt verzonden. UILI mag elektronische communicatie gebruiken, mits het Lid zijn toestemming heeft gegeven en mits dergelijke langs elektronische weg verzonden berichten worden verzonden naar het adres dat door het Lid aan UILI is bekendgemaakt. Het langs elektronische weg verzonden bericht moet leesbaar en reproduceerbaar zijn;
- m. Stemgerechtigd Lid: een lid bedoeld in artikel 2:38 lid 1 van het Burgerlijk

Wetboek, te weten een lid in de categorie Volledig Lid wiens lidmaatschap niet is geschorst;

- n. Bestuur: het orgaan bedoeld in artikel 2:44 van het Burgerlijk Wetboek en artikel 12 en in artikel 13 lid 1 van deze statuten, te weten het bestuur van UILI, dat, behoudens beperkingen volgens deze statuten, belast is met het besturen van UILI;
- o. FAC: Financiële Audit Commissie bedoeld in artikel 16 van deze statuten;
- p. Volledig Lid: een Conformiteits beoordelings-instantie die heeft voldaan aan de vereisten voor Geassocieerd Lidmaatschap en die is aanvaard als ondertekenaar van de UILI Overeenkomst bedoeld in artikel * lid * sub * van deze statuten;
- q. Algemene Vergadering: het orgaan bedoeld in artikel 2:40 van het Burgerlijk Wetboek en artikel 7 van deze statuten, te weten het hoogste besluitvormende orgaan van UILI;
- r. UILI-aanvraagdocumenten: aanvraagdocumenten gepubliceerd door UILI in de categorieën, maar niet daartoe beperkt: UILI A, B, C;
- s. UILI-Overeenkomst: de overeenkomst van UILI voor onderlinge erkenning, welke een internationale, multilaterale overeenkomst voor onderlinge erkenning is, ondertekend door Conformiteits Beoordelings Instanties om de acceptatie van de gelijkwaardigheid van conformiteitsbeoordelingsactiviteiten door erkende conformiteitsbeoordelingsinstanties te bevorderen;
- t. ICABC: de vereniging met volledige rechtsbevoegdheid opgericht naar Nederlands recht: International Conformity Assessment Bodies Cooperation bedoeld in artikel 2 lid 1 van deze statuten;
- u. Leden: de Volledige Leden die voldoen aan de definitie van leden van een vereniging als bedoeld in artikel 2:34 en artikel 2:38 lid 1 van het Burgerlijk Wetboek, en de Geassocieerde Leden, de Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie en de LedenBelanghebbende, voor zover deze statuten geen nader onderscheid maken of het tegendeel uit het zinsverband blijkt;
- v. lidmaatschapsschorsing: een besluit waarbij het lidmaatschap van een Lid tijdelijk ongeldig wordt gemaakt wegens het niet voldoen aan de algemene lidmaatschapsvereisten van de toepasselijke lidmaatschaps categorie van UILI. Een geschorst Lid is verplicht zijn jaarlijkse bijdrage te betalen, heeft geen toegang tot de Algemene Vergadering en heeft geen stemrecht zolang het geschorst is;
- w. Multi Economie Conformiteits Beoordelings Instantie: een conformiteits beoordelings instantie die is opgericht om te voorzien in de accreditatiebehoefte van een aantal (meer dan één (1)) economieën, die is aangewezen door de respectievelijke overheden van die economieën en die haar hoofdzetel heeft in een van de aangewezen economieën;
- x. gevolmachtigde: een persoon die schriftelijk door de Gemachtigde Vertegenwoordiger van een Lid is benoemd om namens dat Lid te stemmen op de Algemene Vergadering of een andere specifieke vergadering. De benoeming van een gevolmachtigde geschiedt schriftelijk en wordt van kracht na ontvangst

door het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UILI. Aan de eis van schriftelijke benoeming van een gevolmachtigde wordt voldaan als de benoeming van de gevolmachtigde elektronisch is vastgelegd. Een Gemachtigde Vertegenwoordiger zal het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UILI onmiddellijk schriftelijk of langs elektronische weg op de hoogte brengen van wijzigingen met betrekking tot zijn gevolmachtigde. De Gemachtigde Vertegenwoordiger of gevolmachtigde van een Lid mag slechts voor één (1) ander Lid gevolmachtigd zijn;

- y. quorum: het quorum voor een Algemene Vergadering, zijnde het dichtstbijzijnde gehele getal boven de vijftig procent (50%) van het aantal Stemgerechtigde Leden. Het quorum voor een Algemene Vergadering wordt aan het begin van elke Algemene Vergadering vastgesteld volgens de agenda voor de vergadering;
- z. Erkende Regionale Samenwerkingsinstantie: een Lid-Regionale Samenwerkingsinstantie wiens multilaterale overeenkomst voor onderlinge erkenning door UILI aangewezen vakgenoten is geëvalueerd en vervolgens door UILI is erkend;
- aa. referendum: een stemming onder Stemgerechtigde Leden om hun mening over een bepaalde aangelegenheid te bepalen;
- bb. Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie: een formeel opgerichte regionale samenwerking van conformiteits beoordelings-instanties die heeft voldaan aan de vereisten voor het Lidmaatschap-Regionale Samenwerkingsinstantie bedoeld in artikel 5 lid 2 sub c van deze statuten;
- cc. Secretariaat: het secretariaat van UILI benoemd of ingesteld door het Bestuur;
- dd. ondertekeningschorsing: een besluit waarbij het lidmaatschap van een Volledig Lid tijdelijk ongeldig wordt gemaakt wegens het niet voldoen aan de ondertekeningvereisten van de UILI-Overeenkomst;
- ee. Enkelvoudige Economie Conformiteits Beoordelings Instantie: een accreditatie-instantie die is opgericht in een enkele economie om primair te voorzien in de accreditatiebehoeften van die economie. Er kan meer dan één (1) Enkelvoudige Economie Conformiteits Beoordelings Instantie in een enkele economie zijn gevestigd;
- ff. Belanghebbenden Forum: een adviesorgaan van de Algemene Vergadering dat adviseert over strategische aangelegenheden en beleidskwesties en over ontwikkelingen in de markt voor accreditatie diensten bedoeld in artikel 16 van deze statuten;
- gg. Lid-Belanghebbende: een internationale, regionale of nationale vereniging of regelgevende instantie die heeft voldaan aan de vereisten voor het LidmaatschapBelanghebbende bedoeld in artikel 5 lid 2 sub d van deze statuten.

NAAM

Artikel 2

De vereniging draagt de naam: Union Internationale des Laboratoires Indépendants.

De vereniging is ook geregistreerd onder haar engelse naam: International Union of Independent Laboratories

De vereniging is ook geregistreerd onder haar verkorte naam: UILI.

Zij is aangegaan voor onbepaalde tijd.

Artikel 3

Zij heeft haar zetel in de gemeente Breda, Nederland

UILI wordt beheerst door Nederlands recht

DOEL

Artikel 4

1. De vereniging heeft ten doel:
 - a. het vertegenwoordigen van de professionele en commerciële belangen van de laboratoriumbranche op internationale basis.
 - b. een forum te bieden voor de internationale uitwisseling van standpunten over zaken van gemeenschappelijk belang waaronder bijvoorbeeld laboratorium management, vergelijkbaarheid van meetmethoden en laboratoriumresultaten, kwaliteitsborging, accreditatie, certificatie, nationale en internationale normalisatie en het doen wegnemen van internationale technische handelsbelemmeringen.
 - c. het bevorderen van de internationale status van laboratoria en haar wetenschappelijke staf en het benadrukken van hun belangrijke rol in de internationale handel.
 - d. een internationaal netwerk van wetenschappelijke contacten tot stand te brengen om daarmee te kunnen handelen in het belang van de professionele en commerciële belangen van de aangesloten leden
 - e. het ondernemen van iedere andere activiteit die relevant is voor de bevordering van doelstellingen die op enig moment door de Algemene Vergadering kunnen worden vastgesteld.
 - f. de onderlinge vriendschapsband tussen de leden te versterken.
2. Zij tracht dit doel te bereiken door het ontwikkelen en beheren van een internationaal uitwisselingsplatform om de daarmee de belangrijke bijdrage die de leden bieden aan het creëren van vertrouwen in producten en diensten te verbeteren op basis van de door hen aangeleverde informatie.

LEDEN EN DONATEURS

Artikel 5

1. De Algemene Vergadering kan verschillende categorieën lidmaatschap vaststellen met gespecificeerde criteria voor elke categorie, inclusief bepalingen inzake stemrecht en verschillende contributies voor elke categorie.
2. Het lidmaatschap bestaat uit de volgende categorieën en andere die de Algemene Vergadering op enig moment kan vaststellen:
 - a. Ereleden;
 - b. Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie;
 - c. Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie;
 - d. Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie;
 - e. Leden-Sectorale-Samenwerkingsinstantie;

- f. Multinationale leden;
 - g. Nationale gewone leden;
 - h. Geassocieerde leden
 - i. Leden belanghebbenden.
3. Als leden kunnen door de vereniging worden toegelaten
 - a. Natuurlijke personen
 - b. Internationale, regionale en sectorale samenwerkingsinstanties van verenigingen van laboratoria, inspectiebedrijven, en beroepsbeoefenaren
 - c. Verenigingen van laboratoria en de daarbij aangesloten leden;
 - d. Onafhankelijke Multinationale conformiteits beoordelings laboratoriumgroepen
 - e. Onafhankelijke Nationale publieke en private conformiteits beoordelings laboratoria
 - f. Onafhankelijke wetenschappelijke adviseurs;
 - g. Leveranciers van laboratoria.
 - h. Verenigingen van accreditatie organisaties
 4. Elk Lid benoemt een Gemachtigde Vertegenwoordiger om het Lid binnen UILI en op de Algemene Vergadering en andere gespecificeerde vergaderingen te vertegenwoordigen. De benoeming van een Gemachtigde Vertegenwoordiger geschiedt schriftelijk en wordt van kracht na ontvangst door het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UILI. Aan de eis van schriftelijke benoeming van een Gemachtigde Vertegenwoordiger wordt voldaan als de benoeming van de Gemachtigde Vertegenwoordiger elektronisch is vastgelegd. Een Lid zal het Secretariaat of de aangewezen functionaris van UILI onmiddellijk schriftelijk of langs elektronische weg op de hoogte brengen van wijzigingen met betrekking tot zijn Gemachtigde Vertegenwoordiger.
 5. Elke aanvrager van het lidmaatschap van UILI moet aantonen dat hij aan de toepasselijke eisen voldoet.
 6. Het bestuur van de vereniging houdt een elektronisch register waarin de namen en adressen van alle leden zijn opgenomen.
 7. Als donateurs kunnen door de vereniging natuurlijke- en rechtspersonen worden aangenomen, die zich bereid verklaren de vereniging te steunen met een bijdrage, waarvan de grenzen jaarlijks door de algemene vergadering kunnen worden vastgesteld.

KWALIFICATIE VOOR LIDMAATSCHAP

Artikel 6

1. **Ereleden**: ereleden zijn de personen die door het bestuur zijn toegelaten door middel van een met eenparigheid van stemmen aangenomen resolutie.
2. **Leden-Regionale Samenwerkingsinstantie**
3. **Leden-Nationale Samenwerkingsinstantie**
 - a. Alle wettige laboratoria en adviseurs die lid zijn van een voor UILI aanvaardbare lid-vereniging zijn Gewone leden van UILI.
 - b. Ze moeten voldoen aan de lidmaatschapsvereisten van hun lid-vereniging.

4. Er kunnen meer dan één ledenvereniging zijn uit elk land. Bovendien kan het bestuur als een gewoon lid een onafhankelijk laboratorium of onafhankelijke adviseur aanvaarden die ofwel in een land zonder lid of praktijken in een land waar een verenigingsvereniging bestaat, maar die actief is in een discipline die acceptatie uitsluit, aanvaardt in de betrokken Ledenvereniging, en die anderszins moet voldoen aan de vereisten van het gewoon lidmaatschap en technisch en professioneel aanvaardbaar zijn voor het bestuur
5. Gewone leden: de kwalificatie voor gewoon lidmaatschap is de minimale kwalificatie (3 a - b) die vereist is voor toelating als gewoon lid van deze vereniging.
6. Gewone leden zijn rechtspersonen die:
 - a. opereren in de laboratorium industrie;
 - b. niet schuldig bevonden zijn aan een overtreding met persoonlijke eer;
 - c. werkzaam zijn in de onafhankelijke laboratorium praktijk voor een minimale periode van ten minste twee jaar;
 - d. afgestudeerden zijn of anderszins waardig worden geacht als volledige erkenning als wetenschapper vanwege hun activiteiten in de zelfstandige praktijk;
 - e. kunnen aantonen dat de laboratoria volgens moderne technische eisen zijn opgesteld voor een goede uitoefening van het beroep;
 - f. geen band hebben met iemand die zich bezighoudt met andere activiteiten, die naar de mening van hun lid vereniging de professionele onpartijdigheid, integriteit of onafhankelijkheid van het lid waarschijnlijk in gevaar zullen brengen.
7. Geassocieerde leden zijn die rechtspersonen die geen gewoon lidmaatschap kunnen aanvragen en werkzaam zijn in de laboratorium industrie als toeleverancier of service provider .
8. Een Lid stelt het Bestuur onmiddellijk schriftelijk of langs elektronische weg in kennis van wijzigingen die ertoe kunnen leiden dat hij niet langer voldoet aan de vereisten die van toepassing zijn op zijn lidmaatschaps categorie, zoals beschreven in dit artikel.

TOELATING

Artikel 7

1. Het bestuur beslist omtrent de toelating van de leden en donateurs.
2. Bij niet-toelating tot lid of tot donateur staat beroep open op de algemene vergadering.

EINDE VAN HET LIDMAATSCHAP

Artikel 8

1. Het lidmaatschap eindigt:
 - a. door de dood van het lid;
 - b. doordat het lid ophoudt te bestaan;
 - c. door opzegging door het lid;
 - d. door opzegging namens de vereniging door het bestuur;
 - e. door ontzetting namens de vereniging door het bestuur;
2. Opzegging van het lidmaatschap door een lid kan slechts geschieden door een

schriftelijke kennisgeving tegen het einde van een verenigingsjaar en met inachtneming van een opzeggingstermijn van één maand.

Indien een opzegging niet tijdig en/of niet schriftelijk heeft plaats gehad, loopt het lidmaatschap door tot het einde van het eerstvolgende verenigingsjaar tenzij het bestuur anders besluit.

Een lid is niet bevoegd door opzegging van zijn lidmaatschap een besluit waarbij de verplichtingen van de leden van geldelijke aard zijn verzwaard, te zijnen opzichte uit te sluiten.

3. Opzegging van het lidmaatschap namens de vereniging kan slechts geschieden met inachtneming van een opzeggingstermijn van één maand wanneer een lid zijn verplichtingen jegens de vereniging niet nakomt.
4. Echter kan het lidmaatschap onmiddellijk worden beëindigd indien van de vereniging of van het lid redelijkerwijs niet gevegd kan worden het lidmaatschap te laten voortduren.
5. Ontzetting kan alleen worden uitgesproken wanneer een lid in strijd met de statuten, reglementen of besluiten der vereniging handelt of de vereniging op onredelijke wijze benadeelt.
6. Van een besluit tot opzegging van het lidmaatschap namens de vereniging alsmede van een besluit tot ontzetting uit het lidmaatschap staat de betrokkene binnen één maand na de ontvangst van de kennisgeving van het besluit beroep open op de algemene vergadering.
Hij wordt daartoe ten spoedigste schriftelijk van het besluit met opgave van redenen in kennis gesteld.
Gedurende de beroepstermijn en hangende het beroep is het lid geschorst.
8. Wanneer het lidmaatschap in de loop van het verenigingsjaar eindigt, blijft desniettemin de jaarlijkse bijdrage voor het geheel verschuldigd, tenzij het bestuur anders besluit.
9. Opzegging of ontzetting door UILI geschiedt door het Bestuur. Het betrokken Lid wordt ten spoedigste schriftelijk van het besluit van het Bestuur, met opgave van redenen, in kennis gesteld. Het Bestuur stelt alle Leden van zijn besluit schriftelijk of langs elektronische weg in kennis.

JAARLIJKSE BIJDRAGE

Artikel 9

1. Jaarlijkse bijdragen voor elke lidmaatschapscategorie zijn verplicht. De hoogte van de contributie voor elke lidmaatschapscategorie wordt vastgesteld door de Algemene Vergadering.
2. De leden zijn gehouden tot het betalen van een jaarlijkse bijdrage, die jaarlijks door de algemene vergadering zal worden vastgesteld.
3. Lidmaatschapsbijdragen zijn voor een periode van twaalf (12) maanden beginnend op één januari en eindigend op eenendertig december van enig jaar. Leden die tot een categorie lidmaatschap zijn toegelaten gedurende een bijdrageperiode betalen een jaarlijkse bijdrage pro rata vanaf de maand van toelating tot het einde van dat boekjaar.
2. De algemene vergadering kan besluiten tot heffing van hoofdelijke omslagen

over de leden.

3. Het bestuur is bevoegd in bijzondere gevallen gehele of gedeeltelijke ontheffing van de verplichting tot het betalen van een bijdrage te verlenen.

BESTUUR

Artikel 10

1. Het Bestuur is als volgt samengesteld:
 - a. de Voorzitter;
 - b. de oud-Voorzitter;
 - c. de twee Vicevoorzitters;
 - d. Penningmeester;
 - e. Secretaris-generaal
2. Het bestuur bestaat uit een oneven aantal van tenminste 5 personen, die door de algemene vergadering uit de leden worden benoemd. Met inachtneming hiervan wordt het aantal bestuursleden bepaald door de algemene vergadering.
3. De benoeming van de bestuursleden geschiedt uit één of meer bindende voordrachten, behoudens het bepaalde in lid 4.
 - a. Tot het opmaken van zulk een voordracht zijn bevoegd zowel het bestuur als een groep van tenminste vijf leden gezamenlijk.
 - b. De voordracht van het bestuur wordt bij de oproeping voor de algemene vergadering medegedeeld.
 - c. Een voordracht van vijf of meer leden gezamenlijk moet tenminste negen dagen voor de aanvang van die vergadering schriftelijk bij het bestuur worden ingediend. Aan elke voordracht kan het bindend karakter worden ontnomen door een met tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen genomen besluit van de algemene vergadering, genomen in een vergadering waarin tenminste twee/derde van de leden aanwezig of vertegenwoordigd is.
4. De bestuursvoordracht bestaat uit één afgevaardigde voor elke ledenvereniging en twee gewone leden die de andere gewone leden vertegenwoordigen. De vertegenwoordigers van de lid verenigingen in het bestuur worden door deze verenigingen voorgedragen en de andere gewone leden dragen hun vertegenwoordiger onder elkaar aan, maar vertegenwoordigers kunnen voor een bepaalde vergadering van het bestuur worden aangewezen als de aangewezen vertegenwoordiger niet beschikbaar is.
5. Is geen voordracht gemaakt, of besluit de algemene vergadering overeenkomstig het voorgaande lid aan de opgemaakte voordrachten het bindend karakter te ontnemen, dan is de algemene vergadering vrij in de keus.
6. Indien er meer dan één bindende voordracht is, geschiedt de benoeming uit die voordrachten.

EINDE BESTUURSLIDMAATSCHAP - PERIODIEK LIDMAATSCHAP - SCHORSING

Artikel 11

1. Elk bestuurslid, ook wanneer hij voor een onbepaalde tijd is benoemd, kan te

- allen tijde door de algemene vergadering worden ontslagen of geschorst.
- a. Een schorsing die niet binnen drie maanden gevolgd wordt door een besluit tot ontslag, eindigt door het verloop van die termijn.
2. Elk bestuurslid treedt uiterlijk 2 jaar na zijn benoeming af, volgens een door het bestuur op te maken rooster van aftreding.
De aftredende is herkiesbaar.
Wie in een tussentijdse vacature wordt benoemd, neemt op het rooster de plaats in van zijn voorganger.
 3. Het bestuurslidmaatschap eindigt voorts:
 - a. door het eindigen van het lidmaatschap van de vereniging;
 - b. door bedanken;

BESTUURSFUNCTIES - BESLUITVORMING VAN HET BESTUUR

Artikel 12

1. Het bestuur wijst uit zijn midden een voorzitter, twee vice-voorzitters, en een penningmeester aan. Het kan voor elk hunner uit zijn midden een plaatsvervanger aanwijzen. Een bestuurslid kan meer dan één functie bekleden.
 - a. Het bestuur kan naar eigen goeddunken andere leden benoemen die geen stem hebben.
 - b. De onmiddellijk voormalige president is ambtshalve lid van het bestuur, zonder stemrecht, tenzij hij / zij als afgevaardigde van zijn / haar ledenvereniging blijft optreden.
 - c. Het bestuur benoemt een secretaris voor verkiezing door de algemene vergadering, die lid is van het bestuur, zonder stemrecht tenzij hij / zij als afgevaardigde van zijn / haar ledenvereniging of als vertegenwoordiger van de andere gewone leden.
 - d. Ingeval de positie van de secretaris-generaal vacant wordt, kan het bestuur de vacature vervullen die achteraf moet worden goedgekeurd door de volgende algemene vergadering.
2. Van het verhandelde in elke bestuursvergadering worden door de secretaris of een ander door de voorzitter daartoe aangewezen persoon, notulen opgemaakt, die aan de eerstvolgende vergadering ter goedkeuring worden overgelegd en na deze goedkeuring door de voorzitter en de secretaris worden ondertekend.
3. Bij huishoudelijk reglement kunnen nadere regelen aangaande vergaderingen van- en de besluitvorming door het bestuur worden gegeven.
4. Alle bestuursbesluiten worden genomen met gewone meerderheid van stemmen, mits de meerderheid van de in functie zijnde bestuursleden aanwezig is. Het bepaalde bij artikel 22 lid 4 is van overeenkomstige toepassing.
5. Het bestuur is in staat om geldige beslissingen te nemen als 60% van zijn stemgerechtigde leden of hun plaatsvervangers aanwezig zijn, en de besluiten zullen alleen worden aangenomen wanneer twee derde van de stemgerechtigde leden vóór hebben gestemd (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard) .

6. Bestuursleden worden niet betaald voor de uitvoering van hun taken. Onkosten die in opdracht van de vereniging zijn gemaakt en vooraf door de het bestuur zijn goedgekeurd, worden vergoed.
7. Het bestuur kan personeel aanwerven tegen vergoeding om lopende zaken te doen.
8. Het bestuur komt ten minste tweemaal per jaar bijeen en coördineert de activiteiten van de vereniging zoals beslist door de algemene vergadering en vervult taken die verenigbaar zijn met het bevorderen van de doelstellingen van de vereniging.
9. Het bestuur zorgt ervoor dat de verhandelingen van de Algemene Vergadering worden genotuleerd en aan alle leden worden verstrekt.
10. Het bestuur kan naar eigen goeddunken groepen van leden voor specifieke doeleinden oprichten en opheffen en de voorzitters van deze groepen benoemen.
11. Een dagelijks bestuur, rapporterend aan het bestuur, bestaande uit de president, de twee vice-presidenten, de penningmeester en de secretaris-generaal zal de normale bedrijfsvoering van de vereniging uitvoeren .

BESTUURSTAAK – VERTEGENWOORDIGING

Artikel 13

De president, of bij zijn afwezigheid een van de vice-voorzitters, vertegenwoordigt de vereniging en vervult het voorzitterschap tijdens alle vergaderingen.

De secretaris-generaal zal:

1. samen met de voorzitter de notulen van de vergaderingen ondertekenen;
2. alle archieven van de vereniging beheren;
3. de correspondentie verwerken;
4. de agenda en de notulen van elke vergadering opstellen.

De penningmeester moet:

1. de contributie van de leden innen;
2. de openstaande rekeningen betalen;
3. de jaar presenteren op de algemene vergadering.

Artikel 14

1. Behoudens de beperking volgens de statuten is het bestuur belast met het besturen van de vereniging.
2. Indien het aantal bestuursleden beneden 3 is gedaald, blijft het bestuur bevoegd.
Het is echter verplicht zo spoedig mogelijk een algemene vergadering te beleggen, waarin de voorziening in de open plaats of de open plaatsen aan de orde komt.
3. Het bestuur is bevoegd onder zijn verantwoordelijkheid bepaalde onderdelen van zijn taak te doen uitvoeren door commissies die door het bestuur worden benoemd en ontslagen.
4. De vereniging wordt in en buiten rechte vertegenwoordigd door het bestuur. De bevoegdheid tot vertegenwoordiging komt tevens toe aan de voorzitter of bij ontstentenis van de voorzitter aan 2 bestuursleden gezamenlijk. De bestuursleden kunnen zich daarbij door een schriftelijk gemachtigde doen

vertegenwoordigen.

5. Het bestuur is, mits met goedkeuring van de algemene vergadering, bevoegd tot het sluiten van overeenkomsten tot het kopen, vervreemden of bezwaren van registergoederen, het sluiten van overeenkomsten waarbij de vereniging zich als borg of hoofdelijk medeschuldenaar verbindt, zich voor een derde sterk maakt of zich tot zekerheidstelling voor een schuld van een derde verbindt.

Op het ontbreken van deze goedkeuring kan door of tegen derden geen beroep worden gedaan.

6. Het bestuur behoeft voor haar interne verantwoordelijkheid tegenover de vereniging de goedkeuring van de algemene vergadering voor bestuursbesluiten welke naar aard en omvang nader kunnen worden omschreven in een huishoudelijk reglement.

FINANCIËLE MIDDELEN

Artikel 15

De financiële middelen van de vereniging bestaan uit contributies van de leden, donaties van de donateurs, subsidies, schenkingen, erfstellingen, legaten, opbrengsten van belegd vermogen en toevallige baten.

Artikel 16

1. Bijdragen van leden zijn betaalbaar op 31 maart op basis van het aantal leden van elke ledenvereniging op 1 januari. Rechten van andere gewone en geassocieerde leden zijn eveneens betaalbaar op 31 maart.
2. Het lidmaatschap eindigt met een Ledenvereniging en / of een gewoon lid en geassocieerd lid wiens contributie niet vóór 31 december wordt betaald, tenzij anderszins bepaald door het bestuur
3. De middelen van de vereniging worden ondergebracht bij een bankaire instelling in een land dat gekozen wordt door het bestuur.

JAARVERSLAG - REKENING EN VERANTWOORDING

Artikel 17

1. Het verenigingsjaar loopt van één januari tot en met één en dertig december.
2. Het bestuur is verplicht van de vermogenstoestand van de vereniging zodanige aantekeningen te houden, dat daaruit te allen tijde haar rechten en verplichtingen kunnen worden gekend.
3. Het bestuur brengt op de jaarvergadering -zie artikel 17 lid 3- zijn jaarverslag uit en doet, onder overlegging van een balans en een staat van baten en lasten, rekening en verantwoording over zijn in het afgelopen boekjaar gevoerd bestuur. Na verloop van de termijn kan ieder lid deze rekening en verantwoording in rechte van het bestuur vorderen.
4. Het bestuur is verplicht de bescheiden bedoeld in de leden 2 en 3, tien jaar lang te bewaren.
5. De algemene vergadering benoemt jaarlijks uit de leden een commissie van tenminste twee personen, die geen deel mogen uitmaken van het bestuur. De commissie onderzoekt de rekening en verantwoording van het bestuur en brengt aan de algemene vergadering verslag uit van haar bevindingen.

6. Vereist het onderzoek van de rekening en verantwoording bijzondere boekhoudkundige kennis, dan kan de commissie van onderzoek zich door een deskundige doen bijstaan. Het bestuur is verplicht aan de commissie alle door haar gewenste inlichtingen te verschaffen, haar desgewenst de kas en de waarden te vertonen en inzage van de boeken en bescheiden der vereniging te geven.
7. De opdracht aan de commissie kan te allen tijde door de algemene vergadering worden herroepen, doch slechts door de benoeming van een andere commissie.

ALGEMENE VERGADERINGEN

Artikel 18

1. Aan de algemene vergadering komen in de vergadering alle bevoegdheden toe, die niet door de wet of de statuten aan het bestuur zijn opgedragen.
2. De Algemene Vergadering komt ten minste om de twee jaar bijeen, of op zodanige tijdstippen als het bestuur beslist. Het zal:
 - a. aanbevelingen doen aan het bestuur over de activiteiten van UILI;
 - b. op voordracht van het bestuur een voorzitter kiezen uit de leden van het bestuur die tot de volgende algemene vergadering zal fungeren en die normaliter niet langer dan twee opeenvolgende periodes in functie zal zijn. Opvolgende presidenten mogen geen lid zijn van dezelfde ledenvereniging;
 - c. kiest, op aanbeveling van de raad van bestuur, twee ondervoorzitters uit de leden van de raad van bestuur die tot de volgende algemene vergadering zullen dienen en die gewoonlijk niet meer dan twee opeenvolgende periodes zullen bekleden;
 - d. kiest, op aanbeveling van de raad van bestuur, een penningmeester uit de leden van de raad van bestuur, die zorgt voor de financiën van UILI en die tot de volgende algemene vergadering zal dienen en die normaal gesproken niet in functie is voor meer dan twee opeenvolgende periodes;
 - e. kiest, op aanbeveling van de raad van bestuur, een secretaris-generaal die tot de volgende algemene vergadering zal dienen en die gewoonlijk niet langer dan drie opeenvolgende periodes aanhoudt;
 - f. op aanbeveling van de raad van bestuur beslissen over het bedrag van de contributie tot de volgende algemene vergadering.
3. Jaarlijks, uiterlijk zes maanden na afloop van het verenigingsjaar, wordt een algemene vergadering - de jaarvergadering- gehouden. In de jaarvergadering komen onder meer aan de orde:
 - a. het jaarverslag en de rekening en verantwoording bedoeld in artikel 16 met het verslag van de aldaar bedoelde commissie;
 - b. de benoeming van de in artikel 16 genoemde commissie voor het volgende verenigingsjaar;
 - c. voorziening in eventueel andere vacatures;
 - d. voorstellen van het bestuur of van leden, aangekondigd bij de oproeping voor de vergadering.
 - e. het vaststellen van de begroting voor het alsdan volgende verenigingsjaar;
 - f. het vaststellen van de contributie voor het alsdan volgende

- verenigingsjaar;
- g. het bespreken van de belangen van de vereniging en die van haar leden;
 - h. het bepalen van de plaats, datum en tijdstip waarop de alsdan eerstvolgende jaarvergadering zal worden gehouden;
 - i. het bespreken van de verslagen van de in artikel 13 lid 3 bedoelde commissies.
4. Goedkeuring door de algemene vergadering van het jaarverslag en de rekening en verantwoording strekt het bestuur tot décharge.
 5. Indien de goedkeuring van de rekening en verantwoording wordt geweigerd, benoemt de algemene vergadering een andere commissie, bestaande uit tenminste drie leden, welke een nieuw onderzoek doet van de rekening en verantwoording.
 - a. Deze commissie heeft dezelfde bevoegdheden als de eerder benoemde commissie. Binnen één maand na de benoeming brengt deze aan de algemene vergadering verslag uit van haar bevindingen. Wordt dan ook de goedkeuring geweigerd dan neemt de algemene vergadering al die maatregelen welke door haar in het belang van de vereniging nodig geacht worden.
 6. Andere algemene vergaderingen worden gehouden zo dikwijls het bestuur dit wenselijk oordeelt.
 7. Voorts is het bestuur op schriftelijk verzoek van tenminste een zodanig aantal leden als bevoegd is tot het uitbrengen van één/tiende gedeelte der stemmen verplicht tot het bijeenroepen van een algemene vergadering op een termijn van niet langer dan vier weken.
 - a. Indien aan het verzoek binnen veertien dagen geen gevolg wordt gegeven, kunnen de verzoekers zelf tot die bijeenroeping overgaan door oproeping overeenkomstig artikel 18 of bij advertentie in tenminste één te * veel gelezen dagblad.

BUITENGEWONE ALGEMENE VERGADERING

1. Op verzoek van twee ledenorganisaties of 25 stemgerechtigde leden wordt binnen drie maanden een bijzondere algemene vergadering bijeengeroepen.
2. Het aanwezigheidsquorum van een speciale algemene vergadering bedraagt 25 stemgerechtigde leden. Op een speciale algemene vergadering heeft elk stemgerechtigd lid het recht om te stemmen (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard). De besluiten van de Speciale Algemene Vergadering kunnen echter alleen met een meerderheid van 75% worden uitgevoerd.

BIJEENROEPING ALGEMENE VERGADERING

Artikel 19

1. De algemene vergaderingen worden bijeengeroepen door het bestuur. De oproeping geschiedt schriftelijk aan de adressen van de leden volgens het leden-register bedoeld in artikel 4. De termijn voor de oproeping bedraagt tenminste veertien dagen.
2. Bij de oproeping worden de te behandelen onderwerpen vermeld.

3. Kennisgeving van een Algemene Vergadering moet worden gegeven aan de Ledenverenigingen en aan elk gewoon lid ten minste vier maanden voor de vervaldatum.
4. Ledenverenigingen en gewone leden hebben het recht de secretaris-generaal op de hoogte te stellen van elke kwestie die zij op de agenda van de algemene vergadering willen plaatsen. Dergelijke verzoeken moeten minstens twee maanden voor de algemene vergadering schriftelijk worden ingediend.

TOEGANG EN STEMRECHT

Artikel 20

Op een algemene vergadering heeft elk aanwezig gewoon lid het recht om te stemmen (geen stemmen voor volmacht worden aanvaard). De beslissingen van de Algemene Vergadering kunnen echter alleen worden genomen met een meerderheid van 75 procent van de stemmen.

1. Waarnemers kunnen op uitnodiging aanwezig zijn en spreken in een algemene vergadering, maar mogen niet over de beraadslaging beslissen.

Artikel 21

1. Alle leden hebben toegang tot de algemene vergadering uitgezonderd geschorste leden.
2. Over toelating van anderen, dan de in lid 1 bedoelde personen beslist de algemene vergadering.
3. Ieder lid, dat niet geschorst is, heeft één stem.
4. Ieder lid kan zich door zijn/haar echtgeno(o)t(e) doen vertegenwoordigen; hij/zij kan zich ook door een ander lid doen vertegenwoordigen, mits laatstgenoemde door het desbetreffende lid schriftelijk daartoe is gemachtigd en de machtiging voor de aanvang van de vergadering aan de voorzitter is overgelegd.

VOORZITTERSCHAP - NOTULEN

Artikel 22

1. De algemene vergaderingen worden geleid door de voorzitter van de vereniging of zijn eerste plaatsvervanger.
 1. Ontbreken de voorzitter en zijn eerste plaatsvervanger, dan treedt één der andere bestuursleden als voorzitter op.
2. Wordt ook op deze wijze niet in het voorzitterschap voorzien, dan voorziet de vergadering daarin zelve.
3. Van het verhandelde in elke vergadering worden door de secretaris of een ander door de voorzitter daartoe aangewezen persoon notulen gemaakt, die door de voorzitter en de notulist worden vastgesteld en ondertekend.
4. Zij die de vergadering bijeenroepen kunnen een notarieel proces-verbaal van het verhandelde doen opmaken.
5. De inhoud van de notulen of het proces-verbaal wordt ter kennis van de leden gebracht.

BESLUITVORMING VAN DE ALGEMENE VERGADERING

Artikel 23

1. Het ter algemene vergadering uitgesproken oordeel van de voorzitter omtrent

de uitslag van een stemming is beslissend. Hetzelfde geldt voor de inhoud van een genomen besluit, voor zover werd gestemd over een niet schriftelijk vastgelegd voorstel.

2. Wordt echter onmiddellijk na het uitspreken van het in het eerste lid bedoeld oordeel de juistheid daarvan betwist, dan vindt een nieuwe stemming plaats, wanneer de meerderheid der vergadering of, indien de oorspronkelijke stemming niet hoofdelijk of schriftelijk geschiedde, een stemgerechtigde aanwezige dit verlangt. Door deze nieuwe stemming vervallen de rechtsgevolgen van de oorspronkelijke stemming.
3. Voor zover de statuten of de wet niet anders bepalen, worden alle besluiten van de algemene vergadering genomen met gewone meerderheid van de uitgebrachte stemmen.
4. Onder stemmen worden in dit artikel verstaan geldig uitgebrachte stemmen, zodat niet in aanmerking komen blanco- en met de naam van het stemmend lid ondertekende stemmen.
5. Bij stemming over personen is hij gekozen, die de gewone meerderheid der uitgebrachte stemmen op zich heeft verenigd.
Indien niemand die meerderheid heeft verkregen wordt een tweede stemming gehouden tussen de personen, die het grootste aantal der uitgebrachte stemmen hebben verkregen en is hij gekozen, die bij die tweede stemming de gewone meerderheid der uitgebrachte stemmen op zich heeft verenigd. Indien bij die tweede stemming de stemmen staken beslist het lot.
6. Bij staking van stemmen over zaken wordt het voorstel geacht te zijn verworpen.
7. Stemmingen over personen geschieden schriftelijk; alle andere stemmingen geschieden mondeling, tenzij de voorzitter een schriftelijke stemming gewenst acht of één der stemgerechtigden zulks voor de stemming verlangt. Schriftelijke stemming geschiedt bij ongetekende gesloten briefjes. Besluitvorming bij acclamatie is mogelijk, tenzij een stemgerechtigde hoofdelijke stemming verlangt.
8. Een éénstemmig besluit van alle leden, ook al zijn deze niet in een vergadering bijeen, heeft, mits met voorkennis van het bestuur genomen, dezelfde kracht als een besluit van de algemene vergadering.
9. Zolang in een algemene vergadering alle leden aanwezig of vertegenwoordigd zijn, kunnen geldige besluiten worden genomen, mits met algemene stemmen, omtrent alle aan de orde komende onderwerpen - dus mede een voorstel tot statutenwijziging of tot ontbinding - ook al heeft geen oproeping plaats gehad of is deze niet op de voorgeschreven wijze geschiedt of is enig ander voorschrift omtrent het oproepen en houden van vergaderingen of een daarmee verband houdende formaliteit niet in acht genomen.

STATUTENWIJZIGING

Artikel 24

1. Behoudens het in artikel 23 lid 9 bepaalde geval, kan in de statuten van de

vereniging geen verandering worden gebracht dan door een besluit van een algemene vergadering, waartoe is opgeroepen met de mededeling dat aldaar wijziging van de statuten zal worden voorgesteld.

2. Zij die de oproeping tot de algemene vergadering ter behandeling van een voorstel tot statutenwijziging hebben gedaan, moeten tenminste vijf dagen voor de vergadering een afschrift van dat voorstel, waarin de voorgedragen wijziging woordelijk is opgenomen, op een daartoe geschikte plaats voor de leden ter inzage leggen tot na afloop van de dag waarop de vergadering wordt gehouden.
3. Een besluit tot statutenwijziging behoeft tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen, in een vergadering waarin tenminste twee/derde van de leden tegenwoordig- of vertegenwoordigd is.
4. Is niet twee/derde van de leden tegenwoordig- of vertegenwoordigd dan wordt binnen vier weken daarna (doch niet eerder dan één week daarna) een tweede vergadering bijeengeroepen en gehouden, waarin over het voorstel zoals in de vorige vergadering aan de orde is geweest, ongeacht het aantal tegenwoordige- of vertegenwoordigde leden, kan worden besloten, mits met meerderheid van tenminste twee/derde van de uitgebrachte stemmen.
5. Een statutenwijziging treedt niet in werking dan nadat hiervan een notariële akte is opgemaakt. Tot het doen verlijden van de akte is ieder bestuurslid bevoegd.

ONTBINDING

Artikel 25

1. De vereniging kan worden ontbonden door een besluit van de algemene vergadering. Het bepaalde in de leden 1, 2 en 3 van het voorgaande artikel is van overeenkomstige toepassing.
2. Indien de vereniging wordt ontbonden, beslist de algemene vergadering over het gebruik dat van de activa wordt gemaakt in overeenstemming met de wettelijke vereisten.
3. Indien bij een besluit tot ontbinding geen vereffenaars zijn aangewezen, geschiedt de vereffening door het bestuur.
4. Eventuele openstaande schulden die mogelijk door de vereniging zijn opgelopen, zullen in gelijke verhoudingen worden betaald door alle leden behalve de ereleden.
5. Een eventueel batig saldo zal worden aangewend voor door de algemene vergadering te bepalen zodanige doeleinden, als het meest met het doel der vereniging overeenstemmen.
3. Na de ontbinding blijft de vereniging voort bestaan voor zover dit tot vereffening van haar vermogen nodig is. Gedurende de vereffening blijven de bepalingen van de statuten en reglementen voor zover mogelijk van kracht. In stukken en aankondigingen die van de vereniging uitgaan, moeten aan haar naam worden toegevoegd de woorden: "in liquidatie".

HUISHOUDELIJK REGLEMENT

Artikel 26

1. De algemene vergadering kan een huishoudelijk reglement vaststellen.
2. Het huishoudelijk reglement mag niet in strijd zijn met de wet, ook waar die geen dwingend recht bevat, noch met de statuten.

SLOTBEPALING

Artikel 27

In alle gevallen waarin deze statuten en het huishoudelijk reglement niet voorzien, beslist het bestuur.

OVERGANGSBEPALING

Artikel 28

1. In afwijking van hetgeen hierboven ten aanzien van het benoemen van het bestuur is bepaald, zullen voor de eerste maal als bestuursleden optreden:
 - a. *
 - b. *
2. Het eerste boekjaar van de vereniging eindigt op *.

Voor de tenuitvoerlegging van deze akte en alle gevolgen daarvan wordt woonplaats gekozen ten kantore van de notaris, wettige bewaarder van de minuut van deze akte.

De comparant is mij, notaris, bekend. *Van de volmacht op de comparant is mij, notaris, genoegzaam gebleken*.

Waarvan akte in minuut opgemaakt is verleden te Geertruidenberg op de datum in het hoofd van deze akte vermeld.

Na zakelijke opgave van de inhoud van deze akte aan de comparant heeft hij verklaard van de inhoud van deze akte te hebben kennis genomen en op volledige voorlezing daarvan geen prijs te stellen.

Vervolgens is deze akte na beperkte voorlezing door de comparant en mij, notaris, ondertekend.

Management Report

UILI

For the period ended September 30, 2019

資料E



Prepared on

October 22, 2019

Table of Contents

Profit and Loss	3
Balance Sheet.....	4

Profit and Loss

January - September, 2019

	Total
INCOME	
Membership	
Associations	25,083.00
Organizations	1,620.00
Total Membership	26,703.00
Total Income	26,703.00
COST OF SALES	
Cost of sales	
Bad Debt	
Membership bad debt	4,620.00
Total Bad Debt	4,620.00
Total Cost of sales	4,620.00
Total Cost of Sales	4,620.00
GROSS PROFIT	22,083.00
EXPENSES	
Administration	
Office	313.50
Secretariat	12,750.00
Total Administration	13,063.50
Advocacy	
Conferences	662.28
Membership dues	1,694.81
Total Advocacy	2,357.09
Financial	
Bank charges	163.01
Total Financial	163.01
Internet	
Hosting	1,712.52
Software	2,288.18
Utilities	254.66
Total Internet	4,255.36
Total Expenses	19,838.96
NET EARNINGS	€2,244.04

Balance Sheet

As of September 30, 2019

	Total
ASSETS	
Current Assets	
Accounts receivable	
Accounts Receivable (A/R)	1,496.50
Total Accounts receivable	1,496.50
Bank	
ABN AMRO Bank 0533251109	51,996.43
Total Bank	51,996.43
Current assets	
Amounts still to be received	532.50
Total Current assets	532.50
Total Current Assets	54,025.43
Total Assets	€54,025.43
LIABILITIES AND SHAREHOLDER'S EQUITY	
Current liabilities:	
Accounts payable	
Accounts Payable (A/P)	449.00
Total Accounts payable	449.00
Total current liabilities	449.00
Shareholders' equity:	
Net Income	2,244.04
Retained Earnings	51,332.39
Total shareholders' equity	53,576.43
Total liabilities and equity	54,025.43

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمىملا تاربت عوملك ولوهولدا داخاتالدا
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

FINANCIAL REPORT 2019

Budget 2020

القوسمىملا تاربت عوملك ولوهولدا داخاتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمىملا تاربت عوملك ولوهولدا داخاتالدا
國際獨立研究所連合會
FOUNDED 1960

Budget 2020-2022	Budget 2020	Budget 2021
Income	33.000,00	33.000,00
Membership	23.000,000	23.000,00
ILP	4.000,00	4.000,00
Events	4.000,00	4.000,00
Projects	2.000,00	2.000,000
Expences	33.000,00	33.000,00
Administration	22.000,00	22.000,00
- Secretary	13.000,00	13.000,00
- Digital marketing	3.000,00	3.000,00
- Website	4.000,00	4.000,00
- Office expence	2.000,00	2.000,00
Advocacy		
- Memberships	2.000,00	2.000,00
- Travel	2.000,00	2.000,00
Financial	1.000,00	1.000,00
Events	6.000,00	6.000,00
ILP	P.M.	P.M.

القوسمىملا تاربت عوملك ولوهولدا داخاتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合會

INSTRUCTION SHEET

July 25, 2019

1. Test name

22nd UILI Interlaboratory Practice 2019 Analysis of Trace Compounds in Powder

Aimed as a global exercise for laboratories in different countries of the world

2. Provider

ILP Committee, Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI)

3. Time schedule

- a) Application Deadline: August 2, 2019
- b) Sample Distribution: August 2, 2019
- c) Payment Deadline: August 12, 2019
- d) Reporting Deadline: September 10, 2019
- e) Final Report Issue: January 2020

[NOTE]

- Reports including resubmitting after due date are unacceptable.
- Date of sample distribution differs among participants according to application date and shipping condition.

4. Method of participation

Submit sheet "PARTICIPANT CONTACT DETAILS" attached or include the following information in your email to UILI secretary at <secretariat@uili.org> by August 2, 2019 .

✓ ILP Number / Name	<i>22nd Analysis of Trace Compounds in Powder</i>
✓ Participation	<i>Company name, Contact person, Subscriber email, Phone number</i>
✓ Sample delivery	<i>Company name, House name, Street, House number, P.O. Box, Section, Postal code, City, State, Country</i>
✓ Invoicing	<i>Company name, VAT / Tax ID / NIF / CIF number, Contact person, Invoice email</i>
✓ Reporting	<i>Contact person, Report email</i>

5. Participation fee

a) Participation fee

- UILI Member: 225EUR (for 1 set, not for 1 bottle)
- UILI Non-Member: 325EUR (for 1 set, not for 1 bottle)

b) Payment

Invoice will be sent to participants by email after application is completed.

Payment is in wire-transfer to UILI account below before August 12, 2019 .
ABN AMRO BANK - BIC: ABNANL2A - IBAN: NL79ABNA0533251109

- 1) Participants newly enroll in UILI-ILP will not receive testing samples until the payment.
- 2) Participant who has credit history will not receive the final report until the payment.
- 3) If unexpected additional cost had occurred at custom of participant's location which is beyond UILI's control, we may add to your invoice. The rate will be determined by the custom or sample carrier (FedEx or EMS), not UILI.

c) Participation fee includes:

- 1) Testing sample
- 2) Shipping charge for sample
- 3) Final report in electronic format
- 4) Certificate in electronic format

d) Cancel Policy

- 1) Cancellation notice should be sent to UILI secretary at <secretariat@uili.org> before August 12, 2019 or day prior to the sample shipment, including “laboratory name” and “reason why the laboratory must cancel”.
- 2) If cancellation is received after sample shipment, UILI will charge 100% of the participation fee to the laboratory.

6. Testing Sample

a) The name of testing sample is printed on each label.

Sample1: UILI-ILP22-2019 powder-1

Sample2: UILI-ILP22-2019 powder-2

b) Container of testing sample.

Both of Sample 1 & 2 are contained in a brown glass bottle .

c) Sample shipment

- 1) Participants will receive sample from its country's UILI member association or from the test's provider partner “Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)” by FedEx or EMS.
- 2) UILI will notify tracking number to the association or participating laboratory after sample has been shipped.

7. Targets (2 items)

Total Mercury (T-Hg) PCB

a) Expected concentration range

Target's concentration ranges expected in the sample are shown in list below.

Target	Concentration Range		Unit: mg/kg
	Sample 1 UILI-ILP22-2019 powder-1	Sample 2 UILI-ILP22-2019 powder-2	
Total Mercury (T-Hg)	0.1 - 2	0.1 - 2	
PCB	0.1 - 2	0.1 - 2	

b) The sample has no “Certified Value”.

8. Analytical procedure

Pretreatment, extraction, and analytical method is not designated in the test. Participants are requested to select analysis methods from "METHODS FOR PRE-TREATMENT, EXTRACTION, AND INSTRUMENTAL MEASUREMENT" attached, and indicate the number for each target in reporting sheet "RESULT OF ANALYSIS FOR 22ND UILI-ILP".
Correction for water content is unnecessary.

9. Data reporting

- a) Conduct 2 independent analyses for each Sample 1 and 2 from sample preparation and extraction including weighing, and report the "mean value" of those 2 data. In case that analysis was not able to conduct twice, report 1 data.
- b) Conduct pretreatment to Sample 1 and 2 as needed.
- c) Report a data set of Sample 1 and 2 (No reporting only either of them). The data is requested to be **rounded in 3 significant figures**. Report also the date of analysis.
- d) Participants are required to report at least one of any of the targets.
- e) Reporting rules.
 - i. Participants are requested to indicate method No. of "Pre-treatment and extraction" and "Measurement by Instrument" referring to table (A) and (B) of "METHODS FOR PRE-TREATMENT, EXTRACTION, AND INSTRUMENTAL MEASUREMENT". If you selected more than 2 methods combined, report all method numbers in the column.
The "METHODS FOR PRE-TREATMENT, EXTRACTION, AND INSTRUMENTAL MEASUREMENT" will be disclosed by the timing of sample distribution.
 - ii. Participants **selected method "others" are requested to indicate the specific method name in column "notes"**. If method was selected "others" and column "notes" was left blank, UILI will require resubmitting of the report.
 - iii. Participants are requested to use Use unit mg/kg when reporting.
Correction for water content is unnecessary.
 - iv. Use format "RESULT OF ANALYSIS FOR 22ND UILI-ILP" when reporting and resubmitting. Results reported in different format is unacceptable. If non-UILI format is submitted, UILI will require resubmitting of the report.
- f) Submit the report to UILI secretary at <secretariat@uili.org> by September 10, 2019
Reports after due date are unacceptable which is the same in the case of resubmitting.

10. Final report

- a) Final report will be issued around January 2020 .
- b) Final report will be issued in electronic format.
- c) Statistical analysis and corresponding standards expected to be used in the final report are Quartile Method (APLAC T002), z-score (ISO/IEC 17043), and Confidence Ellipse for “Youden-Plot” (ISO 13528).
- d) As far as analytical method is not designated for this test and median value is not always equal to “true value”, evaluation by statistic will be inadequate.
- e) Final report includes a list of participating laboratories and list of results, however, reporting laboratories here are indicated in ID numbers for confidential reason. Each participant will be informed its number in a separate letter attached to the final report.

11. Others

- a) This test and test results (final report) are not aimed to evaluate the performance of laboratories or its personnel by the test organizer nor third party.
- b) Participants will receive a certificate for participation in electric format issued by UIII.
- c) This announcement is not the final version until sample distribution. We encourage applicants to check the latest information.



UIILI GOVERNING BOARD

UIILI position	Name	Representig Country	Member Association
President	Drs. Luc H A Scholtis	The Netherlands	VRS
Past President	Dr. Manahén Fernandez-Alonso	Spain	
Honorary Member			
Vice President	Dr. Alvaro Silva Ribeiro	Portugal	RELACRE
Vice President	Mr. Jorge Oliver-Rodés	Spain	AELI
Treasurer	Dr. Toru Matsumura	Japan	JEMCA
Secretary General	Ms. Mary-Anne Adeeko	Nigeria	IPAN
	Dr. J. Horacio Denari	Argentina	CALIBA
	Mr. Gabriel Fonseca	Colombia	ASOCOLAB
	Mr. N. Kalyan	India	AOIL
	Mr. Gib G McIntee	Canada	CCIL
	Dr. Femi Oyediran	Nigeria	SOTLAN
	Mr. José Luis Sanchez	Europe	EUROLAB
	Dr. Alfredo Montes-Niño	Brazil	Unaffiliated Representative S-Hemisphere
	Ir. Jan Soers	Belgium	Unaffiliated Representative N-Hemisphere

AELI	Asociación Española de Laboratorios Independientes
AOIL	Association of Indian Laboratories
ASOCOLAB	Asociación Colombiana de Laboratorios
CALIBA	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines
CCIL	Canadian Council of Independent Laboratories
EUROLAB	European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories
IPAN	Institute of Public Analysts of Nigeria
JEMCA	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association
RELACRE	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal
SOTLAN	The Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria
VRS	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria

Methods for pre-treatment and instrumental measurement

Be ware that the method number below is not consecutive which is due to operating system of the UILI-ILP.

(*)Participants who chose "Others" are requested to indicate name of the method briefly in column "notes".

(A) Pre-treatment and extraction

No.	Method	Abbreviation
A03	Acid decomposition	AD
A41	Alkali digestion – Sulfuric acid pretreatment	ALD-S
A42	Alkali digestion – Silica gel column chromatography	ALD-SCC
A43	Alkali digestion – Liquid-liquid extraction	ALD-LL
A49	*Other pretreatment combined with Alkali digestion	ALD-O
A51	Soxhlet extraction – Sulfuric acid pretreatment	SX-S
A52	Soxhlet extraction – Silica gel column chromatography	SX- SCC
A53	Soxhlet extraction – Liquid-liquid extraction	SX-LL
A59	*Other pretreatment combined with Soxhlet extraction	SX-O
A99	*Others	Others

(B) Measurement by Instrument

No.	Method	Abbreviation
B03	Atomic absorption spectrophotometry (flame)	AAS
B04	Atomic absorption spectrophotometry (furnace)	ETAAS
B06	ICP-MS	ICP-MS
B31	Cold vapor atomic absorption spectrophotometry	CVAAS
B32	Heating vaporization atomic absorption spectrometry	HVAAS
B61	GC/ECD (packed column)	ECD-packed
B62	GC/ECD (capillary column)	ECD-cap
B71	GC/QMS	QMS
B72	GC/HRMS	HRMS
B99	*Others	Others



Asociación Española de Laboratorios Independientes
CIF G-08822959 – Domicilio social: c/. Alenza, 1 – 28003 Madrid
Teléfono y Fax: 91 399 01 74 – e-mail: aeli@aeli.org

Spanish Association of Independent Laboratories

REPORT OF ACTIVITIES FROM SPAIN ON 2018



INDEX

1.

AELI Meetings, Assemblies and Boards of Directors

2.

Meetings: Laboratory Networks / Sectorial Technical Groups of Laboratories

- 2.1 – Meetings of network of Laboratory for Pharmaceutical and Medical Devices (AELI).
- 2.2 – Group Meetings “Ad-hoc NT-19” (FELAB NT-19)
- 2.3 – Group Meetings “Ad-hoc CEA-ENAC-20N” (FELAB CEA-ENAC-20) (previously NT-32)
- 2.4 – Group Meetings “Ad-hoc NT-Test Methods” (FELAB NT-ME)
- 2.5 – Group Meetings “Ad-hoc CGA” (FELAB CGA)
- 2.6 – Group Meetings “Ad-hoc Guide Kits” (FELAB G-Kits)
- 2.7 – Group Meetings “Ad-hoc NT-Prog. Accreditation” (FELAB Prog. Accreditation)
 - 2.7.1. – Subgroup Ad-hoc “NT-Prog. Accreditation Food Industry” (FELAB Prog. Accreditation Food Industry)
 - 2.7.2. – Subgroup Ad-hoc “NT-Prog. Accreditation in Waters” (FELAB Prog. Accreditation in Waters)
- 2.8 – Group Meetings “Ad-hoc CEA-ENAC-01 (FELAB CEA-ENAC-01)
- 2.9 – Group Meetings “Ad-hoc NT-20” (FELAB NT-20)
- 2.10 – Group Meetings “Ad-hoc NT-03” (FELAB NT-03)
- 2.11 – Group Meetings “Ad-hoc NT-86” (FELAB NT-86)
- 2.12 – Group Meetings “Ad-hoc NT-74” (FELAB NT-74)
- 2.13 – Group Meetings “CTA-PPI ENAC” (FELAB CTA-PPI-ENAC)

3.

Events: Symposium, Conferences and Congresses

- 3.1 - XIV Symposium FELAB
- 3.2 – V Ibero-American Congress of Laboratories and I International Congress of the Conformity Assessment
- 3.3 - I OC&LAB Day: Environment



4.

Another meeting of AELI and FELAB

4.1 - Other meetings under AELI

4.2 - Other meetings under FELAB

4.3 - Other meetings / Events / Conferences attended by FELAB staff

5.

Other activities of Technical Groups or networks

5.1 - Metrology network

6.

Meetings with the Administration and other Organizations: allegations, meetings and technical documents

6.1 - Allegations legislative projects

6.1.1 - Allegations to legislative projects from AELI

6.1.2. - Allegations to legislative projects from FELAB

6.2 - Meetings with Administration and other Organizations

6.2.1 - Meetings with Administration and other Organizations by AELI

6.2.2 - Meetings with Administration and other Organizations by FELAB

6.3 - Technical documents that AELI / FELAB has collaborated with ENAC

7.

Communication and broadcast: circulars, newsletters, websites and social networks

8.

Formation Plan

9.

Inter-comparison



10.
Social policy of AELI / FELAB and his collaborators

11.
Support for the business of the laboratories

12.
AELI representatives in UILI to 2018/12/31

13.
The Board of AELI (2018/12/31)

14.
AELI partners



1.

AELI Meetings, Assemblies and Boards of Directors

- Ordinary Meeting / General Assembly 1/2018 → 2018-05-10
- Board Meeting 1/2018 → 2018-05-10
- Board Meeting (Constitution new Board of Directors, after General Assembly) 2/2018 → 2018-05-10
- Board Meeting 3/2018 → 2018-11-29

2.

Meetings: Laboratory Networks / Sectorial Technical Groups of Laboratories

2.1 Meetings of network of Laboratory for Pharmaceutical and Medical Devices (AELI).

On November 16 2011, the AELI Board approved the creation of the Representation of AELI for the Pharmaceutical and Health Products Sector.

The main task of such a group is to act as interlocutor with the Spanish Agency of Medicines and Health Products (AEMPS), under the Ministry of Health, Social Services and Equality.

The Group is currently inactive.

During 2018, this Group has not had any activity.



2.2 Group Meetings “Ad-hoc NT-19” (FELAB) or FELAB NT-19

The “Ad-hoc NT-19” Group or FELAN NT-19, is a group whose mission is to track revisions of the NT-19 “Testing Laboratories: accreditation of analysis of pesticide residues in food products”.

On 03/04/2018, Mrs. Irache Visiers requested to the Coordinator of the EA-LC Pesticides Group the latest draft of the EA Pesticides, the following answer being: "At this time the work of the Task Force is pending, therefore, there is now no document that is submitted for comment, when the Task Force finishes the work, it will be sent to the EA secretariat for further approval."

Note: It’s expected that when the document is approved it will be as a Guide.

The members of the Group on this occasion were:

LABORATORY	NAME	ASSOCIATION
AGQ LABS	ARANCHA BENITO NAVARRO RAMON BOUZA SILVIA JUAN	AELI
IQS PEINUSA	FRANCESC BROTO PUIG	EUROLAB-Spain
EUROFINS SIC AGRIQ	ISABEL VILLEGAS	AELI & EUROLAB-Spain
AINIA	MARIA FRONTERA BEGOÑA COMPANYY AMELIA MORENO	EUROLAB-Spain
AENOR LABORATORIO	AGUSTINA SÁNCHEZ	EUROLAB-Spain
LAB. TEC. DE LEVANTE	MIGUEL A. MARTÍNEZ MURO	EUROLAB-Spain
LABORATORIOS ECOSUR	LUIS COLL ALMELA M ^a CARMEN GARCÍA JIMENEZ	AELI & EUROLAB-Spain



TENTAMUS	JAVIER MARTINEZ	
	ELENA HERNANDEZ	AELI
	MARIA DEL MAR MARTIN	

The group coordinators to ENAC are:

- Mr. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
- Mrs. Arancha Benito Navarro (AGQ Labs & Tech Corporate, S.L)

2.3 – Group Meetings “Ad-hoc CEA-ENAC-20N” (FELAB CEA-ENAC-20) (previously NT-32)

The “Ad-hoc CEA-ENAC-20N” or “FELAB CEA-ENAC-20” is a group whose mission is to follow up the reviews of the CEA-ENAC-20 "Microbiological Analysis: Clarifying Document".

In 2014, internal work began to be carried out on object of being able to propose the revision of the CEA-ENAC-20 to ENAC.

These works currently, from 2018, are stopped, that after the meeting with ENAC, the information requested by ENAC on real cases would involve the identification of laboratories, which we understand is not applicable.

The group coordinators to ENAC are:

- Mr. Francisco García Andreu (LABAQUA, S.A.)
- Mr. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
- Mr. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL ISABEL II Gestión, S.A.)

Support to the Group:

- Mr. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
- Mrs. Arancha Benito Navarro (AGQ Labs & Tech Corpoprte, S.L.)

Note: Previously CEA-ENAC-20 was called NT-32, so that the CEA-ENAC-20 **Rev. 1 May 2017 Series 1 corresponded to NT-32 Rev. 5**



2.4 Group Meetings “Ad-hoc NT-Test Methods” (FELAB) or FELAB NT-Test Methods

The “Ad-hoc NT-Test Methods” Group or “FELAB NT-Test Methods”, is a group whose mission is to represent FELAB at the possibility of development by ENAC a Technical Note on Test Methods.

During 2019 it has not had activity, since from ENAC it has not returned to raise the possible draft of the mentioned Technical Note.

The group coordinators to ENAC are:

- Mr. Francisco Andrés García Andreu (LABAQUA, S.A.)
- Mr. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
- Mr. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)

2.5 Group Meetings “Ad-hoc CGA” or FELAB-CGA

The "Ad hoc CGA" Group or “FELAB-CGA” is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track document reviews CGA-ENAC-LEC "General Criteria for accreditation of Testing and Calibration Laboratories according to UNE-EN ISO/IEC 17025”.

The group coordinators to ENAC are:

- Mrs. Irache Visiers Sanz (APPLUS)
- Mr. Francisco Andrés García Andreu (LABAQUA, S.A.)

Support to the Group:

- Mr. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL ISABEL II Gestión, S.A.)
- Mr. Antonio Rosado Sanz (IPROMA, S.A.)
- Mr. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)



During the year, several comments were given to the revision of the CGA-ENAC-LEC for adaptation to the 2017 edition of ISO/IEC 17025.

- The consultation was carried out to all partners, on the basis of the proposed revision received from ENAC (2018/03/12).
- Several proposals and counter-proposals were crossed between ENAC and FELAB closing the review at a meeting held on 2018/05/12 between Mr. Ignacio Pina (ENAC), Mrs. Irache Visiers (FELAB/APPLUS), Mr. José Luis González (FELAB/EUROFINS) and Mr. Miguel Sánchez (FELAB), in a meeting.
- The process was protected at all times by the Boards of Directors of FELAB, AELI and EUROLAB.

The CGA-ENAC-LEC Rev is finally edited. 8 General Criteria for the accreditation of Testing and Calibration Laboratories according to UNE-EN ISO/IEC 17025 (September 2018).

2.6 Group Meetings “Ad-hoc Guide Kits” or FELAB G-Kits

The "Ad hoc Guide Kits" Group or “FELAB G-KITS” is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track documents that may be issued by ENAC in relation to test kits. This group was set up in 2016 at the request of ENAC to write a document on test kits. Finally, the type of document written by ENAC has been a Guide, which is not obligatory, instead of a Technical Note.

Its activity has not been necessary during 2018.



The group members are:

LABORATORY	NAME	ASSOCIATION
LABORATORIOS ECOSUR	LUIS COLL ALMELA	AELI & EUROLAB-Spain
LABAQUA	FRANCISCO GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
AGQ-Labs	RAMÓN BOUZA DEAÑO	AELI
PREMIUMLAB	MARC VIDAL	AELI
LABORATORIOS MUNUERA	JOSÉ A. AYALA	AELI & EUROLAB-Spain
IPROMA	IMMACULADA SOLIS	AELI & EUROLAB-Spain
AQUIMISA	ANA LÓPEZ OREJA RAQUEL MARTÍN ARROYO	AELI
AENOR Laboratorio	AGUSTINA SANCHEZ DÍAZ PABLO DE VICENTE	EUROLAB-Spain
AINIA	ROBERTO ORTUÑO	EUROLAB-Spain
LAB. TEC. LEVANTE	ALEJANDRO RODRIGO	EUROLAB-Spain
EUROFINS	RAQUEL PULIDO JOSÉ L. GONZÁLEZ	AELI & EUROLAB-Spain
SILLIKER	ROGER BENITO	AELI & EUROLAB-Spain
CANAL ISABEL II GESTION	PEDRO P. MORILLAS ALFONSO GONZÁLEZ DEL REY	EUROLAB-Spain



The coordinators are:

- Mr. Luis Coll Almela (Laboratorios ECOSUR, S.A.)
- Mr. Francisco García Andreu (LABAQUA, S.A.)

Complement the representation to ENAC:

- Mr. Ramón Bouza Deaño (AGQ Labs & Tech Corporate, S.L)
- Mr. Marc Vidal (PREMIUMLAB, S.L.)
- Mr. José Antonio Ayala Martí (LABORATORIOS MUNUERA, S.A.)

2.7 Group Meetings “Ad-hoc NT-Prog. Accreditation” or FELAB Prog. Accreditation

The "Ad hoc NT-Prog. Accreditation" Group or “FELAB Prog. Accreditation” is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to track documents that may be issued by ENAC in relation to the Accreditation Programs.

This group was set up in 2016 at the request of ENAC to write a document on Accreditation Programs.

As accreditation programs are being proposed to ENAC, different subgroups are formed for each theme.

2.7.1. Subgroup Ad-hoc NT-Accreditation Programs in Food or FELAB-Accreditation Programs in Foods.

It was constituted in 2016, the members of the Subgroup are:



LABORATORY	NAME	ASSOCIATION
LABORATORIOS ECOSUR	LUIS COLL ALMELA JULIO HERNANDEZ	AELI & EUROLAB-Spain
DIPGRA	MONTSERRAT FERNANDEZ	EUROLAB-Spain
AGQ-Labs	ARANCHA BENITO	AELI
PREMIUMLAB	CATHERINE VIDAL MARC VIDAL	AELI
ALKEMI	MILAGROS VÁZQUEZ	EUROLAB-Spain
AQUIMISA	ANA LÓPEZ OREJA	AELI
AENOR Laboratorio	AGUSTINA SÁNCHEZ PABLO DE VICENTE LÓPEZ	EUROLAN-Spain
AINIA	ROBERTO ORTUÑO	EUROLAB-Spain
EUROFINS	JAVIER MELÉNDEZ	AELI & EUROLAB-Spain
SILLIKER	JOSEP MESTRES	AELI & EUROLAB-Spain
CNTA	JAVIER I. JAUREGUI	EUROLAB-Spain

The group interlocutors to ENAC are:

- Mr. Julio Hernández Pérez (FELAB President)
- Mr. José Mestres Lagarriga (AELI Vicepresident)
- Mr. Miguel Sánchez Fernández (FELAB Manager)

Finally, it has given rise to three documents published by ENAC in January 2017.



NT-70.01 Rev. 1 Accreditation Program: Essays for Nutritional Information (January 2017).

NT-70.02 Rev. 1 Accreditation Program: Essays microbiological foods (January 2017).

NT-70.03 Rev. 1 Accreditation Program: Essays gluten and food allergens (January 2017).

During 2018, all partners were consulted on new accreditation programmes that gave rise to ENAC's publication of:

NT-70.05 Rev. 1 Accreditation Program: "Chemical Physical Tests of Wines" (June 2018).

NT-70.06 Rev. 1 Accreditation Program: "Chemical physical tests of olive oils and olive pomace oils" (June 2018).

NT-70.07 Rev. 1 Accreditation Program: "Chemical physical tests of CE fertilizers and other fertilizer products" (September 2018).

2.7.2. – Subgroup Ad-hoc “NT-Prog. Accreditation in Waters” or FELAB Prog. Accreditation in Waters

It was constituted in 2017, the members of the Subgroup are:

LABORATORY	NAME	ASSOCIATION
CANAL DE ISABEL II	ALFONSO G. DEL REY	AELI & EUROLAB-Spain
LABORATORIOS ECOSUR	LUIS COLL Ma. CARMEN GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
IPROMA	BEGOÑA GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
TENTAMUS	SERGIO MARCOS Ma. PAZ GONZÁLEZ	AELI
MICROAL	MARIANO BARROSO MANUEL SANTIAGO	AELI



LABAQUA	FRANCISCO GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
LAB. DR. OLIVER RODÉS	MARTA PEDEMONTE	AELI
LAB. MUNUERA	MARIANO PARRA	AELI & EUROLAB-Spain
AQUIMISA	ANA LÓPEZ RAQUEL MARTÍN	AELI
DIPGRA	C. BEATRIZ NAVASCUÉS	EUROLAB-Spain

On 2018-11-16 at 12:00 a presentation is made in ENAC to the member of the Group about the programs:

- Accreditation Program for Swimming Pool Waters.
- Accreditation Program for Human Consumption Waters.

The work of the Group and proposal to ENAC was carried out throughout the first quarter of 2018.

The interlocutors before ENAC are the Board of FELAB.

Finally, the programmes were given to the following:

NT-70.04 Rev. 1 Accreditation Program Control of pool water quality (May 2018).

NT-70.08 Rev. 1 Accreditation Programs: "Control of the quality of water for human consumption" (October 2018).

2.8 Group Meetings “Ad-hoc CEA-ENAC-01” or FELAB CEA-ENAC-01

The "Ad hoc CEA-ENAC" Group or “FELAB CEA-ENAC” is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to follow up documents that may be issued by ENAC in relation to the use of the ENAC mark.



This group was constituted in 2016 with the requirement of ENAC to draft a document related to the programs of accreditation. Finally, it has given origin to the documents published by ENAC:

- CEA-ENAC-01 "Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status" (April 2016).

Replaced by

- CEA-ENAC-01 "Criteria for the use of the ENAC mark or reference to the accredited status" (October 2016).

The group interlocutors to ENAC are:

- Mr. José Mestres Lagarriga (AELI Vicepresident)
- Mr. Miguel Sánchez Fernández (FELAB-AELI/EUROLAB)

The group in this case, is the database of all associates who have provided information.

During 2018, this Group has not had any activity.

2.9 Meetings Group "Ad-hoc NT-20" or FELAB-NT-20

The "Ad hoc CEA-ENAC" or "FELAB CEA-ENAC" is a group whose mission is to represent FELAB to ENAC, to follow up on the documents that may be issued by ENAC in relation to the "Scopes of accreditation: water tests".

The group was formed in 2017, and is composed of:



LABORATORY	NAME	ASSOCIATION
CANAL DE ISABEL II	ALFONSO G. DEL REY	AELI & EUROLAB-Spain
LABORATORIOS ECOSUR	LUIS COLL Ma. CARMEN GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
IPROMA	BEGOÑA GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
TENTAMUS	SERGIO MARCOS Ma. PAZ GONZÁLEZ	AELI
MICROAL	MARIANO BARROSO MANUEL SANTIAGO	AELI
LABAQUA	FRANCISCO GARCÍA	AELI & EUROLAB-Spain
LAB. DR. OLIVER RODÉS	MARTA PEDEMONTE	AELI
LAB. MUNUERA	MARIANO PARRA	AELI & EUROLAB-Spain
AQUIMISA	ANA LÓPEZ RAQUEL MARTÍN	AELI
DIPGRA	C. BEATRIZ NAVASCUÉS	EUROLAB-Spain

The interlocutors to ENAC are:

- Mr. Francisco García Andreu (LABAQUA, S.A.)
- Mrs. Carmen Beatriz Navascués Ortega (DIPGRA)
- Mr. Miguel Sánchez Fernández (FELAB -AELI / EUROLAB)

Note: The works and contributions of FELAB to ENAC have continued during 2019.

The new NT-20 Rev. 4 was finally published by ENAC in March 2019.



2.10 Meetings Group "Ad-hoc NT-03" or FELAB-NT-03

The "Ad hoc NT-03" or "FELAB NT-03" Group is a group whose mission is to represent FELAB before ENAC, to follow up on documents that ENAC may issue in relation to ENAC's Intercomparison Policy.

During 2018 ENAC consulted with FELAB the revision of the aforementioned document.

Acted as members of the Ad-hoc Group, the Boards of Directors of FELAB, AELI and EUROLAB-Spain.

The revision of that document resulted in the issuance by ENAC of the document: NT-03 Rev. 6 ENAC Intercomparison Policy (June 2018).

2.11 Meetings Group "Ad-hoc NT-86" or FELAB-NT-86

The "Ad hoc NT-86" or "FELAB NT-86" Group is a group whose mission is to represent FELAB before ENAC, to follow up on documents that ENAC may issue in relation to "Testing and calibration laboratories: identification of methods in accreditation scopes and actions to take if reviewed."

During 2018 ENAC consulted with FELAB the revision of the aforementioned document. A meeting of the Technical Director of ENAC with the members of the Boards of Directors of FELAB, AELI and EUROLAB, on 2018/03/08, was held.

Finally, ENAC gave rise to the document:

NT-86 Rev. 3 (May 2018) "Testing and calibration laboratories: identification of methods in the scopes of accreditation and actions to be taken if reviewed".



2.11 Meetings Group "Ad-hoc NT-74 or FELAB-NT-74"

The "Ad hoc NT-74" or "FELAB NT-74" Group is a group whose mission is to represent FELAB before ENAC, to follow up on documents that ENAC can issue in relation to ENAC's "Metrological Traceability Policy".

During 2018 ENAC consulted with FELAB the revision of the aforementioned document. The consultation was transferred to all AELI and EUROLAB-Spain partners.

Finally, ENAC gave rise to the document:

NT-74 Rev. 1 (July 2018) "ENAC Metrological Traceability Policy".

2.13 Meetings FELAB Group "Technical Committee Program Provider Advisor Intercomparison of ENAC (ENAC CTA - PPI)"

In 2017, ENAC has set up the Technical Advisory Committee of Suppliers of Intercomparison Programs (CTA - PPI), inviting FELAB to incorporate two representatives, one for the test area and another for the calibration area.

The representatives appointed by FELAB for the Group are:

- Mrs. Paula López Pavón (SGS)
- Mrs. Marta Fernández Maní (CEIS)

ENAC substitutes:

- Mr. Juan Carlos Aranda Arribas (TÜV SÜD AMT, S.A.U.)
- Mrs. Esther Serrano Cavia (APPLUS)

For the internal purposes of FELAB, the four constitute a group without distinction of holders and substitutes, being the coordinator of the Group, Mrs. Paula López Pavón.

In 2018, the CTA-PPI, met on 2018-17-09.

This Group reports to FELAB Management in case it is considered that it is necessary to take positions.



3.

Events: Symposium, Conferences and Congresses

3.1 XIV Symposium FELAB

Under the heading "Present and Future of the Evaluation Sector of the Conformity. Monitoring of Legal and Technical Issues", the XIV Symposium FELAB was held in Madrid on March 8, 2018, organized by FELAB with the collaboration of:

- AELI
- EUROLAB-Spain
- EUROLAB-aisbl
- ENAC
- Ministerio de Economía, Industria y Competitividad
- Centro Español de Metrología (CEM)
- RELACRE
- GEDETH NETWORK
- Observatorio de Contratación Pública
- Máster en Contratación Pública (UCLM)

Where the following conferences were held:

"Law 9/2017 of 8 November on Public Sector Contracts transposing into Spanish legal order Directives of the European Parliament and of the Council 2014/23/EU and 2014/24/EU of 26 February 2014":

Dr. José Antonio Moreno Molina.

Co-Director

Public Procurement Observatory

Professor of Administrative Law at the University of Castilla-La Mancha.



"Free Trade Agreements: Negotiation":

Mr. Blas Francisco Vicente López.

Deputy Assistant Director-General for Foreign Trade Inspection,
Certification and Technical Assistance.

Secretary of State for Trade.

Ministry of Economy, Industry and Competitiveness.

Mr. Juan Millán Mateu.

Partner-Director.

GEDETH Network.

"Comparative and Transition from ISO/IEC 17025:2005 to ISO/IEC 17025:2017 / Approach of the European Federation of National Associations of Testing, Calibration and Analysis Laboratories (EUROLAB.aisb)":

Mr. José Luis Borrego Nadal.

Head of the Department of Laboratories and Product Certification

ENAC

(Presents the comparison and vision of ENAC).

Mrs. Irache Visiers Sanz.

President

TCQA by EUROLAB aisbl

(Presents the approach of the European Federation of National Associations of Testing, Calibration and Analysis Laboratories, EUROLAB aisbl, and the developed documents).



"Presentation of the 5th Ibero-American Congress of Laboratories" (October 17 and 18, 2018, Lisbon) and the "1st International Congress of Conformity Assessment" (October 19, 2018, Lisbon), organized by RELACRE and FELAB:

Dr. Alvaro Silva Ribeiro.

President.

EUROLAB-aisbl.

President

RELACRE (Association of Accredited Laboratories of Portugal)

As usual, the logo FELAB was introduced in the triptych and posters, and its two associated associations (AELI and EUROLABE-Spain).

A hundred people participated.

AELI:

It has the collaboration of several members of the Board AELI directive.

The AELI logo is introduced as usual, in the triptych and posters.

3.2 V Ibero-American Congress of Laboratories and I International Congress of the Conformity Assessment

On October 17 and 18, 2018, the V Ibero-American Congress of Laboratories was held and on October 19, the I International Congress of Conformity Assessment took place.

The Congresses took place in Lisbon, and more specifically in the LNEC (National Laboratory of Civil Engineering of Portugal).



Both events were organized by RELACRE and FELAB, acting as RELACRE host.

In the aforementioned event they collaborated among others:

- AELI
- EUROLAB-Spain
- UILI
- EUROLAB.aisbl
- ACERTES
- APQ
- ENAC

As for the dissemination of the same, a participation of 200 people was achieved.

The schedule for both events is as follows:



3.3 | OC&LAB Day: Environment

Under the title "I OC&LAB Day: Environment", took place on November 22, 2018, the first day organized by FEDAOC (Spanish Federation of Control Organizations) and FELAB, in the field of the Environment.

For the organization of the aforementioned day, the following were the collaboration of:

- AELI
- EUROLAB-Spain
- ENAC
- Ministry for Ecological Transition.
- Hydrographic Confederation of the Tagus.
- ASEGRE (Association of Waste Management Companies and Special Resources).

In which the following presentations were presented:

"Discharge Management and Control":

Dr. Antonio Callaba de Roa – Subdirector General de Residuos – Ministry for Ecological Transition.



"Atmospheric Emissions Control and Problem":

Mrs. Carmen Canales Canales – Head of Section. General Sub-Directorate of Air Quality and Industrial Environment. Ministry for Ecological Transition.

Mrs. Sara Morán Burgos – Area of Atmospheric Quality – Directorate-General for the Environment. Community of Madrid.

"Considerations on the Landfill Protocol":

Mrs. Emma Orejudo Prieto – Head of Landfill Inspection and Control Service. Water Quality Area. Tajo Hydrographic Confederation – Ministry of Ecological Transition.

As for the dissemination of the same, a participation of 90 people was achieved.

Several AELI and EUROLAB-Spain members participated in the composition of the tables



4.

Another meeting of AELI and FELAB

4.1 Other meetings under AELI

AELI / UILI (Governing Board)

Meeting of the Governing Board of UILI, held by videoconference (Skype) with the participation of representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso and D. Jorge Oliver-Rodés Sen → 2018-04-20.

Meeting of the Governing Board of UILI, held in Singapore (Republic of Singapore) → 2018-10-25.

AELI / UILI (General Assembly)

The General Assembly meeting of UILI takes place every 2 years, therefore, in 2018 it is not celebrated.

Governing Board:

President:

Luc Scholtis, VRS, Netherlands.

Past-President:

Manahén Fernández Alonso, AELI, Spain.

Secretary:

Mary-Anne Adeeko, IPAN, Nigeria.

Vicepresidents:

Alvaro Silva Riveiro, RELACRE, Portugal.

Jorge Oliver-Rodés, AELI, Spain.

Treasurer:

Toru Matsumura, JEMCA, Japan.



AELI / UILI (Executive Committee)

Meeting by videoconference (SKYPE) in which they participated as representatives of AELI, Dr. D. Manahén Fernández Alonso and Mr. Jorge Oliver-Rodés Sen → 2018-08-07.

AELI / UILI (17025 WG)

No meetings in 2018.

AELI / UILI (ILP WG)

October 26, 2018 (Singapore meeting)

AELI / (UILI-EUROLAB WG)

Meeting of the Working Group's monitoring of the agreement of understanding between UILI and EUROLAB.aisbl.

- No meetings in 2018

4.2 Other meetings under FELAB

FELAB / CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment.

During the year 2018 no meeting of the plenary, performing all the steps through e-Committee or email.

The representative of FELAB is Mr. Miguel Sánchez Fernández, Manager of FELAB.

FELAB / CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment. SC-1: Management Systems.

No meeting SC-1 during 2018, performing all the steps through e-Committee or email.

The representative of FELAB is Mrs. Irache Visiers Sanz (APPLUS-LGAI).



**FELAB / CTN 66 – Management of Quality and Conformity Assessment.
SC-2: Compliance Systems.**

No meeting SC-2 during 2018, performing all the steps through e-Committee or email.

The representative of FELAB are Mrs. Irache Visiers Sanz (APPLUS-LGAI) and Mr. Pedro Pablo Morillas Bravo (CANAL de ISABEL II Gestión).

**FELAB / CTN-66 – Management of Quality and Conformity Assessment.
SC-3: Statistical Methods.**

No meetings in 2018.

FELAB's representative in the Plenary is Mr. Feliciano Esono Abaga Biyé, Technical Secretary of FELAB.

FELAB / CTN 82 – Metrology and Calibration: GT: Reference Materials.

During 2018, the following meetings have been convened:

- Meeting 1/18 → 2018-05-22
- Meeting 2/18 → 2018-06-19
- Meeting 3/18 → 2018-10-01
- Meeting 4/18 → 2018-12-03

Represents FELAB as vocal Mr. José Luis Prieto Calviño of LOMG.



FELAB / CTN 66 SC 2 / ISO/CASCO WG 44 (Review ISO/IEC 17025)

During 2018 the consultation expert group remains active, receiving 3 implementation queries/clarification of ISO/IEC 17025 content, to which Mr. Pedro Pablo Morillas Bravo, has responded as a member of the group. The consensuous responses were published by ISO/CASCO

The representative of FELAB is Mr. Pedro Pablo Morillas Bravo of CANAL de ISABEL II Gestión

4.3 Other Meetings / Events / Conferences that has assisted FELAB staff

The following are the days, meetings or events to which FELAB staff has assisted in the channeling of information about them, in appropriate cases, to the AELI associates and of EUROLAB-Spain.

V Ibero-American Congress of Laboratories and I International Congress of Conformity Assessment.

Organized by RELACRE and FELAB. 2018-10-17 to 19. Lisbon.

All presentations presented at both congresses were distributed to all FELAB partners.



5.

Other activities of Technical Groups or networks

The following are the main issues to be discussed by the Sectoral Groups or Networks of Laboratories, which have not been mentioned in the previous sections or are considered to be of particular relevance:

5.1 Metrology network

It has not had meetings during the 2018.

A monthly news item is included in the EUROLAB-Spain Newsletter.

6.

Meetings with the Administration and other Organizations: allegations, meetings and technical documents

6.1 Allegations legislative projects

6.1.1 Allegations to legislative projects from AELI

Junta de Castilla y León

2018/02/27 Allegations are presented to the Public Consultation Process:

Draft Decree regulating the requirements required of building quality control entities and testing laboratories for the quality control of the building, for the exercise of their activity in the Autonomous Community of Castilla y León".

The objective is that the Junta de Castilla y León consider the accreditation of ENAC as an alternative to the model of inspection on laboratories to which accreditation is not required. Limiting the inspection to the verification that laboratories are accredited to ENAC. As for the organization of interlaboratories by the Junta de Castilla y León, it is proposed that accredited suppliers of these exercises be used when they exist.



2018/02/27 Allegations are presented to the Hearing Procedure by:

Draft Decree amending Annexes I and III to the consolidated text of the Law on Environmental Prevention of Castilla y León, approved by Legislative Decree 1/2015 of November 12, Annexes II, III, IV, V and VII of Law 5/2009, of June 4, the noise of Castilla y León and the Annex to Law 7/2006, of October 2, of public shows and recreational activities of the community of Castilla y León.

The objective is that the Junta de Castilla y León does not consider as sufficient the previous communication in acoustic matters of Bars, Cafés-Singers, Restaurants..., when they are in buildings with homes or adjoining homes.

6.1.2 Allegations to legislative projects from FELAB

Junta de Castilla y León

2018/02/27 Allegations are presented to the Public Consultation Process:

Draft Decree regulating the requirements required of building quality control entities and testing laboratories for the quality control of the building, for the exercise of their activity in the Autonomous Community of Castilla y León".

The objective is that the Junta de Castilla y León consider the accreditation of ENAC as an alternative to the model of inspection on laboratories to which accreditation is not required. Limiting the inspection to the verification that laboratories are accredited to ENAC.

As for the organization of interlaboratories by the Junta de Castilla y León, it is proposed that accredited suppliers of these exercises be used when they exist.



2018/02/27 Allegations are presented to the Hearing Procedure by:

Draft Decree amending Annexes I and III to the consolidated text of the Law on Environmental Prevention of Castilla y León, approved by Legislative Decree 1/2015 of November 12, Annexes II, III, IV, V and VII of Law 5/2009, of June 4, the noise of Castilla y León and the Annex to Law 7/2006, of October 2, of public shows and recreational activities of the community of Castilla y León.

The objective is that the Junta de Castilla y León does not consider as sufficient the previous communication in acoustic matters of Bars, Cafés-Singers, Restaurants..., when they are in buildings with homes or adjoining homes.

6.2 Meetings with Administration and other Organizations

6.2.1 Meetings with Administration and other Organizations by AELI

AELI/AECOSAN - Spanish Agency of Consumption, Food Security and Nutrition - Ministry of Health, Social Services and Equality.

No meeting with AECOSAN during 2018.

AELI/AEMPS - Spanish Agency of Consumption, Food Security and Nutrition - Ministry of Health, Social Services and Equality.

No meeting with the AEMPS during 2018.



6.2.2 Meetings with Administration and other Organizations by FELAB

FELAB-AELI / Laboratory Evaluation Commission of Public Health of the Community of Madrid

Meeting. Madrid. FELAB's administrative secretary, Mrs. Elena García Hernanz, attended → 2018-11-20.

FELAB / ENAC (PERMANENT COMMITTEE):

- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-03-21.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-06-13.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-07-11.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-09-26.
- Permanent Committee of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-12-12.

FELAB / ENAC (BOARD OF DIRECTORS):

- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-04-18.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-06-13.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-09-26.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-09-26.
- Board of Directors of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-12-12.



FELAB / ENAC (GENERAL ASSEMBLY):

- Ordinary General Assembly of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández. → 2018-06-13.
- Ordinary General Assembly of ENAC. Madrid. Assisted the Manager of FELAB, D. Miguel Sánchez Fernández → 2018-12-12.

FELAB / ENAC (AGREEMENT FOLLOW-UP)

Meeting track agreement ENAC-FELAN → 2018.07.03.

Attended by ENAC:

- Mrs. Beatriz Ribera Romero (Directora General)
 - Mr. Ignacio Pina Ledesma (Director Técnico)
- and
- Mr. José Luis Borrego Nadal (Jefe del Departamento de Laboratorios y Certificación de Producto)

Attended by FELAB:

- Mr. Julio Hernández Pérez (Presidente de FELAB y Secretario de AELI)
 - Mr. Javier Moles Gómez (Vicepresidente de FELAB y Presidente de EUROLAB-España)
 - Mr. Jorge Oliver-Rodés Sen (Vocal JD de FELAB y Presidente de AELI)
 - Mrs. Ma. Teresa Sanfeliu Ribot (Vocal JD FELAB y Vicepresidente de EUROLAB-España)
 - Mr. Josep Mestres Lagarriga (Vocal JD FELAB y Vicepresidente de AELI).
 - Mr. José Luis Sánchez Álvarez-Campana (Vocal JD de FELAB y Vocal de EUROLAB-España).
- and
- Mr. Miguel Sánchez Fernández (Gerente).



In this meeting they were presented and delivered all comments from the members.

Likewise, among other issues that were addressed, were the monitoring of the technical documents on which it is working in the ENAC / FELAB working groups.

6.3 Technical documents that AELI / FELAB has collaborated with ENAC.

Collaboration with ENAC in the review of various ENAC documents has led to the following revisions:

CGA-ENAC-LEC Rev. 8 General Criteria for Accreditation of Testing and Calibration Laboratories according to UNE-EN ISO/IEC 17025 (September 2018).

NT-70.05 Rev. 1 Accreditation Program: Chemical physical tests of wines. (June 2018).

NT-70.06 Rev. 1 Accreditation Program: Chemical physical tests of olive oils and olive pomace oils. (June 2018).

NT-70.07 Rev. 1 Accreditation Program: Chemical physical tests of CE fertilizers and other fertilizer products. (September 2018).

NT-70.04 Rev. 1 Accreditation Program: Control of pool water quality. (May 2018).

NT-70.08 Rev. 1 Accreditation Program: Control of the quality of water for human consumption. (October 2018).

NT-03 Rev. 6 ENAC Intercomparison Policy. (June 2018).

NT-86 Rev. 3 Testing and calibration laboratories: identification of methods in the scopes of accreditation and actions to be taken if reviewed. (May 2018).

NT-74 Rev. 1 ENAC Metrological Traceability Policy. (July 2018).



7.

Communication and broadcast: circulars, newsletters, websites and social networks

- Circulars: During this period more than 20 circulars with topics of interest have been sent to partners.
- Communication and dissemination: Newsletter AELI. During the year were edited with the AELI Newsletter bi-monthly.
- Communication and dissemination: Website of AELI
 - Data update of the AELI website, and continuation of the design change and update works.
 - Incorporation of sponsorships on the AELI website.
 - Update of the activities.
- Communication and dissemination: Social Networks of AELI
- Presence on Twitter: AELI_

8.

Formation Plan

During 2018, the training plan was as follows: Summary training activities total 18.



9.

Inter-comparison

UILI - "18th Inter-Laboratory Practice 2018" Cations and Anions in Natural Water.

Organized by UILI (Union Internationale des Laboratoires Indépendants, ILP Committee) and coordinated by JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association).

Consequently, all the AELI associates who wanted to, they could participate.

Laboratories of national associations:

- Canadá-CCIL, The Canadian Council of Independent Laboratories.
- Holanda-VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria.
- Francia-APROLAB, Association Professionnelle des Sociétés françaises de Contrôle en Laboratoire.
- Bélgica-UPLEAR, Union Professionnelle des Laboratoires d'Essais, d'Analyses et de Recherches.
- Portugal-RELACRE, Associação de Laboratorios Acreditados de Portugal.
- Argentina-CALIBA, Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines.
- España-AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes.
- Japón-JEMCA, Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association.
- Nigeria-IPAN, Institute of Public Analysts of Nigeria.



10.

Social policy of AELI / FELAB and his collaborators.

AELI/FELAB continues with the granting of scholarships in our training activities.

The requirements that have been requested to obtain the above scholarships that they have consisted to attend some courses free of charge, have been the following:

- Be unemployed with the corresponding registration card in the INEM.
- Having a curriculum suitable to the requested training activity so well two premises could be. First, the use of the course by the scholarship and, secondly, not to distort the rhythm of work of others attending the course.

11.

Support for the business of the laboratories.

Several circulars were sent from AELI or FELAB of requests for specific analytical users.

AELI offered small room meeting “free” at the Headquarters so that partners can conduct small meetings in their travel to Madrid.

12.

AELI representatives in UIIL to 31/12/2018

AELI representatives in the Assembly and the Governing Council of UIIL are:

Dr. Manahén FERNÁNDEZ ALONSO (AELI)

Mr. Jorge OLIVER-RODÉS SEN (President of AELI)

Note 1: Up to September 18, 2015 UIIL President was Dr. Manahén Fernández, from the aforementioned date is Past-President of UIIL.

Note 2: Mr. Jorge Oliver-Rodés is Vice President of UIIL from September 18, 2015.



13.

The Board of AELI (2016-12-31)

The Board of Directors of AELI is composed of the following members:

PRESIDENT

Mr. Jorge OLIVER-RODÉS SEN (Laboratorio Dr. OLIVER RODÉS)

VICEPRESIDENT

Mr. Josep MESTRES LAGARRIGA (SILLIKER Ibérica)

TREASURER

Mr. Pedro MARTÍNEZ GONZÁLEZ (IPROMA)

SECRETARY

Mr. Julio HERNÁNDEZ PÉREZ (Lab. ECOSUR)

VOCALS

Mr. José Ángel GUERRA CUENCA (SGS TECNOS)

Mr. Javier MELÉNDEZ POLO (EUROFINS)

Mr. Salvador MUNUERA ÁLVAREZ (Lab. MUNUERA)

Mrs. Blanca SAN VICENTE DE LA RIVA (LABAQUA)

Mr. Xavier RUIZ PEÑA (APPLUS)

14.

AELI partners.

At December 31, 2018, total associated is 20.

**Report of
ASSOCIATION OF INDIAN
LABORATORIES
AOIL**

Nov, 2018 to Oct, 2019

**R.B. Singh
Secretary General, AOIL-INDIA**

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

Major Accomplishments Nov, 2018 to Oct, 2019

- Participation in 2018 IAF-ILAC Mid-Term Meetings, Mexico City.
- AOIL AGM on 15th July, 2019, Aerocity, New Delhi.
- Transition Training Course-ISO/IEC 17025-2017, May, June, Nov and Dec 2018.
- AOIL Recognition of New Indian AB, FDAS India, in March, 2019.



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Presence in International Lab Forums

- ▶ AOIL is Stakeholder Member of ILAC-LC, AIC & IC since 2015.
- ▶ AOIL is regular Lab Association Member of UILI , since 2016.
- ▶ AOIL is UILI's Executive Board Member since 2018.
- ▶ 5 AOIL Members are attending 2019 UILI Lab Meeting at Frankfurt.
- ▶ 5 AOIL Members are attending 2019 IAF-ILAC Meeting at Frankfurt.
- ▶ AOIL participated in ILAC-LC, ARC, AIC and IC Meetings of April 2019 IAF-ILAC Mid-Term Meetings at Mexico City.

UILI Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-GC Delegation to 2019 IAF-ILAC Mid-Term Meetings, Mexico City

- Mr. R. B. Singh, Secretary General
- Mr. Lalit Paneri, Vice-President (Testing)

UILI Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL and NABL India Delegates at April, 2019 IAF-ILAC Mid-Term Meetings, Mexico City



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL GC Participation in April, 2019 ILAC- LC Meeting



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Participation in ILAC Committees April, 2019, Mexico City

LABORATORY COMMITTEE-LC:

Mr. R. B. Singh
Mr. Lalit Paneri

ARRANGEMENT COMMITTEE-ARC:

Mr. Lalit Paneri
Mr. R. B. Singh

UIIL Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Participation in UIIL Lab Meeting Oct 2018, Singapore



UIIL Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

- Mr. R.B. Singh, Secretary General AOIL has attended the 8th NABL Governing Board Meetings on 2nd August , 2019 at NABL HQs at Gurugram.
- Two AOIL GC Members have participated in 2019 IAF-ILAC Mid-Term Meetings in April, 2019 at Mexico City.
- Mr. Rajesh Deswal, President & Mr. R.B. Singh, Secretary General have attended the MSME Policy Formation Meeting, organized by the Secretary & DC, MSME, Govt. of India in Dec, 2018 at Nirman Bhawan, New Delhi.
- Mr. Rajesh Deswal, President, Mr. R.B. Singh, Secretary General & Mr. Rahul Gupta, GC Member have attended the launch of National Laboratory Portal, organized by DG, BIS, Govt. of India on 31st August, 2019 at Vigyaan Bhawan, New Delhi.

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

AOIL in Launch of National Laboratory Directory by BIS, Govt. of India



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

MAJOR ACTION TAKEN BY AOIL

1. Being a Board Member in NABL, AOIL has opposed not to increase the Annual Fee and as a result the fee structure is remain same for last 3 years
2. AOIL has sent letters to all Ministries to show his presence .
3. AOIL is getting regular opportunities to be a part of each program organized by NPL.
4. AOIL has appreciated by BIS to serve the Laboratory Community and AOIL has taken the major role in formation of Directory for Testing Laboratories by BIS.
5. AOIL has got appreciation by Ministry of MSME for getting success in NVDP Program organized in March 2018.
6. AOIL has submitted a Letter to Dep't of Industrial Policy & Promotion to release the sample received for testing without any delay.
7. AOIL has submitted a letter to Delhi Government to releasing the outstanding payment of food laboratories and as a result the payments have been disbursed by the Department.

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

AOIL in Skype Meeting of UII Executive Board on 16th July, 2019



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

Introduction of Skype in Video Conferencing of GC Meetings by AOIL



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-HQ, Major Highlights and Activities

AOIL Achieved Double Digits and now has 10 Life Members.





Association of
Indian Laboratories
Regn. No. 018201401805
I.L.C. Statutory Member

Elite Group- AOIL Life Members

-  Mr Arun Rajkumar Fredrick
IBIAT, Chennai, Tamil Nadu
-  Mr R.B. Singh
ANULAB, Agra, UP
-  Mr Lalit Paneri
Rahul Engrs. Lab, Udaipur
-  Mr Jaspaul Kalra
RTRC, Gurugram, Haryana
-  Dr R.K. Singh
Sawen Consultancy, Lucknow
-  Mr Arun Kumar Singh
Arun Soil Lab, Lucknow
-  Mr Anil Kumar Srivastava
Snow Fount. Cons., Lucknow
-  Mr Prabhat Bhargava
Bhargava Atelier, Gwalior, MP
-  Mr Venkates Manikandan
JRP, Chennai, Tamil Nadu
-  Dr Neeraj Jain
Jain Diagnostics, New Delhi

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL GC, AGM & Special Meetings Nov, 2018 to April, 2019

- 27th GC Meeting, 18th May, 2019 at AOIL HQs, Gurugram, Haryana.
- 28th GC Meeting, 15th July, 2019 Holiday Inn, Aerocity, New Delhi.
- 29th GC Meeting, 8th Sept, 2019 at Lucknow, Uttar Pradesh.
- AOIL, AGM, 15th July, 2019 Holiday Inn, Aerocity, New Delhi.
- 3rd Congress of Indian Laboratories & Laboratory Day Celebration on 19th April, 2019, Holiday Inn, Areocity, New Delhi.

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL GC, AGM & Special Meetings Nov, 2018 to Oct, 2019



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL 29th GC Meeting, 8th Sept, 2019 at Marriott, Lucknow, UP



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL has recognised FDAS as Second Independent Indian AB



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

First Meeting of Federation of Accreditation Services- FDAS at Gurugram



UIIL Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Major Training Programmes Nov, 2018 to Oct, 2019

- Two Days Awareness Training - ISO/IEC 17025-2017, Dec 2018, Chennai, Tamil Nadu.
- Training on Quality System Management and Internal Audit - ISO/IEC 17025-2005, Nov 2018, Coin Park, Gurugram, Haryana.
- Transition Training – Four days Program on ISO/IEC 17025-2017, March 2019, Coin Park, Gurugram, Haryana.
- AOIL-GC Participation 10th AdMet- 2019 at NPL, CSIR, New Delhi, India.

UIIL Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL- Transition Training Programme for ISO/IEC 17025: 2017



Association of Indian Laboratories (AOIL)

is organising a
FOUR DAYS TRAINING PROGRAMME
on ISO/IEC 17025 : 2017
on
14-17 MAR 2019
THU-SUN
at Delhi NCR Region

Fee Structure
₹ 10000/- (+GST) for Members
₹ 12000/- (+GST) for Non-Members

Venue :
COIN Park, Opp. to Plot No. 283
Phase IV, Udyog Vihar, Gurugram, Haryana

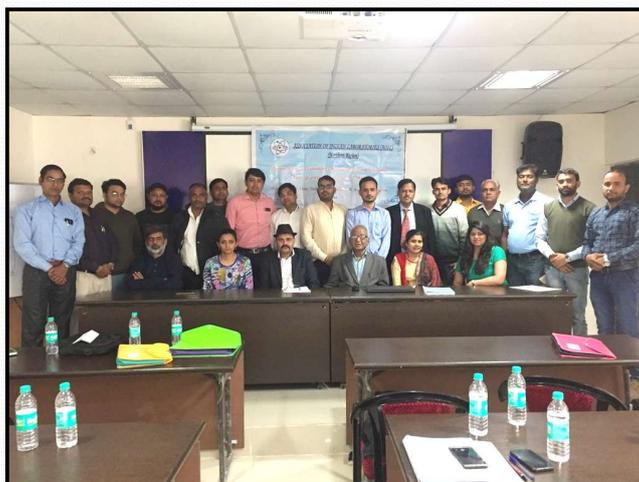
Last Date for Registration
10 March 2019

For Registration Contact :
M : 9818663198
✉ aoilsecretariat@gmail.com

Rajesh Deswal
Secretary General

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL- Transition Training Programme for ISO/IEC 17025: 2017



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL-Participation in 10th, AdMet-2019 at NPL, CSIR- New Delhi



UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

Code of Conduct for AOIL Members

AOIL Membership is open to lab owners & lab professionals. There shall be no misrepresentation of facts to demean AOIL for commercial & political interests.

AOIL members are expected to promote the image of AOIL as global professional technical association. They should solemnly affirm to abide by the following Dos:

- Use valid AOIL Membership current status for promotion of lab services.
- Send authenticated documents to support the AOIL Membership application.
- Strive to increase the support and prestige of the association among stakeholders.
- Maintain the membership as a means for quality services, professional growth and avoid the use of AOIL Membership for solicitation of personal financial gain.
- Provide feedback for the AOIL involvement and contribution to problems, grievance & achievements of the member labs.
- Use AOIL logo through print and digital media to indicate membership for the bonafide purposes of lab services & AOIL objectives.
- Do not involve in unethical activities or illegal conduct as it may call for debarring of membership/cancellation of membership of the association.
- Do not criticize or use hate language/ speech while interacting with other AOIL members in meeting, delegations & conferences.
- Do not engage in unethical, unprofessional practices or political dialog with other AOIL members.

UII Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Membership Benefits

Membership Benefits

- AOIL is only national level global association of laboratories including Testing, Calibration, Medical and GLP labs.
- Support for member laboratories for common and unique problems faced from accreditation bodies, regulators, suppliers and customers.
- Arrangements for training at economic cost for ISO/IEC 17025-2017 and ISO/IEC 15189-2012 standards.
- Opportunity for arrangement of ILC/PT within members and accredited PT providers.
- Opportunity to participate in national/international conferences and seminars including IAF-ILAC and UILI.
- Opportunity to be trainer as per expertise for various AOIL training programmes for laboratories.
- Opportunity to attend the board meeting of ABs other associations, regulatory bodies and ministries.
- Opportunity to be a part of unique cluster facilities developed by MSME deptt in different cities.
- Presenting the voice of Indian laboratories with ABs, regulators and govt. depts. for the sustainable growth.
- Providing opportunities to enhance the knowledge base by organizing conclave, seminars and workshops exclusively for labs.

UILI Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India

AOIL Governing Council– Core Committee

AOIL GC MEETING 2019-2021

Founder Chairman
D.S. Tewari

Secretary General
R.B. Singh

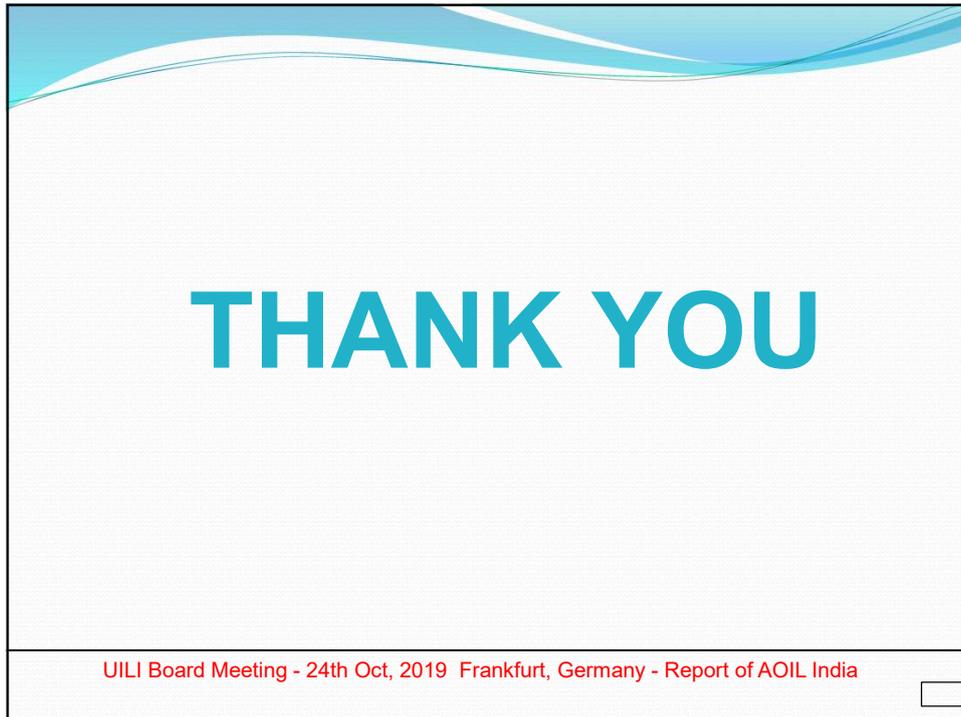
President
Rajesh Deswal

Honorary Treasurer
Jaspaul Kalra

Joint Secretary
Gaurav Tewari

Association of Indian Laboratories
113, First Floor, Sushant Tower, Sector-56
Gurugram, Haryana-122011, India
E-mail: aoilsecretariat@gmail.com
Website: www.aoil.in

UILI Board Meeting - 24th Oct, 2019 Frankfurt, Germany - Report of AOIL India



ASOCOLAB MANAGEMENT REPORT From October 2018 to October 2019

1. In October 2018, we participated in the Singapore meeting, managing relationship with the other members, especially, relationship with the new interested in being members in UILL, in this case China, and we get together in ANALYTIC fair labs from October 31 to November 2, 2018 in Shanghai.
2. We held the IV International Conformity Congress in May 2019, with a Risk Management Training in Conformity Assessment Bodies with the guest Peter Unger, and another training of Cataloging Advantages for Companies with Cr. (r) Antonio Galindo from Spain, since recently COLOMBIA managed to become a member of NATO.
3. We participated as founder member of Stakeholders of IAAC, at the last assembly in August 2019 in Mexico City, contributing ideas to consolidate the conformity in America.
4. Colombian Conformity has been promoted, and showing the different State institutions in charge of the Quality Subsystem in Colombia, the failures and inconsistencies that are being presented. Reporting to the Ministerio de Comercio, Industria y Turismo, Superintendencia de Industria y Comercio, Subdirección de Normas Técnicas, Organismo Nacional de Acreditación de Colombia – ONAC, among others.
5. Conformity Management on the following topics:
 - a. Interpretation and application of Decree 1595 of August 5, 2015 with the Ministerio de Comercio, Industria y Comercio.
 - b. Misunderstanding of international agreements with the Organismo Nacional de Acreditación Colombiano – ONAC
 - c. Integration of Public Universities to the National Quality Subsystem, meeting with the laboratories of the Universidad Nacional organized by the Laboratory Coordinator, Pharmaceutical Chemistry Claudia Parra.

- d. Bad practices in the national tire certification market, with the Superintendencia de Industria y Comercio, in charge of control and surveillance
- e. Failures in the technical regulations for pneumatic tires that are manufactured or imported, with the Superintendencia de Industria y Comercio, in charge of control and surveillance
- f. Confirm the use of conformity for purchases of the Ministerio de Defensa Nacional (Policía Nacional, Ejército, Armada and Fuerza Aérea, and resolve the conflicts and inconsistencies that arise in that use

GABRIEL FONSECA RODRÍGUEZ
Executive Director

EUROLAB aisbl
Report as Member of UILI
2019 UILI Annual Meetings
24, 25 OCTOBER, 2019
FRANKFURT, GERMANY

EUROLAB aisbl, the European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories - was founded in Brussels on 27 April 1990 as a network of the laboratory community and in response to the evolution of the European Union and is since 1998 registered as a legal entity in the form of an international association under Belgian law. Composed of 21 Active Members, 3 Associated Members, 1 Observer Member and 2 International Affiliates from Europe and beyond, EUROLAB is grouping more than 3 000 conformity assessment bodies (CAB) members, over 9 000 accredited laboratories and representing over 150,000 professionals.

Besides formulating and voicing the opinion of laboratories regarding economic, political and technical issues, EUROLAB aims at promoting cost-effective testing, calibration and measurement services, for which the accuracy and quality assurance requirements were adjusted to the actual needs. These are particularly addressing European legislation, accreditation, consumer protection, product and occupational safety.

EUROLAB's acceptance as member of UILI marks an important step in the co-operation of both organisations. Experts from EUROLAB members and UILI members have contributed actively to the work of ILAC and to its working groups, namely, regarding the revision of ISO / IEC 17011 and implementation of ISO / IEC 17025:2017 have been high on EUROLAB's agenda. Additionally, EUROLAB has revised all the Cook-Books according to the new ISO / IEC 17025:2017. The EUROLAB cookbooks are short documents on quality issues to help laboratories comply with ISO/IEC 17025. All the CookBooks are available on the EUROLAB Website, at: <http://www.eurolab.org/cookbooks.aspx>.

EUROLAB has a keen interest in developing high-quality conformity assessment standards in order to avoid a frequent revision of these standards. Each revision entails considerable costs, not only to the conformity assessment bodies but also to their clients. Therefore, EUROLAB strongly supports the so-called road map and advises ISO CASCO not to overrule this sensible tool.

In 2018-2019, EUROLAB held 8 meetings of its Board and several meetings of its Technical Committees. The main EUROLAB Technical Committee is:

- TCQA - Technical Committee for Quality Assurance in Testing and Calibration

The EUROLAB National Members' Meeting 2018 took place on 15 – 16 November 2018, in Berlin, kindly hosted by EUROLAB - Germany.

The EUROLAB events started on Thursday morning, 15 November, with the TCQA Meeting. The EUROLAB Board Meeting took place on Friday, 16 November, followed by the EUROLAB National Members' Meeting, the same day. During the National Members' Meeting the EUROLAB members discussed several topics of high importance, among which:

- policy updates, EUROLAB ongoing activities and strategic partnership with other organisations;
- the 2019 plan and strategy: promotion of the revised EUROLAB Cookbooks, a strong communication strategy, continue developing the EUROLAB representation in various working groups, develop EUROLAB membership, revision of internal documentation guidance, monitor relevant policy developments, research opportunities for EU funded projects.
- latest updates and topics discussed in the EUROLAB Technical Committees, TCQA and JTC PTC.

The members also discussed the EUROLAB internal communications strategy and the methods to enhance a closer communication with the members and the participation of the EUROLAB representatives in the members' events organised at the national level. During the National Members' Meeting, EUROLAB signed an MoU with AOAC Europe to enhance a closer and fruitful cooperation between the two organisations: exchange views and, wherever possible, achieve consensus positions on policy matters, coordinate position in international accreditation forums, participate to the organisations' events and technical committees, encourage liaison between the members at national level, exchange best practices and relevant data, etc.

The EUROLAB General Assembly and Annual Meetings 2019 took place in Prague, on 9 and 10 May 2019 and were kindly hosted by EUROLAB-CZ.

During the General Assembly, the EUROLAB Members raised and discussed several important topics:

- The EUROLAB objectives, strategy and actions for 2019-2020;
- EUROLAB membership enlargement
 - EUROLAB welcomes ASCOLAB as an International Affiliate member and looks forward to exploring future collaboration opportunities on joint issues of interest.
- Cooperation with other stakeholders, amongst others:
- Policy updates on various on-going legislative developments, including: Medical Devices, Environment, Cybersecurity, Food, Anti-Counterfeiting and Trade – as priority focus areas which EUROLAB is following.
- EUROLAB communications strategy, including a new and more interactive approach of EUROLAB to its communications materials: new website, newsletter, presentations and the EUROLAB video presentation;

The upcoming major EUROLAB events:

- EUROLAB National Members Meeting 2019, Spain, 17-18 October 2019 Toledo, Spain, kindly hosted by EUROLAB-Spain.
- EUROLAB General Assembly 2020 & Anniversary events, 6-8 May, Madeira, kindly hosted by RELACRE.

ECVET-Lab Final Results

The 30th of September 2018 marked the successful end of the [European Project ECVET-LAB](#), after two years of duration. ECVET-LAB Project ([Erasmus+](#)) has as main aim to contribute to the implementation and validation of non-formal training on environmental best practices for environmental testing laboratory technicians. By applying methodologies and practices that conserve natural resources, it improves the resources' efficiency and protects those working in laboratories from chemical or biological risks.

The Final Conference of the project took place in Brussels and was hosted by EUROLAB. The Conference was well attended by representatives from National Associations, Networks of laboratories and Head of Universities in several EU countries such as Austria, Turkey, Greece, Poland, Portugal, Italy, Belgium, Switzerland, Netherland, Germany, Spain, France, Cyprus and Czech Republic. Several laboratories contributed to the conference with their practices and experiences in the field. IPROMA(Spain), Nireas (Cyprus), and Çevre(Turkey), shared their daily environmental management systems. They all agreed that the project will be a useful tool both for the educational system and the private sector. During the Conference all the project outputs were presented – they are available on the official ECVET-Lab Website: <http://ecvetlab.projectsgallery.eu/en/2018/09/30/ecvet-lab-final-results/>

We would like to thank UILI for the good cooperation during the past years.

EUROLAB represents and voices the opinion of measurement, testing and analytical laboratories regarding economic, political and technical issues having a direct impact on laboratories' activities both on the European scene and worldwide.

For further information please contact the EUROLAB Secretariat, Rue du Commerce 20/22, B-1000 Brussels, Phone: +32 2 511 50 65, E-mail: info@eurolab.org

COUNTRY REPORT FROM JAPAN BY JEMCA

2019/2 Board Meeting in Frankfurt

CONTENTS

- 1 JEMCA Updates
 - 1.1 Proficiency Testing – Background and list of past & future studies. (See appendix)
 - 1.2 CEM (Chemical Environment Measurer) on Chemical Analysis for Fiscal Year 2014 to 2016
 - 1.2.1 CEM for FY 2014 on Chemical Analysis (Level 3)
 - 1.2.2 CEM for FY 2014 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.3 CEM for FY 2014 on Chemical Analysis (Level 2)
 - 1.2.4 CEM for FY 2014 on Noise & Vibration (Advanced Level)
 - 1.2.5 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 3)
 - 1.2.6 CEM for FY 2015 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.7 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 2)
 - 1.2.8 CEM for FY 2015 on Chemical Analysis (Level 1)
 - 1.2.9 CEM for FY 2016 on Chemical Analysis (Level 3)
 - 1.2.10 CEM for FY 2016 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.11 CEM for FY 2016 on Chemical Analysis (Level 2)
 - 1.2.12 CEM for FY 2016 on Noise & Vibration (Advanced Level)
 - 1.2.13 CEM for FY 2017 on Chemical Analysis (Level 3)
 - 1.2.14 CEM for FY 2017 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.15 CEM for FY 2017 on Chemical Analysis (Level 2)
 - 1.2.16 CEM for FY 2017 on Chemical Analysis (Level 1)
 - 1.2.17 CEM for FY 2018 on Chemical Analysis (Level 3)
 - 1.2.18 CEM for FY 2018 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.19 CEM for FY 2018 on Chemical Analysis (Level 2)
 - 1.2.20 CEM for FY 2018 on Noise & Vibration (Advanced Level)
 - 1.2.21 Summary of Implementation Status of CEM Test in past years
 - 1.2.22 CEM for FY 2019 on Noise & Vibration (Entry Level)
 - 1.2.23 CEM for FY 2019 on Chemical Analysis (Level 2) – ongoing
 - 1.2.24 CEM for FY 2019 on Chemical Analysis (Level 1) – ongoing
 - 1.2.25 Status of Certified Environmental Measurer (CEM) Test



- 1.3 JEMCA's Technical Workshops from FY 2015 to 2017
 - 1.3.1 Technical Workshops of FY 2015
 - 1.3.2 Technical Workshops of FY 2016
 - 1.3.3 Technical Workshops of FY 2017
 - 1.3.4 [Technical Workshops of FY 2018](#)

- 2 Report on UILI-ILP
 - 2.1 1st UILI-ILP in 2006
 - 2.2 2nd UILI-ILP in 2007
 - 2.3 3rd UILI-ILP in 2008
 - 2.4 4th UILI-ILP in 2009
 - 2.5 5th UILI-ILP in 2010
 - 2.6 6th UILI-ILP in 2011
 - 2.7 7th UILI-ILP in 2012
 - 2.8 8th UILI-ILP in 2014
 - 2.9 9th UILI-ILP in 2015
 - 2.10 10th UILI-ILP in 2016
 - 2.11 14th UILI-ILP in 2017
 - 2.12 18th UILI-ILP in 2018
 - 2.13 [22nd UILI-ILP in 2019](#)

- 3 [JEMCA's Proficiency Testing from FY 1999 to 2019](#)

1. JEMCA Updates.

1.1 Proficiency Testing (PT) – Background and list of past & future tests

- (1) Started providing Proficiency Testing (PT) in 1999, JEMCA has been conducting the 99th test right now.
- (2) In 2006, our PT has been co-hosted by JSAC (The Japan Society of Analytical Chemistry) until the termination in 2011.
- (3) Since 2011, JEMCA has again started to provide the only hosted PT in Japan.
- (4) Test status is shown in appendix below. (Appendix: JEMCA's Proficiency Testing from FY 1999 to 2017)

1.2 CEM (Chemical Environment Measurer) on Chemical Analysis for Fiscal Year 2014 to 2016

1.2.1 CEM on Chemical Analysis for FY 2014

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 15 June 2014
Candidates	258
Passed	166
Passed Rate	64.3%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.2 CEM on Noise and Vibration for FY 2014

➤ Entry Level

Schedule	15 June 2014
Candidates	54
Passed	36
Passed Rate	66.7%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.3 CEM on Chemical Analysis for FY 2014

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 12 October 2014 Oral Test over Telephone: 11 January 2015
Candidates	17
Passed	12
Passed Rate	70.6%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis, and 4 essay questions. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.4 CEM on Noise and Vibration for FY 2014

➤ Advanced Level

Schedule	Written Test: 12 October 2014 Skills Test and Oral Test: 25 January 2015
Candidates	7
Passed	4
Passed Rate	57.1%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 20 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration. <u>Skills Test:</u> <u>Oral Test:</u>

1.2.5 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 21 June 2015
Candidates	393
Passed	264
Passed Rate	67.2%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.6 CEM on Noise and Vibration for FY 2015

➤ Entry Level

Schedule	21 June 2015
Candidates	60
Passed	38
Passed Rate	63.3%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.7 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 14 October 2015 Oral Test over Telephone: 24 January 2015
Candidates	23
Passed	19
Passed Rate	82.6%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.8 CEM on Chemical Analysis for FY 2015

➤ Level 1

Schedule	Written Test: 14 October 2015 Oral Test: 24 January 2015
Candidates	5
Passed	3
Passed Rate	60.0%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test</u>

1.2.9 CEM on Chemical Analysis for FY 2016

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 19 June 2016
Candidates	292
Passed	184
Passed Rate	63.0%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.10 CEM on Noise and Vibration for FY 2016

➤ Entry Level

Schedule	19 June 2016
Candidates	44
Passed	32
Passed Rate	72.7%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.11 CEM on Chemical Analysis for FY 2016

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 16 October 2016 Oral Test over Telephone: 22 January 2017
Candidates	17
Passed	11
Passed Rate	64.7%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.12 CEM on Noise and Vibration for FY 2016

➤ Advanced Level

Schedule	Written Test: 16 October 2016 Skills Test and Oral Test: 5 January 2017
Candidates	3
Passed	2
Passed Rate	66.7%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 20 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration. <u>Skills Test:</u> <u>Oral Test:</u>

1.2.13 CEM on Chemical Analysis for FY 2017

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 18 June 2017
Candidates	346
Passed	223
Passed Rate	64.5%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.14 CEM on Noise and Vibration for FY 2017

➤ Entry Level

Schedule	18 June 2017
Candidates	40
Passed	29
Passed Rate	72.5%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.15 CEM on Chemical Analysis for FY 2017

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 15 October 2017 Oral Test over Telephone: 21 January 2018
Candidates	12
Passed	8
Passed Rate	66.7%
Test Structure	<u>Written Test:</u> 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.16 CEM on Chemical Analysis for FY 2017

➤ Level 1

Schedule	Written Test: 15 October 2017 Oral Test: 21 January 2018
Candidates	4
Passed	3
Passed Rate	75.0%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test</u>

1.2.17 CEM on Chemical Analysis for FY 2018

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 17 June 2018
Candidates	401
Passed	241
Passed Rate	60.1%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.18 CEM on Noise and Vibration for FY 2018

➤ Entry Level

Schedule	17 June 2018
Candidates	73
Passed	49
Passed Rate	67.1%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.19 CEM on Chemical Analysis for FY 2018

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 21 October 2018 Oral Test over Telephone: 27 January 2019
Candidates	18
Passed	12
Passed Rate	66.7%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.20 CEM on Noise and Vibration for FY 2018

➤ Advanced Level

Schedule	Written Test and Skills Test: 21 October 2018 Oral Test: 27 January 2019
Candidates	5
Passed	3
Passed Rate	60.0%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test</u>

1.2.21 CEM on Chemical Analysis for FY 2019

➤ Level 3

Schedule	Written Test: 16 June 2019
Candidates	389
Passed	257
Passed Rate	67.3%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis.

1.2.22 CEM on Noise and Vibration for FY 2019

➤ Entry Level

Schedule	16 June 2019
Candidates	73
Passed	49
Passed Rate	67.1%
Test Structure	<u>Written Test</u> : 30 multiple choice questions each with 4 choices on noise and vibration.

1.2.23 CEM on Chemical Analysis for FY 2019 – ON GOING

➤ Level 2

Schedule	Written Test and Skills Test: 20 October 2019 Oral Test over Telephone: 26 January 2020
Candidates	
Passed	
Passed Rate	
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test over Telephone</u>

1.2.24 CEM on Chemical Analysis for FY 2019 – ONGOING

➤ Level 1

Schedule	Written Test: 15 October 2019 Oral Test: 26 January 2020
Candidates	
Passed	
Passed Rate	
Test Structure	<u>Written Test</u> : 20 multiple choice questions each with 4 choices on chemical analysis. <u>Skills Test</u> <u>Oral Test</u>

1.2.25 Summary of Implementation Status of CEM Test

Number of applicants, candidates, passed candidates and passed rate of CEM Tests implemented from during past 12 years, from FY2006 to FY2019 (14years) are shown in table next page (as of October 1, 2019).

**Status of Certified Environmental Measurer (CEM) Test
From 2006 to 2019**

As of October 1, 2019

Fiscal Year	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	Total
Category															
CEM on Chemical Analysis															
Level 3 Test															
Applicants	1,483	570	548	393	416	339	255	243	284	401	303	359	411	389	6,425
Candidates	1,396	538	520	360	391	324	243	232	276	393	292	346	401	382	6,125
Successful Candidates(SC)	592	317	272	222	236	198	163	158	179	264	184	223	241	257	3,529
Pass Rate %(SC/Candidates)	42.4	58.9	52.3	61.7	60.4	61.1	67.1	68.1	64.9	67.2	63.0	64.5	60.1	67.3	57.6
Level 2 Test															
Applicants	415	258	61	45	51	17	18	13	17	24	17	12	18		948
Candidates	409	244	60	42	49	15	17	11	17	23	17	12	18	ONGOING	916
Successful Candidates(SC)	201	144	38	23	29	10	13	7	12	19	11	8	12		515
Pass Rate %(SC/Candidates)	49.1	59.0	63.3	54.8	59.2	66.7	76.5	63.6	70.6	82.6	64.7	66.7	66.7		56.2
Level 1 Test															
Applicants			57	15		8		5		5		5			95
Candidates	N/A	N/A	55	13	N/A	8	N/A	5	N/A	5	N/A	4	N/A	ONGOING	90
Successful Candidates(SC)			19	8		3		3		3		3			39
Pass Rate %(SC/Candidates)			34.5	61.5		37.5		60.0		60.0		75.0			43.3
CEM on Noise & Vibration															
Entry Level Test															
Applicants			106	145	111	77	75	45	56	63	46	44	77	46	891
Candidates	N/A	N/A	97	134	107	71	68	41	54	60	44	40	73	45	834
Successful Candidates(SC)			53	88	59	43	45	25	36	38	32	29	49	31	528
Pass Rate %(SC/Candidates)			54.6	65.7	55.1	60.6	66.2	61.0	66.7	63.3	72.7	72.5	67.1	68.9	63.3
Advanced Level Test															
Applicants						19	8		7		3		5		42
Candidates	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	16	6	N/A	7	N/A	3	N/A	5	N/A	37
Successful Candidates(SC)						11	4		4		2		3		24
Pass Rate %(SC/Candidates)						68.8	66.7		57.1		66.7		60.0		64.9
TOTAL															
Applicants	1,898	828	772	598	578	460	356	337	364	493	369	420	488	511	8,419
Candidates	1,805	782	732	549	547	434	334	320	354	481	356	402	474	497	8,020
Successful Candidates(SC)	793	461	382	341	324	265	225	216	231	324	229	263	290	305	4,647
Pass Rate %(SC/Candidates)	43.9	59.0	52.2	62.1	59.2	61.1	67.4	67.5	65.3	67.4	64.3	65.4	61.2	61.4	57.9

1.3 JEMCA's Technical Workshops of FY 2014 to 2018

1.3.1. Technical Workshops of FY 2015

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement 1 st	18 and 19 JUN 2015	12	18
2 nd	30 and 31 JUL 2015	12	16
3 rd	10 and 11 SEP 2015	12	12
Program for Developing Fiber Counting Techniques of Asbestos (PCM/PLM Method)	24 SEP 2015 -	50	33
Training Workshop on Polarizing Microscope Construction Material Course (1 st)	2 and 3 JUN 2015	16	16
(2 nd)	3 and 4 DEC 2015	16	16
Air Course (1 st)	4 JUN 2015	8	16
(2 nd)	5 JUN 2015	12	3
Construction Material Advanced Course (1 st)	6 and 7 OCT 2015	16	16
(2 nd)	1 and 2 DEC 2015	16	18
Proficiency Testing on Asbestos JIS A 1481-1 (experts)	4 to 7 AUG 2015	—	44
JIS A 1481-1 (labs)	1 to 17 DEC 2015		41 lab
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	AUG 2015 -		45 labs
Workshop on Measurement Management	12 JUN 2015	60	96

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.77: Total Nitrogen and Phosphorus in water	JUN 2015	400	407
Test No.78: Anion Analysis in water	JUL 2015	400	423
Test No.79: Total Boron and Metals in water	SEP 2015	400	446
Test No.80: Analysis of general items in water	NOV 2015	400	402
Test No.81: Gas Analysis	FEB 2016	230	249

SELF ¹ (Sample sent Date)	Target	Number Expected	Number Participated
123 rd (MAY 2015)	TOC	300	280
124 th (AUG 2015)	Lead		296
125 th (NOV 2015)	Fluorine		296
126 th (FEB 2016)	1,4-dioxane		281

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	prepared effluent (spiked)	JUL 2015	54 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Oil	DEC 2015	99 labs
MLAP ² Proficiency Testing	Soil	MAY 2015	94 labs

¹ Analytical Data Self Control Member

² Specified Measurement Laboratory Accreditation Program

1.3.2 Technical Workshops of FY 2016

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement 1 st	9 and 10 JUN 2016	12	14
2 nd	30 and 31 JUL 2016	12	19
Program for Developing Fiber Counting Techniques of Asbestos (PCM/PLM Method)	24 OCT– 22 NOV 2016 (Term from sample distribution to analysis)	50	23
Training Workshop on Polarizing Microscope Construction Material Qualitative Course (1 st)	1 and 2 JUN 2016	16	16
(2 nd)	19 and 20 JAN 2017	16	17
Construction Material Quantitative Course (1 st)	3 and 4 AUG 2016	16	16
(2 nd)	8 and 9 DEC 2016	16	12
Air Course	3 JUN 2016	16	14
Construction Material Qualitative - Advanced Course (1 st)	2 AUG 2016	16	15
(2 nd)	7 DEC 2016	12	5
Workshop for trainers	28 JUN - 1 JUL 2016	12	8
Proficiency Testing on Asbestos JIS A 1481-1 (experts)	13 - 15 AUG 2016	—	39
JIS A 1481-1 (labs)	18 OCT 2016		38 labs
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	NOV 2016 -		39 labs
Workshop on Measurement Management Noise and Vibration	17 JUN 2016	80	66
Concentration	15 JUN 2016	80	79

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.82: Total Nitrogen and Phosphorus in water	JUN 2016	410	427
Test No.83: Total Boron and Metals in water	JUL 2016	410	443
Test No.84: Anion Analysis in water	SEP 2016	400	418
Test No.85: Detection test of Metals related to the Soil Contamination Control Law	NOV 2016	350	323
Test No.86: VOC analysis in water	JAN 2017	350	379

SELF ³ (Sample sent Date)	Target	Number Expected	Number Participated
127 rd (MAY 2016)	Total vapor residues	300	309
128 th (AUG 2016)	Nitrite nitrogen		311
129 th (NOV 2016)	Zinc		314
130 th (FEB 2017)	Calcium & Magnesium		308

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	Dust	JUL 2016	58 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Oil	OCT 2016	91 lab

³ Analytical Data Self Control Member

1.3.3 Technical Workshops of FY 2017

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement			
1 st	22 and 23 JUN 2017	12	15
2 nd	27 and 28 JUL 2017	12	15
3 rd	21 and 21 SEP 2017	12	11
Training Workshop on Polarizing Microscope			
Construction Material Qualitative Course (1 st)	8 and 9 JUN 2017	16	16
(2 nd)	23 and 24 AUG 2017	16	16
(3 rd)	17 and 18 JAN 2018	16	16
Construction Material Quantitative Course (1 st)	14 and 15 SEP 2018	16	13
(2 nd)	8 and 9 FEB 2019	12	8
Air Course	25 AUG 2017	16	16
Construction Material Qualitative - Advanced Course	13 SEP 2017	16	16
Proficiency Testing on Asbestos			
JIS A 1481-1 (experts)	25 - 27 OCT 2017	—	48
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	DEC 2017 -	—	43 labs
Workshop on Measurement Management (Concentration)	21 JUL 2017	70	70

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.87: Analysis of general items in water	JUN 2017	410	451
Test No.88: Metal analysis in water	JUL 2017	430	399
Test No.89: Anion analysis in water	OCT 2017	410	398
Test No.90: Total Nitrogen and Phosphorus in water	NOV 2017	430	400
Test No.91: Residual pesticides analysis in water	JAN 2018	300	293

SELF ⁴ (Sample Distribution Date)	Target	Number Expected	Number Participated
131 st (MAY 2017)	Iron	300	298
132 nd (AUG 2017)	Boron		289
133 rd (NOV 2017)	Bromide ion		290
134 th (FEB 2018)	Ammonium Nitrogen		302

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	Dust	AUG 2017	59 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Waste	OCT 2017	96 labs

⁴ Analytical Data Self Control Member

1.3.4 Technical Workshops of FY 2018

Name of Workshop	Date	Expected Number	Participant Number
Training Workshop on Measurement			
1 st	14 and 15 JUN 2018	12	18
2 nd	13 and 14 SEP 2018	12	19
3 rd	15 and 16 NOV 2018	12	18
Training Workshop on Polarizing Microscope			
Construction Material Qualitative Course (1 st)	31 May and 1 JUN 2018	16	16
(2 nd)	12 and 13 JUL 2018	16	16
(3 rd)	22 and 23 AUG 2018	16	16
(4 th)	17 and 18 JAN 2019	16	16
Construction Material Quantitative Course	18 and 19 OCT 2018	12	16
Air Course	24 AUG 2018	16	10
Construction Material Qualitative - Advanced Course	17 OCT 2018	16	16
Proficiency Testing on Asbestos			
JIS A 1481-1 (experts)	19 - 21 ODEC 2018	—	56
Phase Difference / Fiber Counting (labs)	JAN 2019 -	—	55 labs
Workshop on Measurement Management (Concentration)	29 JUN 2018	70	76
(Noise and Vibration)	8 JUN 2018	70	76

Proficiency Testing	Sample Sent	Number Expected	Number Participated
Test No.92: Metal analysis in water	JUN 2018	410	411
Test No.93: Total Nitrogen and Phosphorus in water	JUL 2018	410	408
Test No.94: Anion analysis in water	OCT 2018	410	384
Test No.95: Analysis of general items in water	NOV 2018	440	410
Test No.96: Residual pesticides analysis in water	FEB 2019	250	249

SELF ⁵ (Sample Distribution Date)	Target	Number Expected	Number Participated
135 th (MAY 2018)	Indium	300	261
136 th (AUG 2018)	Total Chromium		282
137 th (NOV 2018)	Nitrate nitrogen		286
138 th (FEB 2019)	Electrical conductivity		295

Ultra-trace Substance	Sample	Sample Sent	Number Participated
Cross-check in Dioxins Analysis	Prepared soil (spiked)	AUG 2018	60 labs
Cross-check in PCBs Ultra-trace Analysis	Insulating Waste	OCT 2018	92 labs

⁵ Analytical Data Self Control Member

2. Report on UILI-ILP

2.1 The 1st UILI-ILP

According to resolution of the UILI International Proficiency Testing Committee in September 2006, the program was named as "Inter Laboratory Practice (ILP)".

- (1) Hosted by: UILI
- (2) Co-hosted by: JEMCA, ACIL, CCIL, AELI and VRS
- (3) Type of the program: Proficiency Test of heavy metal in sediment.
- (4) Target compound: Total Chromium (T-Cr), Total Lead (T-Pb), Total Nickel (T-Ni), Total Zinc (T-Zn) and Total Mercury (T-Hg)
- (5) Method: Analyzing total concentration of metals in sediment.
- (6) Number of labs participated: 237
- (7) Number of labs submitted results: About 188 to 223
- (8) Statistical Evaluation using; z-score, bar charts of z-scores in ascending order and Youden-plot

2.2 The 2nd UILI-ILP in Japan

- (1) Type of the program: PAHs and Metals in Soil.
- (2) Target compound: 12 PAHs and 8 Metals.
- (3) Sample distribution finished on 7 April 2008 (delayed).
- (4) Report date: 31 May 2008.
- (5) Number of labs participated: 122
Number of labs submitted results: 117
- (6) List of result is submitted to UILI.
- (7) For Japanese participants, JEMCA issued pre-report in October 2008.
- (8) For Japanese participants, JEMCA issued final report which includes data from Canada and USA in February 2009. Certificate for participation has been distributed among participants who reported results..
- (9) JEMCA distributed certificates to associations for participants from Canada and USA.

2.3. The 3rd UILI-ILP

- (1) Analysis of POPs and Metals in sediment (powder).
- (2) 22 POPs compounds and 8 Metals.
- (3) For Japanese participants, prompt report was issued and distributed in July 2009.
- (4) Final report including results from non-Japanese participants and certificates were issued and distributed in August 2009.
- (5) Number of participants to 3rd UILI-ILP:

Japan	84 labs
U.S.A.	6 labs
Canada	2 labs
Mexico	1 lab
Spain	2 labs
<u>The Netherlands</u>	<u>6 labs</u>
Total	101 lab

2.4. The 4th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Heavy Metals in Water.
- (2) Target compound: 16 Metals.
- (3) In Japan, sample distribution finished on 1st and 2nd of February 2010. For other countries, it finished by the beginning of March 2010.
- (4) Reporting deadline: 19 March 2010.
- (5) JEMCA distributed final reports and certificates by the end of August 2010 to participants in Japan.
- (6) Final report for non-Japanese participants and certificates will be issued and distributed at UILI GBM in October 2010.
- (7) Number of participants to 4th UILI-ILP:

Japan	143 labs
U.S.A.	4 labs
Spain	5 labs
<u>Mexico</u>	<u>1 lab</u>
Total	153 labs

2.5 The 5th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Cations and Anions in Natural Water.
- (2) Target compound: 4 Cations and 4 Anions, 8 targets in total.
- (3) In Japan, sample distribution finished on 7th and 8th of February 2010. For other countries, sample have distributed by the end of February 2010.
- (4) Reporting deadline: 31 March 2010.
- (5) Number of applicants to 5th UILI-ILP:

Japan	128 labs
Spain	4 labs
Belgium	1 lab
Canada	1 lab
<u>Korea</u>	<u>1 lab</u>
Total	135 labs

- (6) JEMCA distributed final reports and certificates on 1 August 2011 to participants in Japan.
- (7) Final report of non-Japanese participants and certificates will be issued and distributed before UILI Board Meeting in Paris.

2.6 The 6th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Metals in Saline Water
- (2) Target compound: 6 Metals
- (3) In Japan, sample distribution finished on 6th and 7th of February 2012. For other countries, it finished by the end of February 2012.
- (4) Reporting deadline: 31 March 2012.
- (5) Number of applicants to 6th UILI-ILP:

Japan	141 lab
Spain	3 labs
Canada	3 labs
The Netherlands	2 labs
<u>Mexico</u>	<u>1 lab</u>
Total	150 labs

- (6) JEMCA distributed final report to on July 2012 to Japanese participants.

- (7) Final report for non-Japanese participants and certificates was issued and distributed on September 2012.

2.7 The 7th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Metals Drinking Water and Saline Water
(2) Target compound: 10 Metals
(3) In Japan, sample distribution finished on 18th and 19th of February 2013. For other countries, it finished by beginning of March 2013.
(4) Reporting deadline: 31 March 2013 for Japanese and 4 April 2013 for non-Japanese participants.
(5) Number of applicants to 7th UILI-ILP:

Japan	141 lab
Portugal	4 labs
Canada	3 labs
Spain	3 labs
The Netherlands	2 labs
Mexico	1 lab
<u>China</u>	<u>1 lab</u>
Total	155 labs

- (6) JEMCA distributed final report to on 24 September 2013 to Japanese participants.
(7) Final report for non-Japanese participants and certificates has been drafted and issued on 20 December 2013.

2.8 The 8th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Metals in Pure Water
(2) Target compound: 15 Metals
(3) Sample distribution in Japan: 7 - 8 April 2014
(4) Reporting deadline: 16 May 2014 for Japanese and 23 May 2014 for non-Japanese participants
(5) Number of applicants reported for 8th UILI-ILP:

Japan	109 labs
Others	10 labs
<u>(Canada 1, Spain 1, Portugal 4, China 1, France 1, USA 1, and Brazil 1)</u>	
Total	119 labs

- (6) Final report was issued on October 1, 2014.
(7) Final report and Certificates for Japanese participants were distributed on 1 OCT 2014.

2.9 The 9th UILI-ILP

- (1) Type of the program: Metals in Pure Water (Drinking water)
(2) Target compound: 11 Metals
(3) Sample distribution in Japan: March 30 & 31, 2015
(4) Reporting deadline: May 22 for Japanese and May 31, 2015 for non-Japanese participants
(5) Final report was issued on October, 2015
(6) Number of applicants reported for 9th UILI-ILP:

Japan	94 labs
Argentina	1 lab
Belgium	1 lab
China	1 lab
Germany	1 lab

France	1 lab
Korea	2 labs
Mexico	1 lab
Portugal	1 lab
<u>Spain</u>	<u>1 lab</u>
Total	104 labs

(7) Final report and certificates for Japanese participants was distributed on 30 OCT 2015.

2.10 The 10th UILI-ILP (2016)

- (1) Type of the program: Cations and Anions in Natural Water
- (2) Target compound: 4 Cations, 5 Anions, total 9 ions
- (3) Sample distribution in Japan: April 25 & 26, 2016
- (4) Reporting deadline: June 3 for Japanese and August 31, 2016 for non-Japanese participants
- (5) Final report is expected to be issued on October 2016 for Japanese, December 2016 for non-Japanese participants.

(6) Number of applicants reported for 10th UILI-ILP

Japan	144 (laboratories)
Argentina	1
China	1
Nigeria	7
<u>Spain</u>	<u>1</u>
Total	154

(7) Final report and certificates were distributed by the end of October 2016 in Japan and December 2016 in non-Japanese countries.

2.11 The 14th UILI-ILP (2017)

- (1) Type of the program: Nitrate, Silicate, and Phosphate in Natural Water
- (2) Target compound: Nitrate-nitrogen (NO_3^-), Silicate-silicon (SiO_2), and Phosphate-phosphorus (PO_4^{3-})
- (3) Application period: From 17 APR to 31 MAY 2017
- (4) Sample distribution in Japan: 26 & 27 JUN 2017
- (5) Reporting deadline: 10 AUG for Japanese and 1 SEP for non-Japanese participants
- (6) Final report is expected to be issued on November 2017 for Japanese, December 2017 for non-Japanese participants.

(7) Number of applicants for 14th UILI-ILP

Japan	106 labs
China	2 labs
Nigeria	5 labs
<u>Spain</u>	<u>1 lab</u>
Total	114 labs

(8) Final report and certificates were distributed on November 2017 in Japan.

2.12 The 18th UILI-ILP (2018)

- (1) Type of the program: Cations and Anions in Natural Water
- (2) Target compound: 4 Cations, 7 Anions, 11 in total.
- (3) Application period: From 18 APR to 7 JUN 2018
- (4) Sample distribution in Japan: 25 & 26 JUN 2018
- (5) Reporting deadline: 10 AUG for Japanese and 1 SEP for non-Japanese participants



(6) Final report: November 2018 for Japanese and December 2018 for non-Japanese participants

(7) Number of applicants for 18th UILI-ILP

Japan	96 labs
Argentina	1 lab
China	2 labs
Nigeria	5 labs
Spain	2 labs
<u>Switzerland</u>	<u>1 lab</u>
Total	107 labs

(8) Final report and certificates were distributed on November 2018 in Japan.

2.12 The 22nd UILI-ILP (2019) - ONGOING

(1) Type of the program: Analysis of Trace Compounds in Powder

(2) Target compound: Total Mercury and PCB

(3) Application period: From 20 MAY to 17 JUN 2019

(4) Sample distribution in Japan: 1 & 2 JUL 2019

(5) Reporting deadline: 18 SEP 2019

(6) Final report is expected to be issued on December 2019 in Japan.

(7) Number of applicants for 22nd UILI-ILP

<u>Japan</u>	<u>74 labs</u> (Including lab in China as group of Japanese firm)
Total	107 labs

(8) Final report and certificates are expected to be distributed on December 2019 in Japan.

FY 2005 (Apr 2005 - Mar 2006)		FY 2006 (Apr 2006 - Mar 2007)		FY 2007 (Apr 2007 - Mar 2008)		FY 2008 (Apr 2008 - Mar 2009)		FY 2009 (Apr 2009 - Mar 2010)	
(27) VOC analysis in soil-1 Unit (volppm) 1,1-dichloroethylene: 0.970, 0.775 cis-1,2-dichloroethylene: 0.830, 0.665 1,1,1-Trichloroethane: 0.910, 0.720 Trichloroethylene: 0.825, 0.650 Tetrachloroethylene: 0.795, 0.640		(32) Gas analysis-3 Unit (mg/m ³) SO _x : 200, 258 NO _x : 82, 123		(37) Anion analysis in water-5 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.7, 0.9 Cl ⁻ : 40, 35 NO ₃ ⁻ : 20, 18 NO ₂ ⁻ : 16, 14		(42) Heavy metal analysis in water-10 Unit (mg/L) Fe: 4.5, 5.0 Cu: 2.0, 1.8 Total Cr: 5.5, 5.0 Mn: 1.8, 2.0		(47) Anion analysis in water-6 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.9, 1.1 Cl ⁻ : 90, 80 NO ₃ ⁻ : 20, 23 SO ₄ ²⁻ : 14, 20	
Date of call for applicants: 04/05	Date of Report: 05/05	Date of call for applicants: 04/06	Date of Report: 08/06	Date of call for applicants: 04/07	Date of Report: 09/07	Date of call for applicants: 04/08	Date of Report: 09/08	Date of call for applicants: 04/09	Date of Report: 09/09
Number of applicants: 483	Number of applicants: 475	Number of applicants: 237	Number of participants: 251	Number of applicants: 472	Number of participants: 463	Number of applicants: 463	Number of participants: 448	Number of applicants: 459	Number of participants: 453
(28) Metal analysis in water-7 Unit (mg/L) Pb: 0.0490, 0.0570 Zn: 2.950, 2.450 Total Cr: 0.0470, 0.0380 As: 0.0290, 0.0240 Sb: 0.0200, 0.0240		(33) Analysis of general items in water-6 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 6.0, 8.0		(38) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 4 Cd: 13.68, 12.69 Pb 16.61, 15.54 Cr ⁶⁺ : 12.16, 10.76 As: 15.60, 14.11		(43) Total Nitrogen and Phosphorus in water-3 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.820, 1.030 Total Phosphorus(TP): 0.0880, 0.0690		(48) Heavy metal analysis in water-11 Unit (mg/L) Cd: 0.007, 0.009 Total Cr: 0.06, 0.05 As: 0.020, 0.025 Pb: 0.055, 0.045	
Date of call for applicants: 06/05	Date of Report: 08/05	Date of call for applicants: 06/06	Date of Report: 09/06	Date of call for applicants: 06/07	Date of Report: 12/07	Date of call for applicants: 06/08	Date of Report: 11/08	Date of call for applicants: 06/09	Date of Report: 11/09
Number of applicants: 428	Number of applicants: 410	Number of participants: 419	Number of applicants: 410	Number of applicants: 415	Number of participants: 395	Number of applicants: 451	Number of participants: 444	Number of applicants: 450	Number of participants: 437
(29) Analysis of general items in water-5 Unit (mgO/L) COD _{Mn} : 5.70, 3.70		(34) Aldehydes analysis in water - 1 Unit (mg/m ³) Acetaldehyde: 7.9, 6.0 Formaldehyde: 6.2, 4.2		(39) Analysis of general items in water-7 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 37.4, 42.5		(44) Residual pesticides analysis in water-5 Unit (mg/L) Thiobencarb: 0.019970, 0.016480 Isoxathion: 0.002210, 0.002950 Fenitrothion: 0.004430, 0.003550		(49) Analysis of general items in water-9 COD _{Mn} : 22.18 mg/L	
Date of call for applicants: 09/05	Date of Report: 11/05	Date of call for applicants: 08/06	Date of Report: 11/06	Date of call for applicants: 12/08	Date of call for applicants: 12/08	Date of call for applicants: 08/08	Date of Report: 01/09	Date of call for applicants: 08/09	Date of Report: 12/09
Number of applicants: 406	Number of applicants: 401	Number of participants: 181	Number of applicants: 177	Number of applicants: 388	Number of applicants: 388	Number of applicants: 236	Number of participants: 217	Number of applicants: 382	Number of participants: 379
(30) Total Nitrogen and Phosphorus in water-2 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.910, 0.710 Total Phosphorus(TP): 0.0910, 0.0690		(35) Metal analysis in water-3 Unit (mg/L) Pb: 0.04, 0.05 Total Cr: 0.40, 0.30 Mn: 0.50, 0.60 Cu: 0.90, 0.80		(40) Metal analysis in water-4 Unit (mg/L) Cd: 0.005, 0.007 Pb: 0.03, 0.02 As: 0.010, 0.015 Zn: 0.50, 0.45		(45) Gas analysis-4 Unit (mg/m ³) SO _x : 182.355, 209.565 NO _x : 83.540, 101.590		(50) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 5 Unit (mg/kg) Cd: 18, 16 Pb 15, 17 Cr ⁶⁺ : 42, 38 As: 33, 36	
Date of call for applicants: 11/05	Date of Report: 01/06	Date of call for applicants: 11/06	Date of Report: 01/07	Date of call for applicants: 10/07	Date of Report: 03/08	Date of call for applicants: 10/08	Date of Report: 03/09	Date of call for applicants: 10/09	Date of Report: 2010
Number of applicants: 432	Number of applicants: 413	Number of participants: 444	Number of applicants: 433	Number of applicants: 441	Number of participants: 431	Number of applicants: 226	Number of participants: 215	Number of applicants: 337	Number of participants: 327
(31) VOC analysis in water-4 Unit (mg/L) cis-1,2-dichloroethylene: 0.6230, 0.6340 Trichloroethylene: 1.1230, 1.1030 Tetrachloroethylene: 0.9870, 0.9270 Chloroform: 4.3980, 4.4400		(36) Residual pesticides analysis in water-4 Unit (mg/L) Iprobenfos: 0.010, 0.012 Fenitrothion: 0.0045, 0.0035 Simazine: 0.004, 0.0045		(41) VOC analysis in water-5 Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.020, 0.025 Trichloroethylene: 0.04, 0.03 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.012, 0.010		(46) Analysis of general items in water-8 COD _{Mn} : 18,15 mg/L Cl ⁻ : 2000 mgCl/L		(51) VOC analysis in water-6 Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.020, 0.025 Trichloroethylene: 0.04, 0.03 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.012, 0.010	
Date of call for applicants: 02/06	Date of Report: 04/06	Date of call for applicants: 12/06	Date of Report: 03/07	Date of call for applicants: 12/07	Date of Report: 04/08	Date of call for applicants: 12/08	Date of Report: 04/09	Date of call for applicants: 12/09	Date of Report: 05/10
Number of applicants: 330	Number of applicants: 324	Number of participants: 233	Number of applicants: 1,214	Number of applicants: 364	Number of participants: 349	Number of applicants: 388	Number of participants: 384	Number of applicants: 362	Number of participants: 348
Total applicants of the year: 2,079	Total participants of the year: 2,033	Total applicants of the year: 1,528	Total participants of the year: 1,485	Total applicants of the year: 2,097	Total participants of the year: 1,588	Total applicants of the year: 1,764	Total participants of the year: 1,708	Total applicants of the year: 1,990	Total participants of the year: 1,944
Cumulative applicants to JEMCA PT: 11,990	Cumulative participants to JEMCA PT: 11,503	Cumulative applicants to JEMCA PT: 13,518	Cumulative participants to JEMCA PT: 12,974	Cumulative applicants to JEMCA PT: 15,615	Cumulative participants to JEMCA PT: 14,993	Cumulative applicants to JEMCA PT: 17,379	Cumulative participants to JEMCA PT: 16,701	Cumulative applicants to JEMCA PT: 19,369	Cumulative participants to JEMCA PT: 18,654

FY 2010 (Apr 2010 - Mar 2011)		FY 2011 (Apr 2011 – Mar 2012)		FY 2012 (Apr 2012 – Mar 2013)		FY 2013 (Apr 2013 – Mar 2014)		FY 2014 (Apr 2014 – Mar 2015)	
(52) Total Nitrogen and Phosphorus in water-4 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.50, 0.70 Total Phosphorus(TP): 0.06, 0.04		(57) Anion analysis in water-8 Unit (mg/L) NO ₂ ⁻ : 20, 18 NO ₃ ⁻ : 14, 16 Cl ⁻ : 55, 50 F ⁻ : 0.7, 0.9		(62) Anion analysis in water-9 Unit (mg/L) NO ₂ ⁻ : 16, 19 NO ₃ ⁻ : 5.0, 4.0 Cl ⁻ : 80, 70 F ⁻ : 1.0 0.8		(67) Heavy metal analysis in water-15 Unit (mg/L) Mn: 0.20, 0.30 Cu: 2.2, 2.0 Zn: 0.16, 0.10 Cd: 0.010, 0.008		(72) Heavy metal analysis in water-16 Unit (mg/L) Total Cr: 0.3, 0.4 Fe: 2.0, 1.5 Zn: 0.45, 5.0 Pb: 0.1, 0.1	
Date of call for applicants: 4/10	Date of Report: 09/10	Date of call for applicants: 04/11	Date of Report: 09/11	Date of call for applicants: 04/12	Date of Report: 09/12	Date of call for applicants: 04/13	Date of Report: 09/13	Date of call for applicants: 04/14	Date of Report: 09/14
Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 415	Number of participants: 404	Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 416	Number of participants: 410	Number of applicants: 371	Number of participants: 359
(53) Heavy metal analysis in water-12 Unit (mg/L) Zn: 1.00, 0.90 Fe: 3.0, 3.5 Cu: 1.20, 1.00 Mn: 1.50, 1.60		(58) Metal analysis in water-13 Unit (mg/L) Zn: 0.50, 0.45 Fe: 3.0, 3.5 Cu: 1.5, 1.2 Pb: 0.045, 0.050 Al: 0.20, 0.18		(63) Metal analysis in water-14 Unit (mg/L) Total Cr: 0.06, 0.08 Mn: 2.00, 1.80 Fe: 2.0, 2.5 Pb: 0.055, 0.050		(68) Anion analysis in water-10 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.5, 0.4 Cl ⁻ : 2.2, 2.0 Nitrite nitrogen: 4.0, 3.0 Nitrate nitrogen: 5.0, 6.0		(73) Total Nitrogen and Phosphorus in water-8 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.3, 0.4 Total Phosphorus(TP): 2.0, 1.5	
Date of call for applicants: 06/10	Date of Report: 06/10	Date of Report: 06/11	Date of Report: 12/11	Date of call for applicants: 12/12	Date of call for applicants: 12/12	Date of call of participants: 06/13	Date of Report: 12/13	Date of call for applicants: 06/14	Date of Report: 12/14
Number of applicants: 439	Number of participants: 439	Number of participants: 428	Number of participants: 419	Number of applicants: 389	Number of participants: 389	Number of applicants: 425	Number of participants: 418	Number of applicants: 368	Number of participants: 349
(54) Analysis of general items in water-10 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 25, 21		(59) Analysis of general items in water-11 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 24, 28		(64) Analysis of general items in water-12 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 38, 34		(69) Total Nitrogen and Phosphorus in water-7 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.05, 0.06		(74) Anion analysis in water-11 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.6, 0.8 Cl ⁻ : 50, 45 Nitrite nitrogen: 4.0, 4.5 Nitrate nitrogen: 6.5, 7.5	
Date of call for applicants: 08/10	Date of Report: 08/10	Date of call for applicants: 08/11	Date of Report: 1/12	Date of call for applicants: 04/12	Date of Report: 09/12	Date of call of participants: 08/13	Date of Report: 02/14	Date of call for applicants: 08/14	Date of Report: 01/15
Number of applicants: 382	Number of participants: 382	Number of applicants: 381	Number of participants: 373	Number of applicants: 446	Number of participants: 438	Number of applicants: 396	Number of participants: 392	Number of applicants: 400	Number of participants: 382
(55) Anion analysis in water-7 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.90, 0.70 Cl ⁻ : 90, 100 NO ₃ ⁻ : 25, 22 SO ₄ ²⁻ : 14, 16		(60) Total Nitrogen and Phosphorus in water-5 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.70, 0.90 Total Phosphorus(TP): 0.08, 0.06		(65) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 6 Unit (mg/kg) Cr ⁶⁺ : 40, 36 As: 33, 35 Cd: 17, 16 Pb: 14, 16		(70) Analysis of general items in water-13 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 30, 34		(75) Analysis of general items in water-14 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 14, 16	
Date of call for applicants: 10/10	Date of Report: 03/11	Date of call for applicants: 12/11	Date of Report: 03/12	Date of call for applicants: 10/12	Date of Report: 03/13	Date of call of participants: 10/13	Date of Report: 03/14	Date of call for applicants: 08/14	Date of Report: 03/15
Number of applicants: 400	Number of participants: 394	Number of applicants: 404	Number of participants: 393	Number of applicants: 317	Number of participants: 307	Number of applicants: 407	Number of participants: 400	Number of applicants: 380	Number of participants: 378
(56) Residual pesticides analysis in water-6 Unit (mg/L) Thiobencarb: 0.025, 0.020 Simazine: 0.0035, 0.0040 Fenitrothion: 0.0035, 0.0030		(61) Gas analysis-5 Unit (mg/m ³) SO _x : 258, 287 NO _x : 102, 123		(66) Total Nitrogen and Phosphorus in water-6 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.05, 0.06		(71) VOC analysis in water-7 Unit (mg/L) Dichloromethane: 0.025, 0.022 Trichloroethylene: 0.03, 0.035 1,1,2-Trichloroethane: 0.006, 0.008 Benzene: 0.010, 0.012		(76) Residual pesticides analysis in water-7 Unit (mg/L) Simazine: 0.0030, 0.0025 Thiobencarb: 0.015, 0.020	
Date of call for applicants: 12/10	Date of Report: 2011	Date of call for applicants: 12/11	Date of Report: 4/12	Date of call for applicants: 12/10	Date of call for applicants: 12/10	Date of call of participants: 01/14	Date of Report: 06/14	Date of call for applicants: 11/14	Date of Report: 03/15
Number of applicants: 264	Number of participants: 240	Number of applicants: 230	Number of participants: 211	Number of applicants: 264	Number of participants: 264	Number of applicants: 357	Number of participants: 336	Number of applicants: 303	Number of participants: 286
Total applicants of the year: 1,931	Total participants of the year: 1,881	Total applicants of the year: 1,858	Total participants of the year: 1,800	Total applicants of the year: 1,931	Total participants of the year: 1,931	Total applicants of the year: 2,001	Total participants of the year: 1,956	Total applicants of the year: 1,822	Total participants of the year: 1,754
Cumulative applicants to JEMCA PT: 21,300	Cumulative participants to JEMCA PT: 20,526	Cumulative applicants to JEMCA PT: 23,158	Cumulative participants to JEMCA PT: 22,326	Cumulative applicants to JEMCA PT: 21,300	Cumulative participants to JEMCA PT: 21,300	Cumulative applicants to JEMCA PT: 27,139	Cumulative participants to JEMCA PT: 26,224	Cumulative applicants to JEMCA PT: 28,961	Cumulative participants to JEMCA PT: 27,978

FY 2015 (Apr 2015 - Mar 2016)		FY 2016 (Apr 2016 – Mar 2017)		FY 2017 (Apr 2017 – Mar 2018)		FY 2018 (Apr 2018 – Mar 2019)		FY 2019 (Apr 2019 – Mar 2020)	
(77) Total Nitrogen and Phosphorus in water-9 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN):0.6, 0.5 Total Phosphorus(TP): 0.06, 0.08		(82) Total Nitrogen and Phosphorus in water-10 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN):1.1, 0.9 Total Phosphorus(TP): 0.11, 0.09		(87) Analysis of general items in water -16 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 25, 30		(92) Heavy metal analysis in water-20 Unit (mg/L) Total Cr: 0.2, 0.3 Cu: 0.4, 0.5 Se: 0.012, 0.014 Pb : 0.05, 0.04		(97) Heavy metal analysis in water-21 Unit (mg/L) Fe: 2.7, 2.4 Cu: 0.7, 0.9 Se: 0.011, 0.013 Cd: 0.005, 0.004	
Date of call for applicants: 03/15	Date of Report: 03/15	Date of call for applicants: 03/16	Date of Report: 03/16	Date of call for applicants: 04/17	Date of Report: 10/17	Date of call for applicants: 04/18	Date of Report:	Date of call for applicants: 04/19	Date of Report: 10/19
Number of applicants: 378	Number of participants: 378	Number of applicants: 396	Number of participants: 396	Number of applicants: 430	Number of participants: 417	Number of applicants: 392	Number of participants: 381	Number of applicants: 414	Number of participants: 404
(78) Anion analysis in water-12 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.7, 0.5 Cl ⁻ : 60, 70 Nitrite nitrogen: 25, 22 Nitrate nitrogen: 6.0, 5.0		(83) Total Boron and Metals in water - 18 Unit (mg/L) Boron: 0.7, 0.9 Total Chromium (T-Cr): 0.5, 0.4 Fe: 3.0, 2.5 Pb: 0.03, 0.04		(88) Heavy metal analysis in water-19 Unit (mg/L) Al: 0.17, 0.19 Mn: 0.10, 0.08 Zn: 0.08, 0.10 Cd: 0.003, 0.004		(93) Total Nitrogen and Phosphorus in water-12 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.4, 0.7 Total Phosphorus(TP): 0.08, 0.14		(98) Anion analysis in water-16 Unit (mg/L) F ⁻ : 1.4, 1.3 Cl ⁻ : 55, 52 NO ₂ ⁻ : 9, 11 NO ₃ ⁻ : 26, 23	
Date of call for applicants: 05/15	Date of Report: 11/15	Date of call for applicants: 05/16	Date of Report: 11/16	Date of call for applicants: 05/17	Date of Report: 11/17	Date of call for applicants: 05/18	Date of Report: 11/18	Date of call for applicants: 05/19	Date of Report:
Number of applicants: 409	Number of participants: 397	Number of applicants: 423	Number of participants: 414	Number of applicants: 379	Number of participants: 361	Number of applicants: 388	Number of participants: 374	Number of applicants: 391	Number of participants:
(79) Total Boron and Metals in water - 17 Unit (mg/L) Boron: 0.8, 0.7 Mn: 0.15, 0.20 Cu: 1.0, 0.8 Cd: 0.005, 0.003		(84) Anion analysis in water-13 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.6, 0.5 Cl ⁻ : 45, 40 NO ₃ -N: 10, 8 SO ₄ ²⁻ : 17, 19		(89) Anion analysis in water-14 Unit (mg/L) Cl ⁻ : 59, 48 NO ₃ ⁻ : 30, 23 PO ₄ ³⁻ : 0.62, 0.50 SO ₄ ²⁻ : 35, 30		(94) Anion analysis in water-15 Unit (mg/L) F ⁻ : 0.81, 1.10 Cl ⁻ : 43, 35 NO ₃ ⁻ : 27, 21 PO ₄ ³⁻ : 0.41, 0.32		(99) Analysis of general items in water -18 Unit (mg/L) COD _{Mn} :	
Date of call for applicants: 06/15	Date of Report: 01/16	Date of call for applicants: 06/16	Date of Report: 01/17	Date of call for applicants: 06/17	Date of Report: 1/18	Date of call for applicants: 07/18	Date of Report: 01/19	Date of call for applicants: 07/19	Date of Report:
Number of applicants: 428	Number of participants: 416	Number of applicants: 401	Number of participants: 383	Number of applicants: 379	Number of participants: 362	Number of applicants: 364	Number of participants: 348	Number of applicants:	Number of participants:
(80) Analysis of general items in water-15 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 10, 8		(85) Detection test of contaminant related to the Soil Contamination Control Law - 7 Unit (mg/kg) Cr ⁶⁺ : 40, 46 As: 35, 31 Cd: 18, 15 Pb: 15, 13		(90) Total Nitrogen and Phosphorus in water-11 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): 0.8, 0.6 Total Phosphorus(TP): 0.10, 0.08		(95) Analysis of general items in water -17 Unit (mg/L) COD _{Mn} : 24, 21		(100) Total Nitrogen and Phosphorus in water-13 Unit (mg/L) Total Nitrogen(TN): Total Phosphorus(TP):	
Date of call of participants: 08/15	Date of Report: 03/16	Date of call for applicants: 08/16	Date of Report: 03/17	Date of call for applicants: 8/17	Date of Report: 03/18	Date of call for applicants: 08/18	Date of Report: 03/19	Date of call for applicants: 08/19	Date of Report:
Number of applicants: 386	Number of participants: 371	Number of applicants: 318	Number of participants: 308	Number of applicants: 384	Number of participants: 367	Number of applicants: 390	Number of participants: 374	Number of applicants:	Number of participants:
(81) Gas analysis-6 Unit (mg/m ³) SO _x : 229, 272 NO _x : 133, 113		(86) VOC analysis in water-8 Unit (mg/L) Benzene: 0.011, 0.009 Dichloromethane: 0.035, 0.030 Trichloroethylene: 0.010, 0.012 1,1,2-Trichloroethane: 0.008, 0.006		(91) Residual pesticides analysis in water-8 Unit (mg/L) Simazine: 0.0028, 0.0032 Thiobencarb: 0.021, 0.018		(96) Gas analysis-7 Unit (mg/m ³) SO _x : 260, 220 NO _x : 100, 120		(101) VOC analysis in water-9 Unit (mg/L)	
Date of call for applicants: 10/15	Date of Report: 05/16	Date of call of applicants: 11/16	Date of Report: 05/17	Date of call for applicants: 10/17	Date of Report: 5/18	Date of call for applicants: 02/19	Date of Report: 05/19	Date of call for applicants:	Date of Report:
Number of applicants: 233	Number of participants: 214	Number of applicants: 371	Number of participants: 349	Number of applicants: 285	Number of participants: 262	Number of applicants: 233	Number of participants: 211	Number of applicants:	Number of participants:
Total applicants of the year: 1,834	Total participants of the year: 1,773	Total applicants of the year: 1,909	Total participants of the year: 1,842	Total applicants of the year: 1,857	Total participants of the year: 1,769	Total applicants of the year: 1,767	Total participants of the year: 1,688	Total applicants of the year:	Total participants of the year:
Cumulative applicants to JEMCA PT: 30,795	Cumulative participants to JEMCA PT: 29,751	Cumulative applicants to JEMCA PT: 32,704	Cumulative participants to JEMCA PT: 31,593	Cumulative applicants to JEMCA PT: 34,561	Cumulative participants to JEMCA PT: 33,362	Cumulative applicants to JEMCA PT: 36,328	Cumulative participants to JEMCA PT: 35,050	Cumulative applicants to JEMCA PT:	Cumulative participants to JEMCA PT:

- END -



*28th General Assembly
Governing Board and
Working Group Meetings*

Rotterdam, the Netherlands

FIRST ANNOUNCEMENT
OCTOBER 2019

**THE
2020 UIIL
LABMEETING**
*Setting the
Dutch Norm*

VRS

*110 years of the Dutch
association of consulting
chemists*



*Annual forum
Governing Board and
Working Group Meetings*

Frankfurt, Germany

THIRD ANNOUNCEMENT
OKTOBER 2019



THE 2019 UIL LABMEETING

*The role Independent
Testing in Inspection
and Certification*

*In conjunction with the
IAF - ILAC 2019
Joint Annual Meetings*

OCTOBER 24 - 25TH 2019, FRANKFURT, GERMANY

2019 UILI LABMEETING

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDEE EN 1961



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1961

Dear laboratory friends,

It gives me great pleasure to invite you to attend the '2019 UILI LABMEETING, Governing Board and Working Group Meetings' that the International Union of Independent Laboratories (UILI) will organize on October 24 - 25, 2019 in Frankfurt. Our event will be hosted by UILI and will be organized in conjunction with the ILAC Laboratory Committee Meeting.

Our UILI LABMEETINGS should be seen as an initiative to raise awareness for the importance of the laboratory (Testing) industry societal level. From this perspective, it also forecasts composite talks: many social and economic aspects of laboratory testing do pass in review by prominent speakers from around the globe. I refer to the website of UILI (www.uili.org). There you can find all information and documentation concerning the activities.

UILI wishes to thank VUP Deutscher Verband Unabhängiger Prüflaboratorien e.V. for their kind support in organizing the meeting.

UILI members, I would like to welcome to our LabMeeting. I express the expectation that the '2019 UILI LABMEETING' will give a valuable contribution to the image and authority of the laboratory industry in the world.

Yours sincerely,

UILI - Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Drs Luc.H.A. Scholtis
 14th UILI President



Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)



Association of Indian Laboratories (AOIL)



Asociación Colombiana de Laboratorios (ASOCOLAB)



Cámara Argentina de Laboratorios Independientes (CALIBA)



Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)



European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories (Eurolab aisbl)



Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association (JEMCA)



Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria (SoTLAN)



Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)



Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI) is an international organization representing the laboratory industry. Established in 1960, UILI membership includes over 3000 laboratories through Member Associations as well as individual ordinary Members.



UILI Welcome at the 2019 UILI LABMEETING

PROGRAM 2019 UILI LABMEETING

Frankfurt, 24 October - 25 October 2019

Time	Wednesday October 23
12:00 - 18:00	Arrival / Check-in
18:00 - 22:00	IAF - ILAC Welcome Reception (register at www.iafilacmeetings.org)

Time	Thursday October 24
9:00 - 10:30	UILI Governing Board meeting Part 1 at the Intercontinental Hotel, Mosel room.
10:30 - 11:00	Coffee break
11:00 - 12:30	UILI Governing Board meeting Part 1 at the Intercontinental Hotel, Mosel room.
12:30 - 14:00	Lunch at the Intercontinental Hotel
14:00 - 14:45	Travel to Wetzlar
15:00 - 17:00	LabTour in cooperation with Deutscher Verband Unabhängiger Prüflaboratorien e.V. (VUP) to the Chemisches und mikrobiologisches Institut UEG in Wetzlar www.ueg-gmbh.de
17:30	City tour Wetzlar
19:30 - 22:30	Gala dinner
22:30	Return to Intercontinental Hotel



UILI LABMEETING WELCOMES

The UILI LABMEETING is open to all UILI Members, representatives of laboratories and laboratory associations and their stakeholders. UILI invites all registered attendees of the IAF - ILAC Joint Annual Meetings and members of the ILAC Laboratory Committee and the member of VUP.

2019 UILI LABMEETING

Frankfurt, 24 October - 25 October 2019

Time	Friday October 25
09:00 – 11:00	UILI Governing Board meeting Part 2 at the Intercontinental Hotel, Dresden room.
11:00 – 11:30	Coffee break
11:30 - 13:00	UILI Governing Board meeting Part 2 at the Intercontinental Hotel, Dresden room.
13:00 – 14:00	Lunch at the Intercontinental Hotel
14:00 – 14:15	<ul style="list-style-type: none"> • Opening by Drs. Luc Scholtis, 14th President of UILI, Union Internationale des Laboratoires Indépendants, Past-President of VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria and CEO of LabWing B.V. (The Netherlands).
14:15 – 15:15	<ul style="list-style-type: none"> • 'Independent Testing in Spain', Mr. Jordi Oliver-Rodés, President of AELI Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain). • 'Addressing Risk & Opportunity-Analysis and Evaluation', Mr D. S. Tewari, Chairman AOIL Association of Indian Laboratories (India). • 'Independent Testing in Europe', Dr. Álvaro Silva Ribeiro, Vice-President of UILI, President of RELACRE, Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal and President of EUROLAB, European Federation of National Associations of Measurements, Testing and Analytical Laboratories (Portugal).
15:15 – 15:30	Coffee break
15:30 – 17:00	<ul style="list-style-type: none"> • 'Independent testing in Germany ', Mr. Anton Blöth, Geschäftsführer VUP, Deutscher Verband Unabhängiger Prüflaboratorien • 'Overview of Chinese Measurement Business in 2018', Dr. Toru Matsumura, Treasurer of UILI, Vice-President of JEMCA and executive director of IDEA Consultants, Inc. (Japan). • 'Independent Testing in Inspection and Certification Role of Laboratory Accreditation in Professional Business Growth', Mr R. B. Singh, Secretary General AOIL Association of Indian Laboratories (India).
19:00 – 22:00	Departure Intercontinental: Farewell dinner at Villa Merton, Im Union Internatioanal Club, Leonhardsbrunn 12, Frankfurt.

The UILI LabMeeting and LabTour 2019 have been organized in cooperation with:



Deutscher Verband
Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.
Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

UILI thanks VUP for their kind support.



PROGRAM 2019 UILI LABMEETING

Frankfurt, 24 October - 25 October 2019

Time	Saturday October 26
13:30 – 17:00	ILAC Laboratory Committee (register at www.iafilacmeetings.org)

Time	Sunday October 27
11:00 – 17:00	ILAC Laboratory Committee (register at www.iafilacmeetings.org)

Time	Monday October 28
13:00 – 17:00	ILAC General Assembly (register at www.iafilacmeetings.org)

Time	Tuesday October 29
Evening	ILAC- IAF Farewell Reception (register at www.iafilacmeetings.org)

Time	Wednesday October 30
13:30 – 17:00	ILAC General Assembly (register at www.iafilacmeetings.org)

DATE AND PLACE

- IAF - ILAC Joint Annual Meeting
From Wednesday 23th to Wednesday 30th October
- UILI Labmeeting 2019, Friday 25^h October
- UILI Governing Board Meeting and LabTour
on Thursday 24th October in Frankfurt

REGISTRATION

Interested parties can register as a participant through online registration form via the website UILI: www.uili.org or by sending an e-mail to the UILI (secretariat@uili.org).

CALL FOR SPONSORS

Given the worldwide nature and perspective of this meeting, we consider it to be a good opportunity for international suppliers to the laboratory sector to be represented in such a relevant event. For this reason if your company is interested in being one of our main sponsors, together with other influential companies from our sector please contact us by sending an e-mail to secretariat@uili.org and we will provide you all the information about it.

COSTS

- LabMeeting 2019 package: € 475,00 *
- Including:
- Welcome reception see ILAC IAF € 100,00
 - LabTour including lunch € 100,00
 - Gala dinner € 100,00
 - LabMeeting including lunch € 75,00
 - Farewell dinner € 100,00

*Other costs will be shared among the participants

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

CREATING THE GLOBAL PLATFORM IN
 REPRESENTING THE LABORATORY INDUSTRY
 THE FUTURE OF UILI

Drs. Luc H.A. Scholtis
 14th UILI President

LABMEETING 2019

October, 2019
 Frankfurt Germany

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

ABOUT UILI

- The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI)
- International organization representing the laboratory industry
- Established in 13 March 1959 Paris, Founded 2 September 1960, Hamburg
- Registered in France 15 June 1961
- Membership includes over 1500 laboratories
 - Member associations
 - Ordinary members
 - Associate members
 - Honorary Members
- Governing Board
 - President: Drs Luc H.A. Scholtis (The Netherlands)
 - Immediate Past-President: Dr. Manahen Fernández Alonso (Spain)
 - First Vice President: Dr. Álvaro Silva Ribeiro (Portugal)
 - Second Vice-President: Mr. Jordi Oliver-Rodés (Spain)
 - Treasurer: Dr. Toru Matsumura (Japan)
 - Secretary-General: Mrs. Mary-Anne Adeeko (Nigeria)
 - Secretariat:
- Unaffiliated members representatives
 - Mr. Jan Soers (Belgium) and Mr. Alfredo Montes Niño (Brazil)



Representing the global laboratory industry

18-6-2020 · · · 2 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

HISTORY (FOUNDED 1960)

- March 13th 1959, First meeting to form UILI, Paris, France
- June 15th 1961, the Ministry of the Interior of the French Republic issued a decree certifying the legal existence of the UILI.
- Past presidents 1960-2015
 - ✓ G. Wolff (1969†), France 1960-1963
 - ✓ Jhr. drs. H.Ph. Boddart (1984†), The Netherlands 1963-1968
 - ✓ Dr. M. Barent (1978†), United Kingdom 1968-1973
 - ✓ Prof. Dr. W. Fresenius (2004†), Germany 1973-1978
 - ✓ Dr. B. Oliver-Rodés (2017†), Spain 1978-1984
 - ✓ H.K. Hochschwender (2005†), USA 1984-1990
 - ✓ Dr. K.J. Albutt (2012†), United Kingdom 1990-1995
 - ✓ Drs L.H.A. Scholtis, The Netherlands 1995-1999
 - ✓ R.L. Harris, USA 1999-2003
 - ✓ G.G. McIntee, Canada 2003-2007
 - ✓ Dr. M. Dorado-Gonzalez, Spain 2007-2008
 - ✓ Dr. H. Tabata, Japan 2008-2011
 - ✓ Dr. Manahén Fernández, Spain 2011-2015
- Constitution




18-6-2020 · · 3 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

MEMBERS OF UILI

- Member associations
 - Laboratory members associations in Argentina, Belgium, Canada, Colombia, India, Japan, Netherlands, Nigeria, Portugal and Spain
- Ordinary members
 - Affiliated and unaffiliated ordinary members represent Argentina, Belgium, Brazil, Canada, Chile, France, Greece, India, Iran, Ireland, Japan, Malaysia, Netherlands,
 - Nigeria, Saudi Arabia, Singapore, South Africa, Spain, Portugal, Turkey, United Kingdom, United States and Uruguay.
- Associate members
 - Laboratory suppliers
- Honorary Members
 - Jhr. drs. Henri Phoenix Boddart († 1984), Prof. Dr. Wilhelm Fresenius († 2004)
 - Dr. Benito Oliver-Rodés († 2017), Herman K. Hochschwender († 2005)
 - David H. Stanger, Dr. Kenn J. Albutt († 2012)
 - Jhr. Robbert J.H. Boddart, Dr. Hideo Tabata and Dr. Manahén Fernández Alonso



The present membership represents over one thousand laboratories offering a diverse range of laboratory testing and consulting services. UILI has members throughout Europe, North- and South America, and the Middle and Far East.



18-6-2020 · · 4 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمه الاتحاد الدولي للبحوث المستقلة
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

MEMBER ASSOCIATIONS

AELI Asociación Española de Laboratorios Independientes, Spain

AOIL Association of Indian Laboratories, India

ASOCOLAB Asociación Colombiana de Laboratorios, Colombia

CALIBA Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Argentina

CCIL Canadian Council of Independent Laboratories, Canada

EUROLAB European federation of Naional Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories

JEMCA Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association, Japan

RELACRE Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal, Portugal

SoTLAN Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria

VRS Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria, The Netherlands

18-6-2020 · · 5 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القائمه الاتحاد الدولي للبحوث المستقلة
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

ORDINARY MEMBERS

Al Hoty-Stanger Ltd., Saudi Arabia

Edtech Associates Sdn Berhad, Malaysia

Eurofins Scientific Group, Belgium

Tsakalidis, Greece

Flandres Analyses, France

Geo-Chem Laboratories PVT Ltd., India

GEOS N.V., Belgium

Microbionics Analises Laboratoriais Ltda, Brazil

Nestec Ltd. Research Centre, Switzerland

The Company of Goldsmiths of Dublin, Ireland

Vitsan Gözetim AS, Turkey

18-6-2020 · · 6 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

UILI MEMBER ASSOCIATIONS

☐ Sotlan (Nigeria):

- A&B Laboratories and Consultancy Services
- AF C&Ichem & Company
- Alfa Laboratories Ltd.
- Alpha Chemicom Limited
- Analtrace Environmental Consultants & Laboratories
- Bato Chemical Laboratories Ltd.
- Clean Environment Systems Ltd.
- Dukoria Laboratories Limited
- Emachy Chemicals & Laboratory
- Erville Environmental Laboratories Ltd.
- Frals testing and consulting services Ltd
- Fugro Nigeria Limited
- Hydrochrom Resources Limited
- Interchem Ind. Ltd.
- Jawura Environmental Services Ltd.
- Kappachem Laboratory Services
- Lach Consult and Scientific Support Limited
- Mohby Analytical Laboratory
- MOYEZ Analab Resources
- Multi-Consult Laboratories Limited
- Najco Laboratories Limited
- Okeson & Chemical Associates Limited
- Pieris Scientific Labs & Consultancy Services
- Remaben Scientific Services Ltd.
- SAAG Chemical (Nig.) Ltd.
- Scientific Laboratory Services Limited
- Soulmate Laboratories Ltd.
- Tetras Environmental and Scientific Services Ltd.
- Unique Analytical & Diagnostic Lab Services Ltd



18-6-2020 · · 7 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

MEMBERS WORK TOGETHER



- ☐ Representation and participation in the workings of national or international standard bodies such as ILAC, UN/UNIDO and ISO.
- ☐ Representation at International Laboratory Accreditation Cooperation and Task Force meetings.
- ☐ Opportunities for personal contact with other laboratory professionals.
- ☐ Advice and encouragement in developing technical capabilities.
- ☐ Preferential fees for conferences and seminars.
- ☐ Active assistance from the Secretariat and other UILI officers.
- ☐ Leadership network, contact with other laboratory professionals.



18-6-2020 · · 8 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

COMMUNICATION AND MEMBERSHIP

- Access to information (Members' only section) on the UILI website.
- UILI newsletters and other information leaflets
- Membership certificate
- Participate to UILI-ILP at discounted member price
- Regular publication of the UILI "Register of Members"
- Invitations for meetings, seminars and LabTours
- Special offers to providers






18-6-2020 · · 9 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

ACTIVITIES AND MEETINGS

- General Assemblies
- Governing Board Meetings
- Committee Meetings
- LabMeetings and Seminars
- Working Group Meetings
 - ISO/CASCO - ISO/REMCO
 - UILI- Eurolab
- LabTours



















18-6-2020 · · 10 ·



WORKING GROUPS AND COMMITTEES

Executive committee ISO/CASCO WORKING GROUP

- Á. Silva Ribeiro
 - J. Oliver-Rodes Sen
 - L. Scholtis
 - M. Adeeko
 - M. Fernández Alonso
 - T. Matsumura
- A. Bag
 - A. Denli
 - A. Montes Niño
 - A. Nájera Molina
 - Á. Silva Ribeiro
 - B. Soyler
 - G. Mcintee
 - I. Visiers
 - J. Miquez Baños
 - L. Scholtis
 - M. Abbas
 - M. Adeeko
 - M. Kerekes
 - M. Knockaert
 - M. Yasoshima
 - S. Mamedova
 - T. Matsumura
 - Y. Díaz Ramos

ILP committee

- Á. Silva Ribeiro
- L. Scholtis
- M. Fernández Alonso
- M. Sancho
- T. Matsumura

UIIL-Eurolab Working group

- Á. Silva Ribeiro
- J. Sánchez Álvarez-campana
- L. Scholtis
- M. Fernández Alonso



ILP INTERLABORATORY PRACTICE 2006-2014

- 1th UIIL ILP 2006: Analyzing total concentration of metals in sediment.
- 2th UIIL ILP 2008: PAHs and Metals in Soil
- 3th UIIL ILP 2009: Esterols, Erythrodiol+Uvaole, Wax, Acidity, Peroxide index, UV spectrophotometric test, Delta ECN 42 and insoluble impurities in olive oil
- 4th UIIL ILP 2010: Nutritional labelling
- 5th UIIL ILP 2011: Phosphate, Silicate and Nitrate in water
- 6th UIIL ILP 2012: pH, Density, Alcoholic Strength, Total Acidity & Total Sugars in wine
- 7th UIIL ILP 2013: Dimensional Stability during laundering and domestic drying, Force by Traction and lengthening at rupture point, Abrasion
- 8th UIIL ILP 2014: Conductivity, Sedimentable solids, Solid soluble sulfides, COD, BOD, Hydrocarbons, Coliforms, Detergents, Phenolics and Metals in river water
- 9th UIIL ILP 2015:

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
دولته المتحدة لدراسة مختبرات
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

ILP INTERLABORATORY PRACTICE 2016-2017

- 10th UIIL ILP 2016: Cations and anions in natural water
- 11th UIIL ILP 2016: Fat, Acidity, Dry Matter, Protein, Ash, Content, pH in milk
- 12th UIIL ILP 2016: Esterols, Erythrodiol+Uvaole, Wax, Acidity, Peroxide index, UV spectrophotometric test, Delta ECN 42 and insoluble impurities in olive oil
- 13th UIIL ILP 2016: Nutritional labelling
- 14th UIIL ILP 2017: Phosphate, Silicate and Nitrate in water
- 15th UIIL ILP 2017: pH, Density, Alcoholic Strength, Total Acidity & Total Sugars in wine
- 16th UIIL ILP 2017: Dimensional Stability during laundering and domestic drying, Force by Traction and lengthening at rupture point, Abrasion Resistance – Martindale in textiles Conductivity, Sedimentable solids, Solid soluble sulfides, COD, BOD, Hydrocarbons, Coliforms, Detergents, Phenolics and Metals in river water
- 17th UIIL ILP 2017: Conductivity, Sedimentable solids, Solid soluble sulfides, COD, BOD, Hydrocarbons, Coliforms, Detergents, Phenolics and Metals in river water

國際獨立研究所聯合會

18-6-2020 · · 13 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
دولته المتحدة لدراسة مختبرات
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

CORNERSTONES OF THE UIIL BUILD

- STRENGTHEN MEMBERSHIP
- IMPROVE QUALITY OF ACTIVITIES
- BROADCAST OUR VOICE
- BUILD TRUE GLOBAL NETWORK ORGANISATION
- RESTORE FINANCIAL SOUNDNESS
- PARTNER WITH ALIES
- INCREASE VISABILITY
- REALIZE OUR MISSION
- LET FRIENDSHIP LEAD

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所聯合會

18-6-2020 · · 14 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

BUILDING THE GLOBAL PLATFORM

Since the 26th General Assembly in Buenos Aires we started to build

- Welcoming new members
- Working group ISO/CASCO – WG ISO 17025
- Participation in ISO/REMCO Meetings Ekaterinburg and Berlin Meetings
- ILP / Program – Extending the program with new providers
- Formation of the Executive committee
- Working group UILI – Eurolab – signing a strategic alliance agreement in May 2017
- LabTours 2015: Microquim and Pro Analysis, 2016: Fare Labs and 2017: Atlas
- ASOCOLAB and AOIL
- 2017 UILI LabMeeting in Bogotá
- 2016 UILI LabMeeting in New Delhi, India on October, 27 - 28th

27-10-2016 · · 15 ·

THE
2015 UILI
LABMEETING
&
26th General
Assembly

Global Markets,
Global Accreditation and
Global Organizations
of Laboratories



SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

Globalization of laboratory business

HARMONIZATION OF REGULATIONS
AND NATIONAL LEGISLATION HINDERING GLOBALIZATION OF LABORATORY BUSINESS

A VIEW ON GLOBALIZATION OF LABORATORY BUSSINESS

1. How national regulations hinder globalization, a story on our industry?
2. What challenges should the laboratory industry solve?
3. Could the rules of the game be changed?
4. What do you need to consider in joining the shift?
5. What future steps could be taken?
6. What could be the role of laboratories?



SUMMARY

We did focus on the role partnerships in the laboratory industry can influence the ever increasing volume of national, sectoral, regional regulations, standards, accreditations and certifications.

This trend in effect is hindering the potential of global markets, research and innovation and vertical and horizontal integration.

We will explain how research became a commodity business and cost drivers and capacity loading, market places and big data offer new opportunities.

We did present a potential role UILI as a global industry sector organization can play in the future.



KEY CHALLENGE FOR LABORATORIES

Competing in a global market

- High fixed cost, low variable cost
- Labor intensive
- Meeting customer needs in reports
- Communicating with a huge variety of clients
- Overcapacity
- Reentering of data
- Risk of price inflation
- Products and services are becoming a commodity
- Problematic sample identification

KEY CHALLENGE FOR SUPPLIERS

How to serve a shrinking market

- Changes in demand
- Prices more transparent
- New sales structures
- Fast technology
- New testing techniques
- Increasing output
- Client needs in assistance in data handling
- Clients focus on lowest costs
- Need for cost reduction in service operations
- Number of suppliers rapidly diminishing (mergers) few players left
- Small players are losing out on innovation
- Cost of innovation becomes a barrier of entry
- Professionalization of purchase department prevent access to end users

KEY CHALLENGE FOR LABORATORY CLIENTS

Increase service levels

- Purchase best services available against market competitive prices
- Just in time delivery of laboratory data
- Receive data according to specification and QA/QC criteria
- Redistribution of laboratory data without additional costs or labor
- Access to a full range of laboratory services covering all specialties
- Ability to process large amounts of analytical results for identification, trend analysis or monitoring purposes

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



KEY CHALLENGE FOR LAB REGULATORS & BENEFICIARIES

Key challenges for lab regulators & beneficiaries:

- How to
 - Make laboratory data comparable,
 - Ensure compliance to the industry rules & regulations
 - Minimize uncertainty of measurement
 - Stabilize results over time
- Ensure fit for purpose and standardize methods
- Support innovation and quality and economic power of the industry
- Promote a safe, health and sustainable environment for the population
- Reduce of healthcare costs

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



COULD THE RULES OF THE GAME BE CHANGED?

Competition

- Stop the shake out and price erosion
- Excellent insight in costs and capacity enables spot pricing and competitive quotes

Innovation

- Create opportunities for small innovators

Financial

- Participating increases profitability
- Cooperation stabilizes market share
- Reduce purchase costs
- Increase sales prices: High volumes with marginal increase in percentage

Operations

- Transparency in operational processes increases client satisfaction
 - * Local producers act global, * Travel industry optimizes capacity every day

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

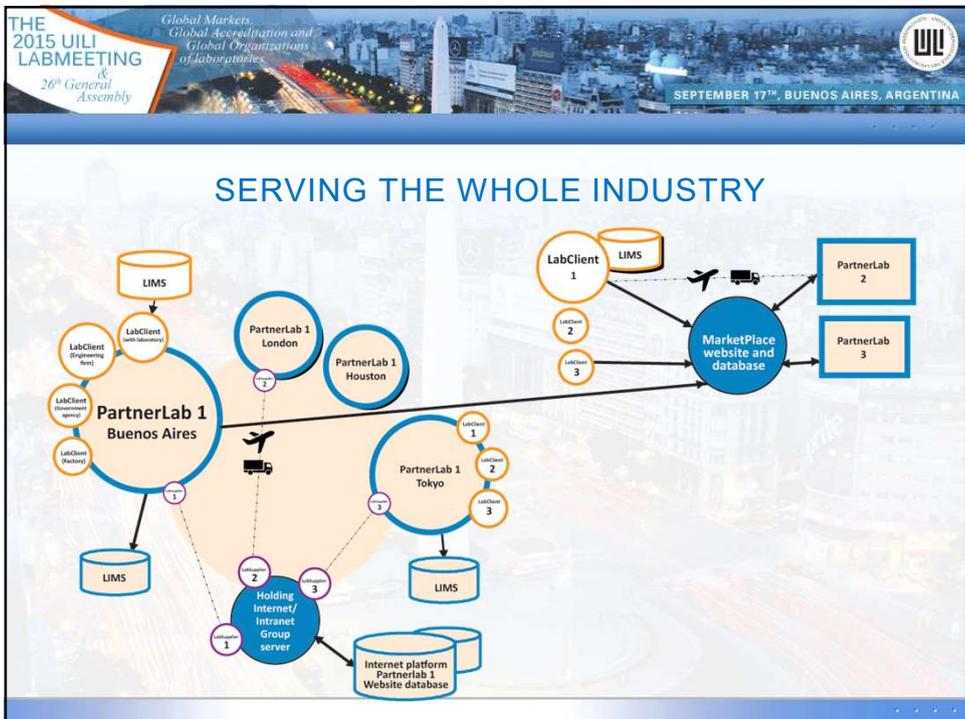
SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

MARKET PLACES

A communication, market and trading place for users of e-lab services

Think:

- Skyscanner
- Alibaba and Esty



THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



HOW LABORATORIES COULD BENEFIT

Increasing profitability:

- Lowering % fixed cost due to optimizing capacity (load factor)
- Reducing purchasing cost
- Improving operational processes: one time right

Optimizing capacity

- Full series and optimized batch planning

Increase sales

- Extra sales channel to find new clients

Building longstanding customer relations (satisfaction?)

- formats, reports and data cuts based on client specifications (needs)

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



HOW SUPPLIERS COULD BENEFIT

Participate in a marketplace together with your clients and their clients

- Become long term partner instead of supplier
- Create single order point
- Make sales force cost effective and focused
- Get access to end user needs
- Extra sales channel and an extra distribution channel
- Ability to manage price erosion in a global market

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



HOW LABORATORY CLIENTS COULD BENEFIT

- Reducing redistribution costs of laboratory data dramatically
- Ability to deliver custom made data to your end users
- Access to laboratory processes and data on a 24/7 basis
 - Real time monitoring of delivery dates
 - Full insight in any alerts and warnings on preliminary results
 - Direct quality control
- Multi lingual and multi cultural processing of scientific data
- Create a single point of entry and shared communication with your network

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



HOW LAB REGULATORS & BENEFICIARIES COULD BENEFIT

Easy access to policy information

- Eyes and ears

Building the healthy society

- Impact measurement
- Proven policy

Reducing government spending

- Reimbursement costs, monitoring costs, law enforcement costs

Strengthening the power of the industry

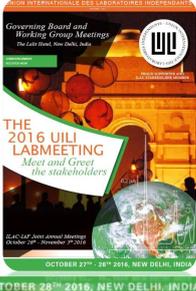
- Innovation



2016 UILI LABMEETING IN NEW DELHI, INDIA ON OCTOBER, 27 - 28TH

UILI has as a major policy to approach the Board to the different countries members to know first-hand the problems of the laboratories in each region. Following this goal our association has programmed two relevant activities for this year:

- ❑ On next 26 -28th of October the UILI Board will meet in New Delhi, India coinciding with ILAC's annual meeting.
- ❑ "UILI LabMeeting": UILI with the collaboration of AOIL (Association of Indian Laboratories), is working in the organization of the Labmeeting, a work shop event with the participation of several speakers from different countries experts in topics of current interest for laboratory business.



18-6-2020 29



2016 UILI LABMEETING PROGRAM

14:00 – 14:30 **Opening Meet and Greet the Stakeholders**
Drs. Luc Scholtis, 14th President of UILI and Mr. Peter Unger, Chairman of ILAC

14:30 – 15:50 **Challenging opportunities to improve global accreditation in powering the laboratory industry**
Moderator: Dr. Manahén Fernández, Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain).

15:50 – 16:10 **Coffee break**

16:10 – 17:10 **Accreditation stakeholders joining forces in building the global platform to strengthen the laboratory industry**
Moderator: Ir Jan Soers, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium).

17:10 - 17:30 **General discussion**

18:00 – 22:00 **Welcome reception ILAC / IAF at Lalit**

OCTOBER 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 30



THE 2016 UILI LABMEETING
Meet and Greet the stakeholders

CHALLENGING OPPORTUNITIES TO IMPROVE GLOBAL ACCREDITATION IN POWERING THE LABORATORY INDUSTRY

2016 UILI LABMEETING (PART 1)

Moderator: Dr. Manahén Fernández, Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain).

- 'The development of laboratory business in India, competing in a global market', Mr. A. K. Nehra, President of AOIL, Association of Indian Laboratories (India).
- 'Competing in Europe with 47 laboratories, 9 accreditation bodies and 5 total different scopes with all different national regulations', Drs. Hans van der Wart, President of VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria and CEO of Shield Group (the Netherlands).
- 'Laboratory Accreditation system of Japan, China, Thailand and Vietnam', Dr. Toru Matsumura, Treasurer of UILI, Vice-President of JEMCA and executive director of IDEA Consultants, Inc. (Japan).
- 'Developing laboratory business in Africa', Mr. John Wilson, Vice-Chairman of NLA, National Laboratory Association of South Africa and director of Accreditation & Metrology Services of Comtest Pty Ltd (South Africa).

OCTOBER 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 31



THE 2016 UILI LABMEETING
Meet and Greet the stakeholders

ACCREDITATION STAKEHOLDERS JOINING FORCES IN BUILDING THE GLOBAL PLATFORM TO STRENGTHEN THE LABORATORY INDUSTRY

2016 UILI LABMEETING (PART 2)

Moderator: Ir Jan Soers, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium).

- 'Accreditation Stakeholders joining forces in the Americas', Dr. Alfredo Montes-Niño, UILI Unaffiliated ordinary members representative and Managing Director of Microbióticos Paraguay-Uruguay-Brasil and Dr. Gabriel Fonseca, Executive Director of ASOCOLAB, Asociación Colombiana de Laboratorios (Colombia).
- 'Laboratory associations in Japan, JEMCA Topics', Mr. Masahiro Tanaka, President of JEMCA, Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association and General Manager of Tokai Techno Co., Ltd. (Japan).
- 'Associations of laboratories in Europe: Building a global platform', Dr. Álvaro Silva Ribeiro, Vice-President of UILI, President of RELACRE, Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal and President of EUROLAB, European Federation of National Associations of Measurements, Testing and Analytical Laboratories (Portugal).
- General discussion

OCTOBER 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 32

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
دولتہ بین الاقوامی اتحاد آزاد محققانہ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

HOW TO BECOME A MEMBER OF UILI

Register on the website www.uili.org or fill in the application form.



國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
دولتہ بین الاقوامی اتحاد آزاد محققانہ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

ARE WE BUILDING GREAT WALLS IN TESTING

- Why do we need a level playing field?
- Who are the partners involved in causing the issue?
- Who can influence that process?
- How do we create a level playing field in testing?
- What do we need to realize this goal?
- How will we practically realize a global platform?
- How can UILI do to facilitate this process?
- What can YOU do to facilitate this process?

لماذا نحتاج إلى ساحة لعب متكافئة؟

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會



TRADITIONAL OBJECTIVES FOR A TRADE ASSOCIATION

- TECHNICAL COOPERATION
 - Accreditation - Certification - Standardization – Metrology - Interlaboratory
- REPRESENT AND DEFENDING INTRESTS
 - Politics – Government - Laws and regulations
- ORGANIZING AND PROMOTING OWN ACTIVITIES
 - Create the army to deploy the strategy
- PROMOTE THE INDUSTRY SECTOR
 - Create the public image on the impact of laboratories

دولتہ عالمی اتحاد آزماہنگہاں آزاد
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會



WHY DO WE NEED A LEVEL PLAYING FIELD

- IN THE INTREST OF THE LABORATORIES
- IN THE INTREST OF THE LABORATORY CLIENTS
- IN THE INTREST OF THE REGULATORS
- IN THE INTREST OF THE END-USERS
- IN THE INTREST OF THE SUPPLIERS

دولتہ عالمی اتحاد آزماہنگہاں آزاد
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

WHY DO WE NEED A LEVEL PLAYING FIELD LABORATORIES

- STRONG SECTOR
- SUSTAINABILITY
- COMMERCIAL ECONOMIC
- COMPETITION
- SHAKE OUT / SURVIVAL
- STAFF
- CONTINUITY
- FUTURE
-

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 37 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合會
 FOUNDED 1960

WHY DO WE NEED A LEVEL PLAYING FIELD LABORATORY CLIENTS

- EFFICIENCY
- COST EFFECTIVENESS
- VALUABLE PARTNERSHIP
- LONG-TERM CONTINUITY
- CLEAR FOR END-USERS
- NO DISCUSSION ABOUT RESULTS
-

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 38 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

WHY DO WE NEED A LEVEL PLAYING FIELD SUPPLIERS

- INNOVATION
- KEEP MANY CLIENTS
- KEEP MARKETS
-

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 41 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

WHY DO WE BUILD WALLS?

SELF DEFENSE?

DEFENDING BUSINESS INTRESTS?

WHO IS DEFENDING WHAT OR WHO?

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 42 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

THE LAB AND SELF DEFENCE

- TRADE SECRETS
- COMPETITIVE ADVANTAGE
- SHORT TERM SALES
- ATTRACTIVE EMPLOYER
- REVENGE IN TRADE WAR

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 43 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

ACCREDITATION BODIES AND SELF DEFENCE

- KEEP THE MONOPOLY
 - As long as ILAC operates AB's defend their markets
- MRA is USED TO KEEP EXCLUSIVITY
- CLOSE RELATION TO GOVERNMENTS TO GET LEGAL STATUS
 - Secure monopoly
- TO ALLOW INTERPRETATION DOCUMENTS
- TO WORK WITH CLOSED GROUPS (FULL SIGNATORIES)

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 44 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

UNDERSTAND WHAT THE PROBLEM IS

- NO COMPARABLE TEST RESULTS ARE SIMPLY A WASTE OF MONEY!
- ACCREDITATION DOES NOT FOCUS ON COMPARABILITY.

18-6-2020 · · 47 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

HOW CAN UILI FACILITATE THIS PROCESS

- COLLECT, INVENTORIZE AND ORGANIZE ISSUES
- SPREAD THE VISION
 - We only deliver comparable results.
 - We deliver data that make sense!
- EVALUATE OUR TESTING – GIVE PROOF
 - Problems could be become clear much faster and better
 - Reduce overkill and focus on relevancy in testing
- LET EXPERTS TELL THE SAME STORY TO ALL

18-6-2020 · · 48 ·



HOW CAN UILI FACILITATE THIS PROCESS

- COLLECT, INVENTORIZE AND ORGANIZE ISSUES
- SPREAD THE VISION
 - We only deliver comparable results.
 - We deliver data that make sense
- EVALUATE OUR TESTING – GIVE PROOF
 - Problems could be become clear much faster and better
- LET EXPERTS TELL THE SAME STORY TO ALL

اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



HOW COULD WE START

- Lets start with 3 projects
- Safe Food – Agriculture or Meat
- Safe Water – Drinking and Surface water
- Safe Chemicals – Agro chemicals

اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

WHAT DO WE NEED TO REALIZE THAT GOAL

- A team that can build the project
- Budget to develop
- Set the goals and manage the development
- Facilitate the level playing field by testing the market place

اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

THANK YOU VERY MUCH FOR YOUR KIND ATTENTION

IF IN ANY WAY YOU WOULD BE INTERESTED
TO JOIN FORCES WITH UIIL

PLEASE CONTACT
PRESIDENT@UIIL.ORG

اتحادية المختبرات المستقلة الدولية
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

2019 UIIL LABMEETING

資料P

Independent Testing Spain

Dear all,

Preceding my speech today, I would like to thank all the associates that were able to come to this Lab Meeting, and salute or give a salute to those whose agendas have not allowed them to accompany us.

Today, It is up to me to recap the actions carried out by AELI in 2018, and I will also comment on some of our actions during the year of 2019. I will not go much into detail since you have the AELI's Memory that I sent to our President at your disposal, and thus, I will take our time here to go more in depth concerning matters of Free Competition Market.

I would like to highlight the main topics we have worked on, which were supported in some occasions by FELAB - the federation that combines the two laboratory associations in Spain:

- Collaboration with ENAC -Spanish accreditation body- in the development of technical documents
- Interlocution with the Administration
- Legislative claims
- Bringing to all our associates the latest technical changes of the ISO/IEC 17025 in the two presentations we did last year.
- Sending periodic information about different topics.

Moreover, focusing now on the free competition market. We cannot forget that the problems related are long term issues.

In agreement to the Board of Directors of 2008, AELI, with the objective of intensifying the actions related to defense of free competition in our sector, hires a Technical Secretary exclusively dedicated to these issues.

Subsequently, in 2009 a Commission for the Defense of Competition was created to coordinate all activities carried out on a daily basis. This Commission is formed by members of the Board of Directors, Associates and advisors who support us mainly in the legal field, all of them appointed by me as the President of the Association.

It has been 11 years in which all of us have been learning about the subject, and have improved and systematized the actions we do.

Since we decided to begin on this path, although it may look like little progress has been made, we are indeed progressing. We can confirm this fact from the achievements of important milestones such as:

- Change the Draft of the Royal Decree that develops the Law of Metrology
- The edition of the Royal Decree that forces AENOR to separate into two different legal entities, which are the Normalizer and a Certifier, even if the battle is not over yet because of AENOR's brand.
- Have a fluid dialogue with the National Competition Commission
- Initiate different legal proceedings in the subject

Now I will explain, as far as the Confidentiality allows me, some of the cases that we are working on, where possible bad practices are carried out:

1.- Conservation Technology Center (CTC) of Murcia

The question that arises is the use of public funds that come from subsidies to partially pay or cover the costs of the analytics carried out by said technological center in its offer to the market, harming free competition.

Situation: after a principle of transparency agreement that was obtained in 2007 after the intervention of the European Commission, the current situation leads us to believe that public funds destined for research are still used to cover costs of commercial activities, this brings the case back to the European Commission.

2.- AFITI-LICOF

The question that arises is the use of public property and land belonging to the Ministry of Industry by a private operator. Such use constitutes a competitive advantage in terms of costs and image, since they made the market perceive that the laboratory belonged to the Ministry, and that they acted as if they were an official body.

Situation: it has been achieved that the aforementioned operator cannot use references or symbology from the Ministry, as well as not receiving any public funds. The pending issue is that it cannot use the land, nor the facilities that are of the Ministry, which although obsolete continue to offer them a competitive cost advantage.

3.- GMP + International

The question that arises is that the GMP + International company, based in the Netherlands, has a certification scheme intended to stop recognizing accredited laboratories and create its own laboratory registry parallel to that of accreditation.

Situation: several steps have been taken before ENAC, EA, RVA (Dutch accreditor) and GMP + International. Among the steps taken is the rectification that GMP + International has had to perform recognizing that its scheme is not accredited by RVA, which it had said in writing. Efforts continue as GMP + International persists in its attitude of not recognizing accredited laboratories as a sufficient requirement.

4.- Ministry of Ecological Transition

The question that arises is that the Government of Spain is beginning to legislate on ecological requirements that must be met by the Public Administration providers, which will sooner or later affect the laboratories that also act as public sector providers.

Situation: The Ministry of Ecological Transition has been contacted to take us into account for new legislative developments. Consequently, the Ministry has indicated that it will take us into account when the legislation that may affect us is developed.

5.- National Center for Technology and Food Safety

The question that arises is that the possible use of public funds to finance the costs of commercial activities.

Situation: the Commercial Court of Navarra has been used to require it to contribute its accounts in order to be investigated and denounced if applicable.

6.- Junta de Andalucía

After the recent change of the autonomous government, the new government will be reiterated the commitment not to use the autonomous government laboratories to compete with the private laboratories.

And last but not least, I want to thank you all for coming. without your continued support, we would not be able to put on events like this, so thank you.

Jordi Oliver-Rodés
UILLI Vice President
AELI President

RISK & OPPORTUNITY

- **DEVI SARANTEWARI**
- CHAIRMAN
- ASSOCIATION OF INDIAN LABORATORIES

RISK & OPPORTUNITY

- Risk is taken and it is a futuristic activity.
-
- New path may have risk and/or opportunities.
 - Naturally, it calls for risk analysis and to minimize risk using appropriate tools.
 - ISO/IEC 17025: 2017, has identified situations about risks.
 - Standard does not require procedure it is left to lab.
 - The question is; whether accreditation bodies would agree with the risk taken or opportunity availed?.

RISK & OPPORTUNITY

- Risk, risk analysis and elimination of risk:
- Examples;

- i. Crossing the road through Zebra line is Standard norm and risk free.
 - risk is there if this norm is not followed.
 - violator evaluates risk by looking for traffic from both sides
 - minimize the risk by looking the traffic's-distance and speed with his ability to cross the road.
 - this enables him to concludes that there is no risk and then cross the road.
- ii. ISO/IEC 17025 asks for validation for non-standard or modified standard method, it is to eliminate the risk.

However

- Sampling is an activity where risk is involved, if method is not from standard writing bodies.

RISK & OPPORTUNITY

- ISO/IEC 17025 (2005) focused to mitigate the risk due to impartiality.
- Laboratory shall ensure that its personnel are free from commercial and financial pressure.
- And on account of deviations from standardized path, and without using the word Risk:
- Non-standard method or laboratory developed method shall have been validated appropriately before use.

RISK & OPPORTUNITY

Foreword from ISO/IEC 17025 : 2017; page-v (last para)

-
- The main changes compared to the previous edition are as follows:
 - the risk-based thinking applied in this addition has enabled some reduction in prescriptive requirements and their replacement by performance-based requirements;
 - There is a greater flexibility than in the previous edition in the requirements for process, procedures, documented information and organizational responsibilities.
 - A definition of “laboratory” has been added.

RISK & OPPORTUNITY

-
- doing away with prescriptive requirements and their replacement with performance based requirements;
 - Have given a respectable pedestal to laboratories;

As:

Induction of clauses 6.2.2 (Personnel) and 8.5 (Risk & opportunities) adds value to the laboratory's competence.

It is a welcome step and CASCO need not consider it as a risk taken.

It widens the spectrum for labs initiatives and working;

RISK & OPPORTUNITY

- The decision to undertake non-standard or unknown path may involve risk, and therefore requires risk analysis.
- Standardization eliminates the possibility of doing wrong, as risk analysis and risk elimination are in-built in the process of standardization and therefore standard method (test or calibration) are risk free for respective task.
- For any deviation from defined/standard path, ISO/IEC 17025 asks for method validation, to determine if it is risk free.
- In conclusion work done according to the written procedures based on standard writing institutions, is free from risk.

RISK & OPPORTUNITY

In case of test & calibration laboratories

- Laboratories perform their activities according to the methods prescribed by standard writing institution.
- And;
- For non-standard or laboratory developed methods, these are required to be validated to ensure that the use of such methods is risk free.
- ISO/IEC 17025 : 2017, clause 8.2 asks labs for policies and procedure.
-
- ISO/IEC 17025 : 2017, (clause 8.5) identifies the situations for risk analysis and risk elimination.

RISK & OPPORTUNITY

Analysis on the clause 8.5 on Risk & opportunity

- For test and calibration labs there are standards & norms from standard writing institutions for laboratory activities, and as long as labs abide to the norms, risk is not involved.
- Thus the institutions which are complying to the standards from standard writing institutions, test/calibration labs, have eliminated the path where risk may be involved.
- It in this context in standard there is no requirement for formal documented procedure on risk management-system/process.
- But clause 8.5 has specified the situations on applicability of “Risk & opportunity”
- Let us analyze;
- ;

RISK & OPPORTUNITY

- 8.5 clause; ISO/IEC 17025:2017; asks
- laboratories to consider taking risk & availing opportunities associated with the laboratory activities with in the following four situations;
 - i. give assurance that the management system achieves its intended results;

(If, an exceptional situation demands departure from labs own documented procedure, it has to have its own new procedure that assures intended results. This new procedure is a part of management system and ensures intended results)
 - ii. Enhance opportunities to achieve the purpose and objectives of the laboratory;
(Note-2: opportunities for expansion of scope, etc.)
 - iii. Prevent, or reduce, understand impacts and potential failures in the laboratory activities;
(Laboratory shall identify risks to its impartiality on an on-going basis; Note- of clause 4.1.4 page 3.)
 - iv. Achieve improvements. ;

RISK & OPPORTUNITY

- give assurance that the management system achieves its intended results;
- This an exceptional situation for a lab;
- Two hygrometers are calibrated in Jan and July. Hygrometer due for July calibration can not be sent, as just before the other hygrometer broke- down. Lab decided to defer its calibration and to used, till a new hygrometer is procured, by doing risk analysis.
- Lab ascertained its fitness by comparing its temperature parameter with other valid thermometer which indicated similar values and concluded that that there is no risk as the device would give correct reading of RH.
- And the new procedure so developed on evaluation of risk, became a part of labs management system from that day onwards, as it achieves intended results.
- This fulfills the requirement “give assurance that the management system achieves its intended results”
- ISO/IEC GUIDE 25. Includes exceptional situation when lab can not follow its own procedure.

RISK & OPPORTUNITY

- ii. Enhance opportunities to achieve the purpose and objectives of the laboratory;
- Note: Opportunities lead to expanding the scope of the laboratory
activities, addressing new customers,.....
 - therefore it implies that a laboratory having competence to undertake a job beyond accredited scope can claim accreditation for such work.
 - Will accreditation bodies accept this opportunities. ?

RISK & OPPORTUNITY

iii. Prevent, or reduce, understand impacts and potential failures in the laboratory activities;

(Laboratory shall identify risks to its impartiality on an on-going basis; Note- of clause 4.1.4 page 3.)

iv. Achieve improvements. ; ?

RISK & OPPORTUNITY

- Accreditation bodies and assessors:

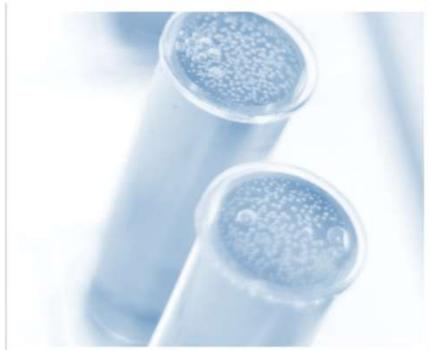
- If this analysis is convincing then accreditation bodies should train assessor to develop proper understanding on ISO/IEC 17025:2017.
- Stop asking lab how do they evaluate risk for each clause of ISO/IEC 17025.
- Stop asking or advising labs to follow ISO 31000 for risk.
- It may be noted that ISO/IEC 17025:2017 is not referring to ISO 31000.

RISK & OPPORTUNITY

Annex-B of ISO/IEC 17025 : 2005) is gone, still AB sticking to it? Will it be graded as Risk for APAC / ILAC .

- Appoint deputies for key managerial personnel,
- Appoint quality manager etc., etc.
- The point being made here is that by including the clause on “RISK & opportunity” has enlarged the fulcrum of operation for laboratories and it not a check point.
- RISK:An effect of uncertainty on objective,
- Objective of ILAC is that AB follow new standard in totality

THANKS



Overview

- EUROLAB in 1990
- World New (Dis)Order
- TIC Industry in transition times
- EUROLAB 2.0 (today's perspective)
- EUROLAB Strategy – looking ahead
- EUROLAB 30 years in 2020 – Testing for a sustainable future

eurolab

*“I believe that the more you know
about the past, the better you are
prepared for the future.”*

~ Theodore Roosevelt

3

Year of 1989

- Free election held for Soviet Congress
- Solidarity wins elections in Poland
- Berlin Wall comes down
- Havel president of Czechoslovakia
- Nicole Ceausescu deposed in Romania
- Berners-Lee starts the World Wide Web





EUROLAB was founded in the 27th of April of 1990

Vision

“ When a group of Directors of eminent public and private laboratories took the initiative to create **Eurolab** back in 1990, they shared a common vision: the **European harmonized internal market** could only prosper based on improving the **quality and safety of products, goods and the environment**, both to serve the European Citizens and to improve the **competitiveness of European companies and services on world market** ”.

Alan Bryden (EUROLAB President 1990-1994), in Eurolab 25th Anniversary Book



The Treaty of Maastricht (1991)

The Treaty of the European Union (TEU), also known as **Treaty of Maastricht** was a turning point in the European integration process.

The economic objective of the Community to build a common market, was oriented to promote a political union. **The Treaty of Maastricht changed the official denomination of the EEC to European Union.**

The **Treaty of Maastricht** structure is based on three **pillars**:

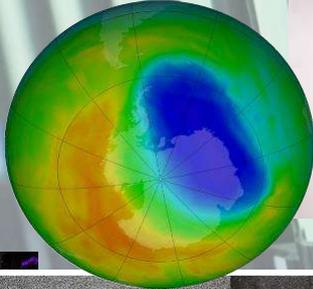
The first central pillar, the central one, has the **Community dimension**, comprising the established EC, ECSC and Euratom Treaties (**Union citizenship, Community policies, Economic and Monetary Union**).

The new pillars, are not supranational competences but aiming for **governmental cooperation**: the second pillar is the **Common Foreign and Security Policy (CFSP)** and the third one refers to **Police and Judicial Cooperation**.

eurolab

A smooth sea
never made
a skillful
sailor.

World New (Dis)Order





World New (Dis)Order

VUCA

Volatile

The environment demands you react quickly to ongoing changes that are unpredictable and out of your control

Uncertain

The environment requires you to take action without certainty

Complex

The environment is dynamic, with many interdependencies

Ambiguous

The environment is unfamiliar, outside of your expertise

Accreditation & Global Market

"There is no **science** without **measurements**, no **quality** without **testing** and No **global market** without **standards**."

European Commission, Measurement and Testing,
A European research area oriented activity, High Level Expert Group)



eurolab



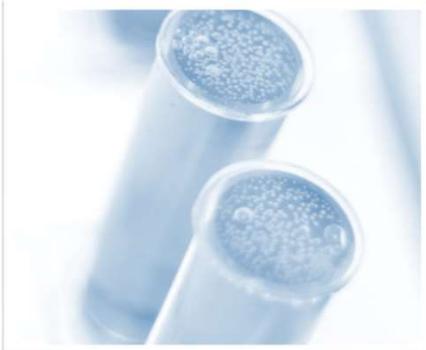
Outlook of TIC Industry

Strong fundamental growth drivers

(in "Oaklins, spot on testing, inspection & certification")

1. **Regulations and standards** shift towards stricter and more complex regulations and standards (often government-driven) to ensure health and safety compliance across a variety of industries, such as food, textiles, toys and electrical goods.
2. **Outsourcing** Large corporates and state-owned organizations are increasingly outsourcing TIC activities to external experts to reduce in-house costs and to pass on the responsibility for complex compliance issues to third parties.
3. **Globalization** leading to increasing trade. Imports from developing countries are required to pass stringent tests to comply with international standards.
4. **Product variety and short life cycles** These trends result in more frequent testing and certification applications as well as a higher services volume.
5. **Safety and quality control** The prevalence of social media and the risk of reputation loss escalate the need for quality requirements
6. **Growing income** rising disposable incomes, the use of consumer goods is expected to increase demand for the testing of these goods.

eurolab



Outlook of TIC Industry



Compound Annual Growth Rate (CAGR)



eurolab

The best way to predict your future is to create it.

- ABRAHAM LINCOLN

13

eurolab

EUROLAB was created in Brussels on April 27, 1990 on the basis of a memorandum of understanding, signed by delegations representing the private and public laboratories of 17 out of the 19 countries of the EEC and EFTA.

EUROLAB is since October 1998 a legal entity in the form of an international association under Belgian law (A.I.S.B.L. - Association Internationale Scientifique sans But Lucratif) setting it as the European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories.

Active Members

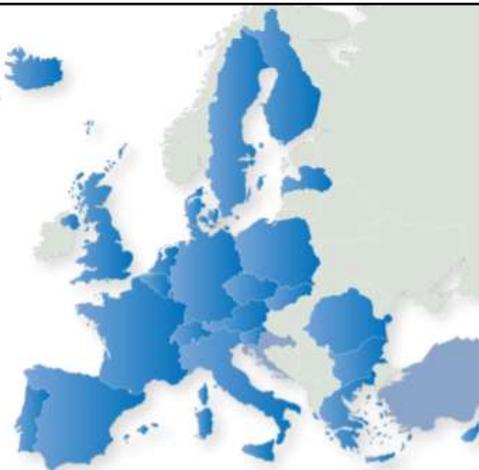
- Austria AUSTRALAB
- Belgium BELAB
- Bulgaria BULLAB
- Croatia CROLAB
- Czech Republic EUROLAB-CZ
- Denmark EUROLAB Danmark
- Finland Finnlab
- France EUROLAB France
- Germany EUROLAB Deutschland
- Greece Hetaiolab
- Iceland ICELAB
- Italy ADP
- Netherlands FENELAB
- Poland POLLAB
- Portugal RELACRE
- Romania ROLAB
- Spain FELAB
- Sweden EUROLAB Sverige
- Switzerland EUROLAB CH
- UK BMTA

Associated Members

- Lebanon LEBLAB
- Macedonia FYROM
- Turkey TURLAB

International Affiliates

- ASCOLAB
- NLA-SA
- NCSL International



EUROLAB is an Associated Member of the TIC Council
EUROLAB is a Member Association of ULI

26
National Associations

3000
Conformity Assessment Bodies

150k
Professional Experts

9000
Accredited Laboratories

Key objectives

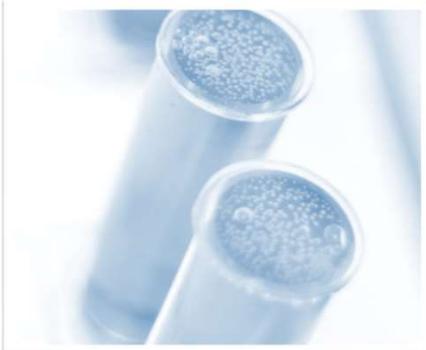
Representation by formulating and **voicing the opinion of laboratories** regarding economic, political and technical issues having a direct impact on laboratories' activities both **on the European scene and world-wide**.

Co-ordination by **interfacing with organisations having activities of interest to the laboratory community**, and striving to avoid duplication of efforts and activities.

EUROLAB should be the major **multisectorial and horizontal forum for the circulation and exchange of information and experience** in development of:

- **Test, measurement and analytical methods**
- **The use of test and analytical results in the implementation of legislation and directives, in product certification and acceptance, and in technical evaluations**
- **New measurement and testing techniques e.g. within the EC framework programmes, as well as**
- **Quality assurance measures**

eurolab



EUROLAB Members Activities

Environment

Construction and built environment

Metrology & Calibration

Agriculture & Food

Consumer goods

Manufacturing

Energy

Transportation

Clinical

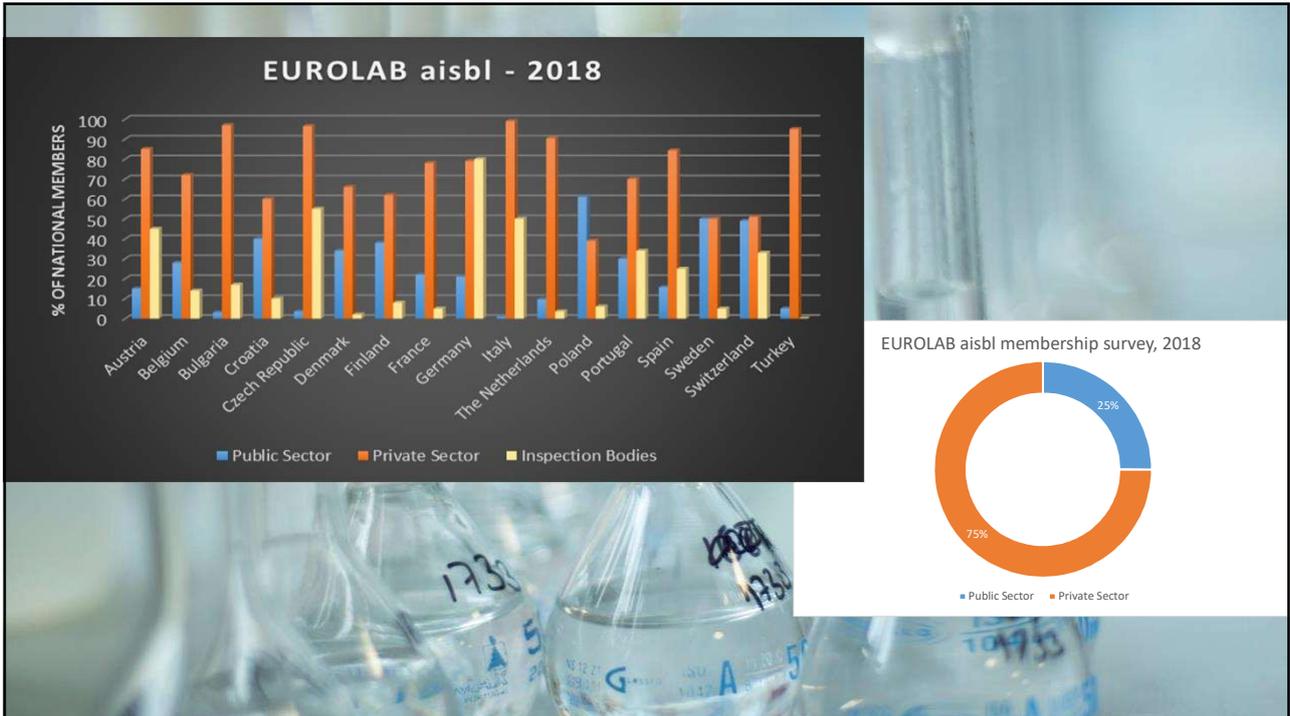
Pharmaceutical

Forensic

Biomedical



eurolab



**“IT IS NOT THE STRONGEST OF
 THE SPECIES THAT SURVIVES,
 NOR THE MOST INTELLIGENT THAT
 SURVIVES. IT IS THE ONE THAT IS
 MOST ADAPTABLE TO CHANGE.”**

Charles Darwin

EUROLAB 2.0 – Strategy drivers



EUROLAB 2.0 - Objectives

- Communication
- Cooperation
- Creativity

EUROLAB 2.0 – Targets

- Membership development
- Cooperation & networking
- Image & communication
- Knowledge transfer
- Increasing influence

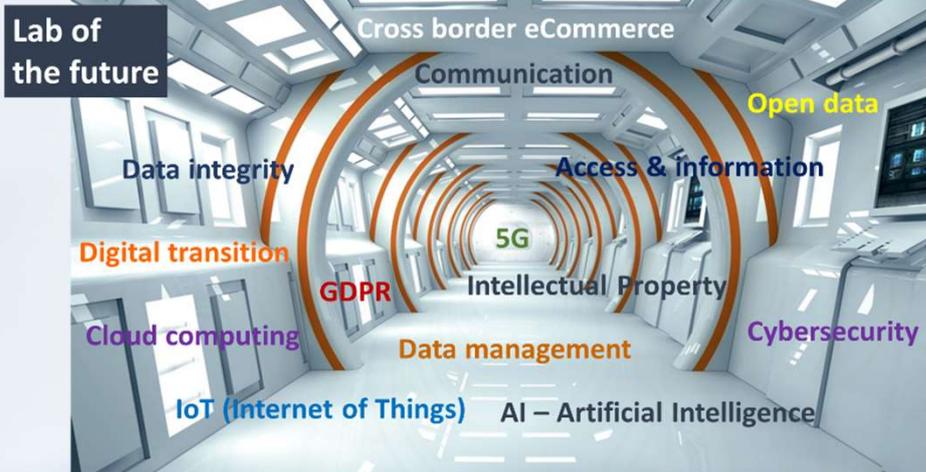
EUROLAB 2.0 – Focus



eurolab

EUROLAB 30 years – events in 2020

30 years
(1990 – 2020)
eurolab
Testing for a sustainable future



eurolab



3  **years**
(1990 – 2020)
eurolab
Testing for a sustainable future



eurolab

Thank you for your attention!



Deutscher Verband
Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.
Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.



**UILLabMeeting:
Independent Testing in
Germany**

Anton Blöth, Sven Deeg
German Independent Laboratories Association
(VUP e.V.)

Frankfurt, October 25th, 2019

Outline

1. Independent Testing in Germany: Our role and market
2. German Independent Laboratories Association (VUPe.V.)
3. Topics and Challenges



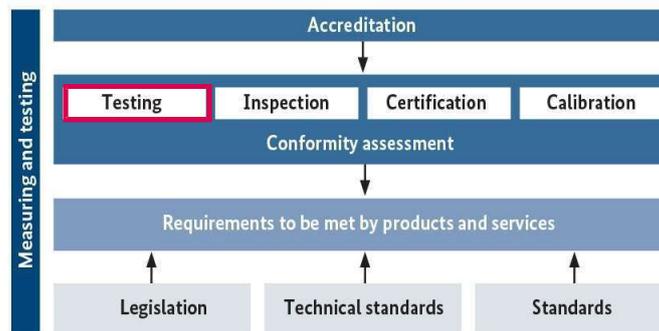
Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

2

1. Independent Testing in Germany: Our role and market



German quality infrastructure



Source: Federal Ministry for Economic Affairs and Energy (BMWi); www.bmwi.de

(Private) Conformity Assessment Bodies

- Conformity assessment conducted either by private or public-sector bodies
 - three main areas for conformity assessments
 - „voluntary“ (private players „only“)
 - „legally regulated“ (state sets framework, private CAB conduct tests, ...)
 - „governmental“ (only public sector bodies conduct conformity assessments)
- Some figures for the private CAB sector in Germany
 - ~ 5.300 CAB
 - ~ 86.000 employers
 - ~ € 8.8 billion in sales



Source: technopolis group for Federal Ministry for Economic Affairs and Energy (BMWi); 2013; perspectives of conformity assessment and accreditation in Germany



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

(Accredited) Conformity Assessment Bodies

- Figures of German Accreditation Body (DAkKS)

Akkreditierungen im Bestand (Anzahl)	31.12.2018	31.12.2017
Prüflaboratorien	2.404	2.359
Anbieter von Eignungsprüfungen	23	20
Referenzmaterialhersteller	12	11
Medizinische Laboratorien	449	445
Kalibrierlaboratorien	493	479
Inspektionsstellen	269	273
Zertifizierungsstellen für Produkte	323	320
Zertifizierungsstellen Managementsysteme	207	213
Zertifizierungsstellen Personen	52	54
Verifizierungsstellen	21	23
Gesamtanzahl der Akkreditierungen	4.253	4.197

Accreditations by size of companies

	Kleinst- unternehmen (<10 Mitarbeiter)	Kleine Unternehmen (<50 Mitarbeiter)	Mittlere Unternehmen (<250 Mitarbeiter)	Große Unternehmen (>250 Mitarbeiter)	Gesamt
Alternatives Verfahren	12	1	1	3	17
Eignungsprüfungen	14	11			25
Inspektionsstellen	81	163	49	8	301
Kalibrierlaboratorium	393	156	12		561
Medizinisches Laboratorium	53	209	158	15	435
Prüflaboratorien	844	1250	321	32	2.456
Hersteller von Referenzmaterialien	5	10	3		18
Verifizierungsstelle	13	13	1		27
Zertifizierungsstelle für Produkte	160	133	37	2	332

Tab.: Akkreditierungen im Bestand zum 31. Dezember 2018



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

Independent Testing and Calibration

□ Independent !?

- third party (i.e. ISO/IEC 17000: "conformity assessment activity that is performed by a person or body that is independent of the person or organization that provides the object, and of user interests in that object")

□ Impartiality !?

- ISO/IEC 17025 Conformity assessment bodies – Testing and calibration laboratories:
"Laboratory activities shall be undertaken impartially and structured and managed so as to safeguard impartiality (presence of objectivity)."

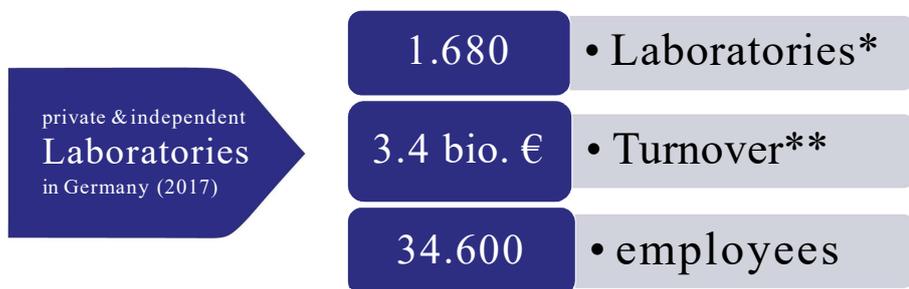
□ VUP e.V. (statute):

- Companies whose ownership status and their economic activities are not significantly influenced by public authorities are to be regarded as independent.



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

VUP-Market Report: Private Testing and Calibration in Germany (2017)

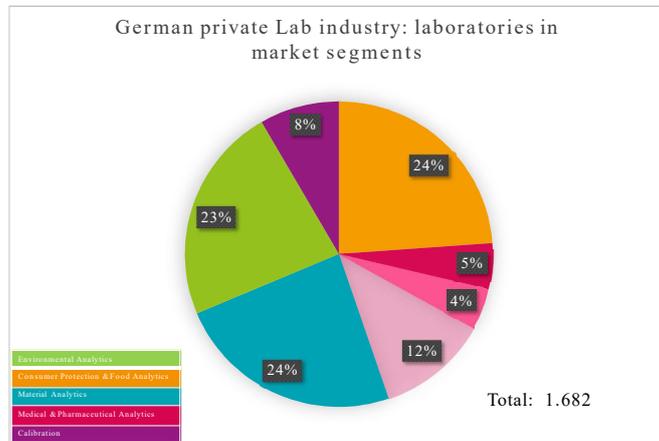


*private (independent) laboratory (business field: analytic services only; without public and "inhouse" labs)
**without clinical/medical analytics: 2.0 bio. €



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

VUP Market Report (2017) in Detail



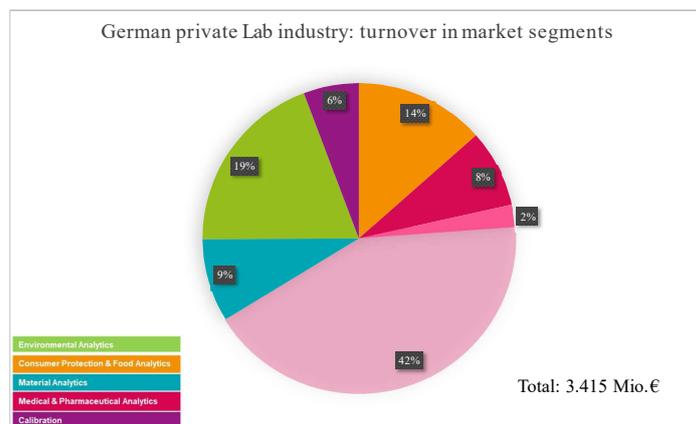
© VUP - Market Report 2017



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

9

VUP Market Report (2017) in Detail



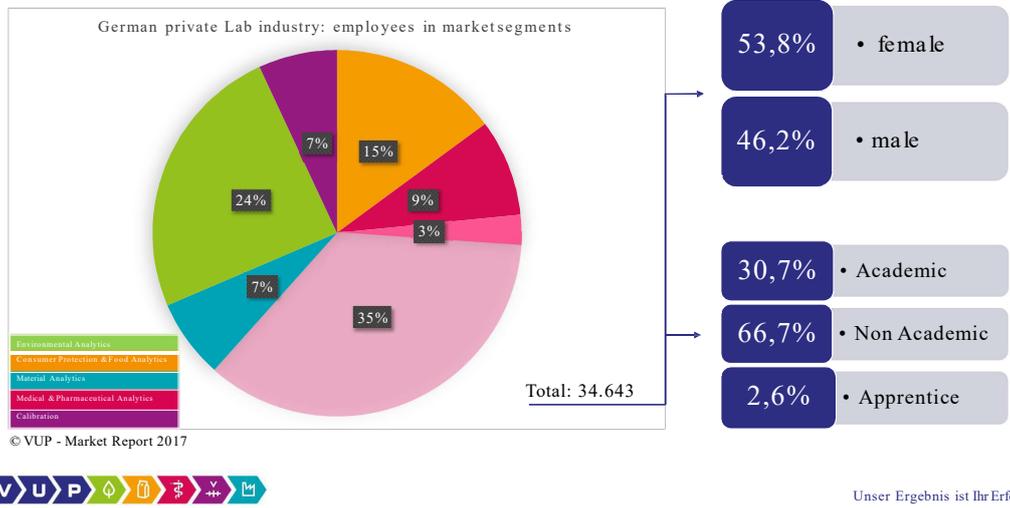
© VUP - Market Report 2017



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

10

VUP Market Report (2017) in Detail



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

VUP Deutscher Verband
Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.
Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

**2. German Independent
Laboratories Association
(VUP e.V.)**

German Independent Laboratories Association (VUP e.V.)

- established December 1993 as an association of independent, private testing laboratories
- +630 members offering testing and analytic services for five market sectors
- Speaker of board (president): Arthur Hofmann, AIRAnalytik
- Managing Directors: Anton Blöth (Spokesperson); Sven Deeg (Market&Members)
- VUP-offices in Giessen and Berlin



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

13

German Independent Laboratories Association (VUP e.V.) Our Aim

§ 2 Aim (VUPstatute)

VUP is the association of independent private laboratory companies operating in Germany and carrying out tests and measurements for their customers in the interest of product safety and quality as well as environmental, health and consumer protection.

Our aim is to promote quality, competence, sustainability and economic success as well as the recognition of the companies and entrepreneurs working in the laboratory industry.

§4: Basic requirements for membership:

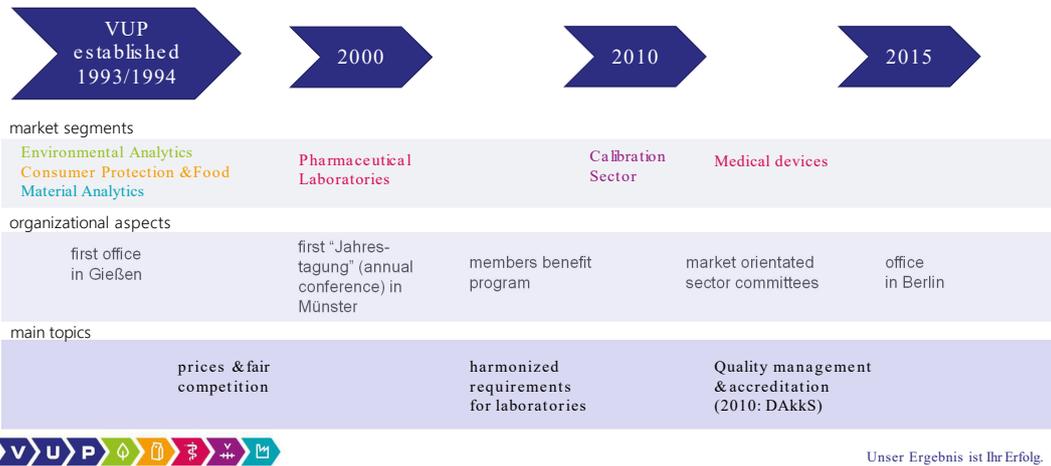
- are independent
- have an externally audited quality management system (for example accreditation)
- operating in Germany



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

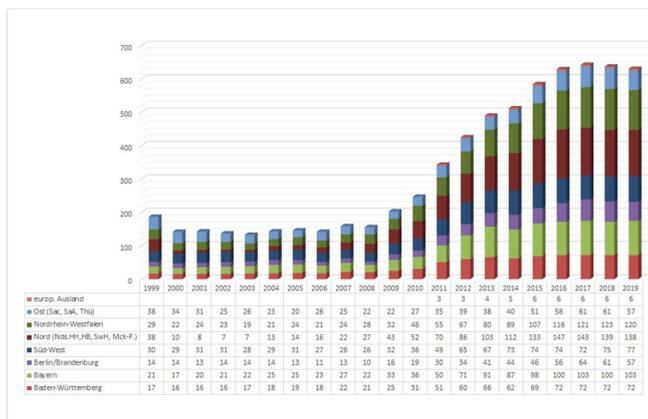
14

German Independent Laboratories Association (VUP e.V.) Milestones and Development



15

German Independent Laboratories Association (VUP e.V.) Membership



Membership-Level (31.12.2018):

ordinary members		
(„headquarters“)	190	(187)
group members		
(„branches“)	422	(442)
supporting members	21	(23)
total	633	(652)
(): Year 2017		

VUP-Members & their markets	2016	2017	2018
Environmental Analytics	284	286	286
Consumer Protection & Food Analytics	322	321	325
Material Analytics	303	312	313
Medical & Pharmaceutical Analytics	161	179	179
Calibration	50	55	46

Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

16

German Independent Laboratories Association(VUP e.V.) Our Tasks

- **Advocacy (Federal, States, Europe)**
 - Legislation, Norms, Quality Protection Systems
 - Competency Assessment, Notification
 - „Harmonisation“ within the federal system
- **Information and communication**
 - Scientifically, technical and legal issues
 - Cooperation with professional associations
 - News
- **Promotion of the industry**
 - Representing members' economic interests
 - Observing and evaluating market competition
 - Combating unfair market competition
- **Trainings and workshops**
- **Services**



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

17

German Independent Laboratories Association(VUP e.V.) Our Tasks in detail (Business Report 2018)

- **Lobbying and information**
 - 32 internal hearings and several comments on laws, regulations and accreditation rules
 - 204 Industry/Sector Information releases
 - > 10 press releases in specialized media
- **Participation in committees**
 - 320 VUP-representatives in 188 external committees
 - 17 meetings of VUP-committees
- **Members services**
 - 123 customer requests placements with 394 applicants
 - 1 comparative measurement with 4 participants
 - Members benefit programme (pay-out: ~ 165.000€)



Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

18

3. Topics and challenges



German Independent Laboratories Association (VUP e.V.) Current topics and challenges for the future

- Private TIC-Sector in general
 - Defending quality infrastructure created in the EU and Germany ("new approach": State: quality assurance through accreditation, private: undertaking conformity assessment services)
- (economic) Framework for the laboratory industry
 - skilled workers
 - digitalization / Lab 4.0
 - sampling & testing
- Quality management and accreditation
 - future of German accreditation system
 - requirements for accreditation and notification
 - operational matters of DAkkS:
 - Complexity and costs of accreditation
 - Assessment scope und detail level, level of charges/fees, cost transparency and predictability
 - Proceeding duration
 - Increase of bureaucratic procedures, „academic approach“, assessment planning
- Special consumer, health protection and environmental issues
 - Legionella in drinking or industrial waters
 - Microplastics
 - Medical devices testing

Overview of Chinese Measurement Business in 2018



Toru MATSUMURA, Dr. Sci.
President of Japan Environmental Measurement
and Chemical Analysis Association (JEMCA)

Characteristic of Measurement Business Keywords

- ✔ **Huge industry** (Market) **of technology.**
- ✔ **National** (International) **core business** (Standard of things, Ruler, transaction, quality certification).
- ✔ **Essential** (Rapid Growth) **in middle countries, has a great potential** in developing countries.
- ✔ **In the near future, will become international transaction** (borderless business), **and who controls** (makes) **wins.**
- ✔ **The product is intangible** (something to be guaranteed (laboratory accreditation, personal authentication, proficiency testing) is required.)
- ✔ **Peripheral business fleet can be formed** (equipment, consumables, reagents, facilities, laboratory accreditation, reference materials, proficiency testing)
- ✔ **Many cases are not just pure routines** (e.g. consultation required case)

JEMCA's Actions Keywords

- ✓ Laboratory accreditation (collaboration with **accreditation bodies**, ISO CASCO(Conformity Assessment Committee)).
- ✓ **Proficiency Testing**(JEMCA's PT, SELF) .
- ✓ **Reference Material** (PT sample, ISO REMCO(Committee on Reference Materials)) .
- ✓ Personal qualification (Environmental Measurer(e-learning)、Professional Engineer(Environment)、**Chemical Environment Measurer**) .
- ✓ Collaboration with hardware (Manufacture **Supporting Member**) .
- ✓ Standards · Analysis methods (**JIS, Official method, ISO**) **Helium Alternative Gas Study Group**.
- ✓ **Global information** (Overseas situation, ISO, ILAC, OECC) **International Committee**.
- ✓ Collaboration with exchanging membership from **other association**.
- ✓ Transmitting information to clients (**Promoting advantage** of JEMCA membership)



Chinese ver.: 1,200 €
English ver.: 7,000 €



第1章：质量检验检测行业发展综述

1.1 质量检验检测行业概述

- 1.1.1 质量检验检测行业定义及分类
 - (1) 质量检验检测行业定义
 - (2) 质量检验检测行业分类
- 1.1.2 质量检验检测行业产生背景
 - (1) 质量检验检测行业需求背景
 - (2) 质量检验检测行业市场主体

2.1 全球质量检验检测行业发展现状分析

- 2.1.1 全球质量检验检测行业发展概况
- 2.1.2 全球质量检验检测行业市场规模
- 2.1.3 全球质量检验检测行业竞争格局
- 2.2 主要国家质量检验检测行业发展现状
 - 2.2.1 美国质量检验检测行业发展现状分析
 - (1) 美国质量检验检测行业地位分析
 - (2) 美国质量检验检测行业市场规模
 - (3) 美国质量检验检测行业市场结构
 - (4) 美国质量检验检测行业竞争分析

第3章：中国质量检验检测行业发展分析

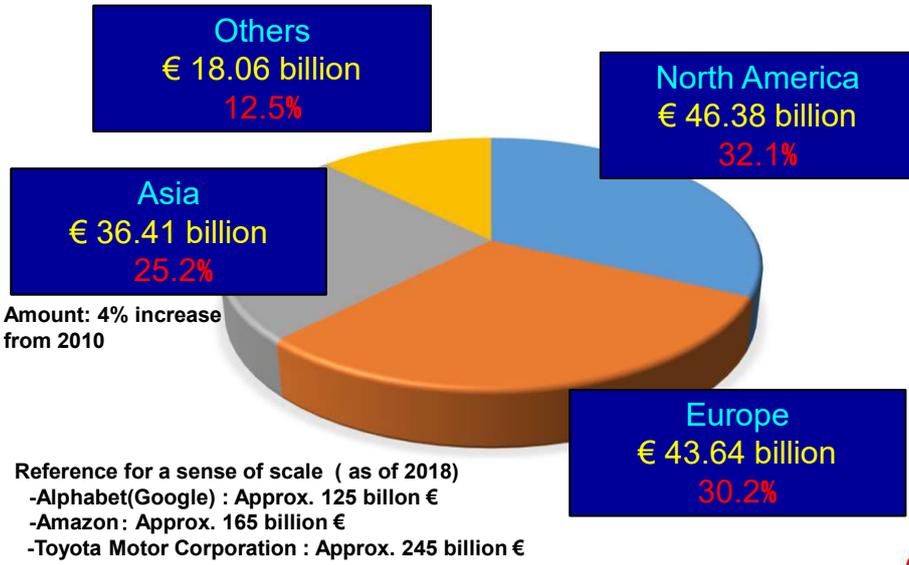
3.1 中国质量检验检测行业发展概况

- 3.1.1 中国质量检验检测行业发展历程分析
- 3.1.2 中国质量检验检测行业状态描述总结
- 3.1.3 中国质量检验检测行业发展特点分析
- 3.1.4 中国质量检验检测行业影响因素
 - (1) 中国质量检验检测行业发展有利因素
 - (2) 中国质量检验检测行业发展不利因素

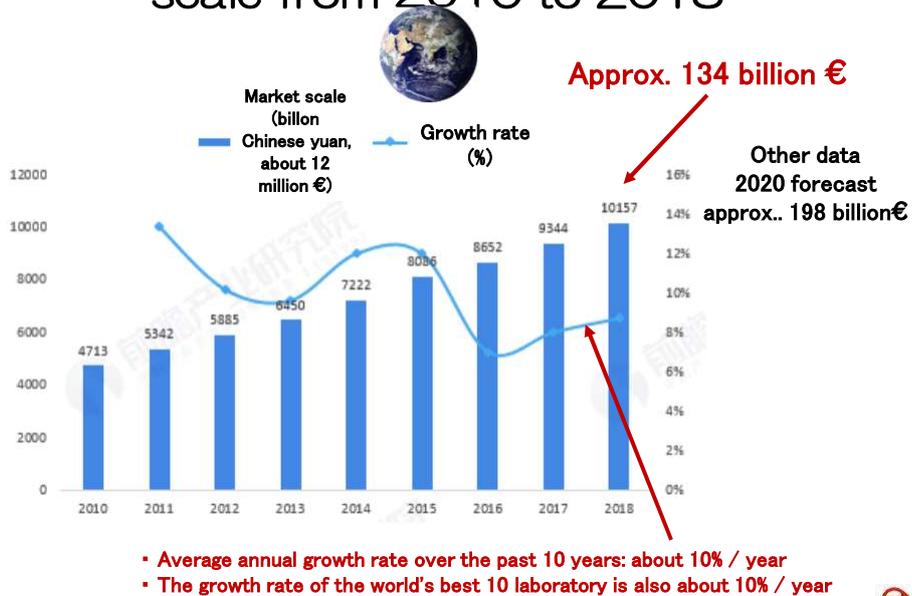


Global market size by region (2017)

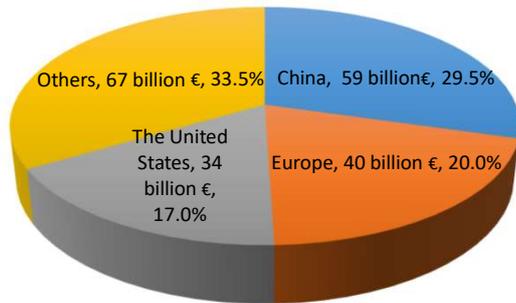
(Profit of 144.49 billion €)



Worldwide measurement business sales scale from 2010 to 2018



2020 Global Measurement Business Sales Scale Forecast



China : 58 billion €
 Europe : 48 billion €
 The United States : 33 48 billion €

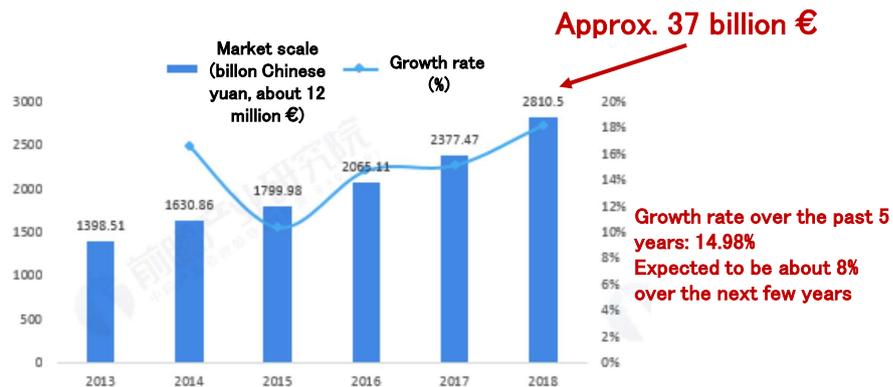
Chinese media comments

The Key points are

- Response to large market size
- Participation in international certification systems



2010-2018 China Measurement Business Sales Scale



Chinese media comments

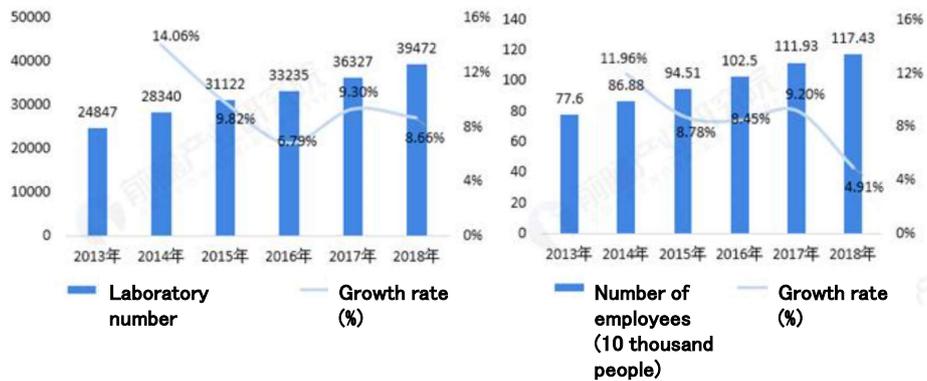
- Market expansion by improving national life
- Technology development speed was fast
- Hardware introduction / upgrade was early
- Deregulation of private business and government support (preferential policies, tax exemption, patents)
- Quality improvement by strict government supervision (CMA (measurement certification), CNAS (17025), on-site inspection)
- Relatively successful in dealing with international division of labor



Number of laboratories and employees

Approximately 3,000 laboratories increased from 2017

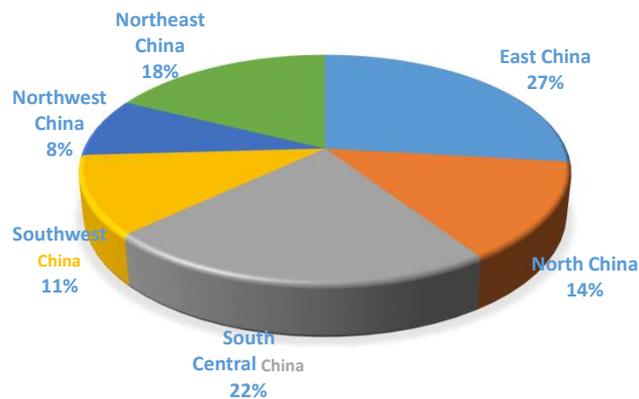
Approximately 1.2 million people



Number of laboratories

Number of employees

Number of laboratories by region



- The number is relatively large even in the development areas such as the Beijing metropolitan area, but it is distributed relatively uniformly.

Overview of laboratories in China

On average, about 30 people / laboratory



39472家
8.66%↑

Number of laboratories



117.43 million
4.91%↑

Number of employees

Approx. 3.5 million €



2810.5亿元
18.21%↑

Total profit



Approx. 30 thousand €

23.93万元
2.69%↑

Sales / Employee



633.77万台
10.1%↑

Number of registered devices



Approx. 4 million €

3195.54亿元
11.29%↑

Equipment assets



4.28亿份
13.83%↑

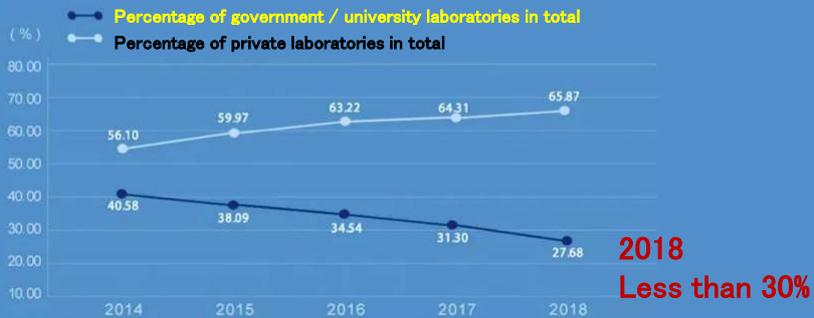
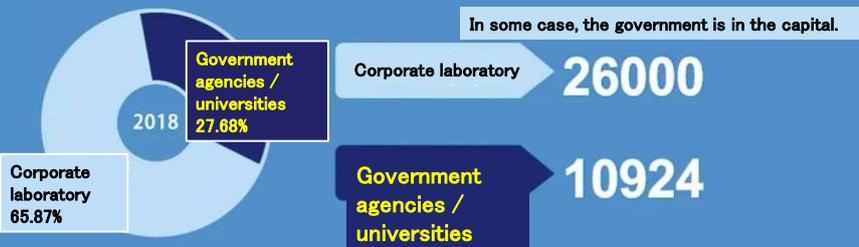
Number of reports issued



Approx. 902 thousand €

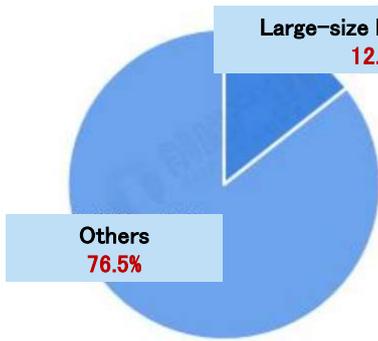
712.02万元
8.8%↑

Sales / Laboratory

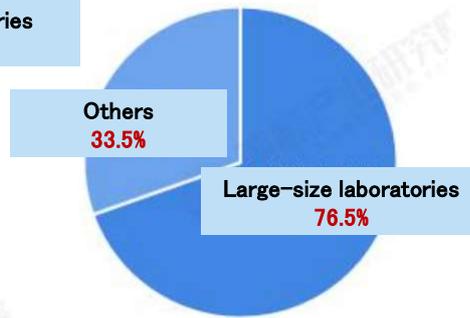


Number of large-size laboratories (sales of over 125 thousand €) and sales overview

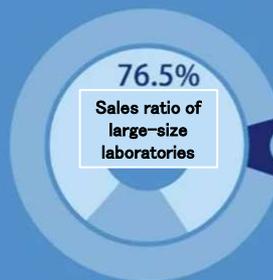
Number of laboratories



Sales



Number of large-size laboratories (sales of over 125 thousand €) and sales overview



Large laboratory
Sales average
Approx. 5.5 million €



Large laboratory
Sales average / person
Approx. 61 thousand €

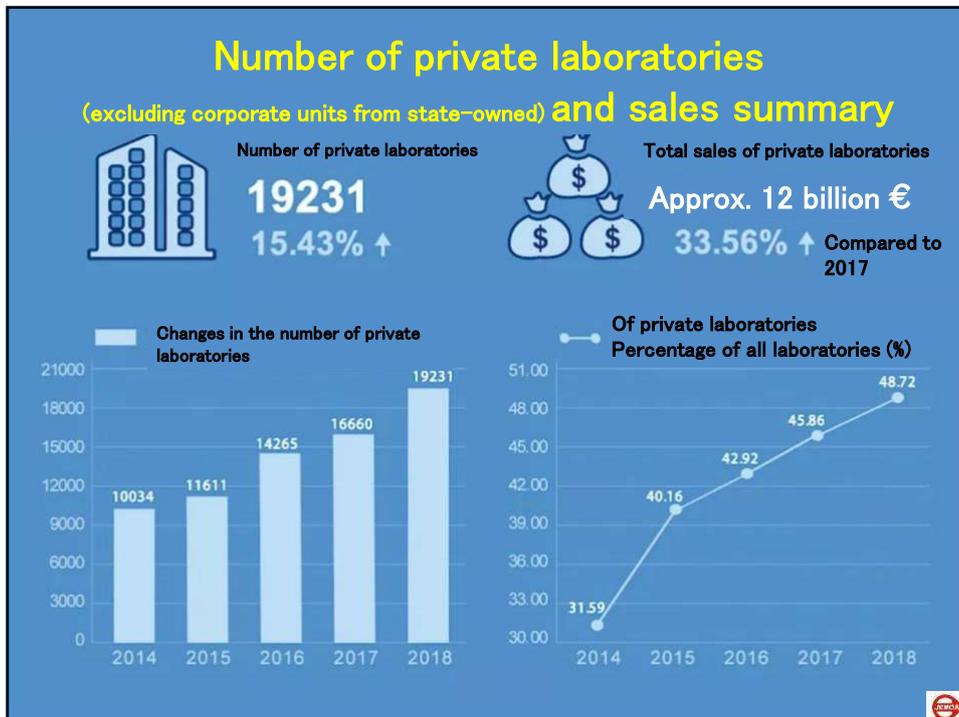
Of all laboratories
Sales average
Approx. 941 thousand €

Of all laboratories
Sales average / person
Approx. 31 thousand €

Sales

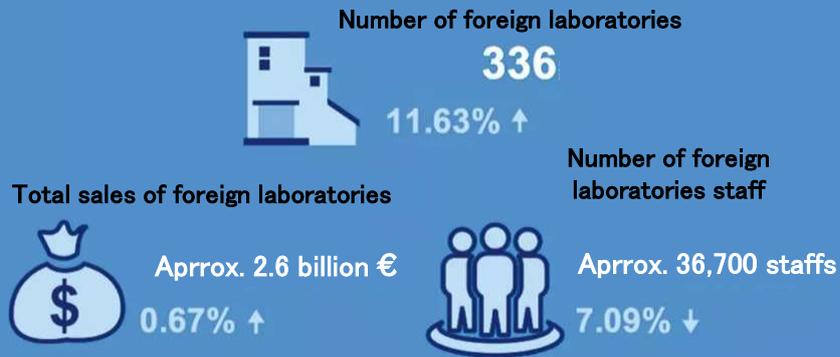
Sales / staff





Outline of foreign capital laboratory

(foreign capital ratio 50% or more)



- There are more foreign laboratories than expected.
- The number of laboratories is increasing (new entry) though, overall sales are not growing.
- The number of employees is decreasing.



Overview of Highly Qualified Laboratory



- Significant increase in sales in highly qualified laboratories (advantage)
- Laboratory ranking (effective for promoting the quality)



Comments on the China measurement business by the Chinese government and the media

- ✓ State Council decision on the development and development of strategic emerging industries. Laboratory business: **National strategic emerging industries**
- ✓ Internet/**intelligent** to improve test supply levels.
(National data aggregation system, digital data, field data acquisition, and so on.)
- ✓ Formation of the Chinese **flagship team**.
(Joint with peripheral technology, hardware, CRM, PT, reagent, laboratory accreditation, and so on.)
- ✓ China weighing quality **branding** (quality control including on-site inspection).
Laboratory ranking (objective base of highly qualified laboratories, global promotion)
- ✓ Training specialized and large-size **quality inspection institutions** for specific field categories.
The 13th of Five-Year Plan for the Development of Quality Supervision, Inspection and Quarantine.
New goals for scientific development of the quality inspection industry.
(Quality Supervision Inspection and Quarantine General Administration)



Comments on the China measurement business by the Chinese government and the media

Issues to be addressed by China

- ✓ **What to do with small-size dispersion of laboratories?**
96.33% of laboratories with less than 100 employees.
- ✓ Many laboratories are region-dependent (for example, specialized in state and city operations).
Not all on-site inspections is implemented.
What are the measures to improve quality (branding)?
- ✓ Private laboratories is in lack of capability on technical innovation.
(Example: National inspection institute 48,511 patents, average of private laboratories: 1.3 patents)
How to gain international competitiveness?



Independent Testing In Inspection and Certification

Role of Laboratory Accreditation in Professional Business Growth

R. B. Singh
Secretary General
Association of Indian Laboratories-AOIL

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Presentation Structure

- ▶ AOIL-Banyan Tree of Indian Labs
- ▶ Introduction to the Topic of Today
- ▶ Concept of Independent Testing
- ▶ Need of Inspection and Certification
- ▶ Laboratory Accreditation Phenomenon
- ▶ Professional Business Growth
- ▶ Role of Laboratory Accreditation
- ▶ Accreditation and ILAC MRA with ABs
- ▶ CABs Contribution to Technology and Economy
- ▶ Conclusions
- ▶ References and further Readings



1

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

AOIL-Banyan Tree of Indian Labs

- ▶ The AOIL Banyan tree was established in 2015 by a nucleus strong committee of twenty Indian lab professionals from four lab groups, Testing, Calibration, Medical and GLP-Toxicology. AOIL obtained UILI membership in 2016 and joined UILI Executive Board in 2017.



2

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

AOIL-Banyan Tree of Indian Labs

- ▶ Over the period AOIL has grown up as an organisation of Indian Labs spread in all states of the country and has created recognised platform with authority, for the laboratories to interact and integrate with accreditation bodies, regulators and govt. in formulation and implementation of policies and procedures for research, technical, professional laboratory, inspection and certification business and consultancy.



3

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

AOIL-Banyan Tree of Indian Labs

- ▶ Since Oct, 2015, AOIL has been regularly and actively participating in IAF-ILAC mid-term and annual meetings and participated in IC, AIC, ARC & LC meetings. AOIL has privilege of working group membership of WG3, WG4 and VIM Sub-Committees through LC membership.



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

4

Introduction to the Topic of Today

- ▶ It was during the last Skype meeting of UIIL Executive Board on 17th July, AOIL was offered an opportunity for a presentation in the 2019 UIIL Lab Meeting on 25th Oct, 2019 at Frankfurt, Germany.



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

5

Introduction to the Topic of Today

- ▶ We from AOIL proposed to the UIIL President Dr. Lucs, the topic of our choice and the preference of the Indian laboratories - “Independent Testing In Inspection and Certification, Role of Laboratory Accreditation in Professional Business Growth “.



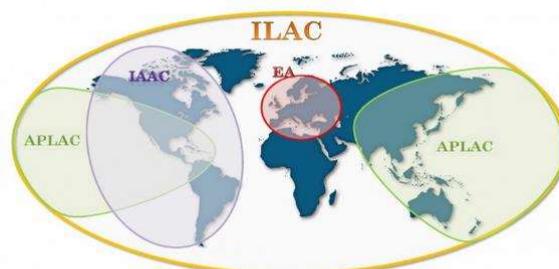
2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

6

Introduction to the Topic of Today

- ▶ In India Laboratory the quantum of accreditation services proliferation can be best described as at cosmetic stage, compared to Europe, Canada, USA and few other economies. We have a long way to tread in terms of providing accreditation services to the deserving thousands of Indian labs.

Mutual Recognition Arrangements



ILAC – International Laboratory Accreditation Cooperation
EA – European co-operation for Accreditation
APLAC – Asia Pacific Laboratory Accreditation Cooperation
IAAC – Inter-American Accreditation Cooperation

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

7

Concept of Independent Testing Labs

- ▶ With the opening of Indian economy to the private and independent entrepreneurs in 1990, the independent lab services have been established in India in almost all major cities across the country by the experience & expert lab professionals.



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Concept of Independent Testing Labs

- ▶ The global inspection agencies including SGS, Intertek, Bureau Veritas and TUV have landed in India with multi-locational labs for inspection and certification of import & export commodities and project management services.



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Concept of Independent Testing Labs

- ▶ The independent testing is a third party testing that establishes an acceptance criteria based on concept of independent testing agency, experience & expertise, professional integrity, proficiency, recognition and approval accreditation form the regulators (in India BIS, FSSAI & CPCB etc.) also as mandatory requirement of conformance in many of the products and materials.



10

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Need of Inspection & Certification

- ▶ The quality of a product procured is the main concern of a customer. As we know, the quality is totality of features and characteristics of the product, is mainly result of specialised process applied and evaluations by experts in the technology and science of production and extraction of materials.



11

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Need of Inspection & Certification

- ▶ On behalf of customer, the inspection and certification bodies provide the quality linked documentary evidences, based on testing, inspection and peer evaluation-review of manufactured materials and products.



12

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Need of Inspection & Certification

- ▶ Nationally and globally, the system of inspection and certification, eases out the cumbersome processes and procedures required for selection and acceptance of materials. Inspection and certification, are the resultant product of professional laboratory services.



13

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Laboratory Accreditation Phenomenon

- ▶ Before 1985, the concept of laboratory accreditation was limited to certain industrial and research activities related to railways, defence and aerospace. The Indian Government building construction and maintenance agency- CPWD has a system of CPWD Specs and Scheme of lab approvals based on BIS standards akin to Quality Marking Scheme of State Governments for few established independent labs.



14

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Laboratory Accreditation Phenomenon

- ▶ After the GUTT, Geneva, July 1986, the impetus of Government of India being a GUTT signatory, was to bring the exiting national lab facilities under an accreditation scheme- the then established NCTCF, which later on christened as NABL under Department of Science & Technology and in 2016 transferred to QCI Board as registered society and national AB with ILAC MRA having HQ at Gurugram, near country's capital New Delhi.



15

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Laboratory Accreditation Phenomenon

- ▶ Since 2005 onwards the lab accreditation programme has spread in a big way throughout the major world economies, with many countries having multiple accreditation bodies-ABs to cater the labs-CABs in their territories of cross border services. In India we have two established national ABs- NABL and FDAS, both operating from HQs at Gurugram near country's capital - New Delhi.



16

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Professional Business Growth

- ▶ Laboratory services are not a pure business entrepreneurial activity in concept and operational systems, also certainly it is not conventional trade of services. The lab services are established, developed, and managed by qualified, experienced and expert professionals in their fields of testing, calibration, medical, GLP and toxicology.



17

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Professional Business Growth

- ▶ The growth factors in laboratory business are driven primarily by the economics, location, specialisation followed by the accreditation (regulators requirement for organised business) credibility, reliability, integrity, excellence, uniqueness and turn-around-time. Within country the reputation of a lab plays major role in the quantum of business and proliferation of services.



18

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Professional Business Growth

- ▶ In order to have sustainable growth rate, the labs need to have accreditation as third party assurance of capability and competency for the services offered, as in the scope of accreditation. An effective implementation of accreditation system in the lab provides critical ecosystem for improvement, minimising the risk of failures and available opportunities through mandatory audit, review and feedback systems.



19

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Role of Laboratory Accreditation

- ▶ To have unrestricted acceptance of cross border exchange of goods and services with respect to their quality and suitability, country needs a well placed and effectively implemented, affordable laboratory accreditation system operating in accordance with ISO 17011 and having active ILAC MRA. This is global minimum requirement for international business.



20

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Role of Laboratory Accreditation

- ▶ Due to its merits and international acceptance, many countries world over have adopted lab accreditation as primary criteria for recognition, approval and enlisting of lab services for regulators and customers. Government and organised sector labs are few, comparing to the needs of a country, therefore independent accredited labs are filling the gaps and offering double benefits of a technical occupation and critical lab services.



21

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Role of Laboratory Accreditation

- ▶ Accreditation provides the labs a tool to enhance the customer's confidence in first interaction to avail the lab services, which are covered in accredited scope. To the lab management accreditation provides an assurance of production of correct, reliable and valid test results, useful for retaining the customer base, lab technologists and achievable growth in lab services.



22

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Accreditation and ILAC MRA with ABs

- ▶ An accredited CAB must have accreditation from an AB having active MRA signed with ILAC for cross border acceptance of test reports from accredited CABs. Now ILAC MRA has acquired mandatory requirement status among customers and government regulators for ISO/IEC 17025 and ISO/IEC 15189 accreditation obtained from an AB operating as per ISO/IEC 17011.

APAC
ASIA PACIFIC
ACCREDITATION COOPERATION



23

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Accreditation and ILAC MRA with ABs

- ▶ Lab accreditation has now become almost mandatory requirement for an independent third party lab to get business from telescopic customers and cross border services to other economies, apart from being exclusive necessity for export-import trade and business among economies.

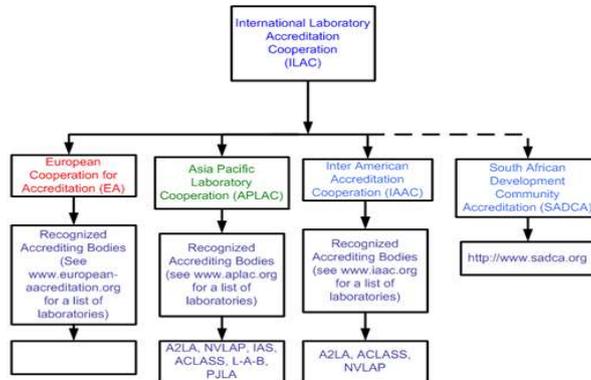


24

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Accreditation and ILAC MRA with ABs

- ▶ ILAC MRA provides the AB an universal acceptance and recognition based on periodical peer evaluation by team from APAC/ILAC, this also ensures building of confidence in CABs for the accreditation services provided by the national and international ABs.



25

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

CABs Contribution to Technology & Economy

- ▶ CABs services are major material properties inputs to the design of new projects, evaluations of materials for production and consumption is the critical services provided by the labs. Services provided by the testing and calibration labs as per ISO/IEC 17025 are vital to the function and growth of small and medium enterprises.



26

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

CABs Contribution to Technology & Economy

- ▶ Medical and GLP labs including toxicology testing provide services as per ISO/IEC 15189 & OECD guidelines are catering to the social and national needs for healthcare and medicine manufacturing. The spread of medical labs has so well penetrated up to the sub-district level and their number goes in more than tens of thousands in each state.



27

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

CABs Contribution to Technology & Economy

- ▶ The services of labs acts as effective and potential tool in the hands of common public to evaluate and challenge the quality of environment, services and products being traded in the country. When the lab has accreditation from an AB having ILAC MRA, its test reports carry significant inbuilt authority to be accepted for material acceptance, rejection and legal actions. The economic activities, supply chain management and CAB services are interdependent for sustained growth and mutual development.



28

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Conclusions

- ▶ The role of accreditation in growth of the professional lab business is basic and catalytic to the labs as of providing legally acceptable identity of the competent and capable agency to the designated task of providing lab services. The legal identity of the lab coupled with accreditation, make the labs services globally acceptable, and opens up the opportunity to extended services to the world economies.



29

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Conclusions

- ▶ The trade and commerce among world economies, has been checked, regulated and monitored based on the inspection and certification services provided by the recognised agencies, which in turn are integrated with independent third party accredited labs, and in few isolated cases in-house accredited lab facilities of the certification bodies and technical consultants.



30

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

Conclusions

- ▶ To sum up, it is well accepted worldwide that lab accreditation facilitates the cross border trade and commerce, reduces the retesting time and money, develops customer confidence, offers an effective tools to government regulators and law makers, and provides a sound universal management system to the lab professional and entrepreneurs.



31

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

References and Further Readings

- ▶ ISO/IEC 17025:2017
▶ General Requirements for the Competence of Testing and Calibration Laboratories.
- ▶ ISO/IEC 15189:2012
▶ Medical laboratories- Requirements for quality and competence.
- ▶ ISO/IEC 17011:2017
▶ Conformity Assessment- Requirements for accreditation bodies accrediting conformity assessment bodies.

32

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

THANK YOU

Thanks for your kind attention and the patient hearing.



33

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 25th October, 2019 Frankfurt, Germany

資料（和訳）

2019年第2回役員会

Union Internationale des Laboratoires Indépendants

2019年10月24日(木) 14:00 開始、於・Institut Fresenius, Taunusstein

2019年10月25日(金)9:00 開始、於・InterContinental Hotel, Frankfurt

Association	Board Member	Country	Confirmed
VRS	Drs. Luc H. A. Scholtis <i>President</i>	Netherlands	Yes
AELI	Dr. Manahón Fernandez Alonso <i>Past-President</i>	Spain	No (欠席連絡あり)
RELACRE	Dr. Álvaro Silva Ribeiro <i>First Vice President</i>	Portugal	Yes
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés <i>Second Vice President</i>	Spain	Yes
JEMCA	Dr. Toru Matsumura <i>Treasurer</i>	Japan	Yes
	Ms. Noriko Takahashi	Japan	Yes
IPAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko <i>Secretary-General</i>	Nigeria	? (未回答)
CALIBA	Dr. Horacio Denari	Argentina	? (未回答)
	Dr. Mario Ismach	Argentina	? (未回答)
	Mrs. Marta Sancho	Argentina	? (未回答)
CCIL	Mr. Gib McIntee	Canada	? (未回答)
	Ms. M. Tumkur	Canada	? (未回答)
EUROLAB	Mr. J.L. Sanchez	Europe	Yes
IPAN / SoTLAN	Dr. Femi Oyediran	Nigeria	Yes
	Mr. Aliyu Abdullahi Angara	Nigeria	Yes
	Mr. Kazeem Ademola Jimoh	Nigeria	Yes
	Mr. Sunday Adelani Oluwanisola	Nigeria	Yes
VRS	Mr. Frank Vrolijk	Netherlands	Yes
RELACRE	Dr. José Roseiro	Portugal	? (未回答)
ASOCOLAB	Mr. Gabriel Fonseca	Colombia	Yes
AIOL	Mr. Lalit Paneri	India	Yes
	Dr. R.B. Singh	India	Yes
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Ir. Jan Soers	Belgium	? (未回答)
Unaffiliated members Southern Hemisphere	Dr. Alfredo Montes Niño	Brasil	Yes
Secretariat	Mr. Lars van Gool	Netherlands	Yes

アジェンダ

2019年第2回役員会

2019年10月24日(木) 14:00-16:30

2019年10月25日(金) 09:00 - 12:30

1. 歓迎
2. 出席の確認
3. アジェンダの承認
4. 2019年7月17日Skype開催の2019年第1回役員会議事録の承認
 - 4.1. 前回会議からの懸案事項（アジェンダ外）
5. 2020～2022年戦略計画
6. 定款
7. 財務報告
 - 7.1. 未払い金 - 会費
 - 7.2. 2019年9月30日現在 損益計算書および貸借対照表。2020～2022年予算案
8. 試験所比較試験
 - 8.1. 試験運営責任者（Program Manager）
 - 8.2. 第22回 UIIL ILP
 - 8.3. 2020～2022年ILP試験計画
9. ILAC
 - 9.1. ILAC ステークホルダー委員会
10. 地域認定協会：
 - 10.1. EA（欧州認定協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.2. IAAC（米州認定機関協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.3. APAC（アジア太平洋認定協力機構、Associate Member）
 - 10.4. AFRAC（アフリカ認定協力機構、Stakeholder Member）
 - 10.5. ARAC（アラブ認定協力機構）
11. ISO
 - 11.1. ISO/CASCO
 - 11.2. ISO/REMCO

12. 会員増強

- 12.1. CSIT Chinese Society for Inspecting and Testing (中国国家品質監督検査検疫総局)、中国
- 12.2. RELABSA、グアテマラ
- 12.3. ASOSEC、コロンビア
- 12.4. ABRAC、ブラジル
- 12.5. VUP、ドイツ

Version : 1.0

Date : October 24, 20

Page : 2/3

13. 協会会員および非協会会員から活動報告

- 13.1. AELI (スペイン独立試験所協会)
- 13.2. AOIL (インド試験所)
- 13.3. ASOCOLAB (コロンビア試験所協会)
- 13.4. CALIBA (アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会)
- 13.5. CCIL (カナダ独立試験所協会)
- 13.6. EUROLAB (欧州試験所協力機構)
- 13.7. JEMCA (日本環境測定分析協会)
- 13.8. RELACRE (ポルトガル認定試験所協会)
- 13.9. IPAN/SOTLAN (ナイジェリア国家分析協会／ナイジェリア分析試験所協会)
- 13.10. VRS (オランダ、化学試験所諮問協会)

14. 今後の会議予定

- 14.1. 2020年第1回 2020年4月16日(木)・17日(金)オランダ・ロッテルダム。総会—VRS
設立110周年—LabMeeting 2020—オランダ基準を設定
- 14.2. 2020年第2回 2020年10月22日(木)・23日(金)カナダ・モントリオール
- 14.3. 2021年第1回 Skype

15. その他 (会長承認)

16. 閉会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

資料B

議事録
 2019年第1回役員会
 Union Internationale des Laboratoires Indépendants
 2019年7月16日(水) 13:00 CET開始
 Skype会議

協会	役員	国/タイムゾーン	出欠
VRS	Drs. Luc H.A. Scholtis 会長	オランダ	出席
AELI	Dr. Manahén Fernandez Alonso 前会長	スペイン	欠席
RELACRE	Dr. Álvaro Silva Ribeiro 副会長 (第一)	ポルトガル	出席
AELI	Mr. Jordi Oliver-Rodés 副会長 (第二)	スペイン	出席
JEMCA	Dr. Toru Matsumura 財務担当	日本	出席
	Dr. Masahiro Tanaka	日本	欠席
IPAN/SOTLAN	Mrs. Mary-Anne Adeeko 事務局長	ナイジェリア	出席
CALIBA	Dr. Horacio Denari	アルゼンチン	欠席
	Dr. Mario Ismach	アルゼンチン	出席
	Mrs. Marta Sancho	アルゼンチン	出席
CCIL	Mr. Gib McIntee	カナダ	出席
IPAN/ SOTLAN	Dr. Femi Oyediran	ナイジェリア	欠席
RELACRE	Dr. José Roseiro	ポルトガル	欠席
ASOCOLAB	Mr. Gabriel Fonseca	コロンビア	出席
AOIL	Dr. A.K. Kalyan	インド	欠席
	Mr. R.B. Singh	インド	出席
	Mr. D.N. Tewari	インド	出席
EUROLAB	Mr. José Luis Sanchez	欧州	出席
Unaffiliated members Northern Hemisphere	Ir. Jan Soers	ベルギー	欠席
Unaffiliated members Southern Hemisphere	D. Alfredo Montes Niño	ブラジル	欠席
Secretariat	Mr. Lars van Gool 事務局	オランダ	出席

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

アジェンダ

1. 出席の確認と欠席のお詫び

ショルティス博士は一同を歓迎した。全員出席とはならず、前会長マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士、松村徹博士、アルフレド・モンテスニノ博士から欠席のお詫びがあった。マリアンヌ・アデコ氏は遅れて参加した。フェミ・オイディラン博士とヤン・ソレス氏からは出欠の連絡はなかった。

2. アジェンダの承認

出席者一同、アジェンダを承認した。

3. 2018年10月24日シンガポール開催の2018年第2回役員会議議事録の確認

出席者一同、議事録を承認した。

3.1. 前回会議議事録からの懸案事項（7ツェンガ*外）

会長は、前回会議からの懸案事項を1件ずつ確認した。内容は次の通り：

- オランダの公証人J・K・Aマイヤー氏に依頼した。マイヤー氏が協会の定款を作成する。合意された通り、UILLIをオランダ法の下に登記する。フランクフルト会議前までに、提案書を配布するので、役員会に諮る。
- 新しい会費構造について提案された。松村博士が新会費案を作成するが、提案はなされなかった。松村博士は、財務担当として、現時点での会費改正は懸命ではないとの意見であった。
- グアテマラ協会の入会手続きが進展しているか不明。連絡の担当が誰かが特定されていない。
- 次回総会に向けた過去の財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の取りまとめ作業については、シンガポール会議にて、会長が行うこととした。
- 2014年より、UILLIは帳簿管理にQuickbooks（オンライン版）を利用しているが、口座管理までは行われていなかった。年末決算が行われず、エクセルで作成した財務諸表と口座管理システムとの整合性が取れていなかった。会長は会計コンサルタントに文書の作成を依頼、2014年から本年6月30日までの帳簿を見直したため、作業完了までに長く時間を要した。その作業の中で、未払い債務、つまりILP参加費、年会費、会議時の立替え等の未回収金が明らかになった。未払いの対象者には支払い要求の連絡をしてきた。このことは、他のUILLI活動に影響を及ぼしている。
- 今後のUILLIとその戦略は、他の国際発展とともに議論を交わすべきと考える。

2018年10月1日、メリッサ・フェルナンデス氏からの申し出により事務局契約が解消された。その後1月に会長へ連絡があり、1時間当たり20%増の条件での業務継続の打診があった（€ 20,00 → € 25,00）。これは年間比で€3,250増となる。会長は、前述の債務回収に当たっている現在の財務状況ではこれには応じられないと考えた。

こういった経緯で、予算上、メリッサ・フェルナンデス氏の雇用を継続しない決断が下された。会長はメリッサ・フェルナンデス氏に関して迷惑をかけていることにお詫びを述べた。雇用解消のもう一つの理由として、会長が事務局とともに業務にあたるには、事務局が近くにいないと不便であることを指摘した。

- 1月、会長はIFIAハンナ・タイディ氏 (Ms. Hanane Taidi) と面会した。タイディ氏から、CEOC事務局長ドゥロウイン・ニウウェンウィス氏 (Mr. Drewin Nieuwenhuis) との協力関係の説明があった。TIC council (合併後の名前) が設立され、タイディ氏が事務総長 (Director General) に就任したとのことであった。このことで、UIILは今後の戦略を見直す必要が生じたと感じる。会長はタイディ氏へ、TICとの協同と、メンバーシップの交換を提案した。回答はまだなく、様子を見ることにしている。
- フランクフルト会議の準備は進められている。
- UIIL戦略に関して、次の2通のメッセージが届いた。
 - 2019年7月12日、マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士からEメールを受け取った。
 - 2019年7月15日、ガブリエル・フォンセカ氏から手紙を受け取った。

会長から一同へ、フェルナンデス博士とフォンセカ氏の意見については、会議内で対応すると説明した。

TIC Councilとの関係と事務局の状況から、会長は、今後のUIIL活動に対し疑問を投げかけた。世界の試験所コミュニティは、似た2つの組織に関心を示すのか。TIC Councilと合併するのが良いのではないか。本件については、役員会で話し合う機会を設けなければならない。これに次期幹部が参加することが重要である。

- 会長は、VRSを代表して、2020年4月VRS設立110周年記念行事に全てのUIIL会員をオランダへ招待したいと述べた。そのタイミングに合わせて第28回総会の開催を提案、役員はこれに合意した。

4. 財務報告

UIILのオランダ登記に至るまでには、UIILが過去にダンスケ銀行に口座を置いていたことに触れる必要がある。3年前、ダンスケ銀行がマネーロンダリングの疑いで訴訟を受け、UIILは口座をABN AMRO銀行に移した経緯がある。手続きは複雑で、UIILをオランダに協会として登記することが口座開設の条件だった。オランダの法律の下では協会の登記には2種類ある。現在のUIILの登記では業務を行う上では問題ないが、会長個人に責任の負担がかかる仕組みとのこと。これが影響し、事務局がUIILに対して発行する請求書には、請求額にVAT (付加価値税) を含めなくてはならなくなった。

公証人とともに定款の作業を進めるには、銀行の公式な取引明細、つまり完全な財務諸表が必要になった。UIIL定款によると、役員は総会に報告することとなっている。口座の移転に係る手続きは、定款に則り問題なく行われた。会長は役員へ、ダンスケ銀行とABN AMRO銀行の両口座は完全に一致することを説明した。また、折々で財務担当松村博士へ相談したことを説明した。松村博士には、Quickbooks会計ソフトとウェブ上の財務資料、および口座へのアクセス権限が与えられている。

- 会長と会計コンサルタントとで帳簿を見直し、過去何年にも渡って未回収の会費やILP参加費あることを確認した。UIILには、UIIL役員によるものだけで、現在€ 17.798,54の債務がある。
 - CALIBA: UIIL への未払い 額€ 7.000,00
ブエノスアイレス会議に係る請求。協会からの直接連絡はなく、モンテスニノ博士を通して。財務状況が良くないとのこと。
 - IPAN/SoTLAN: UIIL への未払い額 € 5.262,00
2017年発行の請求書による。シンガポール会議にて、オイディラン氏はIPANへの請求は全て支払うことを約束した。2月と3月にオイディラン氏と連絡をとった。5月に支払い手続きをすることを約束したが、未だ実行されていない。
 - Microbóticos社およびモンテスニノ氏の分は夕食代の立替えによる。本日（2019年7月17日）メールがあり、次週支払うことを約束した。
 - RELACREは、未払い請求書について応答がない。リベイロ氏は、事務局の交代と、会計システムを変更したことが原因と説明した。請求書が再発行されれば支払われるとのこと。
 - AOILシンク氏は、数日以内に支払うことを約束した。
 - ASOCOLBは€ 210,00分の未払い請求書があり、フォンセカ氏からシンガポールで現金€ 50,00の支払いがあった。フォンセカ氏は、残りをフランクフルト会議で支払うこと約束した。

フォンセカ氏は、2014～2019年財務報告がないことを指摘、報告の提出を求めた。財務報告は会議前に全役員へ配信されており、再確認する。

4.2. 2014・15・16・17・18年 財務報告

正確な貸借対照表がなく、会長が現金ベースで作成した。

➤ 2014 – イズミル会議

- 年会費: € 16.221,00
- ILP参加費: € 1.940,00
- 事務局人件費およびインターネット管理費: € 21.288,89
- 純利益: - € 5.447,73
- 未回収金: € 1.856,00
- 口座残高: € 62.264,74

➤ 2015 – ブエノスアイレス会議

現金と個人のクレジットカードが多用され、追跡が難しい。

- 年会費: € 19.864,75

- ILP参加費: € 2.354,00
- 事務局人件費およびインターネット管理費: € 21.995,50
- 純利益: - € 1.758,13
- 未回収金: € 4.617,00
- 口座残高: € 63.130,36
- **2016 – ニューデリー会議**
 - 年会費: € 20.737,50
 - ILP参加費: € 9.520,00
 - 事務局人件費およびインターネット管理費: € 21.922,22
 - 純利益: € 4.036,85
 - 未回収金: € 9.668,04
 - 口座残高: € 58.162,44
- **2017 – ボゴタ会議**
 - 年会費: € 21.480,50
 - ILP参加費: € 4.281,00
 - 事務局人件費およびインターネット管理費: € 21.978,08
 - 純利益: - € 3.537,42
 - 未回収金: € 7.403,04
 - 口座残高: € 53.837,52
- **2018 - シンガポール会議**
 - 年会費: € 26.040,00
 - ILP参加費: € 3.150,00
 - 業界開発業務: € 2.000,00
 - 事務局人件費およびインターネット管理費: € 22.013,25
 - 純利益: - € 193,63
 - 未回収金: € 11.611,54
 - 口座残高: € 51.667,88

4.3. 2019年6月30日現在財務報告

- 年会費: € 26.703,00
- ILP参加費: € 0,00
- 事務局人件費およびインターネット管理費: € 10.441,18
- その他費用: € 1.769,46

- 純利益: € 13.772,36
- 未回収金: € 17.798,54
- 口座残高: € 55.645,57

➤ 疑問点:

- 会長：未払いの請求書の取り扱いをどうするか。
- オリバー・ロデス氏：会員の債務について、定款にはどう触れているか。

定款では、支払い期日は3月31日とするか、役員判断となっている。会費を支払わない会員の会員資格については役員がその判断の責任を負うとしている。財務担当はその判断に基づいた指示があって行動する。請求書が未払いの会員に対し、公式な手紙を出すこととする。手紙には、8月1日までの支払いを要求する。支払いが確認できない会員の取り扱いについては、フランクフルト会議にて最終的な決断を下すこととする。恐らく、2019年12月31日をもって会員資格を抹消する方向。

4.4. 2020～2022年予算

- UIIL活動にかかる費用は最小限で単純、収入も同様。収入と支出がほぼ同じで、行事については各自が費用を負担している。ILPの費用はプロバイダーが負担しているが、それは売り上げが十分でないため。会員数の増加、年会費未回収、ILP収入見込みなしでUIILの成長にはつなげられていない。
 - 組織の成長のためには予算を見直す必要があるのではないか。予算を決定する前に戦略計画の話し合いを行う必要がある。

5. 次回フランクフルト年会に向けての準備

5.1. 2019年度 LABMEETING

- フランクフルト会議のテーマは「検査と認証における独立した試験（Independent testing in inspection and certification）」。現在の状況では難しい課題。独立の意味は何か。UIILはどういった立場をとるべきなのか。
- モンテスニノ博士、ガブリエル・フォンセカ氏、ジョルディ・オリバー・ロデス氏、サンチェス氏、テワリ氏、シンク氏、ラリット・パネリ氏、ニーラジ・ジャイン氏、ジャスポール・カールラ氏、マリアンヌ・アデコ氏が参加可能・マリアンヌ・アデコ氏とギブ・マケンティ氏は参加調整中。
- シンク氏、パネリ氏、リベイロ氏はLabmeetingでのプレゼンテーションを申し出た。アデコ氏は会議に出席できるようであればプレゼンテーションを行うことを承諾。
- ガブリエル・フォンセカ氏から、UIIL幹部改選の議論はいつ行われるのか質問があった。
 - 役員幹部改選はフランクフルト会議では行わない。新幹部は総会にて承認される。つまり、次期幹部が決定するのは、2020年4月オランダにおける第28回総会となる。

6. ILP委員会、2019-2021ILP計画

6.1. JEMCAによる第22回ILP「粉体中のPCBおよび水銀」

- 試験主催者はJEMCA。
- ILPプログラムを継続させるには、十分な参加数を確保することが重要。
- 案内を配信するためのEメールアドレスを送ってもらえれば正式に通知する。ウェブで通知を確認できれば、そのままウェブで参加手続きを行うことができる。
- 参加数を把握することで用意するサンプル数が決定する。
- オリバー・ロデス氏は、ILPプログラムの試験名を少なくとも1年前に知れば、予算に組み入れることができると伝えた。
- Eメールアドレスの情報の取り扱いについて問題が挙がった。データ保護の観点から、Eメール情報を開示することはできないとのこと。これが理由で、その協会はUILIに代わってILPの情報を会員へ配信しているとのこと。ただし、協会間で個人情報の取り扱いに係る取り決めを交わした場合に限りEメールアドレスの提供は可能となる。

6.2. ILPプログラムマネジャー

- 会長は、その専門性と能力から、アデコ氏をILPプログラムマネジャーに推薦した。先般の話し合いで、報酬に年間€ 5,000,00を求めることを説明した。現在の財務状況からは難しい選択ではあるが、UILIにはより多くの収入と活動が必要と考える。
- アデコ氏のILPプログラムマネジャー指名に係る投票が行われ、全出席役員は賛成した。
 - RELACREとAELIは原則として賛成ではあるが、事業の目的と今後の計画の明示を求めた。

7. 2020～2022年 運営戦略計画

UILI、TIC Council (<http://www.tic-council.org/>)、およびUILI会員協会の関係。

- TIC Councilは、IFIAとCEOCが合併して設立した。当協議会は世界の多くのTIC企業が会員となっており、その財力は大きい（会員当たり€ 80,000）。事務総長のハンナ・タイディ氏は大変活動的な人物。協議会の目的は世界のTIC業界におけるナンバーワンの影響力を持つ団体になること。すでに最大勢力を主張している。会長はTIC Councilと協力関係を持つことを提案した。
- 互いの利益のため、最も歴史の古い団体であるUILIにとって重要なのは、賢明な立場をとること。しかし、内容によってはオープンに話せないテーマもある。長期的に見て分析業界を代表する機関が1つであることが最適であると考え。
- EurolabはTIC Councilの準会員（associate member）である。Eurolabは協議会の理事にはつかず、欧州の独立系分析業界で独立した地位を確保したい考え。Eurolabは欧州試験所を代表する立場を続ける。唯一の違いは、TIC分析において、EurolabがTIC Councilの戦略に影響を及ぼす存在となることである。

- リベイロ氏は、TIC Councilとは共通の利益はあるが、協議会の地位が大変強く、今UILIは戦略を立てる時との考えを述べた。我々は同じ道に留まるのか、それともグローバル組織TIC Councilになるのか。我々は何を代表したいのか。我々が展開したい事業の方向性は。我々の存在は協会のためかそれとも試験所ためか。我々にできる代表活動のタイプは。我々は50年間強固な存在でいたが、これからは簡単にはいきそうにない。我々には強く包括的かつ透明性のある戦略がない。
- フONSECA氏は、TIC Councilに十分な情報が得られたことに同意した。情報は、今後の行動を決定するのに大変重要である。
- 会長は言い方を変えて続けた：今UILIは、限られた条件下で運営されているワンマンバンドである。包括的な戦略が要求されるが実行に移せる人員がない。リベイロ氏の考えには同意するが、組織は強力な支援を必要としている。
- サンチェス氏は次の2点を指摘した。
 - TIC Councilの中心にいるのは大企業で、中小企業はいない。
 - UILIの基礎となる使命は、世界の地域をつなぐ協力関係を築くことではないか。
- 会長は、サンチェス氏の意見に同意するも予算不足を示唆し、理想の実現には年会費を3倍にする位のことが必要であると述べた。
- サンチョ氏は、請求書が支払えないのはCALIBAが小さな協会であることが理由と説明した。
- 会長は次の3つの対策を講じる：
 - ILPについて：CALIBAとの合意書がある
 - 会費は€ 2.000,00。CALIBAは会員数29で、会員当たり€ 80,00の負担となる
 - 会長はこれを理解するが、試験所のアルゼンチン国内における登録方法に変更することで対応していただきたい
- 会長は、フランクフルト会議の前に、戦略および加入団体への代表参加活動に参加できる会員と、フランクフルト会議前に打ち合わせることを希望した

8. 加入団体活動：

ILACステークホルダー会員、
地域認定協会：EA, IAAC, APAC, AFRACおよびARAC ISO/CASCO /
ISO/REMCO – UNIDO

9. 会員増強：

9.1. 中国国家品質監督検査検疫総局 (CSIT)

- CSITよりUILI入会への打診があった。UILIは関係資料を渡すと、先方はまだ入会に関心があるようだった。CSITが、自身の試験所規格をISO規格に組み込むことを検討しており、UILIに協力を求めているとのこと。

10. 今後の会議予定

10.1. 2019年第2回—2019年10月24日(木)・25日(金)ドイツ・フランクフルト開催

10.2. 2020年第1回—2020年4月16日(木)・17日(金)オランダ・ロッテルダム開催、VRS110周年総会 LABMEETING 2020

10.3. 2020年第2回—2020年10月22日(木)・23日(金)カナダ・モントリオール開催

- マケンティ氏はモントリオール会議スケジュールを確認するとのこと。

11. その他（会長承認）および12. 閉会

- アデコ氏はILPプログラムマネジャー就任にお礼を述べた。
- 会長はCALIBAの未払い金に触れ、UILIは、組織間の情報交換や共同作業の唯一の窓口となり得ることを説明した。その付加価値については常に疑問があがる。ネットワークの価値は全世界にわたって行われる会議、行事、コミュニケーション。UILIは、これを実行するための会員協会のリーダーシップに課題を抱えている。UILIは会費で支えられた構造をしており、年会費1ペニーにも価値がある。会員は、これに貢献しなければならないものである。CALIBAの考えはどうか？
- サンチョ氏は、CALIBAは小さな協会であり、会員当たり€80,00分の年会費を負担する理由が理解できないとのこと。会長は、会費構造について、試験所当たり年間€180,00として設定していることを説明した。

アクションアイテム

- 新しい定款についてはフランクフルト会議にて議論する。
- 会費未払いの会員については、会費資格失効の前に、催促状を送付する。
- ILPプログラムマネジャーは事業計画を用意する。
- IPAN/SoTLAN：オイディラン氏は会長に、すべての請求書の支払いを約束した。
- Microbionic社アルフレド・モンテスニノ氏は会長に、1週間以内に請求書の支払いを約束した。
- RELACREリベイロ氏は会長に、請求書を再発行してもらえれば全て支払うことを約束した。
- AOILシンク氏は、AOILの未払い請求書は数日のうちに対処することを約束した。
- CALIBAは、未払いの件について会長とSkype会議を行う。

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

UILI 戰略

2020-2022

القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

UILI 戰略

- これまでと同じ方針を続けたいか？
- 私たちの主な目的は？
- 私たちは誰を代表したいのか？
- 協会、試験所、それとも？
- 私たちが目指すビジネスとは？
- アドボカシーモデル
- 収入モデル

القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

17-6-2020 . . 2 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمردا تارابت خمدللا يلوددلا داخاتاللا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

歩み

	テーマ	国	組織のタイプ
1958	創設		
1968	ヨーロッパ		
1978	認定		
1988	国際化		
1998	公的分野		
2008		アジア	
2018		ラテンアメリカ・インド	

INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسمردا تارابت خمدللا يلوددلا داخاتاللا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمردا تارابت خمدللا يلوددلا داخاتاللا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

私たちの主な目的は？

- 利益を守る
- 認定、認証、結果互換性のフォーラム
- 業界の地位向上
- 科学ネットワーク
- 友情関係の強化

INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسمردا تارابت خمدللا يلوددلا داخاتاللا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



2020年 目標

- 適合性評価機関に向けた国際プラットフォーム促進
- 試験所報告が国際的に互換性を持つことを証明する
- 地域レベルで国際ネットワーク確立に着目する
- 国際的なアドボカシープログラムを運営し、業界の品質向上を促進する
- 試験所内
- 適合性評価機関の地域および国内協会との多国間MRA（相互承認協定）を利用した適合性評価機関の相互承認

القوسمرفلا الحارسمرفلا فرفرفلا فرفرفلا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會



私たちは誰を代表したいのか？

- 適合性評価機関* とその他認識されている国際、地域、業界および国内協会。
- 多国籍適合性評価機関*、公的もしくは民間。
- 国内適合性評価機関*、公的もしくは民間。

* 試験所検査機関や科学コンサルタントを含む組織

القوسمرفلا الحارسمرفلا فرفرفلا فرفرفلا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمىمىلآ تارىب تخمىمىمىلآ يلى وىمىمىلآ ءاىمىمىمىلآ
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

私たちが目指すビジネスとは？

- アドボカシー？
- セキュリティ？
- 試験所内？
- 法的で財政的？
- 品質保証？
- インソーシングとアウトソーシング？
- 顧客プラットフォーム？
- 従業員雇用？
- 情報交換？

القوسمىمىلآ تارىب تخمىمىمىلآ يلى وىمىمىلآ ءاىمىمىمىلآ

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمىمىلآ تارىب تخمىمىمىلآ يلى وىمىمىلآ ءاىمىمىمىلآ
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

協会、試験所、それとも？

- 国内単一経済内試験所
- 多国籍の試験所グループ
- 適合性評価機関の単一経済圏の協会

القوسمىمىلآ تارىب تخمىمىمىلآ يلى وىمىمىلآ ءاىمىمىمىلآ

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

代表活動の種類

- 全ての認定機関協会に入会する
- その他組織とリエゾン ネットワーク構築

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

アドボカシー モデル

- 標準団体
- 適合性評価機関
- 規制当局と受益者
- 一般市民

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسملا تاربت خملا لى لودملا داخاتال
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



収入モデル

貢献

- 多国籍組織 (€ 5.000,00)
- 単一経済圏組織 (€ 2.000,00)
- 単一適合性評価機関 (€ 500,00)
- 多国籍適合性評価機関 (€ 5.000,00)
- ステークホルダー会員 (€ 500,00)
- 賛助会員 (€ 100,00)

発展途上国は30% 減額

القوسمردا تاربت خمدل ولودمدا داچتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



会員増強

- 地域協会の設立
 - アメリカ地域
 - アジア地域
 - アフリカ地域
- 多国籍適合性評価機関を勧誘する
- 個々の試験所は、ILPへの参加で勧誘する
 - 年会費を含めた、ILP参加費

القوسمردا تاربت خمدل ولودمدا داچتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاقليمي للتحليلات المستقلة
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1950

LABMEETINGおよびLABTOUR

- 毎年地域組織と共同で行事を開催

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS

اقليمي للتحليلات المستقلة

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所聯合會

會計報告

UILI

2019年9月30日 現在

資料E



作成日

2019年10月22日

目次

損益計算書.....	3
貸借対照表.....	4

損益計算書

2019年1～9月

	合計
収入の部	
年会費	
協会	25,083.00
事業所	1,620.00
年会費合計	26,703.00
収入の部合計	26,703.00
売上原価	
売上原価	
貸倒損失	
会費関係	4,620.00
貸倒損失合計	4,620.00
売上原価合計	4,620.00
売上原価合計	4,620.00
売上総利益	22,083.00
支出の部	
管理費	
事務管理費	313.50
事務局人件費	12,750.00
管理費合計	13,063.50
助成・支援費	
会議費用	662.28
年会費	1,694.81
助成・支援金合計	2,357.09
会計管理費	
銀行手数料	163.01
会計管理費合計	163.01
インターネット費	
ホームページ管理	1,712.52
ソフト	2,288.18
ユーティリティ	254.66
インターネット費合計	4,255.36
支出の部合計	19,838.96
純利益（収支差額）	€2,244.04

貸借対照表

2019年9月30日

	Total
資産の部	
流動資産	
未回収金	
未回収金(A/R)	1,496.50
未回収金合計	1,496.50
銀行口座預金	
ABN AMRO 銀行0533251109	51,996.43
銀行口座預金合計	51,996.43
流動資産	
未回収金（繰り越し分）	532.50
流動資産合計	532.50
流動資産合計	54,025.43
資産の部合計	€54,025.43
負債と株主資本の部	
流動負債:	
未払金	
未払金(A/P)	449.00
未払金合計	449.00
流動負債合計	449.00
株主資本:	
純利益（収支差額）	2,244.04
留保所得（繰越金）	51,332.39
株主資本合計	53,576.43
負債と資本の部合計	54,025.43

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمردا تارابت عمردل ولروردلا داخاتالدا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

2019年 財務報告
2020年 予算

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسمردا تارابت عمردل ولروردلا داخاتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1950

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوسمردا تارابت عمردل ولروردلا داخاتالدا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1950

2020-2022年 予算	2020年 予算	2021年 予算
収入	33.000,00	33.000,00
年会費	23.000,000	23.000,00
ILP	4.000,00	4.000,00
行事	4.000,00	4.000,00
プロジェクト	2.000,00	2.000,000
支出	33.000,00	33.000,00
管理費	22.000,00	22.000,00
- 事務局	13.000,00	13.000,00
- デジタルマーケティング	3.000,00	3.000,00
- ウェブ管理	4.000,00	4.000,00
- 事務経費	2.000,00	2.000,00
助成・支援		
- 年会費	2.000,00	2.000,00
- 旅費	2.000,00	2.000,00
会計管理	1.000,00	1.000,00
行事	6.000,00	6.000,00
ILP	P.M.	P.M.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
القوسمردا تارابت عمردل ولروردلا داخاتالدا
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合

第 22 回 UIIL-ILP (国際試験所間比較試験) の募集・実施要領

2019 年 5 月 20 日
2019 年 7 月 1 日最終版
一般社団法人日本環境測定分析協会
UIIL-ILP 委員会事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会(以下、日環協)は、2001 年より国際民間分析試験所連合(UIIL¹)の Board Member として活動しています。

このたび、第 22 回 UIIL-ILP²(国際試験所間比較試験³)を実施することになりましたので、参加試験所を募集いたします。UIIL-ILP は、国際的な試験所間比較試験として、2006 年より実施しており、現在までに、日本、アメリカ、アルゼンチン、オランダ、カナダ、スイス、スペイン、ドイツ、ブラジル、フランス、ベルギー、ポルトガル、メキシコ、ナイジェリア、中国及び韓国の民間試験所が参加しています。

第 22 回 UIIL-ILP では、下記を特徴としています。

1. 試験対象項目を世界各国で興味を持たれている項目としたこと。
2. 値段をできるだけ安価にしたこと。

できるだけ多くの試験所が UIIL-ILP にご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

—参加要領・実施要領—

1.試験名 粉体(含有)中の総水銀及び PCB

※結果の報告は、試験対象項目の中で貴試験所が報告可能な項目のみで結構です。

2.スケジュール(予定)	申込受付	2019年5月20日(月)~6月17日(月)
	試料配付	2019年7月1日又は2日(月、火)
		※期日指定とします
	報告期限	2019年9月10日(火)
		上記報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
	報告書発行	2019年12月頃

※試料配付及び報告期限については、試料調製、輸送事情等により変更する場合があります。変更時には、速やかにご連絡いたします。

3.申込方法

「ログイン ID (メールアドレス)、パスワード」を使用してインターネットから申込、報告ができます。インターネットで申込、報告ができない場合は、代理入力依頼用紙を使用して FAX で申込んでください。詳細については、(一社)日本環境測定分析協会のウェブサイト(<https://www.jemca.or.jp/>)の「UIIL-ILP」をご覧ください。
お問合せ等ありましたら、下記までご連絡ください。

(一社)日本環境測定分析協会 UIIL-ILP 委員会事務局
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル
TEL 03-3878-2811 FAX 03-3878-2639

4.参加費用の払込

(ア) 参加費用は 以下の通りです。

日環協正会員 20,000円(8%税込)
日環協正会員以外 41,000円(8%税込)

(イ) 試料同梱の請求書(兼払込取扱票)を用い、日環協へ参加費用の振込みをお願いいたします。お振込手数料は貴試験所にてご負担をお願いいたします。

(ウ) 参加費用には、試料費及び参加認定証並びに輸送費などの全費用が含まれます。

¹ UIIL: Union Internationale des Laboratoires Indépendants

² ILP: Inter Laboratory Practice

³ 試験所間比較試験:第 10 回 UIIL-ILP より「Inter Laboratory Practice」の日本語表記を「試験所間比較試験」と名称を変更しました。

5. 試料

(ア) 次の 2 試料です。

(1) 試料 1 UILI-ILP22-2019 powder-1

(2) 試料 2 UILI-ILP22-2019 powder-2

(イ) 日本の参加試験所へは、日環協より配付します。

(ウ) 試料 1 及び試料 2 は、それぞれ褐色ガラス製容器に充填してあります。

6. 試験対象項目

(ア) 試験対象項目は、以下の 2 項目です。

総水銀 (T-Hg)

PCB

(イ) 2 試料中の各試験対象項目の予想される濃度範囲は、次の通りです。

試験対象項目	濃度範囲 (単位 : mg/kg)	
	試料 1 UILI-ILP22-2019 powder -1	試料 2 UILI-ILP22-2019 powder -2
総水銀 (T-Hg)	0.1 ~ 2	0.1 ~ 2
PCB	0.1 ~ 2	0.1 ~ 2

(ウ) 送付試料は、認証値等を持っていません。

7. 試料の前処理方法及び測定方法

前処理方法、測定方法は指定いたしません(貴試験所に一任いたします)が、添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。

なお、含水補正は必要ありません。

8. 試験結果等の報告

(ア) 各試料について前処理(試料の秤り取り)から独立した測定を 2 度行い、2 つの結果の平均値を報告してください。1 回しか測定できなかった場合は、その測定値で構いません。

(イ) 試料 1、試料 2 とともに必要に応じて前処理を実施してください。

(ウ) 報告値は有効数字 3 桁で、試料 1 及び試料 2 について報告してください。各項目の測定日も報告してください。

(エ) 結果の報告については、試験対象項目の中で、貴試験所で報告可能な項目のみで結構です。

(オ) 結果報告書の記入要領について

(1) 前処理方法(Pre-treatment Method)及び測定方法(Measurement by Instrument)については添付資料-1 の(A)及び(B)の『No.』欄の数字を記入してください。

なお、添付資料-1 は試料配付までに公表いたします。

(2) 前処理方法について、“その他”を選択される場合は具体的な方法名を備考欄に記入してください。

(3) 試験結果については、『試料 1』及び『試料 2』の欄に単位 : mg/kg で記入してください。なお、含水補正は必要ありません。

(4) 報告用紙については、所定の第 22 回 UILI-ILP 結果報告書用紙を使用してください。修正時も同様とします。

所定の報告書用紙を使用しない報告は受け付けません。

(カ) 結果報告期限は、2019 年 9 月 10 日(火)です。

※ 上記結果報告期限は、日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

9. 試験結果報告のとりまとめ(報告書)

(ア) 技能試験結果のとりまとめ(正式版)の発行は 2019 年 12 月頃となる予定です。

(イ) 報告書は、電子媒体で申込試験所に配付される予定です。

- (ウ) 報告書には、四分位数法(APLAC T002)を用いた z-score (ISO/IEC 17043)及び Confidence Ellipse for Youden Plot (ISO 13528) が含まれる予定です。
- (エ) 測定方法を統一した試験ではありませんので、報告書に記載される各種統計量は参考としてご使用ください。例えば、中央値が「特定の値」に近似しているとは限りません。
- (オ) 報告書には報告試験所名が記載されます。各試験所の報告値は試験所番号で識別されます。試験所名と試験所番号の関連付けは記載されません。

10.その他

- (ア) 本試験自体あるいは本試験の試験結果のとりまとめ(報告書)は、参加試験所あるいは関係する個人の能力や優劣を主催者や第3者が判定するものではありません。
- (イ) 試験結果を報告された試験所には UILI より参加認定証が発行されます。
- (ウ) お申しいただいた情報は UILI へ提供いたします。
- (エ) お申しいただいた情報は、本試験の運営のために使用しますが、日環協及び UILI が実施する講習会等の案内や各種情報提供に利用させていただくことがあります。
- (オ) 報告いただいた試験所の内、日環協正会員においては、都道府県名、試験所名及び試験名を、協会ウェブサイトへ掲載する場合があります（試験所名と試験所番号の関連付けは記載されません）。

UIIL-ILP 委員会

UIIL 役職	氏名	国	所属
会長	Drs. Luc H A Scholtis	オランダ	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)
前会長 名誉会員	Dr. Manahén Fernandez-Alonso	スペイン	
副会長	Dr. Alvaro Silva Ribeiro	ポルトガル	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)
副会長	Mr. Jordi Oliver-Rodés Sen	スペイン	Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)
財務担当	Dr. Toru Matsumura	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
事務局長	Ms. Mary-Anne Adeeko	ナイジェリア	Institute of Public Analysts of Nigeria (IPAN)
国代表 役員	Dr. J. Horacio Denari	アルゼンチン	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines (CALIBA)
国代表 役員	Mr. Gabriel Fonseca	コロンビア	Asociación Colombiana de Laboratorios (ASOCOLAB)
国代表 役員	Mr. N. Kalyan	インド	Association of Indian Laboratories (AOIL)
国代表 役員	Mr. Gib G McIntee	カナダ	Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)
国代表 役員	Dr. Femi Oyediran	ナイジェリア	The Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria (SOTLAN)
国代表 役員	Mr. José Luis Sanchez	ヨーロッパ	European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories (EUROLAB)
非協会 会員代表	Dr. Alfredo Montes- Niño	ブラジル	Micriobioticos Analises Laboratoriais 社
非協会 会員代表	Ir. Jan Soers	ベルギー	GEOS 社

日本事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会 UIIL-ILP 委員会

委員長 松村 徹

事務局 須藤 欣一

以上

添付資料-1

(A) 前処理方法(Pre-treatment Method)

No.	前処理方法	方法(Method)	略号
A03	酸分解	Acid decomposition	AD
A41	アルカリ分解法-硫酸処理	Alkali digestion - Sulfuric acid pretreatment	ALD-S
A42	アルカリ分解法-シリカゲルカラムクロマトグラフィー	Alkali digestion - Silica gel column chromatography	ALD-SCC
A43	アルカリ分解法-振とう抽出法	Alkali digestion - Liquid-liquid extraction	ALD-LL
A49	アルカリ分解法-その他	Other pretreatment combined with Alkali digestion	ALD-O
A51	ソックスレー抽出法-硫酸処理	Soxhlet extraction - Sulfuric acid pretreatment	SX-S
A52	ソックスレー抽出法-シリカゲルカラムクロマトグラフィー	Soxhlet extraction - Silica gel column chromatography	SX-SCC
A53	ソックスレー抽出法-振とう抽出法	Soxhlet extraction - Liquid-liquid extraction	SX-LL
A59	ソックスレー抽出法-その他	Other pretreatment combined with Soxhlet extraction	SX-O
A99	その他（方法を備考欄に簡潔に記入してください）	Others	Others

(B) 測定方法(Measurement by Instrument)

No.	測定機器	機器(Instrument)	略号
B03	原子吸光分析(フレイム法)	Atomic absorption spectrophotometry (flame)	AAS
B04	原子吸光分析(ファーネス法)	Atomic absorption spectrophotometry (furnace)	ETAAS
B06	誘導結合プラズマ質量分析	ICP-MS	ICP-MS
B31	冷原子吸光分析(還元気化原子吸光法)	Cold vapor atomic absorption spectrophotometry	CVAAS
B32	加熱気化原子吸光法	Heating vaporization atomic absorption spectrometry	HVAAS
B61	パックドカラム-ガスクロマトグラフ法(GC/ECD)	GC/ECD (packed column)	ECD-packed
B62	キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ法(GC/ECD)	GC/ECD (capillary column)	ECD-cap
B71	キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ四重極型質量分析法(GC/QMS)	GC/QMS	QMS
B72	キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ高分解能型質量分析法(GC/HRMS)	GC/HRMS	HRMS
B99	その他(方法を備考欄に簡潔に記入してください)	Others	Others

第 22 回 UIIL-ILP 参加申込書「代理入力依頼」

粉体（含有）中の総水銀及び PCB

試験所情報

ログイン ID (メールアドレス)		※ID が不明の場合は、事務局までお問い合わせください。
社 名		
事業所（支社）名		
社名 及び 事業所名カナ		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
試料送り先	※試料の送り先が住所と異なる場合は記入してください。	
	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
	宛名	

申込内容

試料申込数	1	組 ※1 試験所につき 1 組のみを原則とする
-------	---	-------------------------

事務局記入欄	
--------	--

第 22 回 UIIL-ILP 結果報告書用紙「代理入力依頼」

粉体（含有）中の総水銀及び PCB

ログイン ID (メールアドレス)	※ID が不明の場合は、事務局までお問い合わせください。		
社名 及び 事業所(支社)名			
社名 及び 事業所名 カナ			
区 分	日環協法人正会員	・	一般 ※どちらかに○をつけてください。
実施責任者	氏名	所属	
連絡先	TEL	FAX	E-mail
住所	〒		

試験対象項目	前処理方法 No		測定方法 No		試験結果(単位 : mg/kg)		測定日
	No	備考	No	備考	試料1	試料2	
総水銀 (T-Hg)							
PCB							

測定日記入例 : 2019年7月11日

※ 報告期限 : 2019年9月10日(火)

報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

※ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。

※ 試料 1、試料 2 ともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。

※ 前処理方法、測定方法において、“その他”を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。

**AOIL
インド試験所協会
報告**

2018年11月から2019年10月

**R.B. シンク
AOIL-インド 事務局長**

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

主な会議参加実績(2018年11月～2019年10月)

- 2018 IAF-ILAC 中期会議 (Mid-Term Meetings), マシコシティ
- AOIL年次総会, 2019年7月15日, ニューデリー・インド
- ISO/IEC 17025-2017 移行研修プログラム, 2018年5・6・11・12月
- 2019年3月インド認定機関「FDAS」の設立を承認



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

国際試験所団体への加入・活動状況

- ▶ 2015年 AOILはILAC委員会 LC、AIC、ICステークホルダー-会員入会
- ▶ 2016年 AOILはUILI協会正会員入会
- ▶ 2018年 AOILはUILI役員就任
- ▶ 2019年フランクフルト開催UILI Lab MeetingにAOIL会員5名参加
- ▶ 2019年フランクフルト開催IAF-ILAC年次会にAOIL会員5名参加
- ▶ 2019年メキシコシティ開催IAF-ILAC中期会議のILAC委員会LC, ARC, AIC, ICに参加

LC=試験所委員会、ARC=相互承認委員会、AIC=認定技術委員会、IC=検査委員会

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

2019 IAF-ILAC 中期会議(メキシコシティ) AOIL理事参加

- 事務局長 R・B・シンク
- 副会長(分析) ラリット・パネリ

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

4月 2019 IAF-ILAC 中期会議(メキシコシティ) インドから参加のAOILおよびNABL



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

4月 2019 ILAC-LC(試験所委員会)への参加



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

ILAC 委員会(2019年4月マシコシティ)への参加

試験所委員会-LC:

R・B・シンク
ラリット・パネリ

相互承認委員会-ARC:

ラリット・パネリ
R・B・シンク

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

UILI Lab Meeting(2018年10月シンガポール)への参加



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

- AOIL事務局長R・B・シンクは、第8回NABL理事会に出席(2019年8月2日 NABLグルグラム本社)
- AOIL理事は、2019 IAF-ILAC中期会議に出席(2019年4月/ネパール)
- AOIL理事長ラジェシ・デズワルおよび事務局長R・B・シンクは、インド中小企業省(MSME)事務局および開発委員会(DC)主催の中小企業省政策策定会議に出席(2018年12月ニューデリー・ナイアマンバワン)
- AOIL理事長ラジェシ・デズワル、事務局長R・B・シンクおよび理事ラフル・グプタは、インド規格総局によるインド試験所ポータル開設行事に出席(2019年8月31日ニューデリー・ビゲヤンバワン)

UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

インド規格総局によるインド試験所ポータルの開設行事に参加するAOIL



UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

MAJOR ACTION TAKEN BY AOIL

1. Being a Board Member in NABL, AOIL has opposed not to increase the Annual Fee and as a result the fee structure is remain same for last 3 years.
2. AOIL has sent letters to all Ministries to show his presence .
3. AOIL is getting regular opportunities to be a part of each program organized by NPL.
4. AOIL has appreciated by BIS to serve the Laboratory Community and AOIL has taken the major role in formation of Directory for Testing Laboratories by BIS.
5. AOIL has got appreciation by Ministry of MSME for getting success in NVDP Program organized in March 2018.
6. AOIL has submitted a Letter to Dep't of Industrial Policy & Promotion to release the sample received for testing without any delay.
7. AOIL has submitted a letter to Delhi Government to releasing the outstanding payment of food laboratories and as a result the payments have been disbursed by the Department.

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

2019年7月16日UILISkype役員会に参加するAOIL



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

AOIL理事会(テレビ会議)におけるSkype紹介



VUIL役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL本部 主なハイライト及び活動報告

AOIL 終身会員が10名、2桁となった





Association of
Indian Librarians
Regn. No. 018201401805
LAC Statutory Member

Elite Group- AOIL Life Members

-  Mr Arun Rajkumar Fredrick
IBAT, Chennai, Tamil Nadu
-  Mr R.B. Singh
ANULAB, Agra, UP
-  Mr Lalit Paneri
Rahul Engrs. Lab, Udaipur
-  Mr Jaspaul Kalra
RTRC, Gurugram, Haryana
-  Dr R.K. Singh
Sawen Consultancy, Lucknow
-  Mr Arun Kumar Singh
Arun Soil Lab, Lucknow
-  Mr Anil Kumar Srivastava
Snow Fount. Cons., Lucknow
-  Mr Prabhat Bhargava
Bhargava Atelier, Gwalior, MP
-  Mr Venkatesh Manikandan
JRPm, Chennai, Tamil Nadu
-  Dr Neeraj Jain
Jain Diagnostics, New Delhi

VUIL役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL 理事会、年次会、特別会議 (2018年11月～2019年10月開催)

- 第27回理事会(2019年5月18日ハリヤーナー州グルグラム)
- 第28回理事会(2019年7月15日ニューデリー エアロシティ- ホリデーインホテル)
- 第29回理事会(2019年9月8日ウッタール・プラデーシュ州ラクナウ)
- AOIL年次総会(2019年7月15日ニューデリー エアロシティ- ホリデーインホテル)
- 第3回イント`試験所及びびイント`試験所記念会議(2019年4月19日ニューデリー エアロシティ- ホリデーインホテル)

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL 理事会、年次会、特別会議 (2018年11月～2019年10月開催)



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL第29回理事会
2019年9月8日ウツタル・プラデーシュ州 ラクナウ マリオットホテル



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOILはFDASを二番目のインド認定機関と承認した



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

第1回会議 FDAS(認定サービス連盟) グルگرام開催



UII役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL 主要な教育プログラム 2018年11月～2019年10月

- ISO/IEC 17025-2017意識向上研修 2日間(2018年12月タミル・ナドゥ州 チェンナイ)
- ISO/IEC 17025-2005 品質システム管理及び内部監査研修(2018年11月ハリヤナー州グルグラムコインパーク)
- ISO/IEC 17025-2017移行研修 4日間(2019年3月ハリヤナー州グルグラムコインパーク)
- AOIL-理事 第10回AdMet会議参加(2019年ニューデリー-CSIR/NPL)

UII役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL- ISO/IEC 17025: 2017移行に係る教育プログラム



Association of Indian Laboratories (AOIL)

is organising a
FOUR DAYS TRAINING PROGRAMME
 on ISO/IEC 17025 : 2017
 on
14-17 MAR 2019
 THU-SUN
 at Delhi NCR Region

Fee Structure
 ₹ 10000/- (+GST)
 for Members
 ₹ 12000/- (+GST)
 for Non-Members

Venue :
 COIN Park, Opp. to Plot No. 283
 Phase IV, Udyog Vihar, Gurugram, Haryana

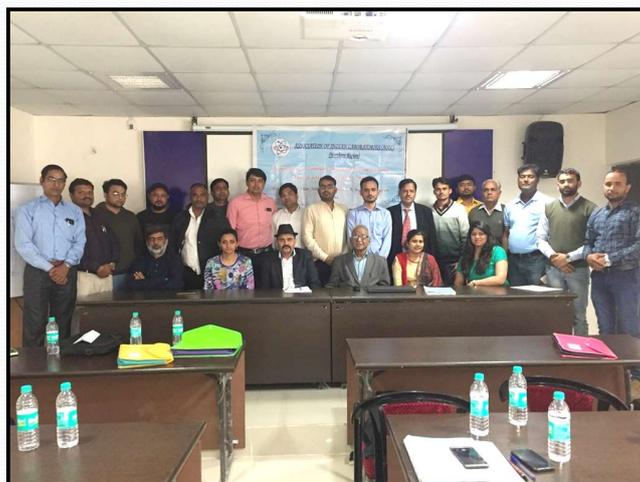
Last Date for Registration
 10 March 2019

For
 Registration
 Contact :
 M : 9818663198
 ✉ aoilsecretariat@gmail.com

Rajesh Deswal
 Secretary General

UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告

AOIL- ISO/IEC 17025: 2017移行に係る教育プログラム



UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告

AOIL 2019年第10回 AdMet会議 CSIR/ NPL 主催・会場(ニューデリー)



UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL会員行動規範

AOIL Membership is open to lab owners & lab professionals. There shall be no misrepresentation of facts to demean AOIL for commercial & political interests.

AOIL members are expected to promote the image of AOIL as global professional technical association. They should solemnly affirm to abide by the following Dos:

- Use valid AOIL Membership current status for promotion of lab services.
- Send authenticated documents to support the AOIL Membership application.
- Strive to increase the support and prestige of the association among stakeholders.
- Maintain the membership as a means for quality services, professional growth and avoid the use of AOIL Membership for solicitation of personal financial gain.
- Provide feedback for the AOIL involvement and contribution to problems, grievance & achievements of the member labs.
- Use AOIL logo through print and digital media to indicate membership for the bonafide purposes of lab services & AOIL objectives.
- Do not involve in unethical activities or illegal conduct as it may call for debarring of membership/cancellation of membership of the association.
- Do not criticize or use hate language/ speech while interacting with other AOIL members in meeting, delegations & conferences.
- Do not engage in unethical, unprofessional practices or political dialog with other AOIL members.

UILI役員会 - 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト - AOIL(インド)活動報告

AOIL 入会メリット

Membership Benefits

- AOIL is only national level global association of laboratories including Testing, Calibration, Medical and GLP labs.
- Support for member laboratories for common and unique problems faced from accreditation bodies, regulators, suppliers and customers.
- Arrangements for training at economic cost for ISO/IEC 17025-2017 and ISO/IEC 15189-2012 standards.
- Opportunity for arrangement of ILC/PT within members and accredited PT providers.
- Opportunity to participate in national/international conferences and seminars including IAF-ILAC and UILI.
- Opportunity to be trainer as per expertise for various AOIL training programmes for laboratories.
- Opportunity to attend the board meeting of ABs other associations, regulatory bodies and ministries.
- Opportunity to be a part of unique cluster facilities developed by MSME deptt in different cities.
- Presenting the voice of Indian laboratories with ABs, regulators and govt. depts. for the sustainable growth.
- Providing opportunities to enhance the knowledge base by organizing conclave, seminars and workshops exclusively for labs.

UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告

AOIL 理事会 – 幹部委員会

AOIL GC MEETING 2019-2021 AOIL理事会(2019-2021)

Founder Chairman 創始会長
D.S. Tewari

Secretary General 事務局長
R.B. Singh

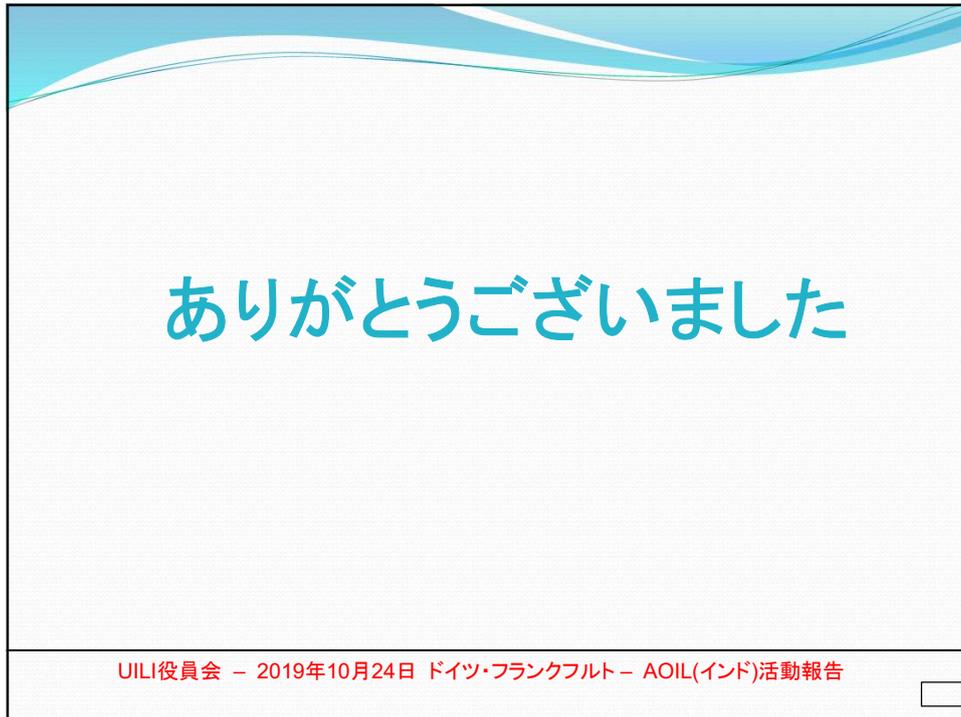
President 理事長
Rajesh Deswal

Honorary Treasurer 名誉財務担当
Jaspaul Kalra

Joint Secretary 共同事務局
Gaurav Tewari

Association of Indian Laboratories
113, First Floor, Sushant Tower, Sector-56
Gurugram, Haryana-122011, India
E-mail: aoilsecretariat@gmail.com
Website: www.aoil.in

UILI役員会 – 2019年10月24日 ドイツ・フランクフルト – AOIL(インド)活動報告



ASOCOLAB 活動報告

2018年10月から2019年10月まで

1. 2018年10月シンガポール会議に参加し、他会員、特に例えば UII 入会に興味を示している中国協会と交流を深め、2018年10月31日から11月2日に上海で開催された ANALTIC fair labs で再会した。
2. 2019年5月に the IV International Conformity Congress (第4回国際適合性会議) を開催し、ピーター・アンガー氏をゲストに招いて適合性評価機関を対象としたリスク管理研修や、最近コロンビアが NATO 加入を果たした経緯から、スペインから Cr.(r)アントニオ・ガリンド氏を招き企業を対象としてカタログの有益性に係る研修を行った。
3. IAAC 創設時のステークホルダー会員として、2019年8月メキシコシティでの会議に出席、アメリカの適合性統合に意見、協力した。
4. コロンビアにおける適合性は進行中で、コロンビア品質サブシステムに準拠し州研究所に対し、現在向き合っている課題や矛盾点を提示している。結果は、産業・商業の監督機関、商工省、また、コロンビア認定機関 ONAC 技術標準部へ報告している。
5. 次のトピックスに係る適合性管理の報告：
 - a. 2015年8月5日発行 Decree 1595 (政令) の解釈と、商務省への申請
 - b. ONAC との国際合意に係る認識違い
 - c. 公立大学の、国家品質サブシステムへの統合で、試験所コーディネーター 薬化学者クラウディア・パラ氏同席の下、大学との会合開催
 - d. 産業・商業監督機関の下での国内のタイヤ市場における不祥事
 - e. 産業・商業監督機関の下で、生産または輸入された空気タイヤの技術規制に係る失敗
 - f. 国防省 (国家警察、陸軍、海軍、空軍) 購買時の適合性の利用を確認し、それにより発生する競合と矛盾を解決

ガブリエル・フォンセカ・ロドリゲス
代表理事

EUROLAB aisbl より

UILI会員としての活動報告

2019 UILI年会議

2019年10月24日・25日

ドイツ・フランクフルト

EUROLAB aisbl, 欧州試験所協力機構は、

the European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories - was founded in Brussels on 27 April 1990 as a network of the laboratory community and in response to the evolution of the European Union and is since 1998 registered as a legal entity in the form of an international association under Belgian law. Composed of 21 Active Members, 3 Associated Members, 1 Observer Member and 2 International Affiliates from Europe and beyond, EUROLAB is grouping more than 3 000 conformity assessment bodies (CAB) members, over 9 000 accredited laboratories and representing over 150,000 professionals.

Besides formulating and voicing the opinion of laboratories regarding economic, political and technical issues, EUROLAB aims at promoting cost-effective testing, calibration and measurement services, for which the accuracy and quality assurance requirements were adjusted to the actual needs. These are particularly addressing European legislation, accreditation, consumer protection, product and occupational safety.

EUROLAB's acceptance as member of UILI marks an important step in the co-operation of both organisations. Experts from EUROLAB members and UILI members have contributed actively to the work of ILAC and to its working groups, namely, regarding the revision of ISO / IEC 17011 and implementation of ISO / IEC 17025:2017 have been high on EUROLAB's agenda. Additionally, EUROLAB has revised all the Cook-Books according to the new ISO / IEC 17025:2017. The EUROLAB cookbooks are short documents on quality issues to help laboratories comply with ISO/IEC 17025. All the CookBooks are available on the EUROLAB Website, at: <http://www.eurolab.org/cookbooks.aspx>.

EUROLAB has a keen interest in developing high-quality conformity assessment standards in order to avoid a frequent revision of these standards. Each revision entails considerable costs, not only to the conformity assessment bodies but also to their clients. Therefore, EUROLAB strongly supports the so-called road map and advises ISO CASCO not to overrule this sensible tool.

2018年から2019年間、EUROLABは理事会を8回、その他技術委員会を何回か開催した。EUROLABの技術委員会の代表的なものは、

TCQA - 分析及び校正における品質保証技術委員会

2018年11月15・16日EUROLAB-Germanyの主催で、The EUROLAB National Members' Meeting 2018 (2018年EUROLAB国会員 会議) が開催された。

行事は11月15日(木)午前のTCQA会議から始まった。理事会は11月16日(金)に行われ、次いで同日中にEUROLAB国会員会議が執り行われた。国会員会議では、次の重要案件を取り上げた。:

- 方策更新、進行中の業務、他機関との戦略的パートナーシップ
- 2019年事業計画と戦略: 改定版EUROLAB Cookbooks、強固なコミュニケーション戦略、様々なワーキンググループへの参加活動、会員増強、国際文書に係るガイダンスの改定、関係政策の監視、EU出資プロジェクト参加のための調査
- EUROLAB技術委員会、TCQA (品質保証技術委員会)、JTC PTC (製品検査および認証に係る合同技術委員会) の会議結果報告

eurolab Laboratory and conformity assessment services supporting European technology and trade

EUROLAB Secretariat
Rue du Commerce 20-22
B-1000, Brussels
Belgium

Telephone: + 32 2 511 50 65
Telefax: + 32 2 502 50 47
E-mail: info@eurolab.org
Website: www.eurolab.org

会員は、会員間のより近い関係拡大と各国で開催されているEUROLAB会員主催行事への参加機会を増やすことを目的とした、EUROLABの内部コミュニケーション戦略について議論を交わした。国会員会議の間、EUROLABはAOACとMoUを交わし、ヨーロッパでの両機関の間でより充実した協力関係；意見交換、可能な機会があれば共通の関心ごとにおいて共通の立場をとる、国際認定フォーラムへの参加資格を得て関係行事や技術委員会に出席する、国レベルでの会員間リエゾンを推進する、ベストプラクティスや関係データを共有する等。

2019年5月9・10日チェコ・プラハにて、EUROLAB-CZ が主催で、EUROLAB2019年度総会が開催された。
During the General Assembly, the EUROLAB Members raised and discussed several important topics:

- The EUROLAB objectives, strategy and actions for 2019-2020;
- EUROLAB membership enlargement
 - EUROLAB welcomes ASCOLAB as an International Affiliate member and looks forward to exploring future collaboration opportunities on joint issues of interest.
- Cooperation with other stakeholders, amongst others:
- Policy updates on various on-going legislative developments, including: Medical Devices, Environment, Cybersecurity, Food, Anti-Counterfeiting and Trade – as priority focus areas which EUROLAB is following.
- EUROLAB communications strategy, including a new and more interactive approach of EUROLAB to its communications materials: new website, newsletter, presentations and the EUROLAB video presentation;

今後の主な **EUROLAB**行事予定：

- EUROLAB 国会員会議2019。2019年10月17-18日スペイン・トレドにて、EUROLAB-Spain主催。
- EUROLAB 2020年度総会及び記念行事。2020年5月6-8日ポルトガル・マデイラにて、RELACRE主催。

ECVET-Lab Final Results

The 30th of September 2018 marked the successful end of the [European Project ECVET-LAB](#), after two years of duration. ECVET-LAB Project ([Erasmus+](#)) has as main aim to contribute to the implementation and validation of non-formal training on environmental best practices for environmental testing laboratory technicians. By applying methodologies and practices that conserve natural resources, it improves the resources' efficiency and protects those working in laboratories from chemical or biological risks.

The Final Conference of the project took place in Brussels and was hosted by EUROLAB. The Conference was well attended by representatives from National Associations, Networks of laboratories and Head of Universities in several EU countries such as Austria, Turkey, Greece, Poland, Portugal, Italy, Belgium, Switzerland, Netherland, Germany, Spain, France, Cyprus and Czech Republic. Several laboratories contributed to the conference with their practices and experiences in the field. IPROMA(Spain), Nireas (Cyprus), and Çevre(Turkey), shared their daily environmental management systems. They all agreed that the project will be a useful tool both for the educational system and the private sector. During the Conference all the project outputs were presented – they are available on the official ECVET-Lab Website: <http://ecvetlab.projectsgallery.eu/en/2018/09/30/ecvet-lab-final-results/>

We would like to thank UILI for the good cooperation during the past years.

EUROLAB represents and voices the opinion of measurement, testing and analytical laboratories regarding economic, political and technical issues having a direct impact on laboratories' activities both on the European scene and worldwide.

For further information please contact the EUROLAB Secretariat, Rue du Commerce 20/22, B-1000 Brussels, Phone: +32 2 511 50 65, E-mail: info@eurolab.org

日本 JEMCA 活動報告
2019 年第 2 回 UIIL 役員会
10 月 24 日(木)、フランクフルト開催

資料L

1. JEMCA 活動報告
 - 1.1. JEMCA 技能試験の概要
 - 1.2. 環境測定分析士の認定制度について
 - 1.2.1. 2014 度 3 級試験の結果(全国一斉試験及び分析実務研修に伴う試験)
 - 1.2.2. 2014 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.3. 2014 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.4. 2014 年度上級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.5. 2015 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.6. 2015 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.7. 2015 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.8. 2015 年度 1 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.9. 2016 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.10. 2016 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.11. 2016 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.12. 2016 年度上級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.13. 2017 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.14. 2017 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.15. 2017 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.16. 2017 年度 1 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.17. 2018 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.18. 2018 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.19. 2018 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.20. 2018 年度上級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.21. 2019 年度 3 級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.22. 2019 年度初級試験の結果(全国一斉試験)
 - 1.2.23. 2019 年度 2 級試験の結果(全国一斉試験：実施中)
 - 1.2.24. 2019 年度 1 級試験の結果(全国一斉試験：実施中)
 - 1.2.25. 環境測定分析士試験の実施状況一覧表
 - 1.3. 研修会等実施状況
 - 1.3.1. 平成 27 年度
 - 1.3.2. 平成 28 年度
 - 1.3.3. 平成 29 年度
 - 1.3.4. 平成 30 年度
2. UIIL-ILP 実施概要
 - 2.1. 2006 年第 1 回
 - 2.2. 2007 年第 2 回
 - 2.3. 2008 年第 3 回
 - 2.4. 2009 年第 4 回
 - 2.5. 2010 年第 5 回
 - 2.6. 2011 年第 6 回
 - 2.7. 2012 年第 7 回
 - 2.8. 2014 年第 8 回
 - 2.9. 2015 年第 9 回

- 2.10.2016 年第 10 回
- 2.11.2017 年第 14 回
- 2.12.2018 年第 18 回
- 2.13.2019 年第 22 回

3. 技能試験実績一覧表 (1999 (平成 11) 年～2019 年)

1. JEMCA の活動報告

1.1 JEMCA 技能試験の概要

- (1) 1999年に技能試験の提供を開始し、現在、日環-99を実施中である。
- (2) 2006年より、日環協として技能試験の提供を開始した。
- (3) 2011年より、日本分析化学会と共同提供を解消し、単独での提供を開始した。
- (4) 詳細については、添付資料を参照のこと。

1.2 環境測定分析士の認定制度について

1.2.1 2014年度3級試験の結果

(2014年6月15日実施)

- (1) 受験者数 258 名
- (2) 合格者数 166 名
- (3) 合格率 64.3 %

①化学分析の知識に関する問題で、全30問で四択問題

1.2.2 2014年度初級試験の結果(2014年6月15日実施)

- (1) 受験者数 54 名
- (2) 合格者数 36 名
- (3) 合格率 66.7 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全30問で四択問題

1.2.3 2014年度2級試験の結果

(2014年10月12日筆記試験及び実技試験)

(2015年1月11日電話ヒヤリング試験)

- (1) 受験者数 17 名
- (2) 合格者数 12 名
- (3) 合格率 70.6 %

①化学分析の知識に関する四択問題20問及び記述問題4問

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.4 2014年度上級試験の結果

(2014年10月12日筆記試験)

(2015年1月25日実技試験及び面接試験)

- (1) 受験者数 7 名
- (2) 合格者数 4 名
- (3) 合格率 57.1 %

①騒音・振動の知識に関する四択問題20問及び記述問題4問

②実技試験

③面接試験

1.2.5 2015年度3級試験の結果

(2015年6月21日実施)

- (1) 受験者数 393 名
- (2) 合格者数 264 名
- (3) 合格率 67.2 %

①化学分析の知識に関する問題で、全30問で四択問題

1.2.6 2015年度初級試験の結果(2015年6月21日実施)

- (1) 受験者数 60 名

(2) 合格者数 38 名

(3) 合格率 63.3 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.7 2015 年度 2 級試験

(2015 年 10 月 14 日筆記試験及び実技試験)

(2016 年 1 月 24 日電話ヒヤリング試験)

(1) 受験者数 23 名

(2) 合格者数 19 名

(3) 合格率 82.6 %

①化学分析の知識に関する四択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.8 2015 年度 1 級試験

(2015 年 10 月 14 日筆記試験)

(2016 年 1 月 24 日面接試験)

(1) 受験者数 5 名

(2) 合格者数 3 名

(3) 合格率 60.0 %

①化学分析の知識に関する四択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③面接試験

1.2.9 2016 年度 3 級試験の結果

(2016 年 6 月 19 日実施)

(1) 受験者数 292 名

(2) 合格者数 184 名

(3) 合格率 63.0 %

①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.10 2016 年度初級試験の結果

(2016 年 6 月 19 日実施)

(1) 受験者数 44 名

(2) 合格者数 32 名

(3) 合格率 72.7 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.11 2016 年度 2 級試験の結果

(2016 年 10 月 16 日筆記試験及び実技試験)

(2017 年 1 月 22 日電話ヒヤリング試験)

(1) 受験者数 17 名

(2) 合格者数 11 名

(3) 合格率 64.7 %

①化学分析の知識に関する四択問題 20 問及び記述問題 4 問

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.12 2016 年度上級試験の結果

(2016 年 10 月 16 日筆記試験)

(2017年2月5日実技試験及び面接試験)

- (1) 受験者数 3 名
- (2) 合格者数 2 名
- (3) 合格率 66.7 %

- ①騒音・振動の知識に関する四択問題 20 問及び記述問題 4 問
- ②実技試験
- ③面接試験

1.2.13 2017年度3級試験の結果

(2017年6月18日実施)

- (1) 受験者数 346 名
- (2) 合格者数 223 名
- (3) 合格率 64.5 %

- ①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.14 2017年度初級試験の結果

(2017年6月18日実施)

- (1) 受験者数 40 名
- (2) 合格者数 29 名
- (3) 合格率 72.5 %

- ①騒音・振動の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.15 2017年度2級試験

(2017年10月15日筆記試験及び実技試験)

(2018年1月21日電話ヒヤリング試験)

- (1) 受験者数 12 名
- (2) 合格者数 8 名
- (3) 合格率 66.7 %

- ①化学分析の知識に関する四択問題 20 問及び記述問題 4 問
- ②実技試験
- ③電話ヒヤリング試験

1.2.16 2017年度1級試験

(2017年10月15日筆記試験及び実技試験)

(2018年1月21日面接試験)

- (1) 受験者数 4 名
- (2) 合格者数 3 名
- (3) 合格率 75.0 %

- ①化学分析の知識に関する記述問題 4 問
- ②実技試験
- ③面接試験

1.2.17 2018年度3級試験の結果

(2018年6月17日実施)

- (1) 受験者数 401 名
- (2) 合格者数 241 名
- (3) 合格率 60.1 %

- ①化学分析の知識に関する問題で、全 30 問で四択問題

1.2.18 2018年度初級試験の結果

(2018年6月17日実施)

- (1) 受験者数 73 名
- (2) 合格者数 49 名
- (3) 合格率 67.1 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全30問で四択問題。

1.2.19 2018年度2級試験(全国一斉試験)

(2018年10月21日筆記試験及び実技試験)

(2019年1月27日電話ヒヤリング試験)

- (1) 受験者数 18 名
- (2) 合格者数 12 名
- (3) 合格率 66.7 %

①化学分析の知識に関する四択問題20問及び記述問題4問

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.20 2018年度上級試験(全国一斉試験)

(2018年10月21日筆記試験及び実技試験)

(2019年1月27日電話ヒヤリング試験)

- (1) 受験者数 5 名
- (2) 合格者数 3 名
- (3) 合格率 60.0 %

①騒音・振動の知識に関する四択問題20問及び記述問題4問

②実技試験

③面接試験

1.2.21 2019年度3級試験の結果

(2019年6月16日実施)

- (1) 受験者数 389 名
- (2) 合格者数 257 名
- (3) 合格率 67.3 %

①化学分析の知識に関する問題で、全30問で四択問題

1.2.22 2019年度初級試験の結果

(2019年6月16日実施)

- (1) 受験者数 73 名
- (2) 合格者数 49 名
- (3) 合格率 67.1 %

①騒音・振動の知識に関する問題で、全30問で四択問題。

1.2.23 2019年度2級試験(全国一斉試験：実施中)

(2019年10月20日筆記試験及び実技試験)

(2020年1月26日電話ヒヤリング試験)

①化学分析の知識に関する四択問題20問及び記述問題4問

②実技試験

③電話ヒヤリング試験

1.2.24 2019年度1級試験(全国一斉試験：実施中)

(2019年10月20日筆記試験及び実技試験)

(2020年1月26日面接試験)

- ①化学分析の知識に関する記述問題 4 問
- ②実技試験
- ③面接試験

1.2.25 環境測定分析士試験の実施状況一覧表

- ①2006 年度～2019 年度間(14 年間)の応募者数、受験者数、合格者数、合格率等を一覧表にまとめた(但し、2019 年 10 月 1 日現在とする)。

環境測定分析士試験の実施状況一覧表最新版

2019年10月1日 現在

	2006 年度 実績	2007 年度 実績	2008 年度 実績	2009 年度 実績	2010 年度 実績	2011 年度 実績	2012 年度 実績	2013 年度 実績	2014 年度 実績	2015 年度 実績	2016 年度 実績	2017 年度 実績	2018 年度 実績	2019 年度 実績	合計 実績
3級試験															
応募者数	1,483	570	548	393	416	339	255	243	284	401	303	359	411	389	6,425
受験者数	1,396	538	520	360	391	324	243	232	276	393	292	346	401	382	6,125
合格者数	592	317	272	222	236	198	163	158	179	264	184	223	241	257	3,529
合格率%	42.4	58.9	52.3	61.7	60.4	61.1	67.1	68.1	64.9	67.2	63.0	64.5	60.1	67.3	57.6
2級試験															
応募者数	415	258	61	45	51	17	18	13	17	24	17	12	18	18	948
受験者数	409	244	60	42	49	15	17	11	17	23	17	12	18	実施中	916
合格者数	201	144	38	23	29	10	13	7	12	19	11	8	12	12	515
合格率%	49.1	59.0	63.3	54.8	59.2	66.7	76.5	63.6	70.6	82.6	64.7	66.7	66.7	66.7	56.2
1級試験															
応募者数			57	15		8		5		5		5			95
受験者数	未実施	未実施	55	13	未実施	8	未実施	5	未実施	5	未実施	4	未実施	実施中	90
合格者数			19	8		3		3		3		3			39
合格率%			34.5	61.5		37.5		60.0		60.0		75.0			43.3
初級試験															
応募者数			106	145	111	77	75	45	56	63	46	44	77	46	891
受験者数	未実施	未実施	97	134	107	71	68	41	54	60	44	40	73	45	834
合格者数			53	88	59	43	45	25	36	38	32	29	49	31	528
合格率%			54.6	65.7	55.1	60.6	66.2	61.0	66.7	63.3	72.7	72.5	67.1	68.9	63.3
上級試験															
応募者数						19	8		7		3		5		42
受験者数	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	16	6	未実施	7	未実施	3	未実施	5	未実施	37
合格者数						11	4		4		2		3		24
合格率%						68.8	66.7		57.1		66.7		60.0		64.9
合計															
応募者数	1,898	828	772	598	578	460	356	337	364	493	369	420	488	511	8,419
受験者数	1,805	782	732	549	547	434	334	320	354	481	356	402	474	497	8,020
合格者数	793	461	382	341	324	265	225	216	231	324	229	263	290	305	4,647
合格率%	43.9	59.0	52.2	62.1	59.2	61.1	67.4	67.5	65.3	67.4	64.3	65.4	61.2	61.4	57.9

1.3 研修会等実施状況

1.3.1 平成 27 年度の研修会等実施状況

研修会等	開催日	予定数	参加数
分析実務研修会 第 1 回	平成 27 年 6 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)	12 名	18 名
第 2 回	平成 27 年 7 月 30 日 (木) ~ 31 日 (金)	12 名	16 名
第 3 回	平成 27 年 9 月 10 日 (木) ~ 11 日 (金)	12 名	12 名
アスベスト繊維計数技能向上プログラム (PCM/PLM 法)	平成 27 年 9 月 24 日 (木) ~	50 名	33 名
偏光顕微鏡実技研修 第 1 回 (建材コース)	平成 27 年 6 月 2 日 (火) ~ 3 日 (水)	16 名	16 名
第 2 回 (建材コース)	平成 27 年 12 月 3 日 (水) ~ 4 日 (木)	16 名	16 名
第 1 回 (大気コース)	平成 27 年 6 月 4 日 (木)	8 名	16 名
第 2 回 (大気コース)	平成 27 年 6 月 5 日 (金)	12 名	3 名
第 1 回 (建材アトモハンストコース)	平成 27 年 10 月 6 日 (火) ~ 7 日 (水)	16 名	16 名
第 2 回 (建材アトモハンストコース)	平成 27 年 12 月 1 日 (火) ~ 2 日 (水)	16 名	18 名
アスベスト分析技能試験 JIS A 1481-1(技術者)	平成 27 年 8 月 4 日 ~ 7 日	—	44 名
JIS A 1481-1(試験所)	平成 27 年 12 月 1 日 ~ 17 日		41 試験所
位相差/繊維計数(試験所)	平成 27 年 8 月 ~		45 試験所
計量管理講習会	平成 27 年 6 月 12 日 (金)	60 名	96 名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環-77: 水中の富栄養化成分分析	平成27年 6月	400	407
日環-78: 水中の陰イオン分析	平成27年 7月	400	423
日環-79: 水中のほう素及び金属分析	平成27年 9月	400	446
日環-80: 水中の生活環境項目試験	平成27年11月	400	402
日環-81: 排ガス中の成分分析	平成28年 2月	230	249

SELF	分析項目	予定数	参加者数
第 123 回 (5 月配付)	TOC	300	280
第 124 回 (8 月配付)	鉛		296
第 125 回 (11 月配付)	ふっ素		296
第 126 回 (2 月配付)	1,4-ジオキサン		281

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	模擬排水	平成27年7月	54 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油	平成27年10月	99 事業所
MLAP 技能試験	土 壤	平成27年5月	94 事業所

1.3.2 平成 28 年度の研修会等実施状況

研修会等	開催日	予定数	参加数
分析実務研修会 第 1 回	平成28年 6月 9日(木)～10日(金)	12 名	14 名
第 2 回	平成28年 7月30日(木)～31日(金)	12 名	19 名
アスベスト繊維計数技能向上プログラム (PCM/PLM 法)	平成28年10月24日(月)～11月22日(火) (試料配付・検鏡期間)	50 名	23 名
偏光顕微鏡実技研修 建材定性コース (第 1 回)	平成28年 6月 1日(水)～ 2日(木)	16 名	16 名
(第 2 回)	平成29年 1月19日(木)～20日(金)	16 名	17 名
建材定量コース (第 1 回)	平成28年 8月 3日(水)～ 4日(木)	16 名	16 名
(第 2 回)	平成28年12月 8日(木)～ 9日(金)	16 名	12 名
大気コース	平成28年 6月 3日(金)	16 名	14 名
建材定性エキスパートコース (第 1 回)	平成28年 8月 2日(火)	16 名	15 名
(第 2 回)	平成28年12月 7日(水)	12 名	5 名
トレーナー研修	平成28年 6月28日(火)～7月1日(金)	12 名	8 名
アスベスト分析技能試験 JIS A 1481-1(技術者)	平成 28 年 9 月 13 日～15 日	—	39 名
JIS A 1481-1(試験所)	平成 28 年 10 月 18 日～		38 試験所
位相差／繊維計数(試験所)	平成 28 年 11 月～		39 試験所
計量管理講習会 騒音・振動 濃度	平成28年 6月17日(金) 平成28年 7月15日(金)	80 名 80 名	66 名 79 名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環-82：水中の富栄養化成分分析	平成28年 6月	410	427
日環-83：水中のほう素及び金属分析	平成28年 7月	410	443
日環-84：水中の陰イオン分析	平成28年 9月	400	418
日環-85：土壌汚染対策法における 重金属の含有量試験	平成28年11月	350	323
日環-86：水中の揮発性成分分析	平成29年 1月	350	379

SELF	分析項目	予定数	参加者数
第 127 回 (5 月配付)	全蒸発残留物	300	309
第 128 回 (8 月配付)	亜硝酸性窒素		311
第 129 回 (11 月配付)	亜鉛		314
第 130 回 (2 月配付)	カルシウム・マグネシウム		308

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	ばいじん	平成28年7月	58 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油	平成28年10月	91 事業所

1.3.3 平成 29 年度の研修会等実施状況

研修会等	開催日	予定数	参加数
分析実務研修会 第 1 回 第 2 回 第 3 回	平成29年 6月22日(木)～23日(金) 平成29年 7月27日(木)～28日(金) 平成29年 9月21日(木)～22日(金)	12名 12名 12名	15名 15名 11名
偏光顕微鏡実技研修 建材定性コース (第 1 回) (第 2 回) (第 3 回) 建材定量コース (第 1 回) (第 2 回) 大気コース 建材定性エキスパートコース	平成29年 6月 8日(木)～ 9日(金) 平成29年 8月23日(水)～24日(木) 平成30年 1月17日(水)～18日(木) 平成29年 9月14日(木)～15日(金) 平成30年 2月 8日(木)～ 9日(金) 平成29年 8月25日(金) 平成29年 9月13日(水)	16名 16名 16名 16名 12名 16名 16名	16名 16名 16名 13名 8名 16名 16名
アスベスト分析技能試験 JIS A 1481-1(技術者) 位相差／繊維計数(試験所)	平成29年10月25日(水)～27日(金) 平成29年12月～	— —	48名 43試験所
計量管理講習会 (濃度)	平成29年 7月21日(金)	70名	70名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環-87：水中の生活環境項目試験	平成29年 6月	410	451
日環-88：水中の金属分析	平成29年 7月	430	399
日環-89：水中の陰イオン分析	平成29年10月	410	398
日環-90：水中の富栄養化成分分析	平成29年11月	430	400
日環-91：水中の残留農薬分析	平成30年 1月	300	293

SELF	分析項目	予定数	参加者数
第 131 回 (5 月配付)	鉄	300	298
第 132 回 (8 月配付)	ほう素		289
第 133 回 (11 月配付)	臭化物イオン		290
第 134 回 (2 月配付)	アンモニア性窒素		302

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	ばいじん	平成29年 8月	59 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油、廃棄物	平成29年10月	96 事業所

1.3.4 平成 30 年度の研修会等実施状況

研修会等	開催日	予定数	参加数
分析実務研修会 第 1 回	平成30年 6月14日(木)～15日(金)	12名	18名
第 2 回	平成30年 9月13日(木)～14日(金)	12名	19名
第 3 回	平成30年11月15日(木)～16日(金)	12名	18名
偏光顕微鏡実技研修 建材定性コース (第 1 回)	平成30年 5月31日(木)～6月1日(金)	16名	16名
(第 2 回)	平成30年 7月12日(木)～13日(金)	16名	16名
(第 3 回)	平成30年 8月22日(水)～23日(木)	16名	16名
(第 4 回)	平成31年 1月17日(木)～18日(金)	16名	16名
建材定量コース	平成30年10月18日(木)～19日(金)	12名	16名
大気コース	平成30年 8月24日(金)	16名	10名
建材定性エキスパートコース	平成30年10月17日(水)	16名	16名
アスベスト分析技能試験 JIS A 1481-1(技術者)	平成30年12月19日(水)～21日(金)	—	56名
位相差／繊維計数(試験所)	平成31年 1月～	—	55 試験所
計量管理講習会 (濃度)	平成30年 6月29日(金)	70名	76名
(騒音・振動)	平成30年 6月 8日(金)	70名	67名

技能試験	試料配付	予定組数	参加組数
日環-92：水中の金属分析	平成30年 6月	410	411
日環-93：水中の富栄養化成分分析	平成30年 7月	410	408
日環-94：水中の陰イオン分析	平成30年10月	410	384
日環-95：水中の生活環境項目試験	平成30年11月	440	410
日環-96：水中の残留農薬分析	平成31年 2月	250	249

SELF	分析項目	予定数	参加者数
第 135 回 (5 月配付)	インジウム	300	261
第 136 回 (8 月配付)	全クロム		282
第 137 回 (11 月配付)	硝酸性窒素		286
第 138 回 (2 月配付)	電気伝導率		295

極微量物質	対象試料	試料配付	参加数
ダイオキシン類クロスチェック	模擬土壌	平成30年 8月	60 事業所
微量 PCB 分析クロスチェック	絶縁油、廃棄物	平成30年10月	92 事業所

2. UIIL-ILP 実施概要

2.1 2006 年第 1 回 UIIL-ILP の実施概要

2006 年 9 月に開催された UIIL 国際技能試験会議で、報告書のプログラムのタイトルとして、“Inter Laboratory Practice” 略称 “ILP” が承認された。

- (1) 実施機関 主催者 UIIL
共催者 JEMCA、ACIL、CCIL、AELI、VRS
- (2) 識別 粉体中の重金属の技能試験
- (3) 試験項目 全クロム、全鉛、全ニッケル、全亜鉛、全水銀
- (4) 試験方法 粉体中の全濃度測定
- (5) 参加状況 参加試験所数 237 試験所
i. 報告試験所数 188~223 試験所
- (6) 主な内容 ① 測定値の Z スコア
② Z スコアの昇順バーチャート
③ 複合評価図

2.2 2007 年第 2 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 粉体中の PAHs 及び金属の分析
- (2) 試験項目 金属類 8 項目、PAHs 12 項目
- (3) 試料配付 4 月 7 日 (予定より遅れた)
- (4) 分析値の報告期限を 5 月 31 日とした。
- (5) 参加状況 参加試験所数 122 試験所
報告試験所数 117 試験所
- (6) 提出された分析値を整理して、UIIL 事務局に報告した。
- (7) 日本については、日本だけのデータで速報版を作成し、2008 年 10 月に参加試験所に仮報告書として送付した。
- (8) 日本については、海外のデータを追加した正式報告書に参加証を添付して 2009 年 2 月に試験所に送付した。
- (9) 日本以外の試験所(アメリカ、カナダ)についても、参加証を送付した。

2.3 2008 年第 3 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 粉体中の POPs 及び金属の分析
- (2) 試験項目 POPs 22 項目、金属類 8 項目
- (3) 日本については、2009 年 7 月に第 3 回 UIIL 国際技能試験報告書日本版(速報版)を作成、印刷して参加試験所に配付した。
- (4) 第 3 回 UIIL 国際技能試験報告書(世界版)の配付及び参加証の送付を、2009 年 8 月に完了した。
- (5) 参加試験所数

日本	84	試験所
アメリカ	6	試験所
カナダ	2	試験所
メキシコ	1	試験所
スペイン	2	試験所
オランダ	6	試験所
合計	101	試験所

2.4 2009 年第 4 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 水中の重金属分析
- (2) 試験項目 金属類 16 項目
- (3) 試料配付 2010 年 2 月 1,2 日 (日本)、3 月上旬 (海外)
- (4) 報告期限 2010 年 3 月 19 日
- (5) 日本については、第 4 回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書(世界版)の配付及び参加証の送

付を 2010 年 8 月末日に完了した。なお、今回は速報版の作成、配付はなしとした。

(6) 海外については、参加証を 2010 年 10 月の UIIL 委員会で配付した。

(7) 参加試験所数	日本	143	試験所
	アメリカ	4	試験所
	スペイン	5	試験所
	メキシコ	1	試験所
	合計	153	試験所

2.5. 2010 年第 5 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 自然水中の陽イオン及び陰イオン分析
- (2) 試験項目 陰イオン 4 項目、陰イオン 4 項目、合計 8 項目
- (3) 試料配付 2010 年 2 月 7,8 日 (日本)、2 月中 (海外)
- (4) 報告期限 2010 年 3 月 31 日
- (5) 参加試験所数

日本	128	試験所
スペイン	4	試験所
カナダ	1	試験所
韓国	1	試験所
ベルギー	1	試験所
合計	135	試験所

(6) 日本については、第 5 回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書及び参加証の送付を 2011 年 8 月 1 日に完了した。なお、今回は速報版の作成、配付はなしとした。

(7) 海外については、第 5 回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書(英語版)を作成、参加証と一緒に 9 月中旬に送付完了した。

2.6 2011 年第 6 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 高濃度塩水中の金属分析
- (2) 試験項目 金属類 6 項目
- (3) 試料配付 2012 年 2 月 6,7 日 (日本)、2 月中 (海外)
- (4) 報告期限 2012 年 4 月 27 日
- (5) 参加試験所数

日本	141	試験所
スペイン	3	試験所
カナダ	3	試験所
オランダ	2	試験所
ベルギー	1	試験所
合計	151	試験所

(6) 日本については、第 6 回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書及び参加証を 2012 年 7 月中旬に送付完了した。

(7) 海外については、第 6 回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書(英語版)及び参加証を 9 月初旬に送付完了した。

2.7. 2012 年第 7 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 飲料水及び塩水中の金属分析
- (2) 試験項目 金属類 10 項目
- (3) 申込受付 平成 24 年 12 月 6 日(木)～平成 25 年 1 月 31 日(木)
- (4) 試料配付 2013 年 2 月 18,19 日 (日本)、2 月中 (海外)
- (5) 報告期限 2013 年 3 月 31 日 (日本)、2013 年 4 月 7 日 (海外)
- (6) 参加試験所数

日本	141	試験所
カナダ	3	試験所
オランダ	2	試験所
メキシコ	1	試験所

スペイン	3	試験所
ポルトガル	4	試験所
中国	1	試験所
合計	155	試験所

- (7) 日本については、第7回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書及び参加証を 2013 年 9 月 24 日に送付した。
- (8) 海外については、第7回 UIIL-LIP 国際技能試験報告書(英語版)を作成し、2013 年 12 月 20 日に UIIL 事務局に送付した。

2.8. 2014 年第 8 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 純水中の金属分析
- (2) 試験項目 金属類 15 項目
- (3) 申込受付 2014 年 2 月 14 日～3 月 20 日
- (4) 試料配付 2014 年 4 月 7 日又は 8 日
- (5) 報告期限 2014 年 5 月 16 日 (日本) 5 月 23 日 (海外)
- (6) 報告書発行 2014 年 9 月 30 日
- (7) 参加試験所数
- | | | |
|-------|-----|-----|
| 日本 | 109 | 試験所 |
| カナダ | 1 | 試験所 |
| スペイン | 1 | 試験所 |
| ポルトガル | 4 | 試験所 |
| 中国 | 1 | 試験所 |
| アメリカ | 1 | 試験所 |
| ブラジル | 1 | 試験所 |
| フランス | 1 | 試験所 |
| 合計 | 119 | 試験所 |

- (8) 日本については、第 8 回 UIIL-LIP 報告書及び参加証を 2014 年 10 月 1 日に送付した。

2.9 2015 年第 9 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 純水中の金属元素分析
- (2) 試験項目 金属類 11 項目
- (3) 申込受付 2015 年 2 月 16 日～3 月 13 日
- (4) 試料配付 2015 年 3 月 30 日又は 31 日
- (5) 報告期限 2015 年 5 月 22 日 (日本) 5 月 31 日 (海外)
- (6) 報告書発行 2015 年 10 月 30 日 (日本)
- (7) 参加試験所数
- | | | |
|--------|-----|-----|
| 日本 | 94 | 試験所 |
| アルゼンチン | 1 | 試験所 |
| ベルギー | 1 | 試験所 |
| 中国 | 1 | 試験所 |
| ドイツ | 1 | 試験所 |
| フランス | 1 | 試験所 |
| 韓国 | 2 | 試験所 |
| メキシコ | 1 | 試験所 |
| ポルトガル | 1 | 試験所 |
| スペイン | 1 | 試験所 |
| 合計 | 104 | 試験所 |

- (8) 日本については、UIIL-LIP 報告書及び参加証を 2015 年 10 月 30 日に送付した。

2.10 2016 年第 10 回 UIIL-ILP の実施概要

- (1) 識別 天然水中の陽イオン及び陰イオン
- (2) 試験項目 陽イオン 4 項目、陰イオン 5 項目、合計 9 項目

- (3) 申込受付 2016年2月29日～3月25日
- (4) 試料配付 2016年4月25日又は26日
- (5) 報告期限 2016年6月3日(日本) 8月31日(海外)
- (6) 報告書発行 2015年10月予定(日本)
- (7) 参加試験所数

日本	144	試験所
アルゼンチン	1	試験所
中国	1	試験所
ナイジェリア	7	試験所
スペイン	1	試験所
合計	154	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2016 年 10 月に送付した。

2.11 2017 年第 14 回 UILI-ILP の実施概要

- (1) 識別 天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸
- (2) 試験項目 硝酸イオン (NO_3^-)、イオン状シリカ (SiO_2)、りん酸イオン (PO_4^{3-})
- (3) 申込受付 2017年4月17日～5月31日
- (4) 試料配付 2017年6月26日又は27日
- (5) 報告期限 2017年8月10日(日本) 9月1日(海外)
- (6) 報告書発行 2017年11月予定(日本)
- (7) 参加試験所数

日本	106	試験所
ナイジェリア	5	試験所
中国	2	試験所
スペイン	1	試験所
合計	114	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2017 年 11 月に送付した。

2.12 2018 年第 18 回 UILI-ILP の実施概要

- (1) 識別 天然水中の陽イオン及び陰イオン
- (2) 試験項目 陽イオン 4 項目、陰イオン 7 項目、合計 11 項目
- (3) 申込受付 2018年4月18日～6月7日
- (4) 試料配付 2018年6月25日又は26日
- (5) 報告期限 2018年8月10日(日本) 9月1日(海外)
- (6) 報告書発行 2018年11月頃予定(日本)
- (7) 参加試験所数

日本	96	試験所
アルゼンチン	1	試験所
中国	2	試験所
ナイジェリア	5	試験所
スペイン	2	試験所
スイス	1	試験所
合計	107	試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書及び参加証を 2018 年 11 月に送付した。

2.13 2019 年第 22 回 UILI-ILP の実施概要

- (1) 識別 粉体(含有)中の総水銀及び PCB
- (2) 試験項目 総水銀、PCB
- (3) 申込受付 2019年5月20日～6月17日
- (4) 試料配付 2019年7月1日又は2日
- (5) 報告期限 2019年9月18日
- (6) 報告書発行 2019年12月頃予定(日本)
- (7) 参加試験所数

日本	74	試験所
----	----	-----

中国 1 試験所
合計 75 試験所

(8) 日本については、UILI-LIP 報告書 Web 掲示及び参加証発送を 2019 年 12 月に予定。

14. 技能試験実績一覧表(1999 (平成 11 年) ~2019 年)

2019 年 10 月 15 日現在

平成 11 (1999) 年度		平成 12 (2000) 年度		平成 13 (2001) 年度		平成 14 (2002) 年度		平成 15 (2003) 年度		平成 16 (2004) 年度	
(日環-1)「模擬排水中の重金属分析」 鉛(0.01,0.02)、亜鉛(1.0,1.2)、鉄(2.0,2.5) mg/L		(日環-2)「水中の揮発成分の分析」① トリクロロエチレン、(0.150,0.103) シス-1,2-ジクロロエチレン (0.0379,0.0282) mg/L		(日環-7)「模擬環境水中の残留農薬試験」① シマジン(0.0030,0.0036)、mg/L チオベンカルブ(0.016,0.014)		(日環-12)「環境水中の pH, COD _{Mn} の分析」② pH(4.00,4.64), COD _{Mn} (10.0,15.1) mg/L		(日環-18)「水中の陰イオン分析」③ ふっ素イオン(0.78,0.97)、mg/L 塩化物イオン(7.88,9.80)、 硝酸性窒素(2.95,4.90)、 硫酸イオン(4.98,7.88)		(日環-22)「水中の生活環境項目分析」④ COD(7.10,9.00) mg/L 全りん(0.0470,0.0640)	
募集 11 年 10 月	報告書 12 年 2 月	募集 12 年 4 月	報告書 12 年 9 月	募集 13 年 4 月	報告書 13 年 10 月	募集 14 年 4 月	報告書 14 年 8 月	募集 15 年 5 月	報告書 15 年 8 月	募集 16 年 4 月	報告書 16 年 6 月
参加数 338	報告数 302	参加数 344	報告数 319	参加数 320	報告数 303	参加数 497	報告数 487	参加数 436	報告数 423	参加数 430	報告数 423
		(日環-3)「模擬環境水中の陰イオン分析」① 塩化物イオン(1.57,1.27)、mg/L 硝酸イオン(1.565,1.86)、 硫酸イオン(2.26,2.66)		(日環-8)「模擬環境水中の全窒素、全りん、ほう素分析」① 全窒素(1.07,0.90)、mg/L 全りん(0.079,0.099)、 ほう素(1.01,0.81)		(日環-13)「模擬環境水中のふっ素、塩素及び窒素の分析」② ふっ素(0.97,1.17)、 塩化物イオン(19.9,15.9)、mg/L 亜硝酸性窒素(6.02,4.83)、 硝酸性窒素(4.49,3.59)		(日環-17)「ガス分析」② SO _x (211.38,250.45) mg/m ³ NO _x (93.24,76.54)		(日環-23)「水中の残留農薬分析」③ チオベンカルブ(0.03800,0.02520) フェニトチオン(0.0039900,0.003180) シマジン(0.003125,0.004650) mg/L	
		募集 12 年 7 月	報告書 12 年 11 月	募集 13 年 7 月	報告書 13 年 12 月	募集 14 年 7 月	報告書 14 年 11 月	募集 15 年 7 月	報告書 15 年 12 月	募集 16 年 6 月	報告書 16 年 8 月
		参加数 390	報告数 378	参加数 449	報告数 433	参加数 450	報告数 444	参加数 270	報告数 242	参加数 288	報告数 258
		(日環-4)「模擬排水中の重金属分析」② 鉛(0.0499,0.0300)、mg/L 全クロム(0.0965,0.0767)、 銅(0.299,0.200)		(日環-9)「排ガス模擬吸収液中の硫黄酸化物と塩化水素の分析」① 硫黄酸化物(92,138)mg/m ³ 、 塩化水素(285.5,213)		(日環-14)「土壌中の重金属分析」② 銅(39.1,39.2)mg/kg, (鉄 31.2,31.1)mg/g、 マンガン(680,678)mg/kg		(日環-19)「水中の生活環境項目試験」③ COD _{Mn} (8.50,105) mg/L		(日環-24)「土壌中の金属分析」③ カドミウム(0.22,0.22) 鉛(30.3,31.2) 砒素(0.42,0.43) mg/kg	
		募集 12 年 9 月	報告書 13 年 1 月	募集 13 年 9 月	報告書 14 年 2 月	募集 14 年 10 月	→ 17 年度に実施	募集 15 年 9 月	報告書 16 年 1 月	募集 16 年 8 月	報告書 16 年 10 月
		参加数 376	報告数 357	参加数 343	報告数 333	参加数 374	報告数 357	参加数 418	報告数 406	参加数 354	報告数 324
		(日環-5)「土壌中の重金属含有量試験」① 鉛(5.495,5.445)、mg/Kg 亜鉛(118,117)、 鉄(105,104)		(日環-10)「模擬環境水中の重金属分析」③ カドミウム(0.011,0.014)、mg/L マンガン(0.41,0.36)、 ニッケル(0.047,0.056)、 ひ素(0.024,0.019)		(日環-15)「水中の残留農薬分析」② イプロベンホス(0.00735,0.00693)、 フェニトロチオン(0.00218,0.00271)、 イソキサチオン(0.00252,0.00202) mg/L		(日環-20)「水中の揮発性成分の分析」③ 1,1-ジクロロエチレン(0.0105,0.0110) シス-1,2-ジクロロエチレン(0.0106,0.0110) トリクロロエチレン(0.0490,0.0507) mg/L		(日環-25)「水中の金属分析」⑥ 鉛(0.0480,0.0380) 全クロム(0.2820,0.3790) 亜鉛(0.2910,0.1960) ニッケル(0.4760,0.5760) mg/L	
		募集 12 年 10 月	報告書 13 年 3 月	募集 13 年 11 月	報告書 14 年 4 月	募集 14 年 12 月	報告書 15 年 4 月	募集 15 年 11 月	報告書 16 年 2 月	募集 16 年 10 月	報告書 16 年 12 月
		参加数 343	報告数 314	参加数 413	報告数 392	参加数 214	報告数 189	参加数 323	報告数 311	参加数 384	報告数 373
		(日環-6)「模擬排水中の COD 分析」① COD _{Mn} (82,101.1) mg/L		(日環-11)「水中の揮発性成分の分析」② テトラクロロエチレン(0.0474,0.0456)、 トリクロロエチレン (0.0162,0.0170)、 シス-1,2-ジクロロエチレン (0.177,0.193) mg/L		(日環-16)「水中の重金属分析」④ 鉛(0.0102,0.0120) mg/L、 セレン(0.0114,0.0096)、 クロム(0.0495,0.0394)、 マンガン(0.488,0.602)		(日環-21)「水中の金属分析」⑤ カドミウム(0.009765,0.007750) マンガン(0.1880,0.2340) 銅(0.7895,0.9845) 亜鉛(0.03910,0.02990) mg/L		(日環-26)「水中の陰イオン分析」④ ふっ化物イオン(0.4910,0.3910) 塩化物イオン(3.940,5.130) 硝酸イオン(4.350,3.440) 硫酸イオン(4.975,3.460) mg/L	
		募集 13 年 1 月	報告書 13 年 5 月	募集 14 年 1 月	報告書 14 年 6 月	募集 15 年 1 月	報告書 15 年 5 月	募集 16 年 1 月	報告書 16 年 4 月	募集 16 年 12 月	報告書 17 年 2 月
		参加数 483	報告数 475	参加数 384	報告数 363	参加数 431	報告数 426	参加数 452	報告数 442	参加数 407	報告数 396
参加数計 338	報告数計 302	参加数計 1,936	報告数計 1,843	参加数計 1,909	報告数計 1,824	参加数計 1,966	報告数計 1,903	参加数計 1,899	報告数計 1,824	参加数計 1,863	報告数計 1,774
参加数累計 338	報告数累計 302	参加数累計 2,274	報告数累計 2,145	参加数累計 4,183	報告数累計 3,969	参加数累計 6,149	報告数累計 5,872	参加数累計 8,048	報告数累計 7,696	参加数累計 9,911	報告数累計 9,470

平成 17 (2005) 年度		平成 18 (2006) 年度		平成 19 (2007) 年度		平成 20 (2008) 年度		平成 21 (2009) 年度		平成 22 (2010) 年度	
(日環-27)「土壌ガス測定」① 1,1-ジクロロエチレン(0.970,0.775) シス-1,2-ジクロロエチレン(0.830,0.665) 1,1,1-トリクロロエタン(0.910,0.720) トリクロロエチレン(0.825,0.650) テトラクロロエチレン(0.795,0.640) vol ppm		(日環-32)「ガス中の成分分析」③ SOx (200, 258) mg/m ³ NOx (82,123) mg NO ₂ /m ³		(日環-37)「水中の陰イオン分析」⑤ ふっ化物イオン(0.7,0.9) 塩化物イオン(40,35) 硝酸イオン(20,18) 亜硝酸イオン(16,14) mg/L		(日環-42)「水中の重金属」⑩ 鉄 (4.5,5.0) 銅 (2.0,1.8) 全クロム (5.5,5.0) マンガン (1.8,2.0) mg/L		(日環-47)「水中の陰イオン分析」⑥ ふっ化物イオン (0.9,1.1) 塩化物イオン (90,80) 硝酸イオン (20,23) 硫酸イオン (14,20) mg/L		(日環-52)「水中の富栄養化成分分析」④ 全窒素 (0.50/0.70) 全りん (0.06/0.04) mg/L	
募集 13 年 1 月	報告書 13 年 5 月	募集 18 年 4 月	報告書 18 年 8 月	募集 19 年 4 月	報告書 19 年 9 月	募集 20 年 4 月	報告書 20 年 9 月	募集 21 年 4 月	報告書 20 年 9 月	募集 22 年 4 月	報告書 22 年 9 月
参加数 483	報告数 475	参加数 251	報告数 237	参加数 472	報告数 463	参加数 463	報告数 448	参加数 459	報告数 453	参加数 446	報告数 438
(日環-28)「水中の金属分析」⑦ 鉛(0.0490,0.0570) 亜鉛(2.950,2.450) 全クロム(0.0470,0.0380) ひ素(0.0290,0.0240) アンチモン(0.0200,0.0240) mg/L		(日環-33)「水中の生活環境項目試験」⑥ COD _{Mn} (6.0,8.0) mg/L		(日環-38)「土壌汚染対策法における含有量試験」④ カドミウム(13.68,12.69) 鉛(16.61,15.54) 六価クロム(12.16,10.76) 砒素(15.60,14.11) mg/kg		(日環-43)「水中の富栄養化成分分析」③ 全窒素 (0.820, 1.030) 全りん (0.0880, 0.0690) mg/L		(日環-48)「水中の重金属分析」⑪ カドミウム (0.007,0.009) 全クロム (0.06,0.05) ひ素 (0.020,0.025) 鉛 (0.055,0.045) mg/L		(日環-53)「水中の重金属分析」⑫ 亜鉛 (1.00/0.90) 鉄 (3.0/3.5) 銅 (1.20/1.00) マンガン (1.50/1.60) mg/L	
募集 17 年 6 月	報告書 17 年 8 月	募集 18 年 6 月	報告書 18 年 9 月	募集 19 年 6 月	報告書 19 年 12 月	募集 20 年 6 月	報告書平成 20 年 11 月	募集 21 年 6 月	報告書 21 年 11 月	募集 22 年 6 月	報告書 22 年 11 月
参加数 428	報告数 410	参加数 419	報告数 410	参加数 415	報告数 395	参加数 451	報告数 444	参加数 450	報告数 437	参加数 439	報告数 433
(日環-29)「水中の生活環境項目分析」⑤ COD _{Mn} (5.70,3.70) mg/L		(日環-34)「大気中のアルデヒド類の測定」① アセトアルデヒド (7.9,6.0) mg/m ³ ホルムアルデヒド (6.2,4.2)		(日環-39)「水中の生活環境項目試験」⑦ COD _{Mn} (37.4,42.5) mg/L		(日環-44)「水中の残留農薬分析」⑤ チオベンカルブ (0.019970, 0.016480) イソキサチオン (0.002210, 0.002950) フェントチオン (0.004430, 0.003550) mg/L		(日環-49)「水中の生活環境項目試験」⑨ COD _{Mn} (22,18) mg/L		(日環-54)「水中の生活環境項目試験」⑩ COD _{Mn} (25/21) mg/L	
募集 17 年 9 月	報告書 17 年 11 月	募集 18 年 8 月	報告書 18 年 11 月	募集 19 年 8 月	報告書 20 年 2 月	募集 20 年 8 月	平成 21 年 1 月	募集 21 年 8 月	報告書 21 年 12 月	募集 22 年 8 月	報告書 23 年 1 月
参加数 406	報告数 401	参加数 181	報告数 177	参加数 405	報告数 381	参加数 236	報告数 217	参加数 382	報告数 379	参加数 382	報告数 376
(日環-30)「水中の富栄養化成分分析」② 全窒素(0.910,0.710) 全りん(0.0910,0.0690) mg/L		(日環-35)「水中の金属分析」⑧ 鉛 (0.04,0.05) mg/L 全クロム (0.40,0.30) マンガン (0.50,0.60) 銅 (0.90,0.80)		(日環-40)「水中の金属分析」⑨ カドミウム (0.005,0.007) 鉛 (0.03,0.02) ヒ素 (0.010,0.015) 亜鉛 (0.50,0.45) mg/L		(日環-45)「ガス中の成分分析」④ 硫酸化合物 (182.355, 209.565) 窒素化合物 (83.540, 101.590) mg/m ³		(日環-50)「土壌汚染対策法における重金属の含有量試験」⑤ カドミウム(18,16) 鉛(15,17) 六価クロム(42,38) 砒素(33,36) mg/kg		(日環-55)「水中の陰イオン分析」⑦ ふっ化物イオン (0.90/0.70) 塩化物イオン (90/100) 硝酸イオン (25/22) 硫酸イオン (14/16) mg/L	
募集 17 年 11 月	報告書 18 年 1 月	募集 18 年 11 月	報告書 19 年 1 月	募集 19 年 10 月	報告書 20 年 3 月	募集 20 年 10 月	報告書 21 年 3 月	募集 21 年 10 月	報告書 22 年	募集 22 年 10 月	報告書 23 年 3 月
参加数 432	報告数 423	参加数 444	報告数 433	参加数 441	報告数 431	参加数 226	報告数 215	参加数 337	報告数 327	参加数 400	報告数 394
(日環-31)「水中の揮発性成分の分析」④ シス 1,2-ジクロロエチレン (0.6230,0.6340) トリクロロエチレン (1.1230,1.1030) テトラクロロエチレン (0.9870,0.9270) クロホルム (4.3980,4.4400) mg/L		(日環-36)「水中の残留農薬分析」④ イプロベンホス(0.010, 0.012) フェントチオン(0.0045, 0.0035) シマジン(0.004, 0.0045) mg/L		(日環-41)「水中の揮発性成分分析」⑤ ジクロロメタン (0.020,0.025) トリクロロエチレン (0.04,0.03) 1,1,2-トリクロロエタン (0.006,0.008) ベンゼン (0.012,0.010) mg/L		(日環-46)「水中の生活環境項目試験」⑧ COD _{Mn} (18,15) mg/L 塩化物イオン濃度 2000mgCl/L		(日環-51)「水中の揮発性成分分析」⑥ ジクロロメタン (0.020,0.025) トリクロロエチレン (0.04,0.03) 1,1,2-トリクロロエタン (0.006,0.008) ベンゼン (0.012,0.010) mg/L		(日環-56)「水中の残留農薬分析」⑥ チオベンカルブ (0.025/0.020) シマジン (0.0035/0.0040) フェントチオン (0.0035/0.0030) mg/L	
募集 18 年 2 月	報告書 18 年 4 月	募集 18 年 12 月	報告書 19 年 3 月	募集 19 年 12 月	報告書 20 年 4 月	募集 20 年 12 月	報告書 21 年 4 月	募集 21 年 12 月	報告書 22 年 5 月	募集 22 年 12 月	報告書 23 年
参加数 330	報告数 324	参加数 233	報告数 214	参加数 364	報告数 349	参加数 388	報告数 384	参加数 362	報告数 348	参加数 264	報告数 240
参加数計 2,079	報告数計 2,033	参加数計 1,528	報告数計 1,471	参加数計 2,097	報告数計 2,019	参加数計 1,764	報告数計 1,708	参加数計 1,990	報告数計 1,944	参加数計 1,931	報告数計 1,881
参加数累計 11,990	報告数累計 11,503	参加数累計 13,518	報告数累計 12,974	参加数累計 15,615	報告数累計 14,993	参加数累計 17,379	報告数累計 16,701	参加数累計 19,369	報告数累計 18,654	参加数累計 21,300	報告数累計 20,526

平成 23 (2011) 年度		平成 24 (2012) 年度		平成 25 (2013) 年度		平成 26 (2014) 年度		平成 27 (2015) 年度		平成 28 (2016) 年度	
(日環-57)「水中の陰イオン分析」⑧ 硝酸イオン(20/18) 亜硝酸イオン(14/16) 塩化物イオン(55/50) ふっ化物イオン(0.7/0.9) mg/L		(日環-62)「水中の陰イオン分析」⑨ 硝酸イオン(16/19) 硫酸イオン(5.0/4.0) 塩化物イオン(80/70) ふっ化物イオン(1.0/0.8) mg/L		(日環-67)「水中の金属分析」⑮ マンガン (0.20/0.30) 銅 (2.2/2.0) 亜鉛 (0.16/0.10) カドミウム (0.010/0.008) mg/L		(日環-72)「水中の金属分析」⑯ 全クロム (0.3/0.4) 鉄 (2.0/1.5) 亜鉛 (0.45/0.50) 鉛 (0.1/0.1) mg/L		(日環-77)「水中の富栄養化成分分析」 ⑨ 全窒素 (0.6/0.5) 全りん (0.06/0.08) mg/L		(日環-82)「水中の富栄養化成分分析」 ⑩ 全窒素 (1.1/0.9) 全りん (0.11/0.09) mg/L	
募集 23 年 4 月	報告書 23 年 9 月	募集 24 年 4 月	報告書 24 年 9 月	募集 25 年 4 月	報告書 25 年 9 月	募集 26 年 4 月	報告書 26 年 9 月	募集 27 年 3 月	報告書 27 年 9 月	募集 28 年 3 月	報告書 28 年 9 月
参加数 415	報告数 404	参加数 446	報告数 438	参加数 416	報告数 410	参加数 371	報告数 359	参加数 378	報告数 375	参加数 396	報告数 388
(日環-58)「水中の金属分析」⑬ 亜鉛(0.50/0.45) 鉄(3.0/3.5) 銅(1.5/1.2) 鉛(0.045/0.050) アルミニウム 0.20/0.18) mg/L		(日環-63)「水中の重金属」⑭ 全クロム (0.06/0.08) マンガン (2.00/1.80) 鉄 (2.0/2.5) 鉛 (0.055/0.050) mg/L		(日環-68)「水中の陰イオン分析」⑩ ふっ化物イオン (0.5/0.4) 塩化物イオン (12/14) 亜硝酸態 (性・体) 窒素 (4.0/3.0) 硝酸態 (性・体) 窒素 (5.0/6.0) mg/L		(日環-73)「水中の富栄養化成分分析」 ⑧ 全窒素 (0.3/0.4) 全りん (2.0/1.5) mg/L		(日環-78)「水中の陰イオン分析」⑫ ふっ化物イオン (0.7/0.5) 塩化物イオン (60/70) 硝酸イオン (25/22) 硫酸イオン (6.0/5.0) mg/L		(日環-83)「水中のほう素および金属分 析」⑬ ほう素 (0.7/0.9) 全クロム (0.5/0.4) 鉄 (3.0/2.5) 鉛 (0.03/0.04) mg/L	
募集 23 年 6 月	報告書 23 年 11 月	募集 24 年 6 月	報告書 24 年 11 月	募集 25 年 6 月	報告書 25 年 12 月	募集 26 年 6 月	報告書 26 年 12 月	募集 27 年 5 月	報告書 27 年 11 月	募集 28 年 5 月	報告書 28 年 11 月
参加数 428	報告数 419	参加数 430	報告数 423	参加数 425	報告数 418	参加数 368	報告数 349	参加数 409	報告数 397	参加数 423	報告数 414
(日環-59)「水中の生活環境項目分析」 ⑪ COD _{Mn} (24/28) mg/L		(日環-64)「水中の生活環境項目分析」 ⑫ COD _{Mn} (38/34) mg/L		(日環-69)「水中の富栄養化成分分析」 ⑦ 全窒素 (0.6/0.5) 全りん (0.05/0.06) mg/L		(日環-74)「水中の陰イオン分析」⑪ ふっ化物イオン (0.6/0.8) 塩化物イオン (50/45) 亜硝酸態 (性・体) 窒素 (4.0/4.5) 硝酸態 (性・体) 窒素 (6.5/7.5) mg/L		(日環-79)「水中のほう素及び金属分析」 ⑰ ほう素 (0.8/0.7) マンガン (0.15/0.20) 銅 (1.0/0.8) カドミウム (0.005/0.003) mg/L		(日環-84)「水中の陰イオン分析」⑬ ふっ化物イオン (0.6/0.5) 塩化物イオン (45/40) 亜硝酸イオン (10/8) 硝酸イオン (17/19) mg/L	
募集 23 年 8 月	報告書 23 年 12 月	募集 24 年 8 月	報告書 25 年 1 月	募集 25 年 8 月	報告書 26 年 2 月	募集 26 年 8 月	報告書 27 年 1 月	募集 27 年 6 月	報告書 28 年 1 月	募集 28 年 6 月	報告書 29 年 1 月
参加数 381	報告数 373	参加数 398	報告数 393	参加数 396	報告数 392	参加数 400	報告数 382	参加数 428	報告数 416	参加数 401	報告数 383
(日環-60)「水中の富栄養化成分分析」 ⑤ 全窒素 (0.70/0.90) 全りん (0.08/0.06) mg/L		(日環-65)「土壌汚染対策法における 重金属の含有量試験」⑥ mg/kg 六価クロム(40/36) ひ素 (33/35) カドミウム(17/16) 鉛 (14/16)		(日環-70)「水中の生活環境項目分析」 ⑬ COD _{Mn} (30/34) mg/L		(日環-75)「水中の生活環境項目分析」 ⑭ COD _{Mn} (14/16) mg/L		(日環-80)「水中の生活環境項目試験」 ⑮ COD _{Mn} (10/8) mg/L		(日環-85)「土壌汚染対策法における 重金属の含有量試験」⑦ 六価クロム (40/46) ひ素 (35/31) カドミウム (18/15) 鉛 (15/13) mg/kg	
募集 23 年 10 月	報告書 24 年 2 月	募集 24 年 10 月	報告書 25 年 3 月	募集 25 年 10 月	報告書 26 年 3 月	募集 26 年 9 月	報告書 27 年 3 月	募集 27 年 8 月	報告書 28 年 3 月	募集 28 年 8 月	報告書 29 年 3 月
参加数 404	報告数 393	参加数 317	報告数 307	参加数 407	報告数 400	参加数 380	報告数 378	参加数 386	報告数 371	参加数 318	報告数 308
(日環-61)「ガス中の成分分析」⑤ mg/m ³ 硫酸化物 (258/287) 窒素酸化物 (102/123)		(日環-66)「水中の富栄養化成分分析」 ⑥ 全窒素 (0.6/0.5) 全りん (0.05/0.06) mg/L		(日環-71)「水中の揮発性成分分析」⑦ ジクロロメタン (0.025,0.022) トリクロロエチレン (0.03,0.035) 1,1,2-トリクロロエタン (0.006,0.008) ベンゼン (0.010,0.012) mg/L		(日環-76)「水中の残留農薬分析」⑦ シマジン (0.0030/0.0025) チオベンカルブ (0.015/0.020) mg/L		(日環-81)「排ガス中の成分分析」⑥ 硫酸化物 (229/272) 窒素酸化物 (133/113) mg/m ³		(日環-86)「水中の揮発性成分分析」⑧ ベンゼン (0.011/0.009) ジクロロメタン (0.035/0.030) トリクロロエチレン (0.010/0.012) 1,1,2-トリクロロエタン (0.008/0.006) mg/L	
募集 23 年 12 月	報告書 24 年 4 月	募集 24 年 12 月	報告書 25 年	募集 26 年 1 月	報告書 26 年 6 月	募集 26 年 11 月	報告書 27 年 6 月	募集 27 年 10 月	報告書 28 年 5 月	募集 28 年 11 月	報告書 29 年 5 月
参加数 230	報告数 211	参加数 389	報告数 381	参加数 357	報告数 336	参加数 303	報告数 286	参加数 233	報告数 214	参加数 371	報告数 349
参加数計 1,858	報告数計 1,800	参加数計 1,980	報告数計 1,942	参加数計 2,001	報告数計 1,956	参加数計 1,822	報告数計 1,754	参加数計 1,834	報告数計 1,773	参加数計 1,909	報告数計 1,842
参加数累計 23,158	報告数累計 22,326	参加数累計 25,138	報告数累計 24,268	参加数累計 27,139	報告数累計 26,224	参加数累計 28,961	報告数累計 27,978	参加数累計 30,795	報告数累計 29,751	参加数累計 32,704	報告数累計 31,593

平成 29 (2017) 年度		平成 30 (2018) 年度		2019 年度							
(日環-87)「水中の生活環境項目試験」⑩ COD _{Mn} (25/30) mg/L		(日環-92)「水中の金属分析」⑫ 全クロム (0.2/0.3) 銅 (0.4/0.5) セレン (0.012/0.014) 鉛 (0.05/0.04) mg/L		日環-97「水中の金属分析」⑫ 鉄 (2.7/2.4) 銅 (0.7/0.9) セレン (0.011/0.013) カドミウム (0.005/0.004)							
募集 29 年 4 月	報告書 29 年 10 月	募集 30 年 4 月	報告書 30 年 10 月	募集 2019 年 4 月	報告書 2019 年 10 月	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書
参加数 430	報告数 417	参加数 392	報告数 381	参加数 414	報告数 404	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数
(日環-88)「水中の金属分析」⑩ アルミニウム (0.17/0.19) マンガン (0.10/0.08) 亜鉛 (0.08/0.10) カドミウム (0.003/0.004) mg/L		(日環-93)「水中の富栄養化成分分析」⑫ 全窒素 (0.4/0.7) 全りん (0.08/0.14) mg/L		日環-98「水中の陰イオン分析」⑩ ふっ化物イオン (1.4/1.3) 塩化物イオン (55/52) 亜硝酸イオン (9/11) 硝酸イオン (26/23) mg/L							
募集 29 年 5 月	報告書 29 年 11 月	募集 30 年 5 月	報告書 30 年 11 月	募集 2019 年 5 月	報告書	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書
参加数 379	報告数 361	参加数 388	報告数 374	参加数 391	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数
(日環-89)「水中の陰イオン分析」⑩ 塩化物イオン (59/48) 硝酸イオン (30/23) りん酸イオン (0.62/0.50) 硫酸イオン (35/30) mg/L		(日環-94)「水中の陰イオン分析」⑩ ふっ化物イオン (0.81/1.10) 塩化物イオン (43/35) 硝酸イオン (27/21) りん酸イオン (0.41/0.32) mg/L		(日環-99)「水中の生活環境項目試験」⑩ COD _{Mn} mg/L							
募集 29 年 6 月	報告書 30 年 1 月	募集 30 年 7 月	報告書 31 年 1 月	募集 2019 年 7 月	報告書	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書
参加数 379	報告数 362	参加数 364	報告数 348	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数
(日環-90)「水中の富栄養化成分分析」⑩ 全窒素 (0.8/0.6) 全りん (0.10/0.08) mg/L		(日環-95)「水中の生活環境項目試験」⑩ COD _{Mn} (24/21) mg/L		(日環-100)「水中の富栄養化成分分析」⑩ 全窒素 全りん mg/L							
募集 29 年 8 月	報告書 30 年 3 月	募集 30 年 8 月	報告書 31 年 3 月	募集 2019 年 8 月	報告書	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書
参加数 384	報告数 367	参加数 390	報告数 374	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数
(日環-91)「水中の残留農薬分析」⑧ シマジン (0.0028/0.0032) チオベンカルブ (0.021/0.018) mg/L		(日環-96)「排ガス中の成分分析」⑦ 硫黄酸化物 (260/220) 窒素酸化物 (100/120) mg/m ³		(日環-101)「水中の揮発性成分分析」⑨							
募集 29 年 10 月	報告書 30 年 5 月	募集 2019 年 2 月	報告書 2019 年 5 月	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書	募集	報告書
参加数 285	報告数 262	参加数 233	報告数 211	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数	参加数	報告数
参加数計 1857	報告数計 1769	参加数計 1767	報告数計 1688	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計	参加数計	報告数計
参加数累計 34561	報告数累計 33362	参加数累計 36328	報告数累計 35050	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計	参加数累計	報告数累計

※日環-96 から西暦表示

第28回総会
役員会 および
ワーキンググループ会議

オランダ・ロッテルダム

案内（第1版）

2019年10月



THE
2020 UILI
LABMEETING
オランダ規範
の設定

VRS

化学コンサルタント協会
110周年記念



年次フォーラム

役員会 ワーキンググループ

ドイツ、フランクフルト

開催案内 (第3版)

2019年10月



THE 2019 UIL LABMEETING

検査および認証にお
ける独立系分析

IAF - ILAC 2019
共同年会 同時開催

2019年10月24-25日 ドイツ・フランクフルト

2019 UILI LABMEETING

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1961



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الائتلاف الدولي للدراسات المستقلة والبيانات
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1961

Dear laboratory friends,

It gives me great pleasure to invite you to attend the '2019 UILI LABMEETING, Governing Board and Working Group Meetings' that the International Union of Independent Laboratories (UILI) will organize on October 24 - 25, 2019 in Frankfurt. Our event will be hosted by UILI and will be organized in conjunction with the ILAC Laboratory Committee Meeting.

Our UILI LABMEETINGS should be seen as an initiative to raise awareness for the importance of the laboratory (Testing) industry societal level. From this perspective, it also forecasts composite talks: many social and economic aspects of laboratory testing do pass in review by prominent speakers from around the globe. I refer to the website of UILI (www.uili.org). There you can find all information and documentation concerning the activities.

UILI wishes to thank VUP Deutscher Verband Unabhängiger Prüflaboratorien e.V. for their kind support in organizing the meeting.

UILI members, I would like to welcome to our LabMeeting. I express the expectation that the '2019 UILI LABMEETING' will give a valuable contribution to the image and authority of the laboratory industry in the world.

Yours sincerely,

UILI - Union Internationale des Laboratoires Indépendants

Drs Luc.H.A. Scholtis
14th UILI President



Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)



Association of Indian Laboratories (AOIL)



Asociación Colombiana de Laboratorios (ASOCOLAB)



Cámara Argentina de Laboratorios Independientes (CALIBA)



Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)



European federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories (Eurolab aisbl)



Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association (JEMCA)



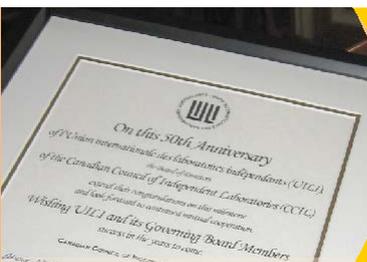
Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria (SoTLAN)



Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)



Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)



The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI) is an international organization representing the laboratory industry. Established in 1960, UILI membership includes over 3000 laboratories through Member Associations as well as individual ordinary Members.



PROGRAM 2019 UIIL LABMEETING

2019年10月24-25日、フランクフルト

時間	10月23日(水)
12:00 - 18:00	到着 / チェックイン
18:00 - 22:00	IAF - ILAC 歓迎会 (WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

時間	10月24日(木)
9:00 - 10:30	UIIL役員会(第1部) 於・Intercontinental Hotel 会議室「Mosel room」
10:30 - 11:00	コーヒープレイク
11:00 - 12:30	UIIL役員会(第1部) 於・Intercontinental Hotel 会議室「Mosel room」
12:30 - 14:00	昼食会 於・Intercontinental Hotel内
14:00 - 14:45	Wetzlar ヴェツラーへ移動
15:00 - 17:00	VUPによるLabtourラボツアー(ホテルを14:00に出発)
19:30 - 22:30	ガラディナー
22:30	Intercontinental Hotel到着



UIIL LABMEETING WELCOMES

The UIIL LABMEETING is open to all UIIL Members, representatives of laboratories and laboratory associations and their stakeholders. UIIL invites all registered attendees of the IAF - ILAC Joint Annual Meetings and members of the ILAC Laboratory Committee and the member of VUP.



2019 UIIL LABMEETING

2019年10月24-25日、フランクフルト

時間	10月25日（金）
09:00 – 11:00	UIIL役員会（第2部） 於・ Intercontinental Hotel会議室「Dresden room」
11:00 – 11:30	コーヒーブレイク
11:30 - 13:00	UIIL役員会（第2部） 於・ Intercontinental Hotel会議室「Dresden room」
13:00 – 14:00	昼食会 於・ Intercontinental Hotel内
14:00 – 14:15	・ 開会挨拶 第14代UIIL会長ルーク・ショルティス博士（VRS元会長、LabWing B.V. CEO—オランダ）
14:15 – 15:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 'コロンビアにおける独立系分析' ガブリエル・フォンセカ氏（ASOCOLAB会長—コロンビア） ・ 'スペインにおける独立系分析' ジョルディ・オリバー・ロデス氏（AELI会長—スペイン） ・ 'リスクと機会への対応—分析と評価' D・S・テワリ氏（AOIL会長—インド） ・ '欧州における独立系分析' UIIL副会長アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE会長、EUROLAB会長—ポルトガル）
15:15 – 15:30	コーヒーブレイク
15:30 – 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 'ドイツにおける独立系分析' アントン・ブルー氏（VUP常務理事） ・ '2018年中国計量証明ビジネスの集計' UIIL財務担当松村徹（JEMCA会長、いであ(株)常務取締役—日本） ・ '検査および専門ビジネスの発展における試験所認定の認証機能における独立系分析' R・B・シンク氏（AOIL事務局長—インド）
19:00 – 22:00	ホテル出発：閉会ディナー 於・ Union Internaiotnal Club レストラン「Villa Merton」 (住所：Leonhardsbrunn 12, Frankfurt)

2019年 UIIL LabMeetingおよび LabTour 運営協力：



Deutscher Verband
Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.
Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

UIILはVUPの協力を感謝申し上げます



PROGRAM 2019 UILI LABMEETING

2019年10月24-25日、フランクフルト

時間	10月26日 (土)
13:30 – 17:00	ILAC Laboratory Committee 試験所委員会(WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

時間	10月27日 (日)
11:00 – 17:00	ILAC Laboratory Committee 試験所委員会(WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

時間	10月28日 (月)
13:00 – 17:00	ILAC General Assembly 総会 (WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

時間	10月29日 (火)
夕方	ILAC- IAF Farewell Reception 閉会レセプション(WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

時間	10月30日 (水)
13:30 – 17:00	ILAC General Assembly 総会 (WEB申込 www.iafilacmeetings.org)

日程と会場

- IAF - ILAC 共同年会 (10/23-30)
- UILI Labmeeting 2019 10/25 (金)
- UILI 役員会 ラボツアー 10/24 (木)
於・フランクフルト

会議登録

Interested parties can register as a participant through online registration form via the website UILI: www.uili.org or by sending an e-mail to the UILI (secretariat@uili.org).

協賛金募集

Given the worldwide nature and perspective of this meeting, we consider it to be a good opportunity for international suppliers to the laboratory sector to be represented in such a relevant event. For this reason if your company is interested in being one of our main sponsors, together with other influential companies from our sector please contact us by sending an e-mail to secretariat@uili.org and we will provide you all the information about it.

参加費

LabMeeting 2019 パック : € 475,00 *

上記の含まれるもの:

- ILAC IAF 歓迎レセプション € 100,00
- ラボツアー (昼食付) € 100,00
- ガラディナー € 100,00
- LabMeeting (昼食付) € 75,00
- 閉会ディナー € 100,00

*その他の費用は参加者の間で折半とする



UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

**試験所産業のグローバルプラットフォームに
UILIのこれから**

**ルーク・H・A・ショルティス博士
第14代 UILI会長**

LABMEETING 2019

2019年10月
ドイツ・フランクフルト

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合會

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

UILIの紹介

- The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI)
- 試験所産業を代表する国際組織
- 1959年3月13日パリにて設立、1960年9月2日ハンブルグにて創業
- 1961年6月15日、フランスに登録
- 会員試験所数は1500を超える
 - 会員協会
 - 正会員
 - 賛助会員
 - 名誉会員
- 役員会
 - 会長 : Drs Luc H.A. Scholtis (フランス)
 - 前会長: Dr. Manahan Fernández Alonso (スペイン)
 - 副会長(上席): Dr. Álvaro Silva Ribeiro (ポルトガル)
 - 副会長: Mr. Jordi Oliver-Rodés (スペイン)
 - 財務担当: Dr. Toru Matsumura (日本)
 - 事務局長: Mrs. Mary-Anne Adeeko (ナイジェリア)
 - 事務局:
- 非協会会員代表
 - Mr. Jan Soers (オランダ) and Mr. Alfredo Montes Niño (プエルトリコ)



Representing the global laboratory industry

18-6-2020 · · · 2 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

歴史 (1960年設立)

- 1959年3月13日フランス・パリにて第1回会議開催
- 1961年6月15日フランス法務省よりUILI登記証明書を発行される
- 歴代会長 (1960-2015)
 - ✓ G. Wolff (1969†), France 1960-1963
 - ✓ Jhr. drs. H.Ph. Boddaert (1984†), The Netherlands 1963-1968
 - ✓ Dr. M. Barent (1978†), United Kingdom 1968-1973
 - ✓ Prof Dr. W. Fresenius (2004†), Germany 1973-1978
 - ✓ Dr. B. Oliver-Rodés (2017†), Spain 1978-1984
 - ✓ H.K. Hochschwender (2005†), USA 1984-1990
 - ✓ Dr. K.J. Albutt (2012†), United Kingdom 1990-1995
 - ✓ Drs L.H.A. Scholtis, The Netherlands 1995-1999
 - ✓ R.L. Harris, USA 1999-2003
 - ✓ G.G. McIntee, Canada 2003-2007
 - ✓ Dr. M. Dorado-Gonzalez, Spain 2007-2008
 - ✓ Dr. H. Tabata, Japan 2008-2011
 - ✓ Dr. Manahén Fernández, Spain 2011-2015
- Constitution








18-6-2020 · · 3 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIAO INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNION INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

UILI会員

- 会員協会
 - アルゼンチン・カナダ・コロンビア・インド・日本・オランダ・ナイジェリア・ポルトガル・スペインの試験所協会
- 正会員
 - アルゼンチン・ブラジル・カナダ・チリ・フランス・ギリシア・インド・イラン・アイルランド・日本・マレーシア・オランダ・ナイジェリア・サウジアラビア・シンガポール・南アフリカ・スペイン・ポルトガル・トルコ・英国・米国・ウルグアイ
- 賛助会員
 - 試験所供給者
- 名誉会員
 - Jhr. drs. Henri Phoenix Boddaert († 1984), Prof. Dr. Wilhelm Fresenius († 2004)
 - Dr. Benito Oliver-Rodés († 2017), Herman K. Hochschwender († 2005)
 - David H. Stanger, Dr. Kenn J. Albutt († 2012)
 - Jhr. Robbert J.H. Boddaert, Dr. Hideo Tabata and
 - Dr. Manahén Fernández Alonso




The present membership represents over one thousand laboratories offering a diverse range of laboratory testing and consulting services. UILI has members throughout Europe, North- and South America, and the Middle and Far East.

18-6-2020 · · 4 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

会員協会

AELI Asociación Española de Laboratorios Independientes, スペイン

AOIL Association of Indian Laboratories, インド

ASOCOLAB Asociación Colombiana de Laboratorios, コロンビア

CALIBA Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, アルゼンチン

eurolab European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories, 欧州

JEMCA Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association, 日本

RELACRE Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal, ポルトガル

SoTLAN Society of Testing Laboratory Analysts of Nigeria, ナイジェリア

VRS Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria, オランダ

国際独立研究所連合

18-6-2020 . . . 5 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1960

正会員

AI Hoty-Stanger Ltd., サウジアラビア

Edtech Associates Sdn Berhad, マレーシア

Eurofins Scientific Group, ベルギー

Tsakalidis, ギリシア

Flandres Analyses, フランス

Geo-Chem Laboratories PVT Ltd., インド

GEOS N.V., ベルギー

Microbionic Analises Laboratoriais Ltda, ブラジル

Nestec Ltd. Research Centre, スイス

The Company of Goldsmiths of Dublin, アイルランド

Vitsan Gözetim AS, トルコ

国際独立研究所連合

18-6-2020 . . . 6 .

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

UILI 會員協會

☐ Sotlan (ナイジェリア):

- A&B Laboratories and Consultancy Services
- AF Clichem & Company
- Alfa Laboratories Ltd.
- Alpha Chemcom Limited
- Analtrace Environmental Consultants & Laboratories
- Bato Chemical Laboratories Ltd.
- Clean Environment Systems Ltd.
- Dukoria Laboratories Limited
- Emachy Chemicals & Laboratory
- Erville Environmental Laboratories Ltd.
- Frals testing and consulting services Ltd
- Fugro Nigeria Limited
- Hydrochrom Resources Limited
- Interchem Ind. Ltd.
- Jawura Environmental Services Ltd.
- Kappachem Laboratory Services
- Lach Consult and Scientific Support Limited
- Mohby Analytical Laboratory
- MOYEZ Analab Resources
- Multi-Consult Laboratories Limited
- Najco Laboratories Limited
- Okeson & Chemical Associates Limited
- Pieris Scientific Labs & Consultancy Services
- Remaben Scientific Services Ltd.
- SAAG Chemical (Nig.) Ltd.
- Scientific Laboratory Services Limited
- Soulmate Laboratories Ltd.
- Tetras Environmental and Scientific Services Ltd.
- Unique Analytical & Diagnostic Lab Services Ltd

الليون الدولية لاربراتويرس انديپندانتس
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會

18-6-2020 · · 7 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

會員による協働



- ☐ ILAC, (国連)UNIDO、ISOおよび関係ワーキンググループへの参加
- ☐ ILACおよび関係タスクフォースへの参加
- ☐ 試験所専門家との交流の機会提供
- ☐ 技能開発支援
- ☐ 会議およびセミナー参加費の割引
- ☐ 事務局およびUILI会員からの積極支援
- ☐ 経営者ネットワークおよびその他試験所専門家との交流の機会提供



الليون الدولية لاربراتويرس انديپندانتس
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會

18-6-2020 · · 8 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

会員間コミュニケーション

- UILIウェブサイト(会員限定ページ)での情報提供
- UILIニュースレターおよびその他パンフレット
- 会員証
- UILI-ILP参加費、会員割引
- UILI登録会員に向けた定期刊行物
- 会議・セミナー・ラボツアーへの招待
- プロバイダーへのサービス特典






18-6-2020 · · 9 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DES UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

会議と活動

- 総会
- 役員会議
- 委員会
- LabMeetingsおよびセミナー
- ワーキンググループ会議
 - ISO/CASCO - ISO/REMCO
 - UILI- Eurolab
- ラボツアー



















18-6-2020 · · 10 ·



ワーキンググループおよび委員会

□ 執行委員会(幹部)

- Á. Silva Ribeiro
- J. Oliver-Rodes Sen
- L. Scholtis
- M. Adeeko
- M. Fernández Alonso
- T. Matsumura

□ ILP委員会

- Á. Silva Ribeiro
- L. Scholtis
- M. Fernández Alonso
- M. Sancho
- T. Matsumura

□ UIIL-Eurolab ワーキンググループ

- Á. Silva Ribeiro
- J. Sánchez Álvarez-campana
- L. Scholtis
- M. Fernández Alonso

□ ISO/CASCO ワーキンググループ

- A. Bag
- A. Denli
- A. Montes Niño
- A. Nájera Molina
- Á. Silva Ribeiro
- B. Soyler
- G. Mcintee
- I. Visiers
- J. Miquez Baños
- L. Scholtis
- M. Abbas
- M. Adeeko
- M. Kerekes
- M. Knockaert
- M. Yasoshima
- S. Mamedova
- T. Matsumura
- Y. Díaz Ramos



ILP INTERLABORATORY PRACTICE 2006-2014

- 1th UIIL ILP 2006: 粉体中の重金属
- 2th UIIL ILP 2008: 粉体中のPAHs及び金属
- 3th UIIL ILP 2009: 粉体中（底質）のPOPs及び金属
- 4th UIIL ILP 2010: 水中の重金属
- 5th UIIL ILP 2011: 天然水中の陽イオン及び陰イオン分析
- 6th UIIL ILP 2012: 高濃度塩水中の金属
- 7th UIIL ILP 2013: 飲料水及び塩水中の金属
- 8th UIIL ILP 2014: 純水中の金属
- 9th UIIL ILP 2015: 純水中の金属



ILP INTERLABORATORY PRACTICE 2016-2017

- 10th UIIL ILP 2016: 天然水中の陽イオン及び陰イオン
- 11th UIIL ILP 2016: ミルク中の脂肪、酸性度、乾物、タンパク、灰、含有量、pH
- 12th UIIL ILP 2016: オリーブオイル中の脂肪酸
- 13th UIIL ILP 2016: トウモロコシ粉体中の栄養成分分析
- 14th UIIL ILP 2017: 天然水中の硝酸、けい酸及びりん酸
- 15th UIIL ILP 2017: ワイン中のpH、濃度、アルコール度数、総酸度、総糖度(5項目)
- 16th UIIL ILP 2017: 洗濯・乾燥機による 破断点でのけん引・進展、耐摩耗性に係る寸法安定性 - マチゲール法 (5項目)
- 17th UIIL ILP 2017: 河川水の分析 (15項目 : 伝導率、底質、底質内硫化物、COD、BOD、炭水化物、大腸菌、洗剤、フェノール、金属)

تعاون دولتي تاربت خمدل ولودلدا دا جاتالدا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合



UIIL強化への礎石

- 会員増強
- 活動の質の向上
- 意見の発信
- 真のグローバルネットワーク組織の構築
- 健全な財務の回復
- 関係者とのパートナーシップ強化
- 可視性の向上
- 使命の実現化
- フレンドシップ先行の受容

تعاون دولتي تاربت خمدل ولودلدا دا جاتالدا

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際獨立研究所聯合會
FONDÉE EN 1950



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
國際獨立研究所聯合會
FOUNDED 1950

グローバルプラットフォームの構築

第26回ブエノスアイレス総会にて、当協会は次の取組みを決議した。

- 新規会員の受け入れ
- ISO/CASCOワーキンググループ – WG ISO 17025 出席
- エカテリンプルクおよびベルリンにおけるISO/REMCO会議出席
- ILP プログラム – プロバイダーの拡充
- 執行（幹部）委員会の設置
- UIIL – Eurolabワーキンググループ – 2017年5月に戦略的提携協定締結
- ラボツアー – 2015年: Microquim and Pro Analysis社, 2016年: Fare Labs社, 2017年: Atlas社
- ASOCOLAB およびAOIL
- 2017 UIIL LabMeeting (コロンビア、ボゴタ)
- 2016 UIIL LabMeeting (10/27-28インド・ニューデリー)

國際獨立研究所聯合會

27-10-2016 · · 15 ·

試験所ビジネスのグローバル化

試験所ビジネスの妨げとなる規制や国内法との調和

試験所ビジネスグローバル化の見方

1. 試験所産業で国内法がどうグローバル化を妨げているのか？
2. 試験所産業にとっての挑戦は？
3. ゲームルールは変えられるか？
4. シフトへの参加に考慮すべきことは？
5. 今後やるべきことは？
6. 試験所の役割は？



概要

試験所業界におけるパートナーシップが、増え続ける国やセクターおよび地域における規制、基準、認定、および認証に影響を与え得るものとして焦点を当てた。

この傾向は、グローバル市場、研究やイノベーション、垂直・水平統合の可能性の妨げになっている。

研究がどのように商品事業となり、コストドライバーやキャパシティロード、市場、ビッグデータが新しいビジネスチャンスを生み出すことを説明する。

グローバル産業セクターにあるUIILが、将来果たせる役割を示す。



試験所の主な課題

グローバル市場で競争力を高めるには

- 固定費が高く、変動費は低い
- 労働集約型
- レポートで顧客のニーズに応える
- 様々な顧客とコミュニケーションをとる
- 過剰能
- データの再入力
- 価格インフレのリスク
- 製品とサービスのコモディティ化
- 問題のあるサンプルの特定

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



主な課題 供給者

縮小市場への対応

- 需要の変化
- 価格の更なる透明化
- 新しい販売体制
- 低価格技術
- 新しい試験手法
- アウトプットの増加
- 顧客のデータ取扱いへのサポート
- 顧客は最低価格に注目する
- 業務運営におけるコスト削減
- 供給者数の急速な減少（合併等）、残っているのはわずか
- 小規事業者はイノベーションを縮小傾向にある
- イノベーションへのコストが市場参入の妨げとなっている
- 調達部門の専門性強化がエンドユーザーとの接触の障壁となっている

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



主な課題 試験所顧客

サービスレベルの向上

- 市場優位な価格に対し、最高のサービスを選択する
- 期日内の試験所データ提出
- 仕様およびQA/QC基準に則ったデータの受信
- 追加コストおよび労力のない試験所データ再配信
- 全ての専門分野を網羅する試験所サービス
- 識別、傾向分析、またはモニタリングを目的とした、膨大な試験結果を処理する能力

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



主な課題 試験所規制当局および受益者

試験所規制当局および受益者にとっての主な課題:

- 試験所データの互換性
- 業界のルールや規制の遵守させる
- 測定の不確かさを最小限に
- 時間経過後の試験結果の安定性向上

- 目的への適合性、および分析手法の標準化
- 業界の技術革新や品質、および経済力をサポート
- 人類に安全で健全、持続可能な環境を提供
- 保健に係る費用削減

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA



ゲームルールを変えることはできるか？

競争面

- 事業撤退と価格低下を止める
- 原価および経営資源への優れた見通しよる、スポット価格および競争価格の設定

イノベーション面

- 小規模事業者に技術革新の機会を提供

財務面

- 参加による収益性向上
- 協力による市場シェアの安定化
- 購入コストの削減
- 販売価格の引き上げ：大量の 割合微増

運営面

- 運用プロセスの透明化により顧客満足度を向上
 - * 地元の生産者がグローバルの事業展開する, * 旅行産業により、毎日の事業は最適化されている

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

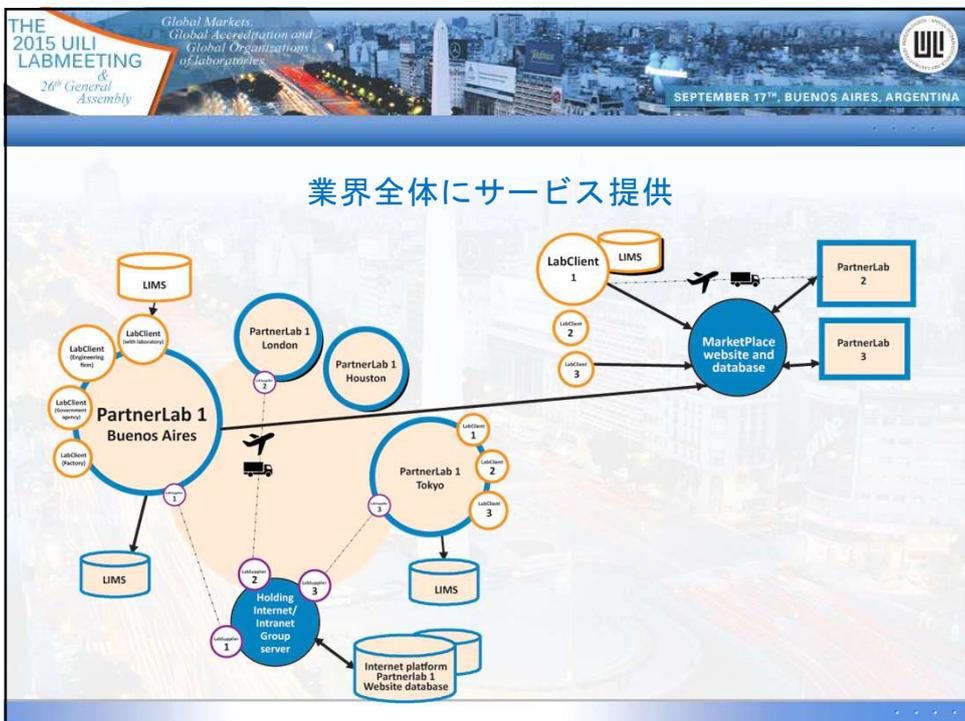
Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

市場

e-labサービスの利用による、コミュニケーション、市場、取引：

- Skyscanner
- Alibaba、およびEtsy



THE 2015 IULI LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

試験所が収益を上げるには

収益性の向上:

- 業務量の最適化（負荷率）による固定費の削減
- 購入費の削減
- 運営プロセスの改善：一度で正しく

業務量の最適化

- 全シリーズと最適化されたバッチ計画

売上増加

- 新規顧客開拓を目的とした別の販売経路

長年の顧客関係の構築（満足度？）

- 顧客の要望による、様式、レポート、およびデータカット

THE 2015 IULI LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

供給者が収益を上げるには

顧客、およびその顧客と同一市場への参入

- 供給者ではなく、長期パートナー関係の構築
- 単一のオーダーポイント創出
- 営業部門の費用対効果、コスト意識を向上
- エンドユーザーの需要の掌握
- 販売および流通網の拡充
- グローバル市場における価格下落に対する管理能力向上

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

試験所の顧客が収益を上げるには

- 試験所データの再配布にかかる費用の大幅削減
- エンドユーザーに対し、カスタマイズのデータを提供できる能力向上
- 試験プロセスと、データへの24時間365日アクセス
 - 納期のリアルタイムモニタリング
 - 予備試験の結果に対する、全ての警報・警告の完全な把握
 - 品質の直接管理
- 科学データの多言語・多文化処理
- 自身のネットワークへの入口を1か所用意、コミュニケーションの共有

THE 2015 UIIL LABMEETING & 26th General Assembly

Global Markets, Global Accreditation and Global Organizations of Laboratories

SEPTEMBER 17th, BUENOS AIRES, ARGENTINA

試験所規制当局および受益者が収益を上げるには

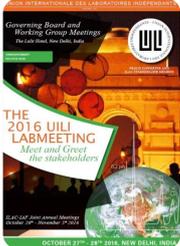
- 政策情報への容易なアクセス**
 - 耳と目
- 健全な社会の構築**
 - 影響測定
 - 政策実行の実績
- 政府支出の削減**
 - 払い戻し費、モニタリング費、法執行費
- 試験所産業の強化**
 - イノベーション



2016 UILI LABMEETING インド・ニューデリー 10月27・28日

UILIの主方針に、各国役員を通じて、世界各地の試験所が抱える課題に直接触れられることがある。本年協会は次の2つの事業を実施した。:

- 10月26-28日、UILIインド・ニューデリー役員会開催（ILAC年次会と同時開催）
- “UILI LabMeeting”:UILIはAOIL（インド試験所協会）協力の下、Labmeeting開催に向け準備を進めている。各国専門家による試験所事業に係る講演を予定している。



OCTOBER 27th - 28th 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 29



2016 UILI LABMEETING プログラム

14:00 – 14:30 開会挨拶とステークホルダー会員の歓迎
Drs. Luc Scholtis, 14th President of UILI and Mr. Peter Unger, Chairman of ILAC

14:30 – 15:50 試験所産業の成長のため、「グローバル」認定改善に向けてのチャレンジ
モデレーター: Dr. Manahén Fernández, Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain).

15:50 – 16:10 休憩

16:10 – 17:10 試験所産業の成長のため、グローバルプラットフォーム構築への認定ステークホルダーの協力
モデレーター: Ir Jan Soers, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium).

17:10 - 17:30 ディスカッション

18:00 – 22:00 ILAC/IAF歓迎レセプション ラリットホテルに於いて

OCTOBER 28th 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 30



試験所産業の成長のため、グローバル認定改善に向けてのチャレンジ
2016 UILI LABMEETING (第1部)

モデレーター: Dr. Manahén Fernández, Immediate Past-President of UILI, Past-President of AELI, Asociación Española de Laboratorios Independientes (Spain).

- 「グローバル市場での競争下におけるインド試験所ビジネス」
Mr. A. K. Nehra, President of AOIL, Association of Indian Laboratories (India).
- 「ヨーロッパの47試験所、9認定機関、および異なる国家規制に則った5つの認定範囲」
Drs. Hans van der Wart, President of VRS, Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria and CEO of Shield Group (the Netherlands).
- 「日本、中国、タイ、越南における試験所認定」
Dr. Toru Matsumura, Treasurer of UILI, President of JEMCA and executive director of IDEA Consultants, Inc. (Japan).
- 「アフリカにおける発展途上の試験所ビジネス」
Mr. John Wilson, Vice-Chairman of NLA, National Laboratory Association of South Africa and director of Accreditation & Metrology Services of Comtest Pty Ltd (South Africa).

OCTOBER 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 31



試験所産業の成長のため、グローバルプラットフォーム構築への認定ステークホルダーの協力
2016 UILI LABMEETING (第2部)

モデレーター: Ir Jan Soers, UILI Unaffiliated ordinary members representative and CEO of GEOS N.V. (Belgium).

- 「南北アメリカにおける認定ステークホルダーの協力」
Dr. Alfredo Montes-Niño, UILI Unaffiliated ordinary members representative and Managing Director of Microbióticos Paraguay-Uruguay-Brasil and Dr. Gabriel Fonseca, Executive Director of ASOCOLAB, Asociación Colombiana de Laboratorios (Colombia).
- 「日本環境測定分析協会 の取組み」
Mr. Masahiro Tanaka, President of JEMCA, Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association and General Manager of Tokai Techno Co., Ltd. (Japan).
- 「ヨーロッパの試験所協会：グローバルプラットフォームの構築」
Dr. Álvaro Silva Ribeiro, Vice-President of UILI, President of RELACRE, Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal and President of EUROLAB, European Federation of National Associations of Measurements, Testing and Analytical Laboratories (Portugal).
- ディスカッション

OCTOBER 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA

18-6-2020 32



UILI入会方法

ウェブサイト www.uili.org から入会申込書に必要事項をご記入ください。



國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會



我々は試験業界の大きな壁となっているか

- なぜ公平な競争環境が必要なのか？
- 問題に係るパートナーは誰か？
- プロセスに係るのは誰か？
- どのように試験所の公平な競争環境を整えるのか？
- 目標の実現に必要なものは何か？
- グローバルプラットフォームを実現化するための具体的な手段は？
- UILIがこのプロセスを支援するために行うことは？
- あなたがこのプロセスを支援するために行うことは？

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所聯合會



取引協会の伝統的な目的

- 技術協力
 - 認定 – 認証 – 標準化 – 計量学 – 試験所間
- 代表活動と、利益を守ること
 - 政治 – 政府 – 法律および規制
- 個人活動の運営と促進
 - 戦略展開のための部隊を作る
- 試験所産業を促進する
 - 試験所が与える影響に係る公共イメージを作る

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合



公平な競争環境はなぜ必要か

- 試験所の利益のため
- 試験所の顧客の利益のため
- 規制当局の利益のため
- エンドユーザーの利益のため
- 供給者の利益のため

國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所聯合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 اتحاد المختبرات المستقلة الدولية
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

公平な競争環境はなぜ必要か 試験所

- 強固な業界
- 持続可能性
- 商業経済
- 競争
- 脱落 / 生き残り
- 人材
- 継続性
- 未来
-

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 اتحاد المختبرات المستقلة الدولية
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 37 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 اتحاد المختبرات المستقلة الدولية
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

公平な競争環境はなぜ必要か 試験所顧客

- 効率性
- 費用対効果
- 価値あるパートナーシップ
- 長期継続性
- エンドユーザーへの透明性
- 結果に係る議論は行わない
-

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 اتحاد المختبرات المستقلة الدولية
 國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 38 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

**公平な競争環境はなぜ必要か
供給者**

- イノベーション
- 多くの顧客の確保
- 市場の確保
-

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 41 ·

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

なぜ我々は壁を築くのか？

自己防衛？

事業利益を守るため？

誰が何かを/誰を守っているのか？

國際聯盟的獨立實驗室
 國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 42 ·



試験所と自己防衛

- 企業機密
- 競争優位性
- 短期売上
- 魅力的な経営者
- 取引競争での復讐

القائمية المتحدة للبحوث المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



認定機関と自己防衛

- 独占を維持
 - ILACが、認定機関が自己の市場を守るよう指導する限り
- MRAは排他性の維持に利用されている
- 法的地位を確保するため政府と近い関係にいる
 - 安全な独占
- 翻訳版文書の許可
- 閉じたグループでの業務（署名／承認関係）

القائمية المتحدة للبحوث المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



規制当局、業界団体、標準化機関、 計量インフラおよび自己防衛

- 国家 対 地域 対 業界
- 法規制に試験を取り組むことで法的枠組みを作成しない
- 小さな規則は法律ではなく、ガイドラインに
- 業界団体は、標準にはならないガイドラインを作成
- 標準化機関は、自国産業の防衛プロセスを減速させる

دولتتونى تارابت خومىللى يولودىلا داچاتالار
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



影響を与える側とその手段

- ILAC, EA, IAAC, ARAC, ETC..
- ISO および各国標準化機関
- WTO
- 国連, UNIDO
- 計量法
- 産業
- 試験所

دولتتونى تارابت خومىللى يولودىلا داچاتالار
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



課題の理解

- 同等の試験結果は、単なるお金の無駄遣いではない！
- 認定は、互換性を追究しない

القائمه العالميه لرابطه المختبرات المستقله
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



UILIがプロセス促進の助けとなるには

- 課題の洗い出し、棚卸しと整理
- ビジョンの拡散
 - 我々が配信するのは互換性のある結果だけ
 - 我々が配信するのは意味のあるデータだけ！
- 我々の試験を評価 – 証拠の提示
 - 問題の、更なる迅速な明確化
 - 過剰対応の削減、試験の関連性に注目
- 専門家は全ての人に対して同等の説明を

القائمه العالميه لرابطه المختبرات المستقله
國際聯盟的獨立實驗室
國際獨立研究所連合



どう始めるか

プロジェクト3つで始めよう

安全な食品 – 農業、もしくは食肉

安全な水 – 飲料水、陸水

安全な化学物質 – 農薬

دولتتونينملا تارابت خمدلل ولودلا داچاتال

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合



目的の実現化にすべきこと

プロジェクト立ち上げのチーム

開発予算

目標設定、進行管理

市場試験で公平な競争環境を促進

دولتتونينملا تارابت خمدلل ولودلا داچاتال

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
اتحاد المختبرات المستقلة الدولية
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ご清祥ありがとうございました

UIILとの活動にご興味をお持ちの場合は

PRESIDENT@UIIL.ORG
までご連絡ください

تلقوا مني بالتحية والتقدير من قبل يولودا داغاتال

國際聯盟的獨立實驗室

國際獨立研究所連合

18-6-2020 · · 51 ·

2019 UILI LABMEETING

資料P

スペイン独立系試験所

各位

まず、Lab Meetingご出席の皆様には参加へのお礼と、残念ながら欠席された方々に日頃の感謝を申し上げます。

AELIの2018年の活動報告と2019年の活動予定については軽く触れるつもりではありますが、会長へ提出済みと記憶しており皆様には適宜お問い合わせいただくこととして、ここではスペイン市場の自由競争に詳しく触れたいと思います。

私どもの主な取り組みは、FELABとの協力の下で行われるものもあり、スペイン政府はこの2つの試験所協会をまとめて扱います。:

ENAC（スペイン認定機関）との協同 - 技術文書の開発

-行政との対話

-法的主張

-昨年、関係者に対し、最新のISO/IEC 17025改定点に係る講演を2件実施した

-様々なトピックに関して定期的な情報を配信している

上記に加え、現在、自由競争市場に注目しています。ここで重要なのは、本件が長期に渡って問題になっていることです。

業界での自由競争防衛を目的に、2008年理事会の承認を経、AELIは専任の技術事務局を雇用しました。

その後、2009年、日々の活動管理を目的とした競争防衛委員会が設置されました。委員は協会の理事、準会員、協会関係者、アドバイザーで主に法律分野の方々に、協会会長である私（オリバー氏）が指名しました。

本件への取り組みが始まって11年、我々はこの課題についてよく学び、活動は改善、体系化してきました。

取組を開始してから、わずかに見えるかもしれませんが、着実に進展しています。次に、その実績を紹介します。：

-計量法開発に係る王立令の草案の変更

-AENORブランドが原因での戦いが終わっていない場合でも、AENORをノーマラーザーと認証者の2つの異なる法人に分割させる王立令の版

-全国競争委員会との流動的な対話

-本件に係る様々な法的手続き開始

次に、公開できる限りの業務案件をご紹介します。：

1. ムルシア市 保全技術センター (CTC)

CTCの事業の全（あるいは一部）費用に充てられた補助金としての公的資金の利用が、自由競争を損なっていることとして疑問視されている。

状況：EC介入後の2007年に透明性に係る基本合意が締結され、現在、調査研究に向けられた公的資金は、未だ商業活動の費用を賄うのに使用されているように思われ、本件の扱いはECに戻された。

2.- AFITI-LICOF

生じている問題は、工業省（Ministry of Industry）の公的財産と土地の、民間事業者による利用。このことは費用や社会的イメージの面で優位性をもたせ、市場は試験所が省庁に所属しているように感じ、当該事業者は公的機関であるかのように振舞うようになった。

状況：上述の事業者は工業省への参照やシンボルマークを使用できず、どの公的資金も受けられないこととなった。保留中の問題は、費用面で優位性を高めている、工業省の施設や土地の利用を停止させること。

3.- GMP + International社

オランダに拠点を置く事業者GMP + International が、認定試験所の認定を停止させ、試験所認定と並ぶ独自の試験所登録制度を作る認証スキームを確立させた。

状況：ENAC、EA、RVA（オランダ認定機関）およびGMP + International社の前に、いくつかの措置をとった。その一つが、GMP + International社の認証スキームがRVAの認定を受けたものではないことを示さなければならないことを忠告する文書の提出。

GMP + International社が、認定試験所は要求事項を十分に満たしているものと認めない限りは、この活動を継続する。

4.- 生態移行省 (Ministry of Ecological Transition)

問題は、スペイン政府が行政機関を対象に生態学的要件についての法制化を始めていること。これは、遠かれ近かれ、公共分野の業務を請け負う試験所にも影響する。

状況：生態移行省に対し、法整備の際には我々の意見「を考慮するよう要望した。その結果、我々に影響を及ぼす可能性のある法律を制定する際には、我々の意見を考慮するとの回答を得た。

5.- 国家技術・食品安全センター (National Center for Technology and Food Safety)

問題は、商業活動の費用に公的資金が使用される可能性があること。

状況：ナバラ商事裁判所に依頼してセンターの口座を調査、上記に該当すれば罰せられる。

6.- アンダルシア委員会 (Junta de Andalucía)

最近交代した新政府に対し、政府系試験所には民間試験所と競争させないことを確約させる。

最後に、皆様のご参加に改めてお礼申し上げます。皆様の変わらぬご協力なくしてはこのような行事を行うことができません。感謝申し上げます。

ジョルティ・オ
リバー・ロデス
UILI副会長
AELI会長

リスク及び機会

- **DEVI SARANTEWARI**
- 会長
- インド試験所協会 (AOIL)

リスク及び機会

- 未来に向けて、リスクを負う。
-
- 新しい道には、リスクか（と）機会の可能性がある。
 - 当然、リスク評価と、リスクを最小限に抑える手段が求められる。
 - ISO/IEC 17025:2017では、リスクのシチュエーションを示している。
 - 手順は、規格では要求せず試験所に委ねている。
 - 問題は；認定機関が負ったリスク及び機会に同意するかということ。

リスク及び機会

- リスク、リスク評価、リスク予測：
- 例；

-
- i. 道路を渡るのに横断帯を利用するのは、基準であり、リスクはない。
 - この基準に従わなければリスクが生じる。
 - これに従わない者は、道路の両方向から来る車両を確認することでリスクを評価する。
 - 自身の横断能力で、車両と自分との距離と速度を確認し、リスクを最小限に抑える。
 - この結果、リスクがないと判断し道路を横断する。
 - ii. ISO/IEC 17025では、非標準や改訂標準法の検討を求めており、リスク削減を目的とする。
しかしながら、
標準化組織による方法が用いられなければ、サンプリングはリスクを含む作業となる。

リスク及び機会

-
- ISO/IEC 17025 (2005) では、公平性によるリスク軽減に重点を置いていた。
 - 試験所は、従業員が商業面・財務面の圧力を受ないようにしなければならない。
 - 標準化の道筋からの逸脱と、リスクの用語を使わないために：
 - 非標準法や試験所開発の分析法は、使用前に、適切に検証されなければならない。

リスク及び機会

ISO/IEC 17025 : 2017序文より; 5 ページ (最後の段落)

- 旧版からの主な改定点は次の通り：
 - リスクベースの考え方により、規範的な要求事項は少し削減、パフォーマンスベースの要求事項に置き換わった
 - 旧版に比べ、手順、手続き、文書化情報および組織の責任に係る要求事項の柔軟性が格段に高まった。
 - 「試験所」の定義が追加された。

リスク及び機会

-
- 規範的な要求事項を削除、パフォーマンスベースの要求事項に置き換えた；
 - これは試験所に立派な台座をもたらした；

内容は次の通り：

条項6.2.2 (人事) および条項8.5 (リスク及び機会) 序文では、試験所能力に価値を置いている。

これは歓迎すべき一歩で、CASCOはこれをリスクと捉える必要はない。

このことは試験所の取組みや業務の範囲を広げた。

リスク及び機会

- 非標準や未知の道を選択をすることはリスクを伴う可能性があり、リスク評価が求められる。
- 標準化は、その過程でリスク分析やリスク評価がなされ誤った行いをする可能性を排除しているため、標準法（分析や校正）ではそれぞれのタスクにリスクがない。
- 定義/標準から逸れることへの対策として、ISO/IEC 17025では、分析法を検証しリスクがないことを示すことを要求している。
- よって、標準化組織により文書化された手順に従った業務はリスクがないものと結論付けられる。

リスク及び機会

分析及び校正試験所の場合

- 試験所は、標準化組織が作成した分析法を用いて業務を遂行する。
- 更に；
- 非標準法や試験所開発の分析法については、検証し、リスクがないことを示すことが求められている。
- ISO/IEC 17025 : 2017（条項8.2）では、試験所に方針と手順の作成を求めている。
-
- ISO/IEC 17025 : 2017（条項8.5）では、リスク分析およびリスク回避のシチュエーションを特定している。

リスク及び機会

条項8.5の、リスク及び機会に関する分析

- 分析及び校正試験所において、標準化組織による標準や基準を使用、準拠する限りリスクはない。
- 標準化組織による標準に準拠する研究所と分析及び校正試験所は、リスクを回避している。
- 当項では、リスクマネジメントシステム/手順に係る公式文書作成への要求事項はない。
- しかし、条項8.5では、「リスク及び機会」のシチュエーションを定めている。
- 分析してみよう；
- ；

リスク及び機会

- 条項8.5； ISO/IEC 17025:2017；は次の事柄を要求している
- 試験所は、次の4つのシチュエーションにおいて、試験所活動に係るリスクを負うこと、機会を利用することを考慮する；
 - i. そのマネジメントシステムで意図した結果の達成を保障；

(例外的なシチュエーションで試験所独自の手順から逸れることが要求された場合、その新しい手順が目的とする結果を得られることを保障できなければならない。新手順は、マネジメントシステムの一部であり、目的の結果を保障するものとなる。)

- ii. 試験所の目的達成の機会を増やす；

(注-2: 範囲拡大の機会他)

- iii. 試験所活動における影響や潜在的な障害を防止、削減、理解する；

(試験所はその公平性に対するリスクを継続的に特定しなければならない； 3ページ 条項4.1.4 注釈)

- iv. 改善；

リスク及び機会

- そのマネジメントシステムで意図した結果の達成を保障；
- 試験所にとって例外的なシチュエーションを次に示す；
- 1月と7月には、2つの湿度計の校正を行っている。つい先日一方の湿度計が故障し、7月の校正が実施できない。試験所はこれに校正を行わず、新しい湿度計を入手するまではリスク分析を行いながら使用する判断をした。
- 試験所は湿度パラメーターや、同様の測定結果を出す他の正常な湿度計と比較することで、その機器は問題なく正しい湿度を示していると判断した。
- このようにリスク評価の新しい手順が開発され意図した結果を出しているため、その日から試験所のマネジメントシステムに組み込まれた。
- これは、要求事項「そのマネジメントシステムで意図した結果の達成を保障」を満たす。
- ISO/IEC ガイド 25には、試験所が自身の手順に従えない場合の、例外的なシチュエーションについての記述がある。

リスク及び機会

- ii.試験所の目的達成の機会を増やす；
- 注： 機会は、試験所の適用範囲拡大につなげる
活動、新顧客開拓、.....
- 従って、試験所が認定の適用範囲外の業務能力を有する場合は、その業務の認定取得を主張できることを意味する。
- 認定機関はこのような機会を受け入れるか？

リスク及び機会

iii. 試験所活動における影響や潜在的な障害を防止、削減、理解する；

(試験所はその公平性に対するリスクを継続的に特定しなければならない； 3ページ条項4.1.4 注釈)

iv. 改善を達成。；？

リスク及び機会

- 認定機関及び評価者：

- 以上の解釈が正ければ、認定機関は、ISO/IEC 17025:2017 の正しい理解促進のため評価者を教育しなければならない。
- 試験所に、ISO/IEC 17025の各項に対するリスク評価を要求しない
- 試験所に、リスクに係るISO 31000への準拠を要求しない。
- ISO/IEC 17025:2017は ISO 31000 を参照しないことが記載されるかもしれない。

リスク及び機会

ISO/IEC 17025 : 2005 Annex-B は削除されたが、認定機関はこれに固執しているのか？これはAPAC/ILACにとって、リスクとなるか。

- 主な管理者の次席を任命する。
- 品質管理責任者等を任命する。
- ここで指摘したいのは、条項「リスク及び機会」を組み込んだことで、試験所運営の、（チェックポイントではなく）支点が増えたこと。
- リスク：目的の不確実性への影響、
- ILACの目的は、認定機関が新しい標準に準拠すること

•
ありがとうございました



概要

- 1990年EUROLAB設立
- 世界の新しい（非）秩序
- 移行期のTIC産業
- EUROLAB 2.0 (今日の展望)
- EUROLAB戦略 – 見通し
- 2020年、EUROLAB 30周年 – 持続可能な未来に向けての分析



eurolab

*“I believe that the more you know
about the past, the better you are
prepared for the future.”*

過去を知るほど、より未来に備えることができる
セオドア・ルーズベルト

~ Theodore Roosevelt

3

1989年

- ソ連議会連帯が自由選挙枠で、ポーランド議会選挙を勝利
- ベルリンの壁崩壊
- チェコスロバキアハベル大統領就任
- ルーマニアニコラエ・チャウシェスク書記長退位
- バーナーズ・リーがWorld Wide Web創設





1990年4月27日 EUROLAB創設

設立目的

“1990年、公的および民間試験所の経営者グループがEurolab設立に向けてのイニシアチブをとったとき、共通のビジョンを掲げた：それは、**欧州内市場の調和は、製品、商品、環境の品質および安全性の向上を基礎とし、その両方を欧州民へ提供、グローバル市場における欧州企業の競争力を強化すること。**”。

Alan Bryden (EUROLAB 元会長 1990-1994年), Eurolab設立25周年記念誌より



マーストリヒト条約 (1991)

マーストリヒト条約としても知られる**欧州連合条約 (TEU)** は、欧州統合の転換点となった。

共通市場構築のための経済的目的は政治的な連合を促進することだった。**マーストリヒト条約において、EECの正式名称を欧州連合に変更された。**

マーストリヒト条約は、3つの柱を基本とする：

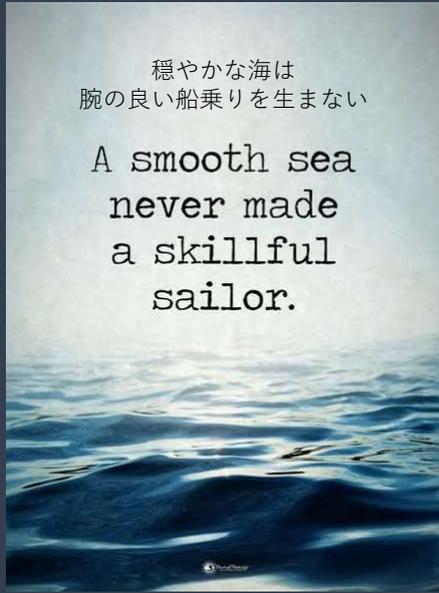
第一の柱は、中心にあり、確立されたEC、ECSC、ユーラトム条約 (**連合市民権、共同体政策、経済通貨連合**) を含む**共同体の側面**を持っている。

新しい柱は、超国家的能力ではなく、**政府協力**を目的としている：二本目の柱は、**共通外交・安全保障政策 (CFSP)** で、三本目の柱は、**警察及び司法協力**。

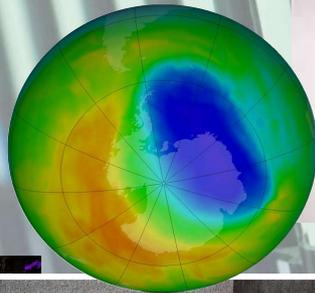
eurolab

穏やかな海は
腕の良い船乗りを生まない

A smooth sea
never made
a skillful
sailor.



世界の新しい（非）秩序





世界の新しい（非）秩序

VUCA

Volatile
揮発性

The environment demands you react quickly to ongoing changes that are unpredictable and out of your control
不可避、管理不可能な進行する変化への迅速な対応が求められる

Uncertain
不確かさ

The environment requires you to take action without certainty
不確かな状態での判断が求められる

Complex
複雑

The environment is dynamic, with many interdependencies
環境は動的で、多くの相互依存関係がある

Ambiguous
あいまいさ

The environment is unfamiliar, outside of your expertise
環境はなじみがなく、専門外のものである

認定及びグローバル市場
“測定なくして科学はない、
分析なくして品質はないそして
標準なくしてグローバルマーケットはない。”

欧州委員会、測定と分析、
欧州研究領域指向活動、高次専門家グループ)



eurolab

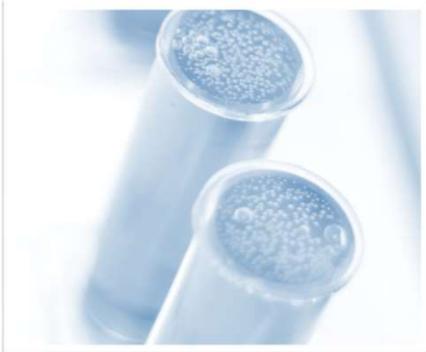


TIC産業の展望

(「Oaklins社。分析、検査、認証のポイント」より)

- 1. 規制や基準** 規制および規格（政府主導）は、より厳しく、複雑になる傾向にあり、食品、繊維、玩具、電化製品等の産業の健康と安全を保障している。
- 2. 外部委託** 大企業や国家機関は内部コストを削減するのにTIC活動の外部専門家への委託が増加、複雑なコンプライアンス問題を第三者機関へまわしている。
- 3. グローバル化** 取引増加につなげる。発展途上国からの輸入品は国際規格に準拠するための厳しい審査を通過する必要がある。
- 4. 製品の多様性と短いライフスタイル** 試験頻度や認証の申請が増加傾向、やがて業務量増加につながる。
- 5. 安全・品質管理** ソーシャルメディアの普及と低評価のリスクが、品質要件の必要性を高めている。
- 6. 収入の増加** 可処分所得の増加及び消費財の使用により、商品検査への需要が高まることを予想している。

eurolab



TIC産業の展望

分析、検査、認証 (TIC) 業務市場

グローバルマーケットの見通し



複合年間成長率 (CAGR)

eurolab

未来を予測する最良の方法は、未来を創ることだ。
 アブラハム・リンカーン

The best way to predict your future is to create it.

- ABRAHAM LINCOLN

13

eurolab

EUROLABは1990年4月27日、覚書きを締結、EECおよびEFTA 19か国から17の民間および公的試験所の署名によって、ブリュッセルで設立された。

EUROLABは、1998年10月にベルギー法（A.I.S.B.L. - Association Internationale Scientifique sans But Lucratif）の下で創設された国際機関で、正式名称は European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories（欧州試験所協力機構）。

Active Members

- Austria AUSTRALAB
- Belgium BELAB
- Bulgaria BULLAB
- Croatia CROLAB
- Czech Republic EUROLAB-CZ
- Denmark EUROLAB Danmark
- Finland Finnlabing
- France EUROLAB France
- Germany EUROLAB Deutschland
- Greece Hetaiolab
- Iceland ICELAB
- Italy ADP
- Netherlands FENELAB
- Poland POLLAB
- Portugal RELACRE
- Romania ROLAB
- Spain FELAB
- Sweden EUROLAB Sverige
- Switzerland EUROLAB CH
- UK BMTA

Associated Members

- Lebanon LEBLAB
- Macedonia FYROM
- Turkey TURLAB

International Affiliates

- ASCOLAB
- NLA-SA
- NCSL International



EUROLAB is an Associated Member of the TIC Council
 EUROLAB is a Member Association of ULI

26
 National Associations

3000
 Conformity Assessment Bodies

150k
 Professional Experts

9000
 Accredited Laboratories

主な目的

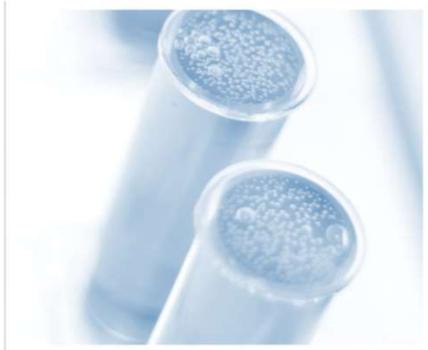
欧州及びワールドワイドな視点で、試験所に直接影響を及ぼす政治・経済・技術的問題について試験所の意見をまとめ、代表して発信する。

試験所分野に関心をもって活動している組織と連携し、作業や活動の重複を避ける。

EUROLABは多地域間を水平方向につなげる大きなフォーラムとして、次の分野の発展に係る情報や実績を共有させる役割を持つ：

- 検査、測定、分析法
- 法令及び指令の実施、商品認証、技術評価における検査および分析結果の利用
- 測定・分析の新技术。例) ECの枠組みプログラムや、
- 品質保証対策

eurolab



EUROLAB会員の活動分野

環境

建設・建築環境

計量・校正

農業・食品

消費財

製造

エネルギー

輸送

臨床検査

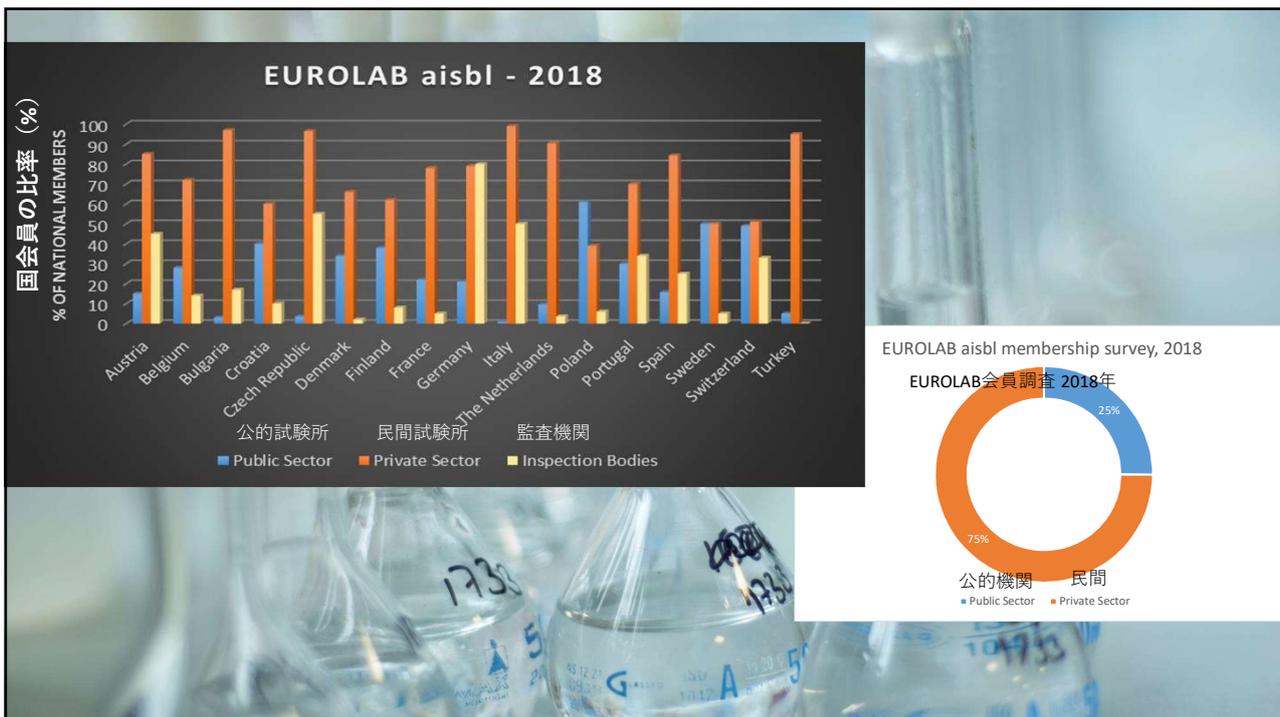
医薬品

法医学

生物医学



eurolab



生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。
それは、変化に最もよく適応したものである。
チャールズ・ダーウィン

**“IT IS NOT THE STRONGEST OF
THE SPECIES THAT SURVIVES,
NOR THE MOST INTELLIGENT THAT
SURVIVES. IT IS THE ONE THAT IS
MOST ADAPTABLE TO CHANGE.”**

Charles Darwin

EUROLAB 2.0 – 戦略の実行

<アクセス>

電子商取引
 梱包配達
 ジオブロッキング
 著作権
 VAT (付加価値税)

<環境>

通信とメディア
 オンラインプラットフォーム
 セキュリティと個人情報

<経済と社会>

データ経済
 標準
 技能と電子政府

持続可能な社会の目指すもの



#デジタル単一市場 の構築

EUROLAB 2.0 - 目的



コミュニケーション



協力



想像性

EUROLAB 2.0 – ターゲット



新規会員開拓



協力とネットワーク構築



イメージ共有・コミュニケーション



知識移転



増大する影響力

EUROLAB 2.0 – 焦点



企業の社会的責任
Corporate Social Responsibility



認定と標準化
Accreditation and Standardization



測定と校正
Measurement and Calibration



分析試験
Testing



未来の試験所
The laboratory of the future



EU方策
EU Policy



Lab of the future





Eurolab 設立30周年 (1990-2020)

3  **years**
(1990 - 2020)
eurolab

Testing for a sustainable future

持続可能な未来のための分析試験



eurolab

Thank you for your attention!

ご清聴ありがとうございました！



概要

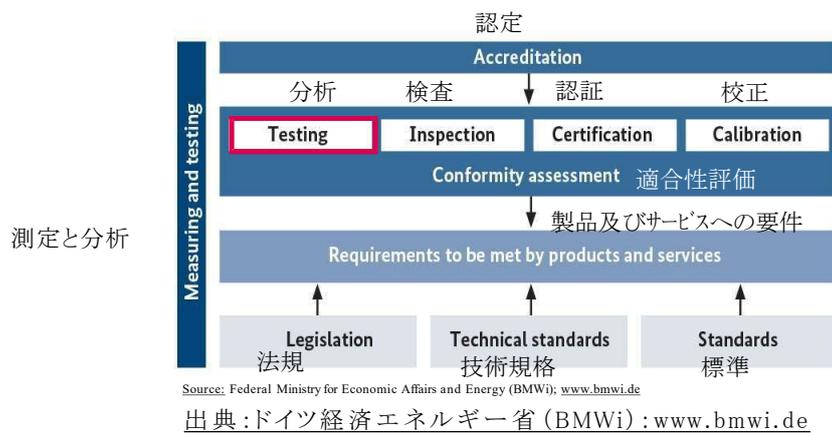
1. ドイツの独立系分析: 私たちの役割と市場
2. German Independent Laboratories Association (VUP e.V.、ドイツ独立試験機関協会)
3. トピックスと挑戦



1.ドイツの独立系分
析：私たちの役割と市場



ドイツの品質インフラ



(民間) 適合性評価機関

□民間もしくは公的機関による適合性評価

□適合性評価の3つの主要分野

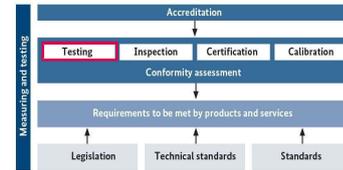
- 「ボランティアの」(民間「のみ」)
- 「法的規制」(国家が枠組みを設定、民間の適合性評価機関が試験を実施....)

□「政府の」(公的機関だけが適合性評価を実施する)

□ドイツの民間適合性評価機関分野

- ~ 5.300 適合性評価機関
- ~ 86.000 従業員
- ~ 売上 88億ユーロ

出典:ドイツ経済エネルギー省(BMWi);2013年ドイツにおける適合性評価および認定の見通し



(認定) 適合性評価機関

□数字で見るドイツ認定機関 (DAkKS)

株式による認定数

	2018年12月31日	2017年12月31日
Akkreditierungen im Bestand (Anzahl)	31.12.2018	31.12.2017
Prüflaboratorien 試験所	2.404	2.359
Anbieter von Eignungsprüfungen	23	20
Referenzmaterialhersteller	12	11
Medizinische Laboratorien 医療系試験所	449	445
Kalibrierlaboratorien 校正試験所	493	479
Inspektionsstellen	269	273
Zertifizierungsstellen für Produkte	323	320
Zertifizierungsstellen Managementsysteme	207	213
Zertifizierungsstellen Personen	52	54
Verifizierungsstellen	21	23
Gesamtanzahl der Akkreditierungen	4.253	4.197

小規模企業 (従業員10名未満) 小規模企業 (従業員50名未満) 中規模企業 (従業員250名未満) 大規模企業 (従業員250名超) 全体

企業規模による認定取得状況

	Klein- unternehmen (<10 Mitarbeiter)	Kleine Unternehmen (<50 Mitarbeiter)	Mittlere Unternehmen (<250 Mitarbeiter)	Große Unternehmen (>250 Mitarbeiter)	Gesamt
Alternatives Verfahren	12	1	1	3	17
Eignungsprüfungen	14	11			25
Inspektionsstellen	81	163	49	8	301
Kalibrierlaboratorium 校正試験所	393	156	12		561
Medizinisches Laboratorium 医療系試験所	53	209	158	15	435
Prüflaboratorien 試験所	844	1250	321	32	2.456
Hersteller von Referenzmaterialien	5	10	3		18
Verifizierungsstelle	13	13	1		27
Zertifizierungsstelle für Produkte	160	133	37	2	332

Tab.: Akkreditierungen im Bestand zum 31. Dezember 2018



独立系 分析及び校正

□独立系!?

- 第三者 (例:ISO/IEC17000「適合性評価活動は、目的およびその目的に係る利用者の興味に依存しない個人あるいは組織が行う」)

□公平性!?

- ISO/IEC 17025 適合性評価機関 – 分析及び校正試験所:
「試験所活動は、公正性を保つ(客観性)ために公平かつ構造化され管理されなければならない」

□VUP e.V. (規則):

- 所有権やその経済活動が公的機関の影響を大きく受けていない企業を独立企業とみなす。



VUP-市場報告：ドイツの民間分析及び校正試験 (2017年)



*民間(独立系)試験所(業務分野:分析業務のみ;政府系試験所および「組織内」試験所は除く)**
臨床/医薬系分析は除く:20億ユーロ

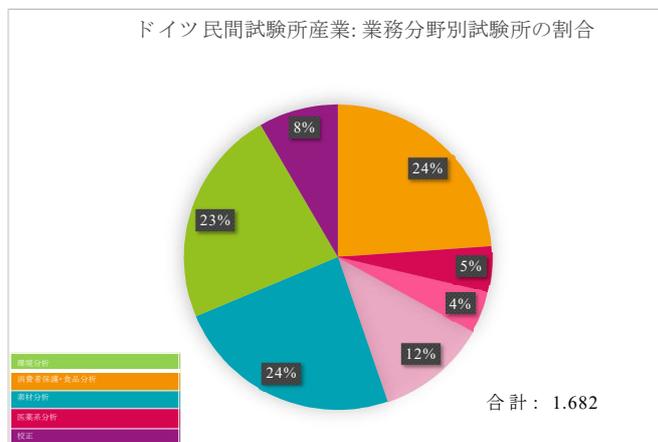


Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

8

VUP 市場報告 (2017) 詳細

ドイツ民間試験所産業: 業務分野別試験所の割合



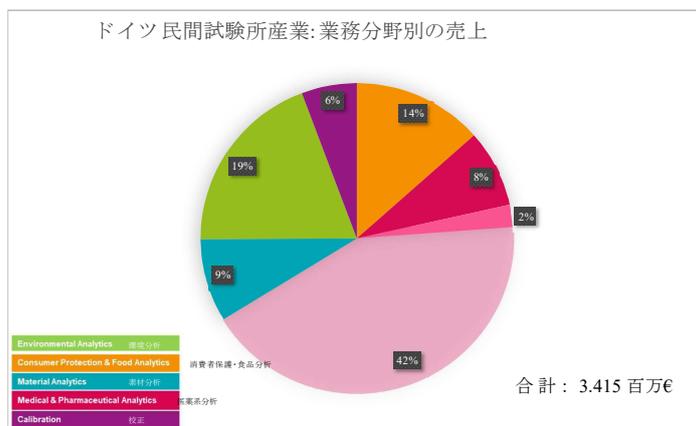
© VUP - 2017年市場調査



9

VUP 市場報告 (2017) 詳細

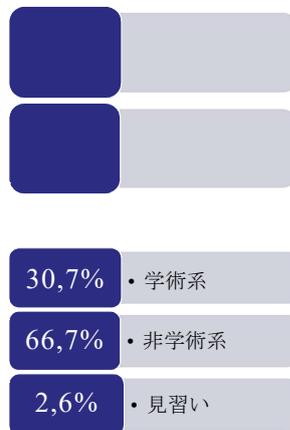
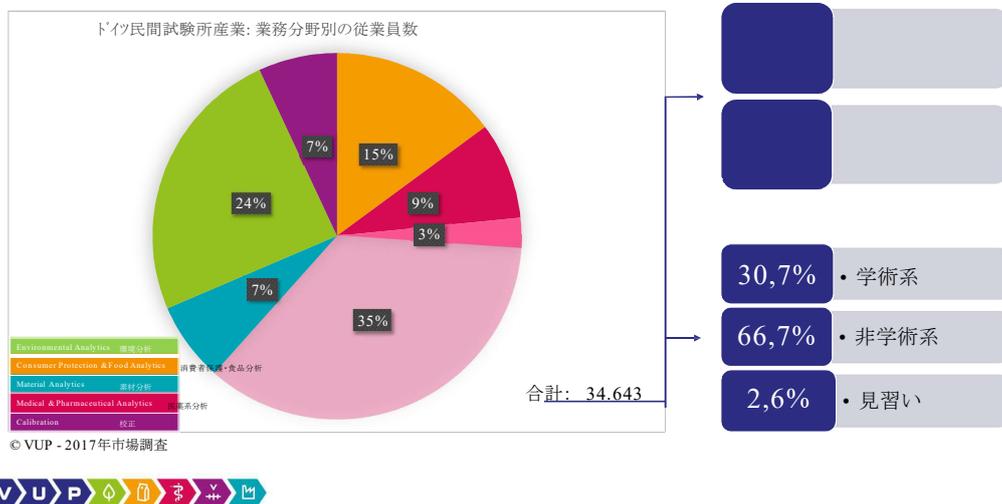
ドイツ民間試験所産業: 業務分野別の売上



© VUP - 2017年市場調査



VUP 市場報告 (2017) 詳細



11


 Deutscher Verband
 Unabhängiger Prüflaboratorien e.V.
 Unser Ergebnis ist Ihr Erfolg.

2. ドイツ独立試験機関協会 (VUP e.V.)

ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.)

- 1993年12月、独立系民間試験所の協会として設立
- 会員数630超えは、分析試験業界の5分野にて操業
- 代表理事(会長):アールトゥ・ホーフマン、AIR Analytik社
- 理事:アントン・ブルー(広報担当); スウェン・デューク(営業・会員担当)
- VUP所在地-ドイツ・ギーセン



ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 私たちの目的

§ 2 目的 (VUP 規則)

VUPは、ドイツで事業を展開し、製品の安全性と品質に加え、環境、健康、消費者保護のため、顧客に対し分析と測定サービスを提供する独立した民間試験所企業による協会。

私たちの目的は、品質、技能、持続可能性、経済的成功、および試験所業界の企業や起業家の認識を促進すること。

§4: 入会の基本要件:

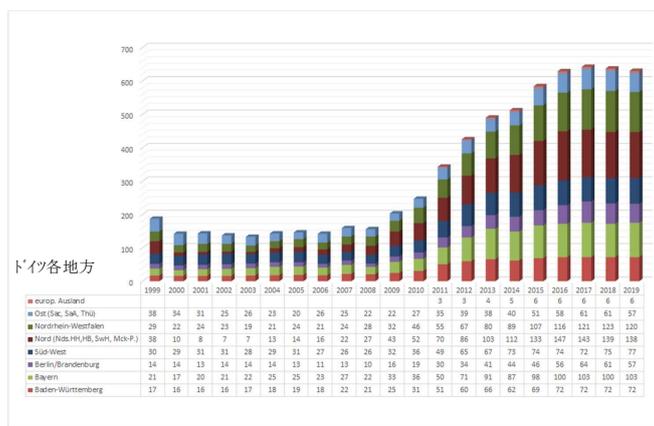
- 組織的に独立している
- 外部監査による品質管理システム(例えば認定)を持つ
- ドイツ国内で操業している



ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 歴史



ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 会員



Membership-Level (2018年12月31日現在): 正会員

(„本社“)	190	(187)
団体会員		
(„支店“)	422	(442)
賛助会員	21	(23)
合計	633	(652)

(): 2017年情報

VUP-会員及びその市場	2016	2017	2018
環境分析	284	286	286
消費者保護・食品安全	322	321	325
素材分析	303	312	313
医薬系分析	161	179	179
校正	50	55	46

ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 私たちの使命

- アドボカシー活動(国家政府、州政府、欧州)
 - 法規制、規範、品質保護システム
 - 能力評価、通知
 - 連邦システム内の「調和」
- 情報とコミュニケーション
 - 科学、技術、法律問題
 - 専門家協会との協力
 - ニュース
- 産業の振興
 - 会員の経済的関心を代表
 - 市場競争の観察と評価
 - 不公平な競争との戦い
- 教育訓練、ワークショップ
- サービス



ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 私たちの使命(実績) (2018年事業報告)

- **ロビー活動と情報**
 - 32 内部ヒヤリング、法関係のコメント、規制・認定の規則
 - 204 産業/業界 情報発信
 - > 10 専門メディアへのプレスリリース
- **委員会活動**
 - 320 VUP-代表参加者(188外部委員会)
 - 17 会議 (VUP委員会)
- **会員サービス**
 - 123 顧客からの人材紹介の要望に、応募者 394
 - 1 比較測定に参加者 4
 - 会員向けプログラム(参加費: ~ 165.000 €)



3.トピックス と挑戦



ドイツ独立試験機関協会(VUP e.V.) 最近のトピックと将来の挑戦

- 一般的な民間TIC業界
 - EUおよびドイツで築かれた品質インフラを保護する。(「新しいアプローチ」: 国家: 認定による品質保証、民間: 適合性評価サービスの実施)
- (経済的) 試験所産業の枠組み
 - 熟練技術者
 - デジタル化 / ラボ 4.0
 - サンプルング & 分析
- 品質管理と認定
 - ドイツ認定システムの将来
 - 認定および通知に係る要求事項
 - DAkkS運営に係る課題:
 - 認定の複雑さと費用
 - 評価の適用範囲と詳しさ、費用レベル、費用の透明性と予測可能性
 - 継続時間
 - 役所手続きの増加、「学術的アプローチ」、評価計画
- 特別消費者、健康、保護及び環境問題
 - 飲料水または工業用水中のレジオネラ菌
 - マイクロプラスチック
 - 医療機器分析

2018年中国計量証明ビジネスの集計



一般社団法人日本環境測定分析協会
会長 松村徹

計量ビジネスの特徴 キーワード

- ✔ **巨大**(市場) **技術産業**である
- ✔ **国家**(国際的にも) **基幹ビジネス**である(ものごとの**基準**、ものさし、取引、品質証明)
- ✔ **中進国**で(SDGs) **必要不可欠**(急成長)、**途上国**での大きな**将来性**がある
- ✔ 近い将来**国際間取引**(ボーダレスビジネス)となる、**基準を握った**(作った)者勝
- ✔ **成果品が無形**である(担保する何か(試験所認定、個人認証、技能試験)が必要)
- ✔ **周辺ビジネス船団**を形成可能(装置、消耗品、試薬、施設、試験所認定、標準物質、技能試験)
- ✔ **純粋なルーチンのみではない**ケースも多い(要コンサルティング等)



日環協の取り組み キーワード

- ✓ 試験所認定 (認定機関とのコラボレーション、ISO CASCO(適合性評価委員会))
- ✓ 技能試験 (日環協技能試験、セルフ)
- ✓ 標準物質 (技能試験試料、ISO REMCO(標準物質委員会))
- ✓ 個人資格認定 (環境計量士(e-ラーニング)、技術士(環境)、環境測定分析士)
- ✓ ハードウェアとのコラボレーション (メーカー賛助会員)
- ✓ 規格・メソッド (JIS、公定法、ISO) ヘリウム代替ガス研究会
- ✓ 国際情報 (海外の状況、ISO、ILAC、OECC) 国際委員会
- ✓ 相互会員他団体とのコラボレーション
- ✓ 顧客への情報発信 (日環協会員アドバンテージのPR)



中国語版：9800元
英語版：7800USD



第1章：质量检验检测行业发展综述

1.1 质量检验检测行业概述

- 1.1.1 质量检验检测行业定义及分类
 - (1) 质量检验检测行业定义
 - (2) 质量检验检测行业分类
- 1.1.2 质量检验检测行业产生背景
 - (1) 质量检验检测行业需求背景
 - (2) 质量检验检测行业市场主体

2.1 全球质量检验检测行业发展现状分析

- 2.1.1 全球质量检验检测行业发展概况
- 2.1.2 全球质量检验检测行业市场规模
- 2.1.3 全球质量检验检测行业竞争格局
- 2.2 主要国家质量检验检测行业发展现状
 - 2.2.1 美国质量检验检测行业发展现状分析
 - (1) 美国质量检验检测行业地位分析
 - (2) 美国质量检验检测行业市场规模
 - (3) 美国质量检验检测行业市场结构
 - (4) 美国质量检验检测行业竞争分析

第3章：中国质量检验检测行业发展分析

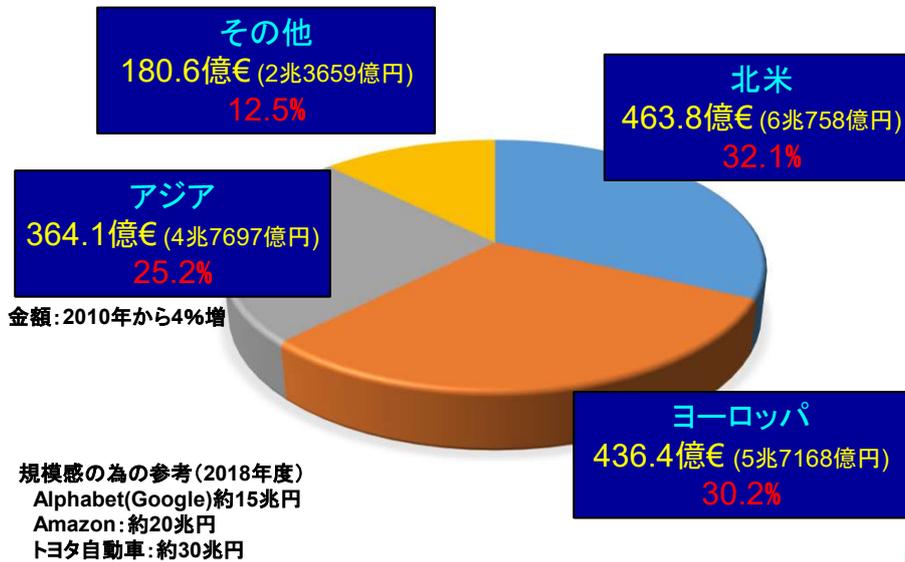
3.1 中国质量检验检测行业发展概况

- 3.1.1 中国质量检验检测行业发展历程分析
- 3.1.2 中国质量检验检测行业状态描述总结
- 3.1.3 中国质量检验检测行业发展特点分析
- 3.1.4 中国质量检验检测行业影响因素
 - (1) 中国质量检验检测行业发展有利因素
 - (2) 中国质量检验检测行业发展不利因素

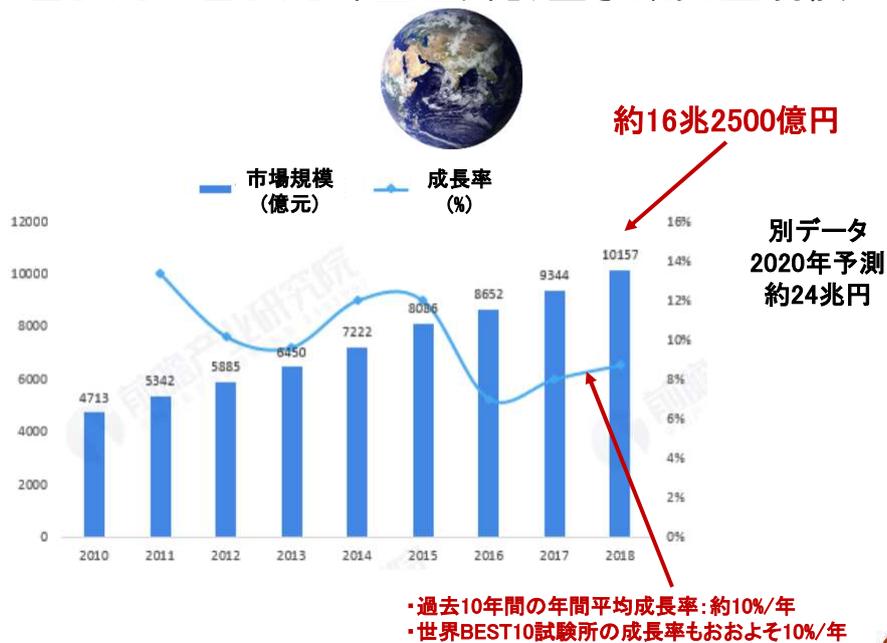


全世界の地域別市場規模(2017)

(売上1444.9億€(18兆9283億円))

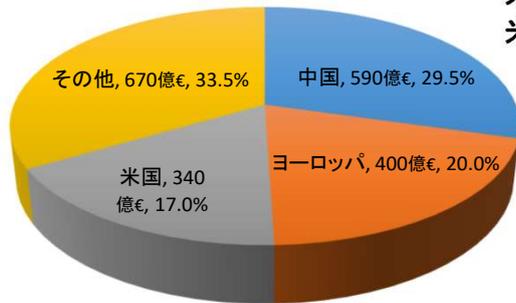


2010~2018年全世界計量事業売上規模



2020年全世界計量事業売上規模予測

中国: 7兆800億円
 ヨーロッパ: 4兆8000億円
 米国: 4兆800億円
 米国: 4兆400億円



中国メディアコメント
 キーポイントは、
 ・大型市場規模への対応
 ・国際的認証システムへの参画



2010~2018年中国計量事業売上規模



中国のメディアのコメント

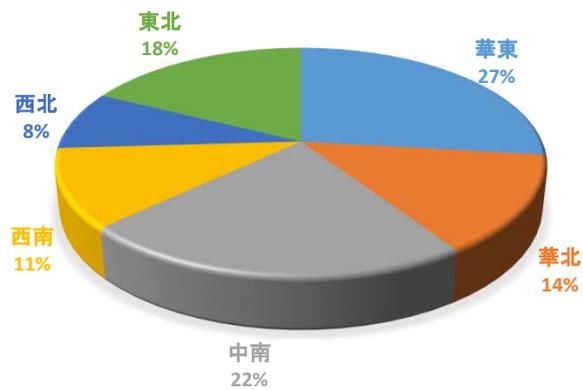
- ・国民生活の向上による市場拡大
- ・技術の開発スピードが早かった
- ・ハードウェアの新規導入/アップグレードが早かった
- ・民間事業の規制緩和と政府による支援(優遇政策, 免税, 特許)
- ・厳しい政府監督による品質向上(CMA(計量認証), CNAS(17025), 立入検査)
- ・国際的分業への対応に比較的成功的



試験所数と職員数



地域別の試験所数



・数としては首都圏など発展地域に多いが比較的均一に分布

中国内試験所の概要

平均では、約30名/試験所



39472家
8.66%↑

試験所数

約4兆5000億円



117.43万人
4.91%↑

従業員数

約383万円



2810.5億元
18.21%↑

売上総計



23.93万円
2.69%↑

売上/人



633.77万台
10.1%↑

登録機器台数



約5兆1000億円
3195.54億元
11.29%↑

機器資産

約1億1400万円



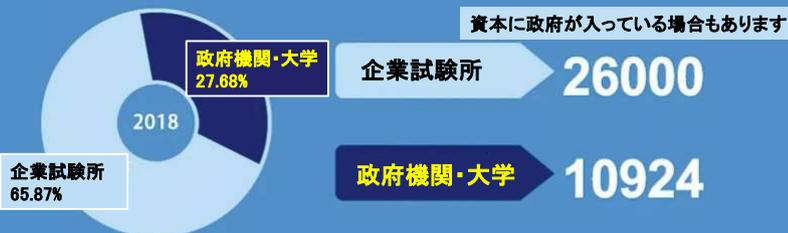
4.28億份
13.83%↑

発行報告書数



712.02万円
8.8%↑

売上/試験所



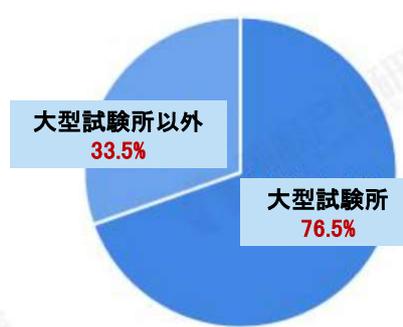
大型試験所(売上規模1000万元以上)の数と売上概要

約1億6000万円

試験所数

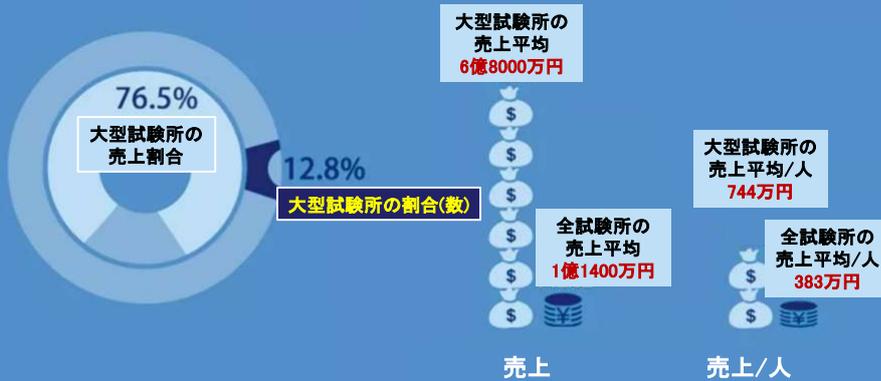


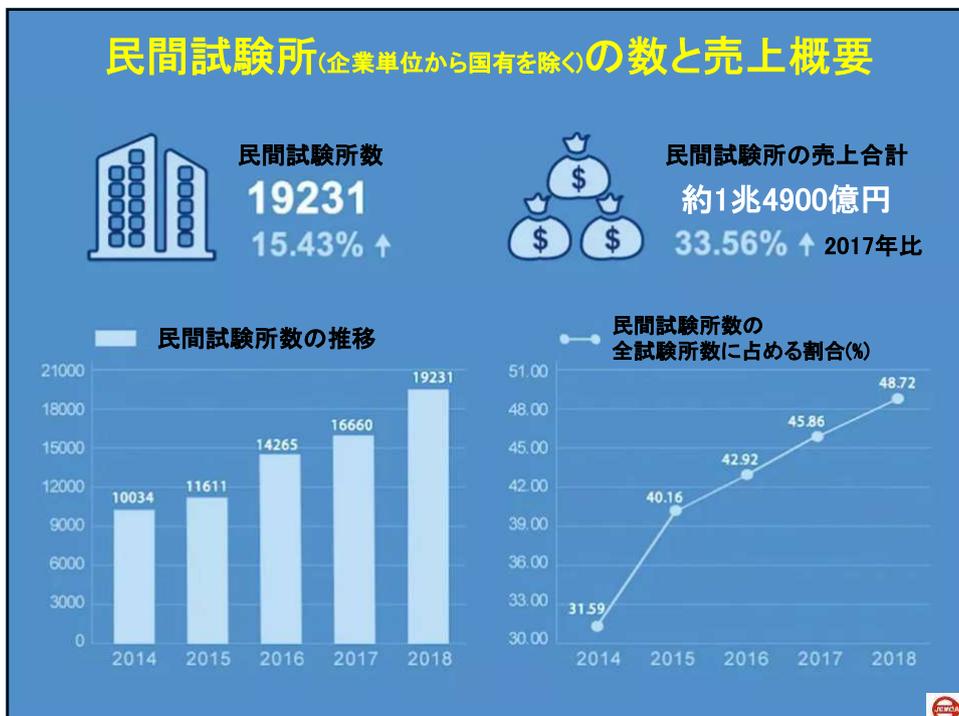
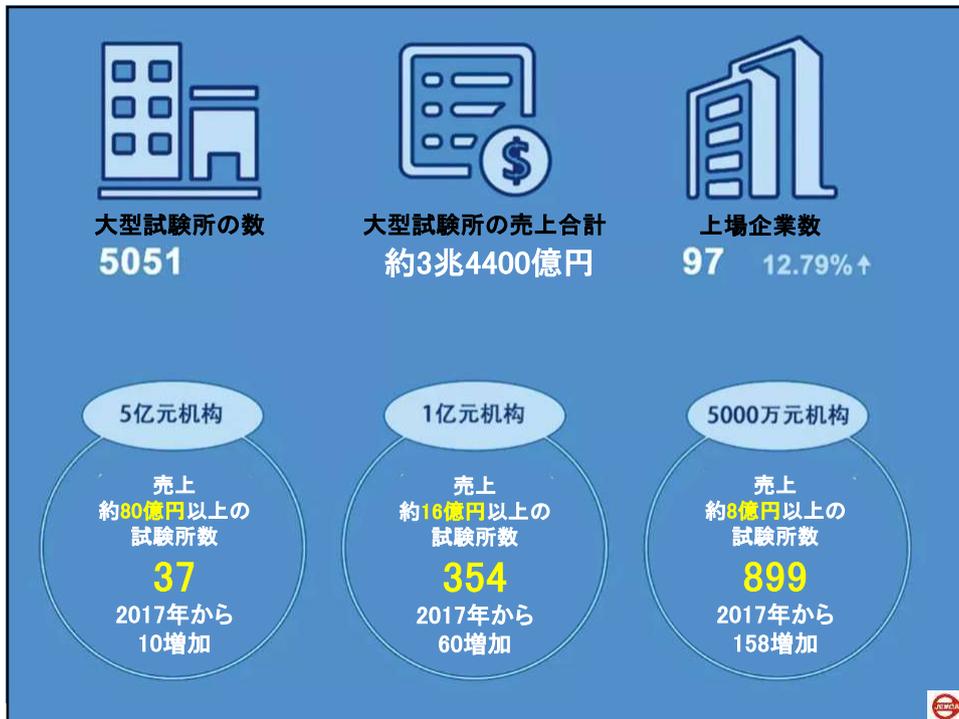
売上



大型試験所(売上規模1000万元以上)の数と売上概要

約1億6000万円





外資試験所(外資資本比率50%以上)の概要



外資試験所数

336

11.63% ↑

外資試験所の売上合計



約3200億円

0.67% ↑

外資試験所職員数



3.67万人

7.09% ↓

- ・外資試験所数は想像以上に多い
- ・試験所数は増えている(新規参入)全体としての売上は伸びていない
- ・従業員数は減少傾向



高度技能試験所の概要



認定試験所数 1861家

認定試験所率 4.71%



売上 約1兆1600億円

増加率 35.68%



研究開発費

約2530億円



研究開項目数

31627タイトル

- ・高度技能試験所の売上増加が顕著(差別化)
- ・試験所のランク付け(品質PRIにも有効)



中国政府及びメディアによる中国計量ビジネスに係るコメントなど

- ✓ 戦略的新興産業の育成と発展に関する国務院の決定
試験所ビジネス: 国家戦略的新興産業分野
- ✓ インターネット/インテリジェントで試験の供給レベルを改善
(国家としてのデータ集約システム、デジタルデータ、現場データ取得等)
- ✓ 中国国内旗艦チームの形成
(周辺技術とのジョイント、ハードウェア、CRM、PT、試薬、試験所認定など)
- ✓ 中国計量品質のブランド化(立入検査なども含めた品質管理)
試験所のランク分け(本質の高い試験所の客観的な根拠、国際的PR)
- ✓ 特定の分野分類ごとに専門的で大規模な品質検査機関を育成
品質監督検査検疫の開発のための第13次5カ年計画
品質検査産業の科学的発展の新たな目標
(品質監督検査検疫総局)



中国政府及びメディアによる中国計量ビジネスに係るコメントなど

中国として対処すべき課題

- ✓ 試験所の小規模分散をどうするか？
従業員数100人未満の試験所が96.33%
- ✓ 地域依存型(例えば州や市の業務に特化)してる試験所も多い
立入検査が全て実施できない
品質向上(ブランド化)の為の対策は？
- ✓ 民間試験所は技術的イノベーション能力に乏しい
(例: 国家検査機関48511特許、民間試験所の平均: 1.3特許)
国際競争力をいかにつけるか？



検査及び認証における独立試験 専門ビジネスの成長における試験所 認定の役割

R. B. シンク
事務局長
インド試験所協会-AOIL

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

発表の内容

- ▶ AOIL-インド試験所(ガジュマルの木)
- ▶ 本日のトピックス紹介
- ▶ 独立試験の概念
- ▶ 検査と認証の必要性
- ▶ 試験所認定の歴史
- ▶ 専門ビジネスの成長
- ▶ 試験所認定の役割
- ▶ 認定および認定機関とのILAC MRA(相互承認協定)
- ▶ 適合性評価機関の技術と経済への貢献
- ▶ 結論
- ▶ 参考



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

AOIL-インド試験所 ガジュマルの木

- ▶ 2015年、ガジュマルの木AOILは、試験所グループ、分析、校正、医薬、GLP-毒性試験に係る20の試験所専門家の強力な委員会により設立された。2016年、AOILはUILIに入会、理事会のメンバーとなった。



2

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

AOIL-インド試験所 ガジュマルの木

- ▶ 時を経て、AOILはインド全土の試験所を会員に持つの協会へ成長した。関係機関からは、AOILが試験所と認定機関、規制当局、および政府との懸け橋となり、調査、技術、専門試験所、検査および認証ビジネスとコンサルタントの政策と手順の策定および実行を行う、権威あるプラットフォームとして認識されるようになった。



3

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

AOIL-インド試験所 ガジュマルの木

- ▶ 2015年10月以降、AOILはIAF-ILAC中期会議および年会のIC、AIC、ARCおよびLC委員会に定期的に参加している。また、WG3、WG4およびLCを通じてVIM小委員会等のワーキンググループ活動にも参加している。



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

4

本日のトピックス紹介

- ▶ 7月17日のUILI役員会にて、AOILは2019年10月25日ドイツ・フランクフルトにおける、UILI LabMeetingでの講演依頼を受けた。



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

5

本日のトピックス紹介

- ▶ AOILはUILIシヨルティス会長へ、講演テーマ「独立試験、検査、および認証、専門ビジネスの成長に求められる試験所認定の役割」を提案した。



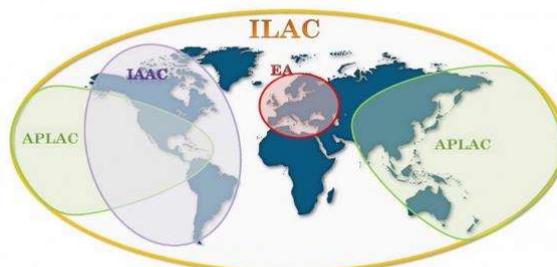
2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

6

本日のトピックス紹介

- ▶ 欧州やカナダ、米国およびその他の国と比較して、インド試験所における認定業務が増加しており、それは例えばコスメ業界で顕著に表れている。インド国内に対象となる試験所は数千に上り、その全てに認定サービスを提供するのは長い道のりとなる。

Mutual Recognition Arrangements 相互承認協定



ILAC – International Laboratory Accreditation Cooperation
EA – European co-operation for Accreditation
APLAC – Asia Pacific Laboratory Accreditation Cooperation
IAAC – Inter-American Accreditation Cooperation

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

7

独立分析試験所の概念

- ▶ 1990年にインド経済が民間および独立系の起業家に開放されると、試験所専門家により、殆どの国内主要都市に独立試験所サービスが確立された。



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

8

独立分析試験所の概念

- ▶ SGS、Intertek、Bureau Veritas、TUVを含む世界的な検査機関はインド産業に参入、輸出入商品とプロジェクト管理サービスの検査および認証業務に係る、多拠点型試験所を設置した。



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

9

独立分析試験所の概念

- ▶ 独立試験は受け入れ基準を確立するための第三者による試験で、独立試験事業者、専門家、専門誠実性、習熟度、規制当局からの承認と承認の認定（インドではBIS、FSSAI & CPCB等）、また、認識および承認のコンセプトを基本とし、多くの製品や素材の適合必須要件とされている。



10

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

検査と認証の必要性

- ▶ 顧客にとって、調達した製品の品質は大きな関心事である。私たちも知る通り、品質とは製品全体の特性を決定付けるもので、専門プロセスと、生産及び素材抽出のテクノロジー及び科学の専門家による評価の結果である。



11

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

検査と認証の必要性

- ▶ 顧客に代わり、検査及び認証機関は、製造された素材や製品の分析、検査および相互評価レビューに基づいた、品質に係る証明文書を提供する。



12

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

検査と認証の必要性

- ▶ 国内外において、検査及び認証システムは、素材の選別や受け入れに要する面倒な手順を緩和させる。検査及び認証は、試験所による専門サービスの成果である。



13

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の歴史

- ▶ 1985年以前、試験所認定の概念は、鉄道、防衛、及び航空宇宙に係る特定の産業や調査に限定されていた。インド国内の建造物の建設や維持に係る政府機関 -CPWDは、少数存在する独立試験所に向けたQuality Marking Scheme of state Government（政府品質表示スキーム）に似た、BIS規格に基づいた試験所承認に係るCPWD Specs and Scheme（CPWD仕様およびスキーム）を有していた。



14

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の歴史

- ▶ 1986年7月、ジュネーブでのGUTT後、GUTT承認を受けたインド政府の関心は認定スキームの下で国内の試験所設備を置くことに向けられ、NCTCFが設置された。これは後に科学技術省の下で名称がNABLに変わり、2016年にはQCI理事に移行、ILAC相互承認協定を締結した認定機関に登録、本部を首都ニューデリー近郊のグルグラムに置くこととなった。



15

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の歴史

- ▶ 2005年以降、試験所認定プログラムは主要な世界経済に大きく広がりを見せた。多くの国で認定機関が複数存在し、国際事業において試験所-適合性評価機関（CABs）へサービスを提供している。インドでは、認定機関は2つ- NABLとFDASが存在し、両機関とも首都ニューデリー近郊のグララムに本部を置く。



16

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

専門ビジネスの成長

- ▶ 試験所サービスは、その概念と運営システムにおいて、純粋なビジネス活動ではなく、従来のサービスビジネスとも異なる。試験所サービスは、分析、校正、医薬、GLPおよび毒物の分野において熟練の専門家によって、設置、開発、および管理されている。



17

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

専門ビジネスの成長

- ▶ 試験所ビジネスの成長因子は、主に経済、地理、専門性で、認定（事業への規制要件）、信頼性、完全性、卓越性、独自性、およびターンアラウンドタイム（所要時間）による。国内では、主に、試験所の評判が業務量やサービスの普及に係る。



18

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

専門ビジネスの成長

- ▶ 試験所が継続的に成長するには、その適用範囲において認定を取得し、提供する業務に係る能力が第三者に保証される必要がある。試験所の認定システムを効果的に実装化することで、改善に向けた重要なエコシステムを得られ、また、必須監査とレビューおよびフィードバックシステムを通じて障害リスクが最小限に抑えられる。



19

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の役割

- ▶ 品質や安定性の信頼性が高い製品やサービスの国を越えた交換に制限を設けないようにするには、その国には、ISO 17011に準拠した有効なILAC MRAと、適切に配置および効果的に実装された、手頃な価格の試験所認定システムが必要である。これは、国際ビジネスにおけるグローバルな最低限の要件である。



20

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の役割

- ▶ 多くの国々において、そのメリットと国際的な認知度によって、規制当局および顧客向け試験所サービスの認定、承認、および参加の主要な基準として試験所認定を採用している。政府機関や組織部門の試験所は、国の需要に対して数が少なく、独立認定試験所がその不足分を補い、技術職の機会と、重要な試験所サービスとで、二重の利点を提供している。



21

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

試験所認定の役割

- ▶ 試験所サービスを提供するための最初の対話において、認定は、顧客の信頼を最大限得るための試験所ツールを提供しており、これは適用範囲に含まれる。試験所管理の認定は、顧客ベース、試験所技術者や試験所サービスの成長維持に役立つ、正確で信頼性の高い有効な試験結果の提供を保証する。



22

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

認定および認定機関とのILAC MRA(相互承認協定)

- ▶ 適合性評価機関の認定は、試験結果が国を越えて取り扱われるための適合性評価機関認定を行う機関で、ILAC MRAを締結している認定機関が行う。現在、ILAC MRAは、ISO / IEC 17011に準拠して運営されている認定機関から取得したISO / IEC 17025およびISO / IEC 15189認定について、顧客と規制当局の間で必須要件を取得した。

APAC
ASIA PACIFIC
ACCREDITATION COOPERATION



23

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

認定および認定機関とのILAC MRA(相互承認協定)

- ▶ 試験所認定は、独立した第三者試験所が他の経済圏の顧客や他国へのサービス業務取得のためには、他の経済圏との国際貿易やビジネスで要求されている場合を除き、その殆どにおいて必須条件となった。

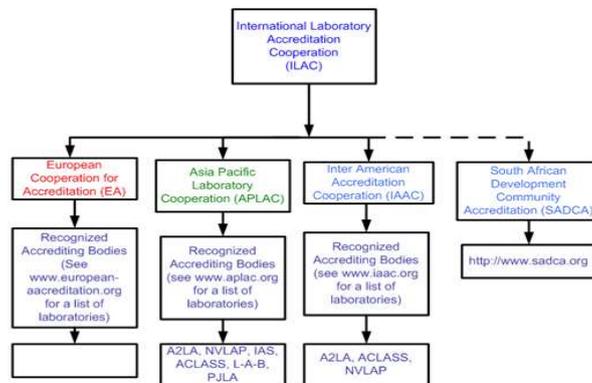


2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

24

認定および認定機関とのILAC MRA(相互承認協定)

- ▶ ILAC MRAは認定機関に対し、APAC / ILACのチームによる定期的な相互評価に基づく普遍的な受け入れと認識を提供する。加えて、国内および国際認定機関が提供する認定業務に対する、適合性評価機関への信頼が保証される。



2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

25

適合性評価機関の技術と経済への貢献

- ▶ 適合性評価機関のサービスは、新プロジェクト企画上の主要な要素であり、生産および消費時における素材の評価は、試験所が提供する重要なサービスである。ISO / IEC 17025に準拠した分析試験所および校正試験所が提供するサービスは、中小企業の機能と成長に不可欠である。



26

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

適合性評価機関の技術と経済への貢献

- ▶ 毒性試験を含む医療系およびGLP試験所は、ISO / IEC 15189やOECDのガイドラインに準拠してサービスを提供し、保健分野および医薬品製造の社会および国家需要に応じている。医療系試験所は郡レベルにまで大変良く浸透しており、その数はインド各州で数万を超える。



27

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

適合性評価機関の技術と経済への貢献

- ▶ 試験所サービスは、国内で取引される、環境、サービス、および製品の品質を評価し、またそれに挑戦するための、一般大衆に扱うことができる効果的かつ潜在的なツール。試験所が、ILAC MRA締結認定機関による認定を受けている場合、その試験結果は、素材の受け入れや拒否、および法的措置を講じるための重要な権限を持つこととなる。経済活動やサプライチェーン管理、および適合性評価機関サービスは、持続的な成長と発展のため相互依存している。

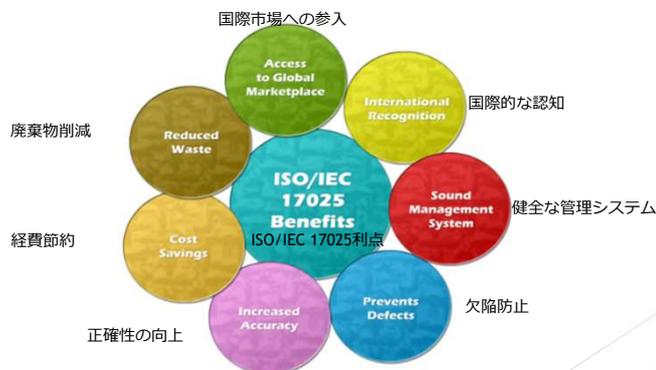


28

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

結論

- ▶ 専門試験所事業の成長における認定の役割は基本的・触媒的で、試験所業務を行う上で、求められた課題における競争力や能力を備えた業者としての法的アイデンティティを与えることである。認定を取得した試験所の法的アイデンティティで、その試験所の提供するサービスが世界各国で受け入れられ、世界経済へ進出、業務拡大の機会を得る。

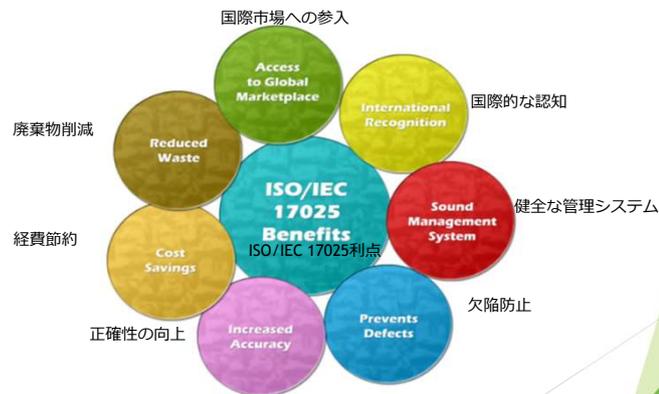


29

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

結論

- ▶ 世界経済間の貿易および商取引は、独立した第三者認定試験所や、少数ではあるが、認証機関および技術コンサルタントの試験所内認定施設と統合されている認定機関が提供する検査および認証サービスに基づいてチェック、規制、監視されている。

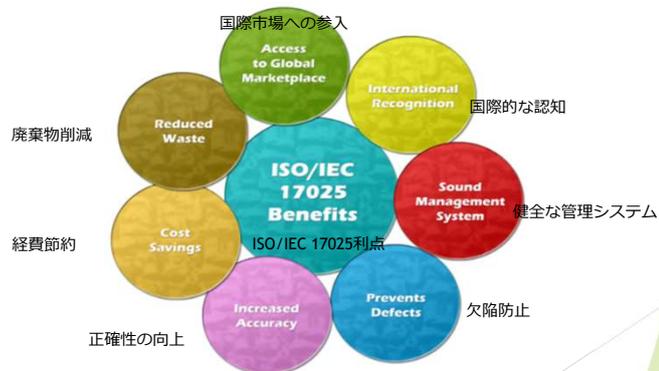


30

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

結論

- ▶ 結果と言えるのは、試験所認定が国際貿易や商取引を促進し重複試験の時間や費用を削減、顧客の信頼を高め、規制当局、法律制定者、試験所専門家および起業家に効果的なツールを提供していることが世界での認識であることである。



31

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UIIL Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

参照

- ▶ ISO/IEC 17025:2017
- ▶ 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

- ▶ ISO/IEC 15189:2012
- ▶ 臨床検査室 - 品質と能力に関する要求事項

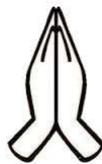
- ▶ ISO/IEC 17011:2017
- ▶ 適合性評価-適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項

32

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

ありがとうございました

ご清聴ありがとうございました。



33

2019 IAF-ILAC Annual Meetings UILI Lab Meeting 2019年10月25日 ドイツ・フランクフルト

